事前復興まちづくり計画検討のための津波シミュレーション結果（参考資料）

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）……1

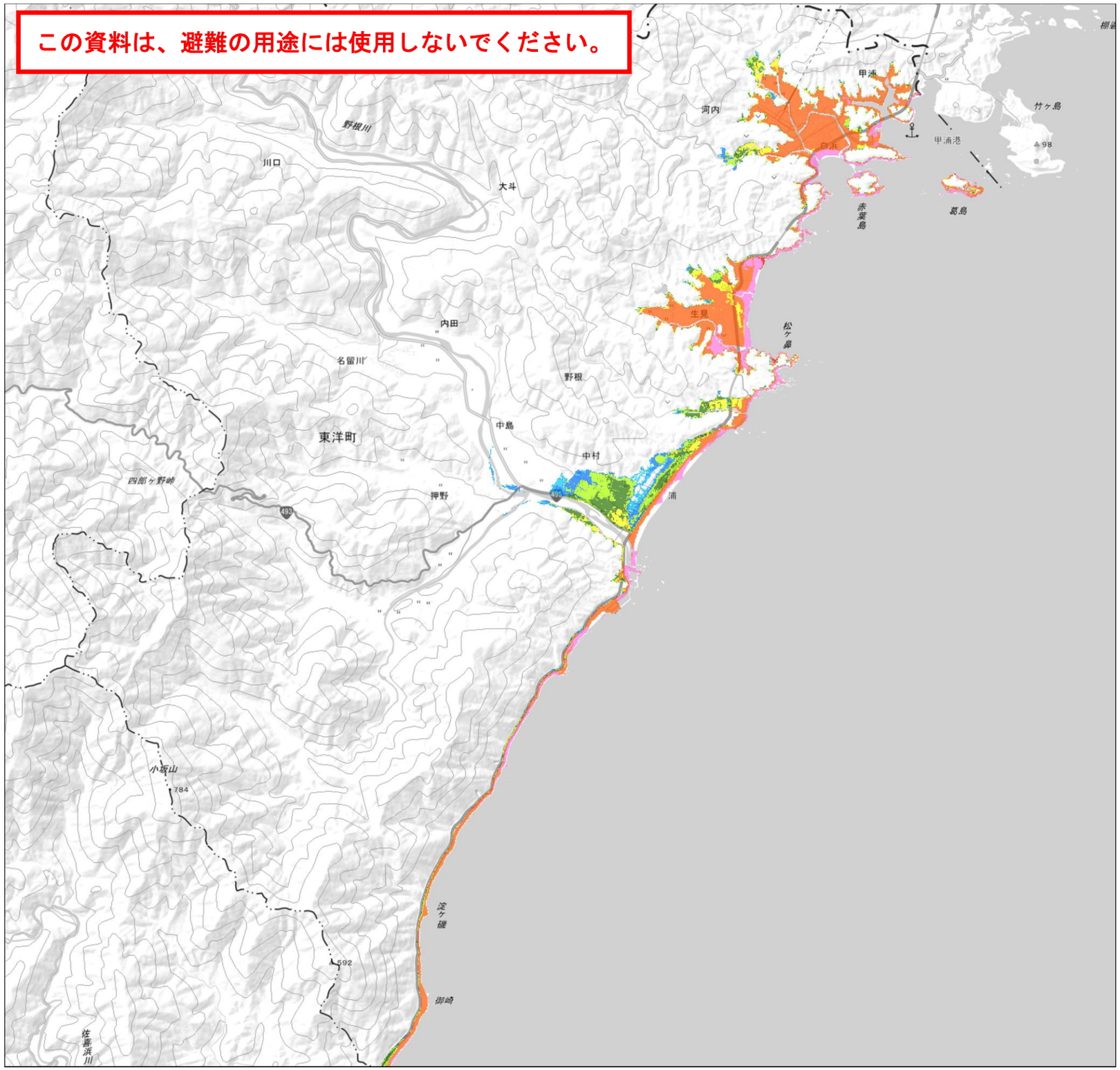
1　東洋町（最大浸水深）……1
2　室戸市 その１（最大浸水深）……2
3　室戸市 その２（最大浸水深）……3
4　室戸市 その３（最大浸水深）……4
5　奈半利町　田野町　安田町（最大浸水深）……5
6　安芸市 その１（最大浸水深）……6
7　安芸市 その２（最大浸水深）……7
8　香南市（最大浸水深）……8
9　南国市（最大浸水深）……9
10　高知市（最大浸水深）……10
11　高知市　土佐市（最大浸水深）……11
12　須崎市 その１（最大浸水深）……12
13　須崎市 その２（最大浸水深）……13
14　中土佐町（最大浸水深）……14
15　四万十町（最大浸水深）……15
16　黒潮町　その１（最大浸水深）……16
17　黒潮町　その２（最大浸水深）……17
18　四万十市（最大浸水深）……18
19　土佐清水市　その１（最大浸水深）……19
20　土佐清水市　その２（最大浸水深）……20
21　土佐清水市　その３（最大浸水深）……21
22　大月町　その１（最大浸水深）……22
23　大月町 その２（最大浸水深）……23
24　宿毛市　その１（最大浸水深）……24
25　宿毛市 その２（最大浸水深）……25

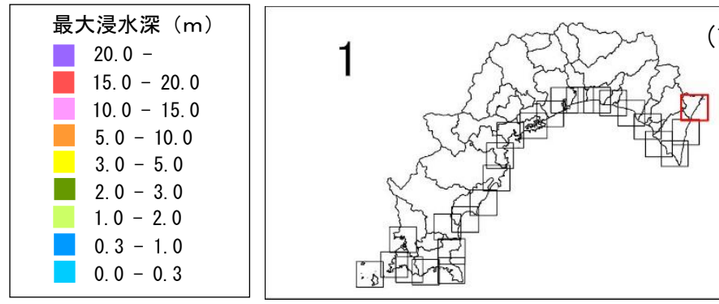
1　東洋町（30cm 津波到達時間）……26
2　室戸市 その１（30cm 津波到達時間）……27
3　室戸市 その２（30cm 津波到達時間）……28
4　室戸市 その３（30cm 津波到達時間）……29
5　奈半利町　田野町　安田町（30cm 津波到達時間）……30
6　安芸市 その１（30cm 津波到達時間）……31
7　安芸市 その２（30cm 津波到達時間）……32
8　香南市（30cm 津波到達時間）……33
9　南国市（30cm 津波到達時間）……34
10　高知市（30cm 津波到達時間）……35
11　高知市　土佐市（30cm 津波到達時間）……36
12　須崎市 その１（30cm 津波到達時間）……37
13　須崎市 その２（30cm 津波到達時間）……38
14　中土佐町（30cm 津波到達時間）……39
15　四万十町（30cm 津波到達時間）……40
16　黒潮町　その１（30cm 津波到達時間）……41
17　黒潮町　その２（30cm 津波到達時間）……42
18　四万十市（30cm 津波到達時間）……43
19　土佐清水市　その１（30cm 津波到達時間）……44
20　土佐清水市　その２（30cm 津波到達時間）……45
21　土佐清水市　その３（30cm 津波到達時間）……46
22　大月町　その１（30cm 津波到達時間）……47
23　大月町 その２（30cm 津波到達時間）……48
24　宿毛市　その１（30cm 津波到達時間）……49
25　宿毛市 その２（30cm 津波到達時間）……50

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）……51
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）……101

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

1　　東洋町（最大浸水深）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

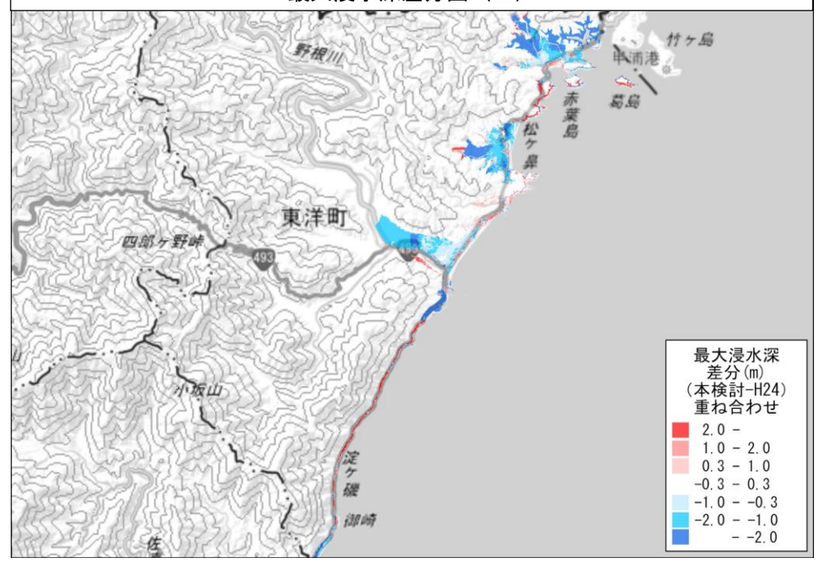
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

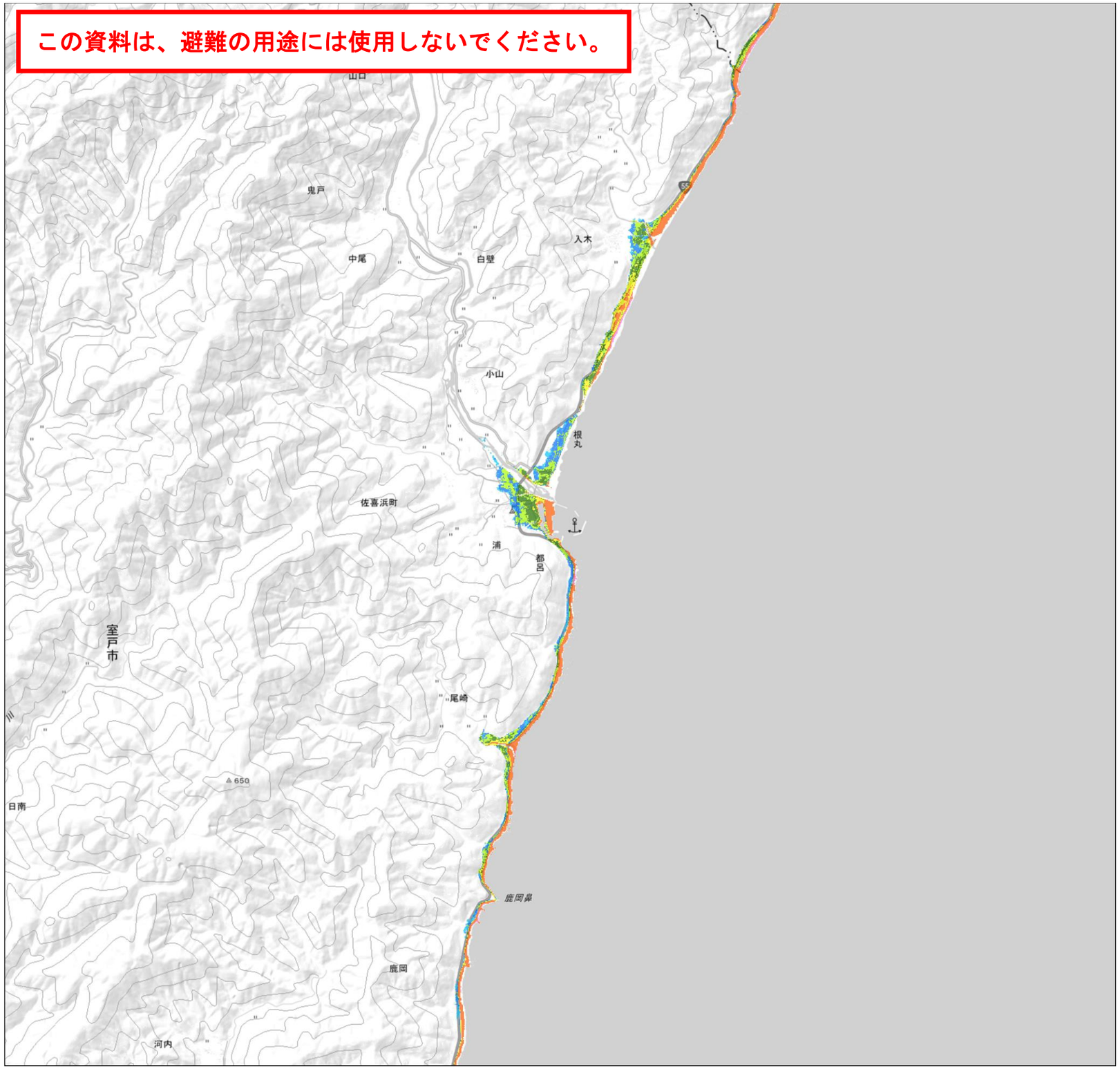


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

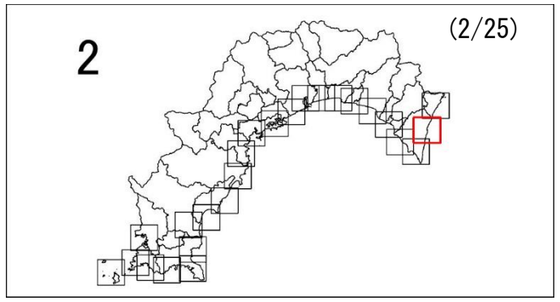
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

2　　室戸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



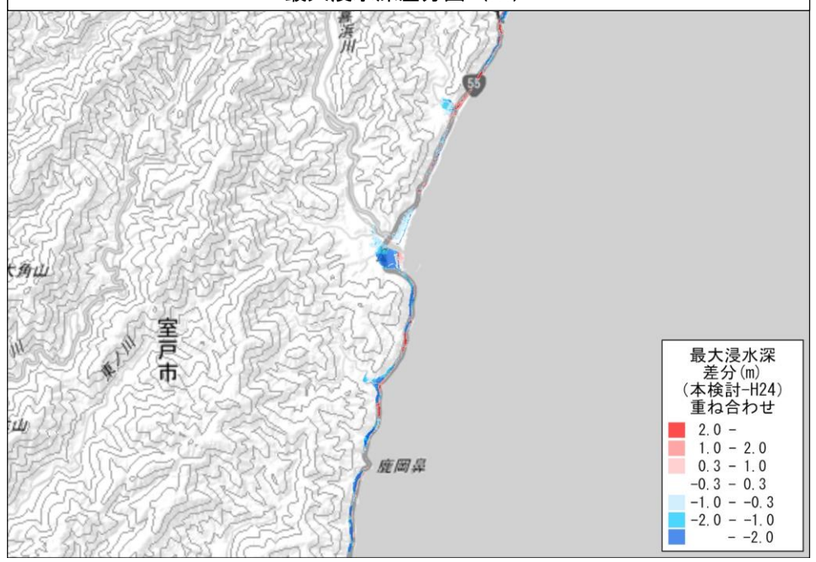
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

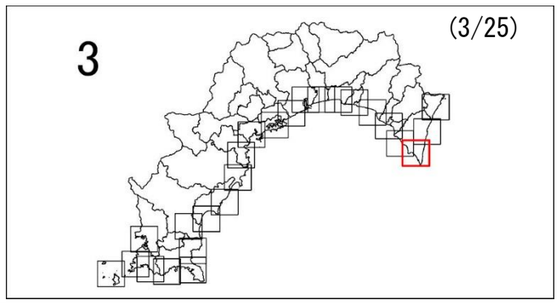
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

3　　室戸市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。







（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

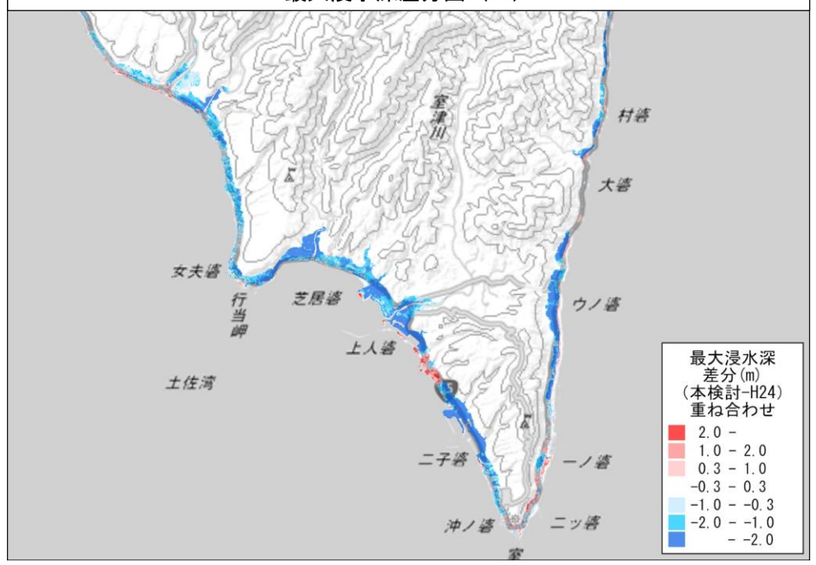
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

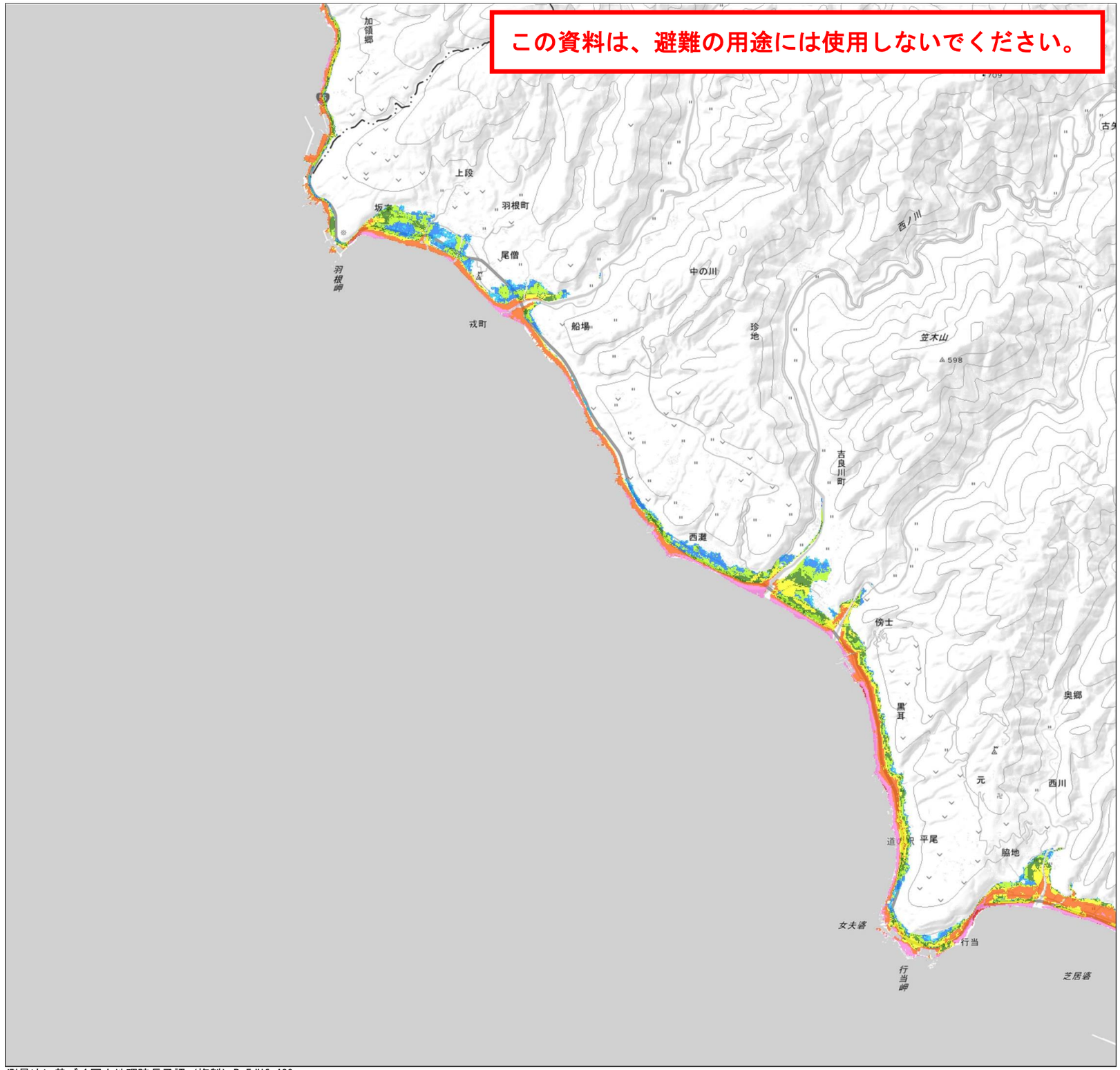
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

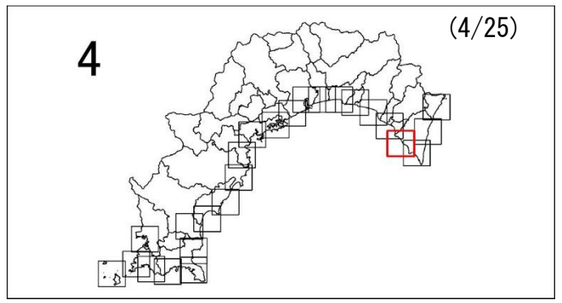
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

4　　室戸市 その３（最大浸水深）



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

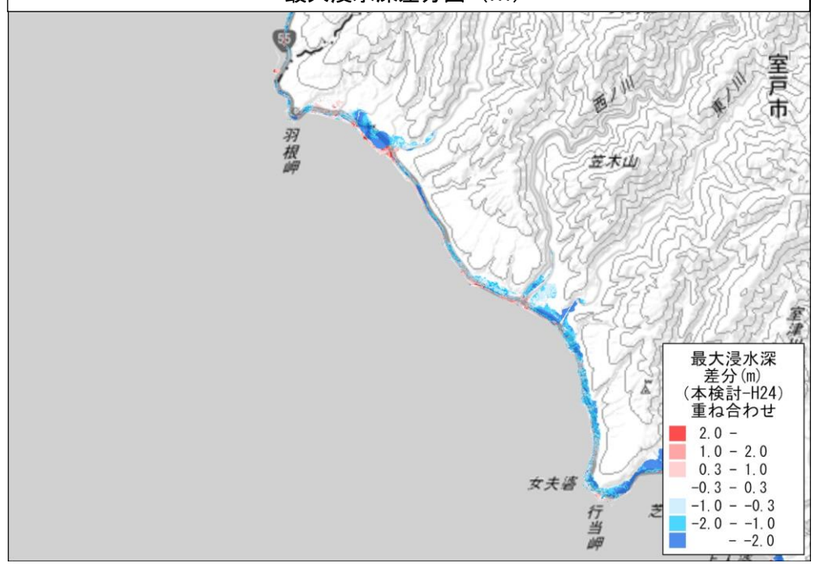
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

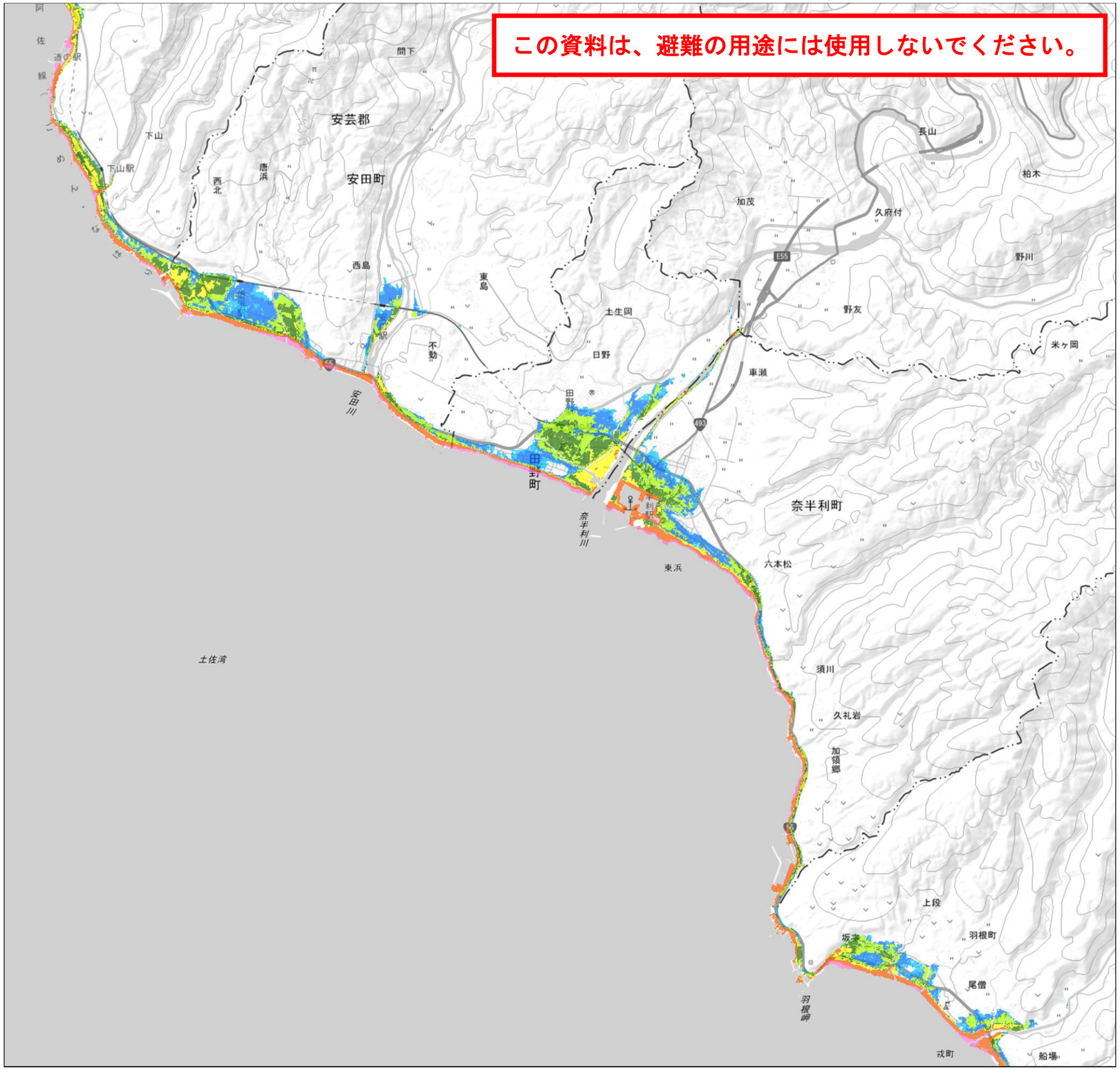
最大浸水深差分図（m）

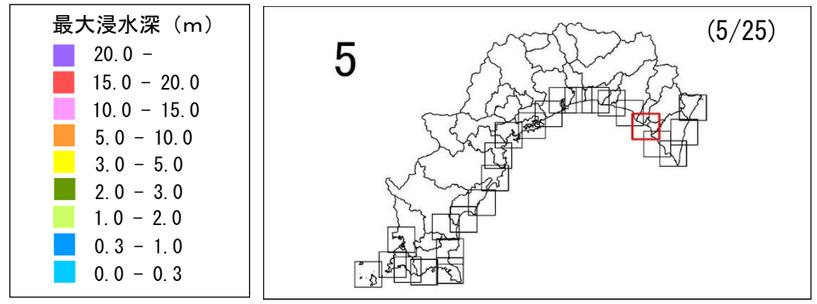


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（最大浸水深）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

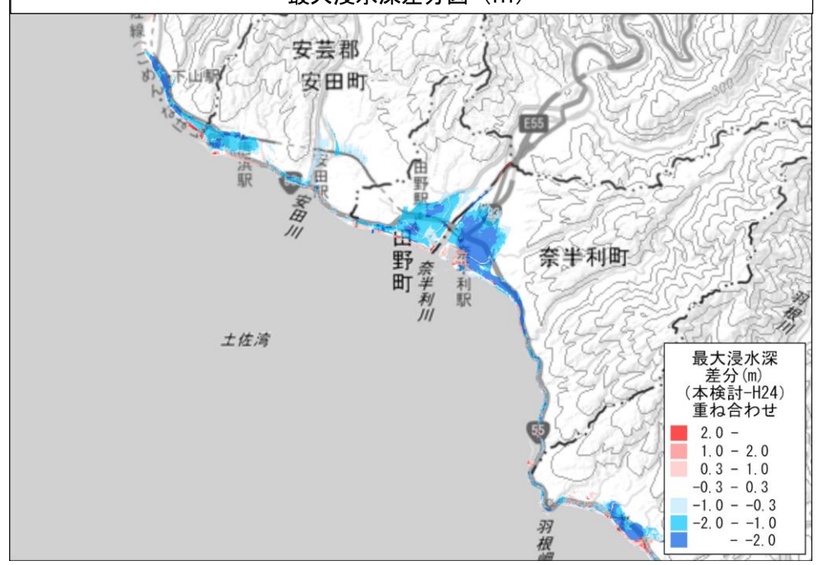
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

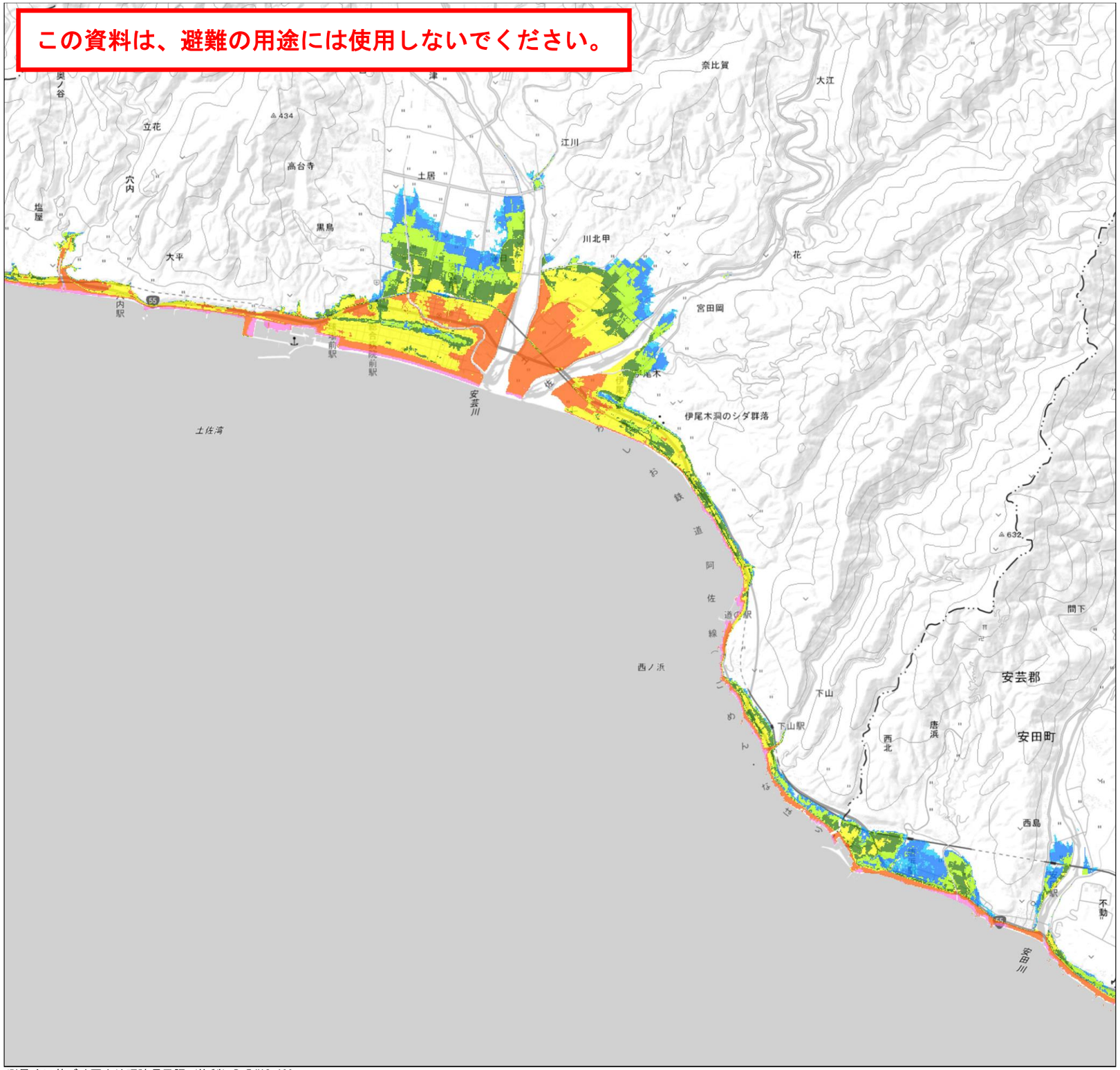


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

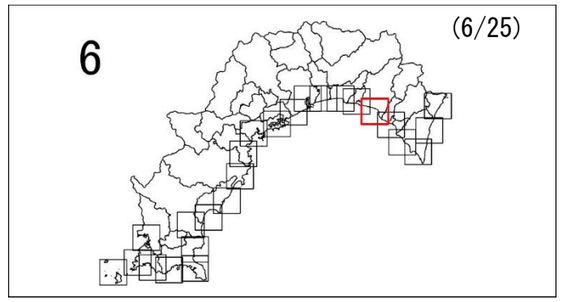
6　　安芸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

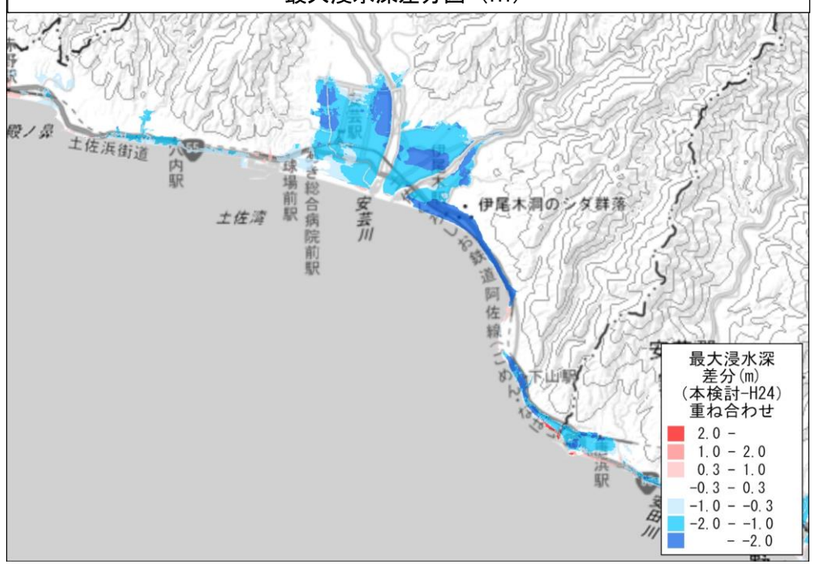
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

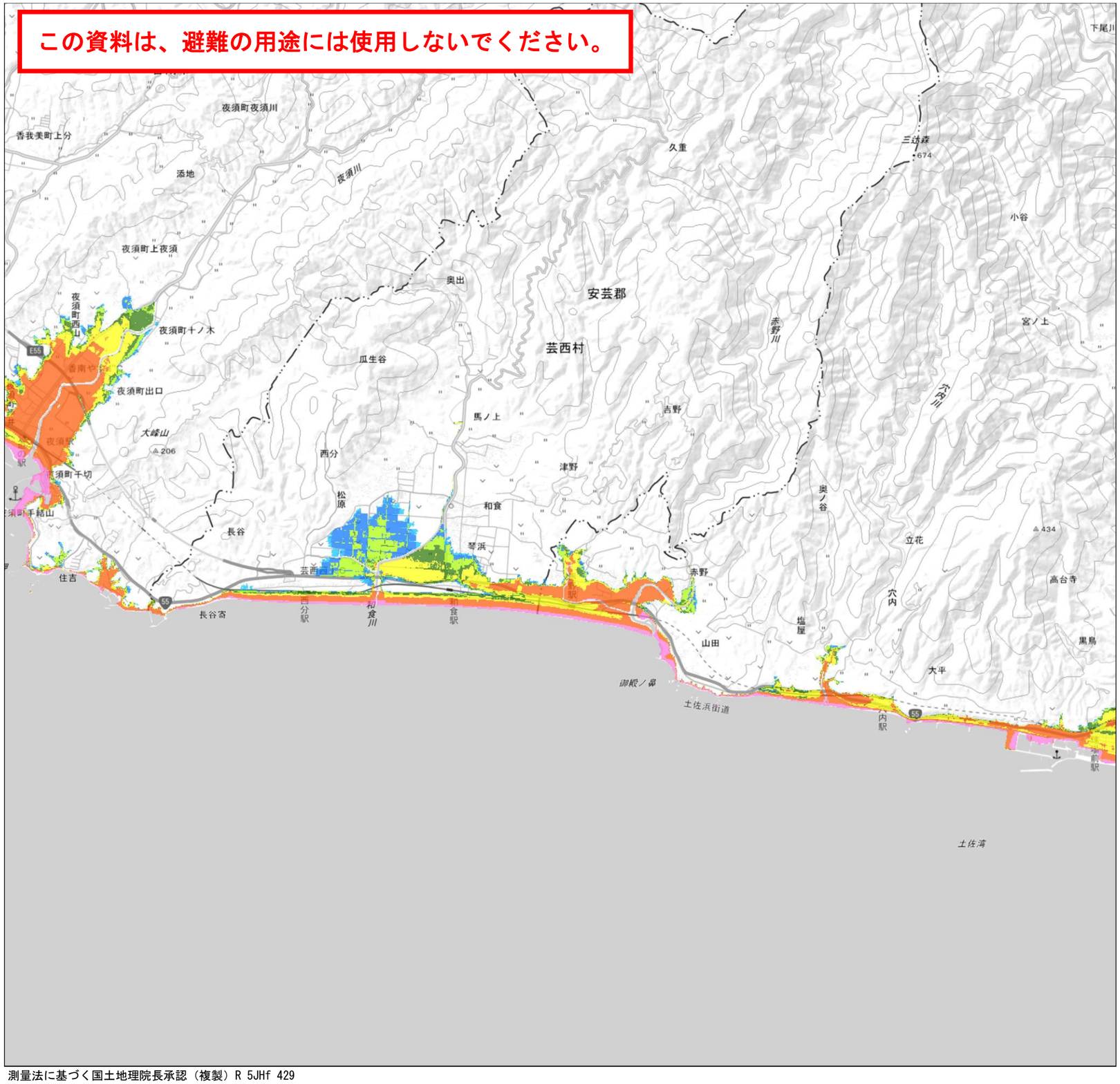
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



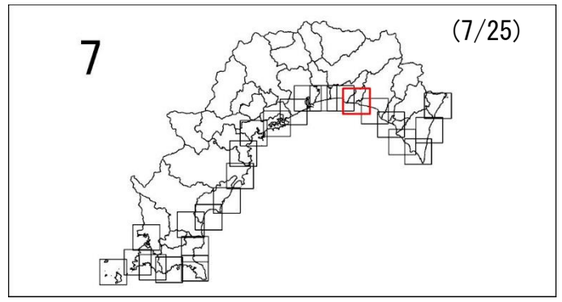
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

7　　安芸市 その２（最大浸水深）



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

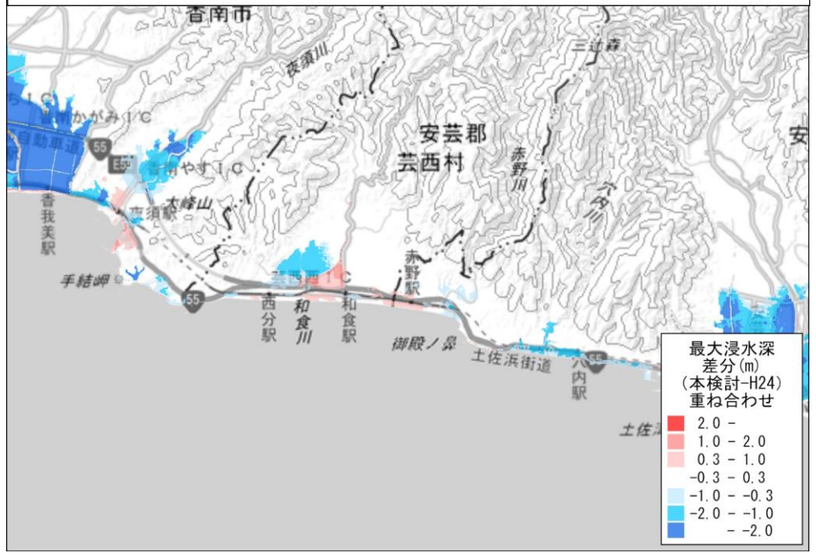
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

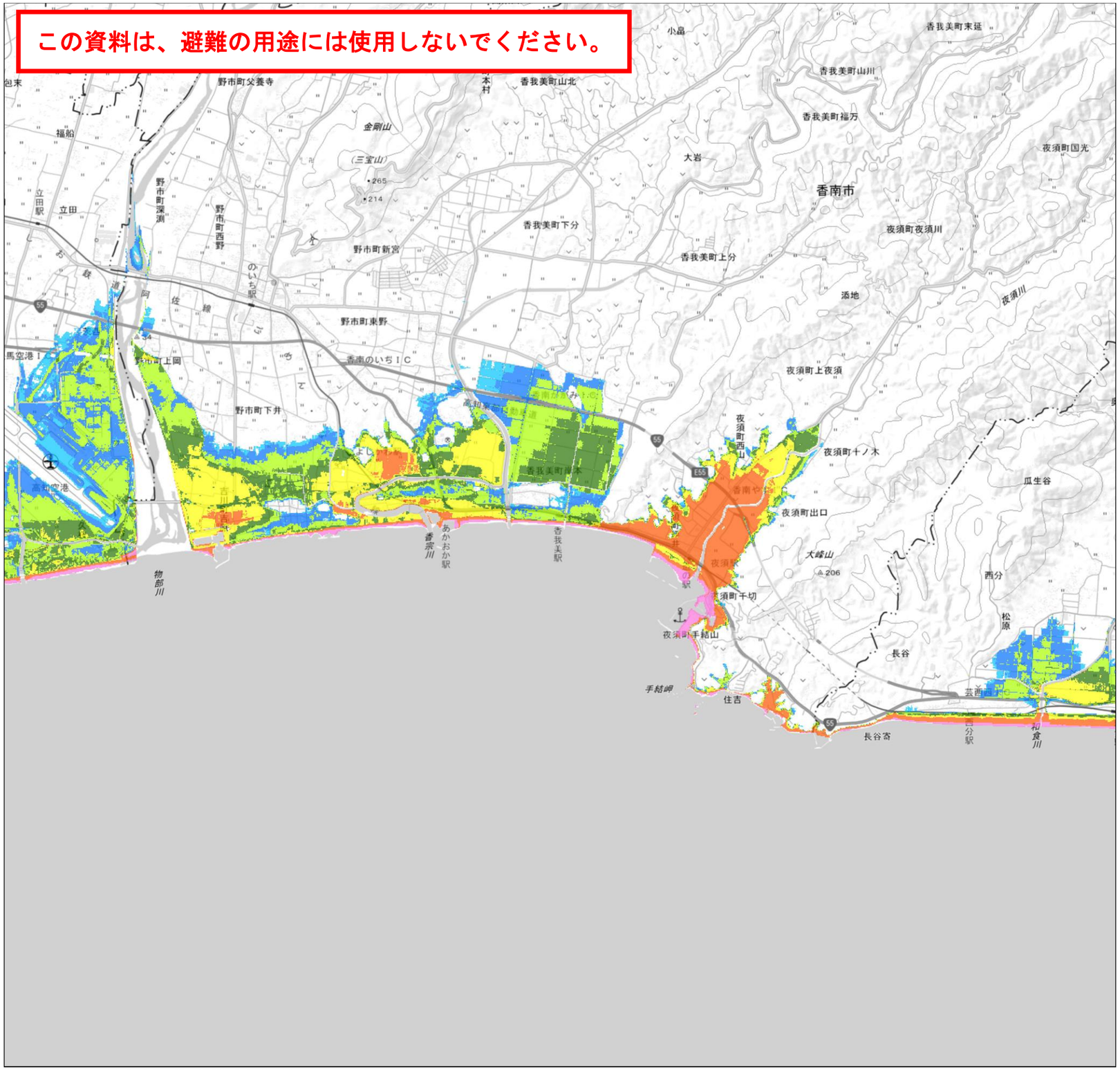


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

8　　香南市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

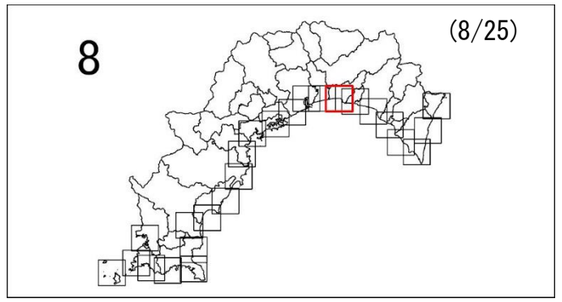


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

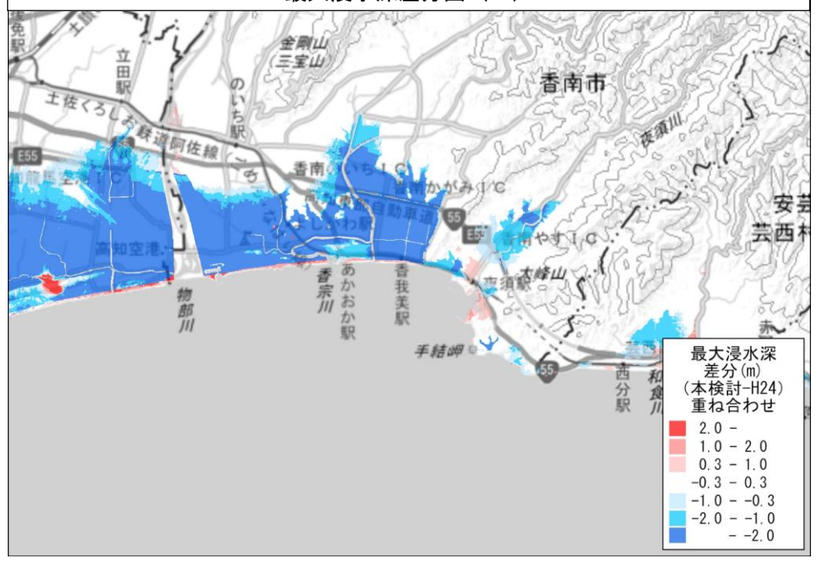
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

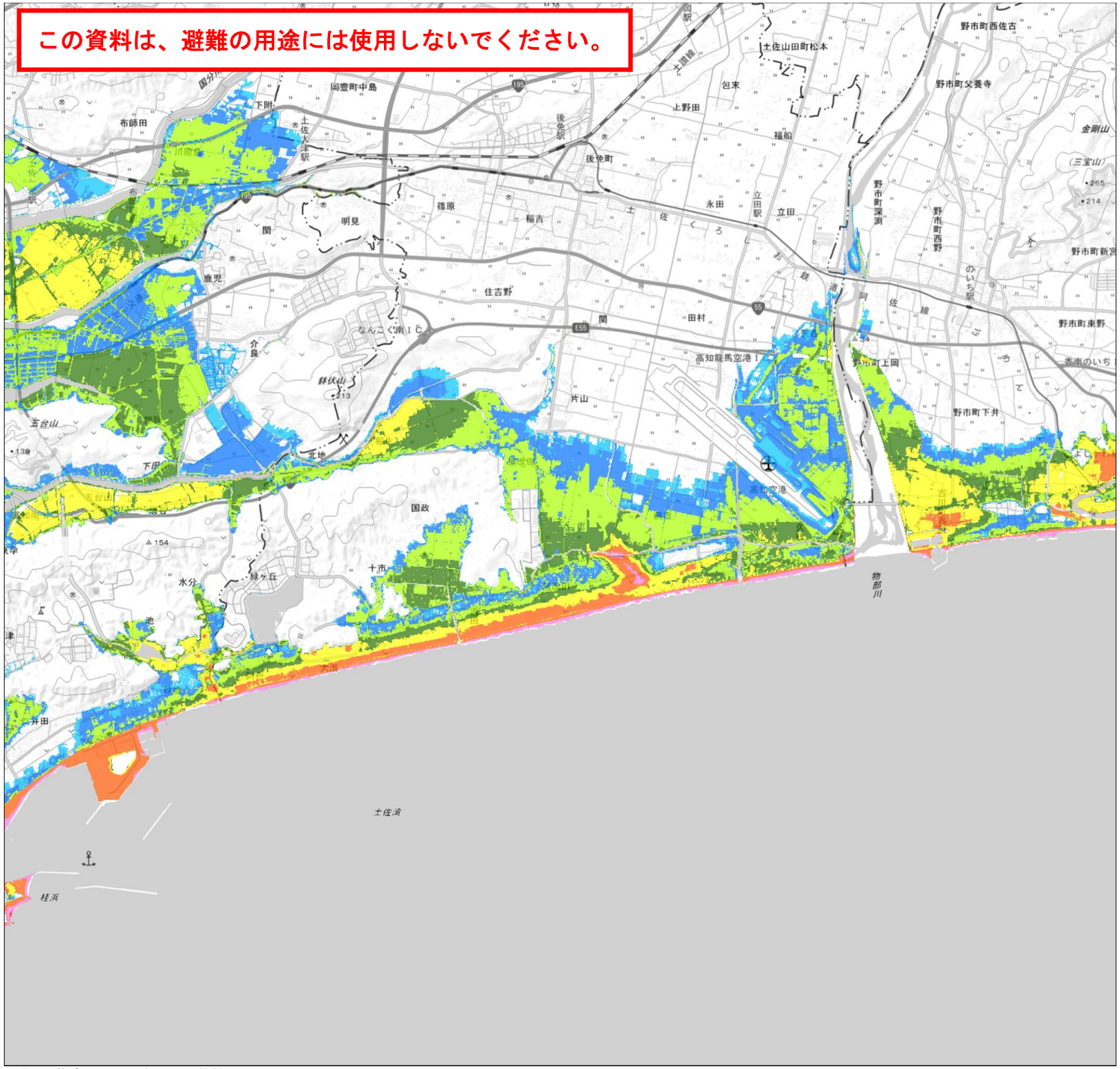
最大浸水深差分図（m）



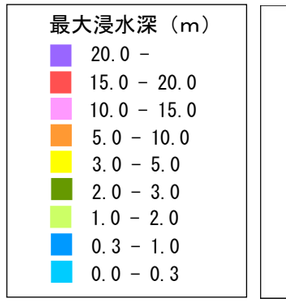
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

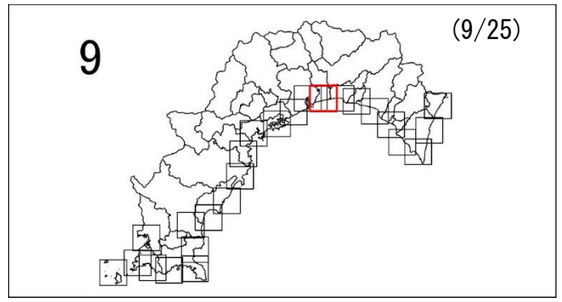
9　　南国市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

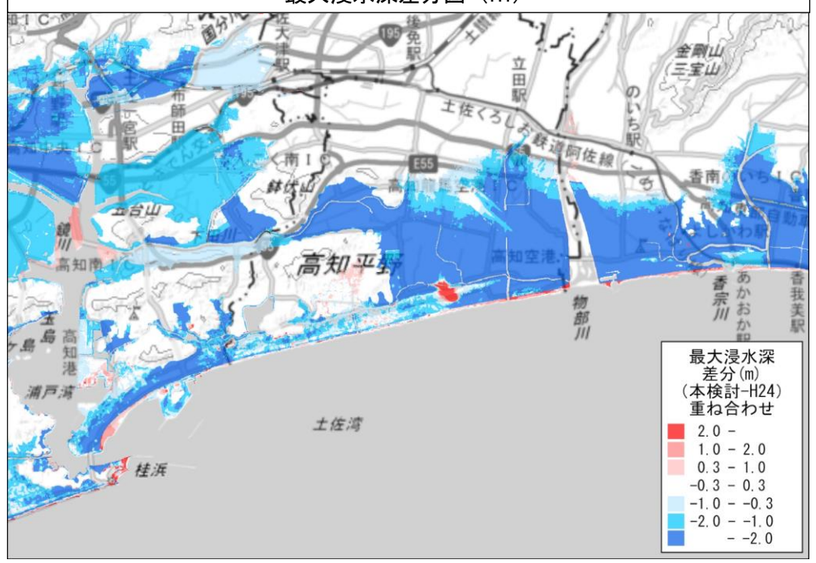




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

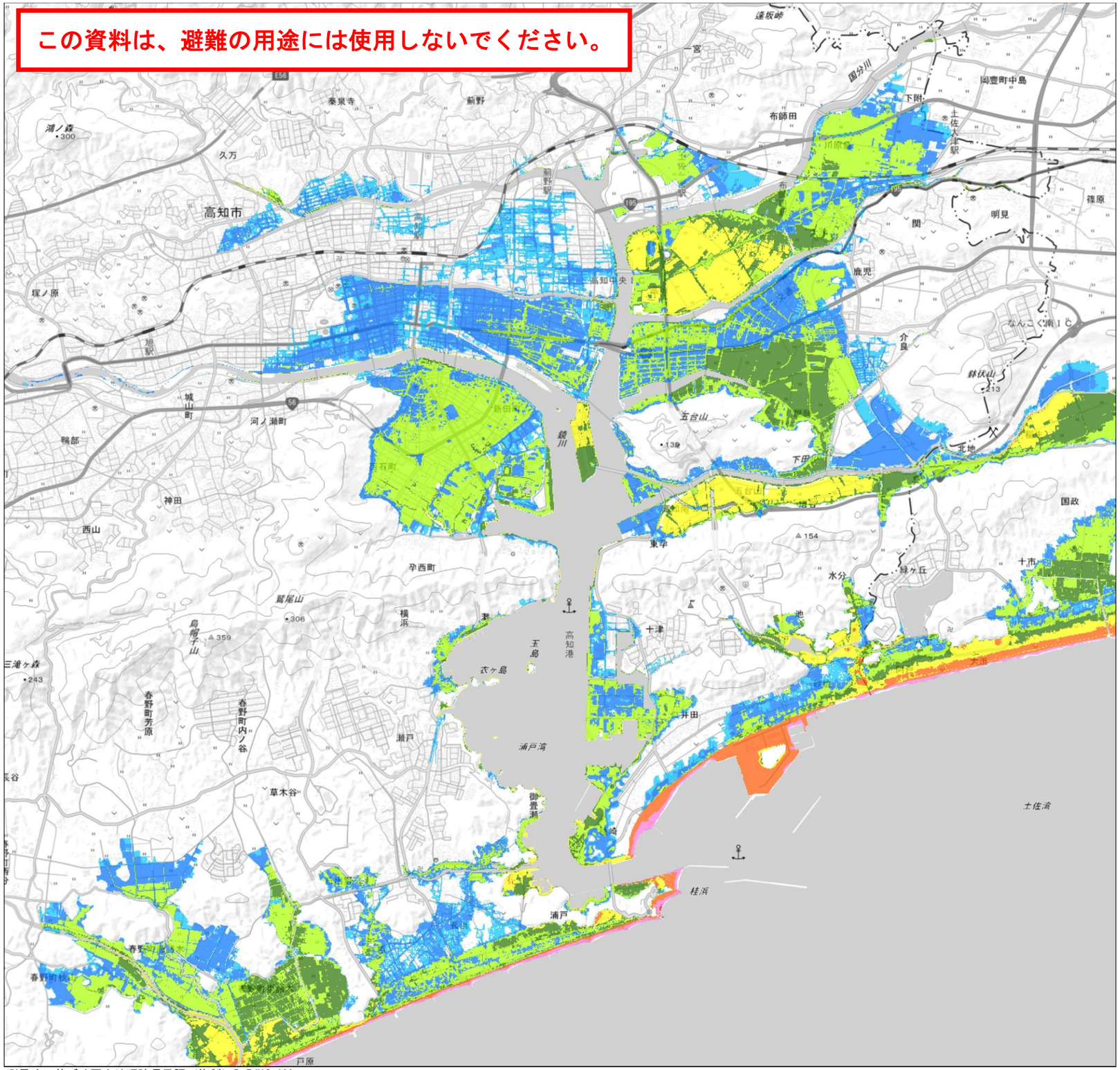
最大浸水深差分図（m）



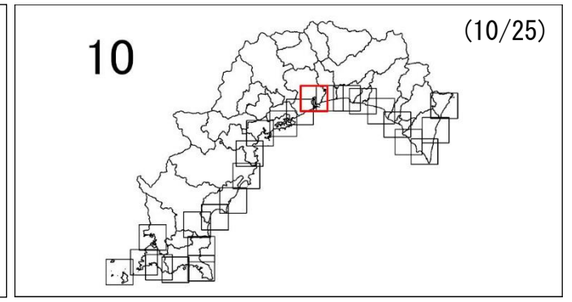
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

10　　高知市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

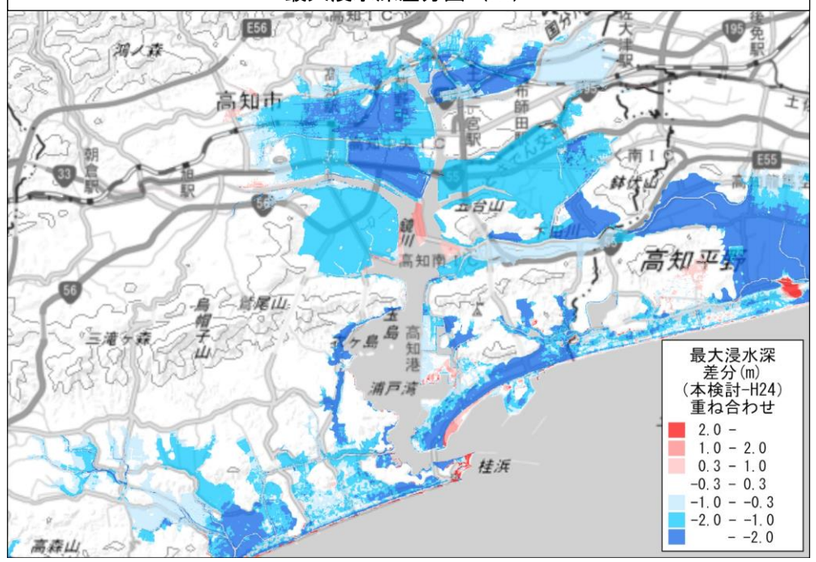
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

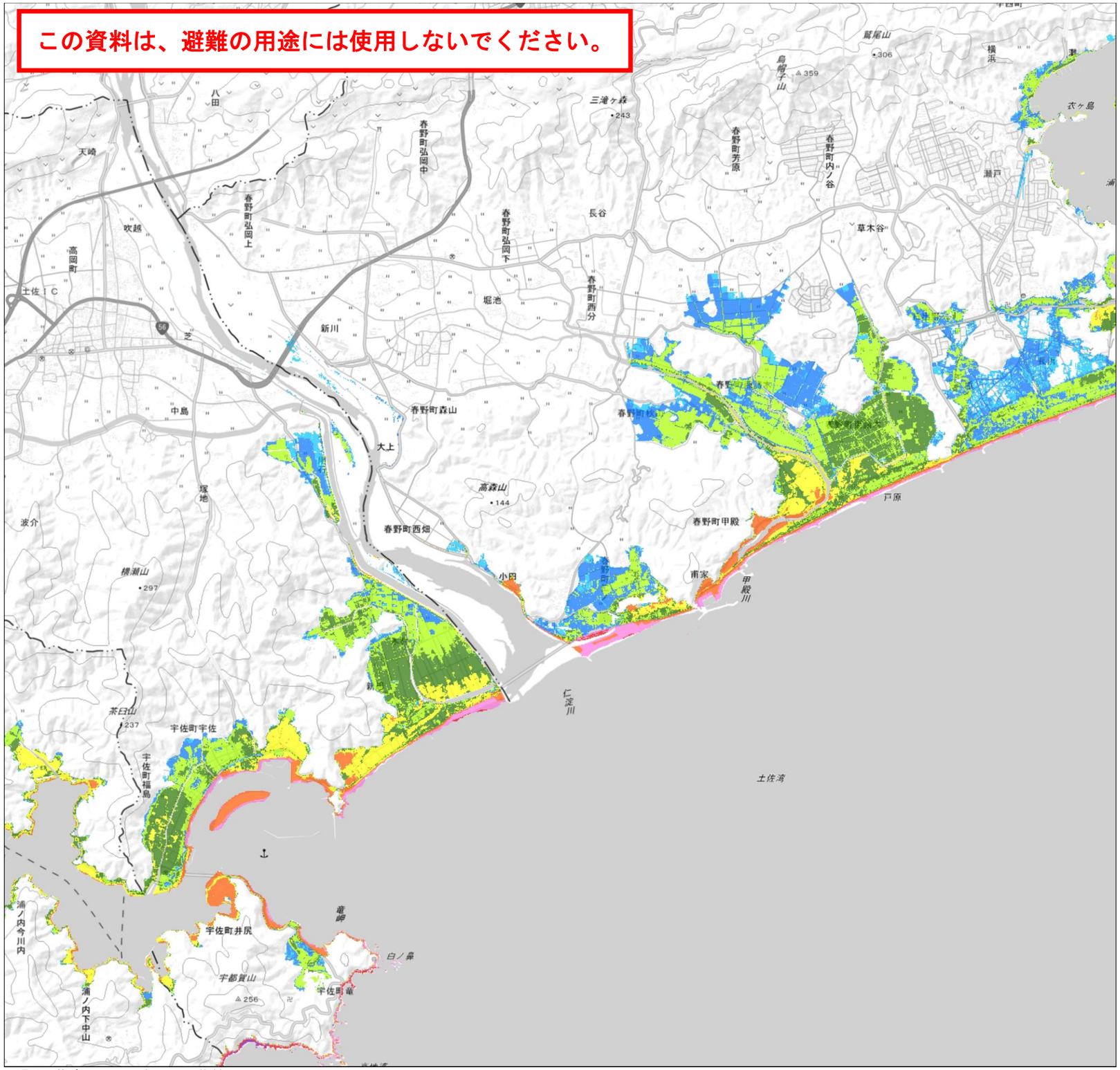


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

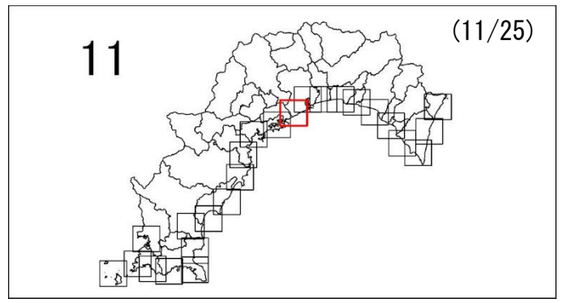
11　　高知市　土佐市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

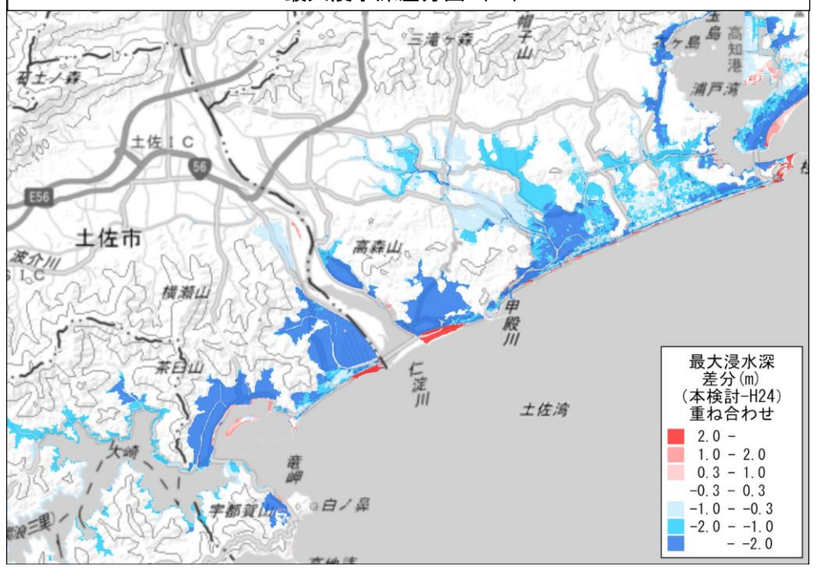
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

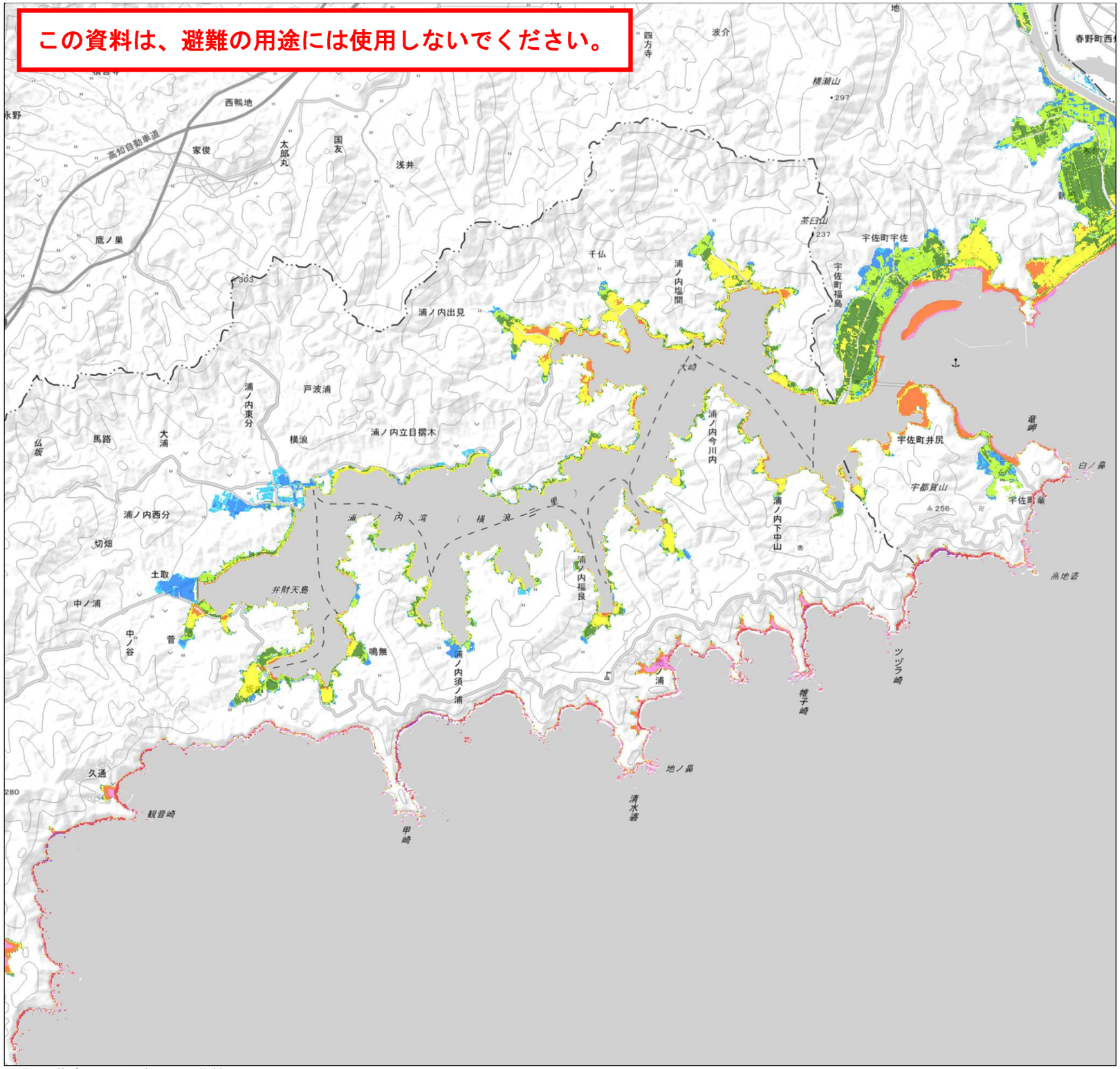
最大浸水深差分図（m）



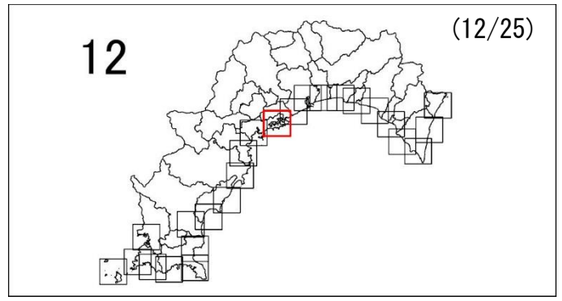
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

12　　須崎市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



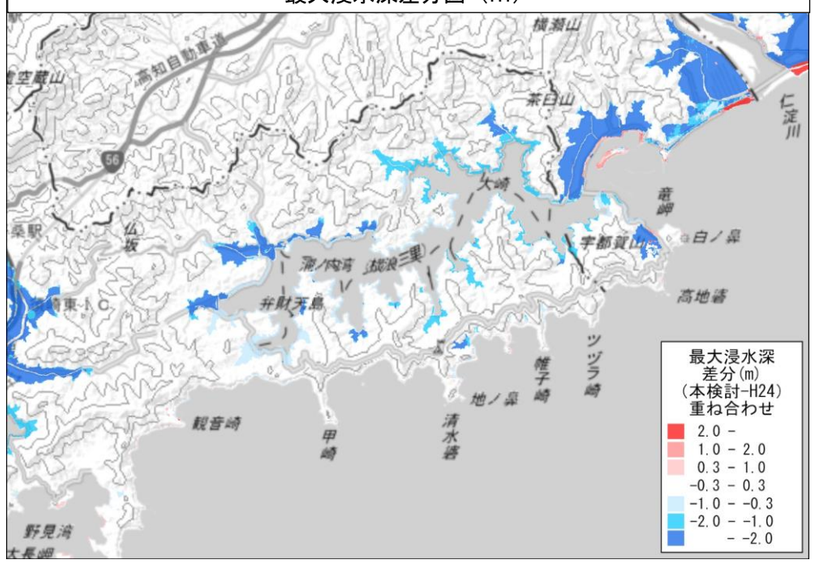
最大浸水深（m）
20.0 －
15.0 － 20.0
10.0 － 15.0
5.0 － 10.0
3.0 － 5.0
2.0 － 3.0
1.0 － 2.0
0.3 － 1.0
0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

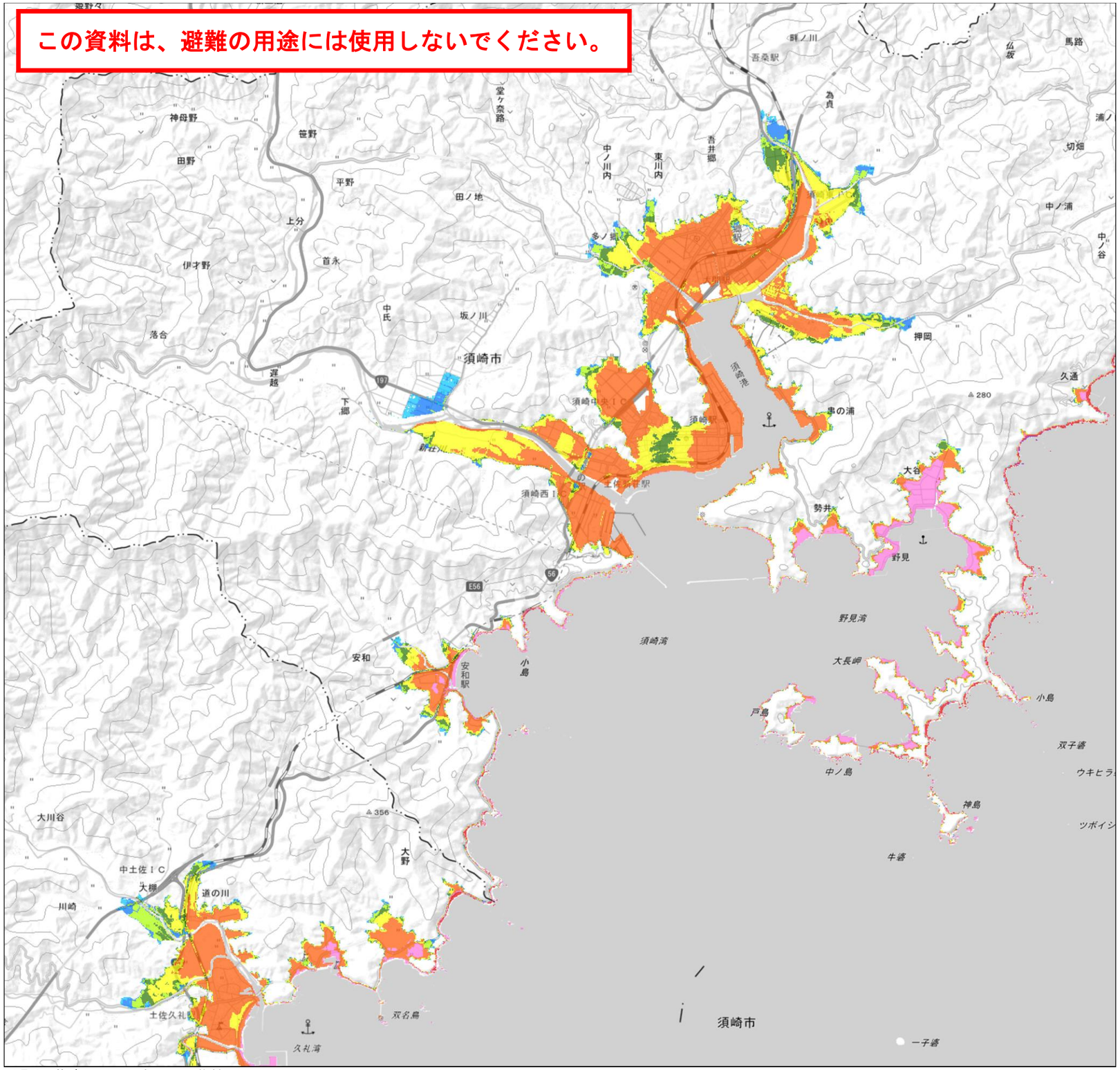


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

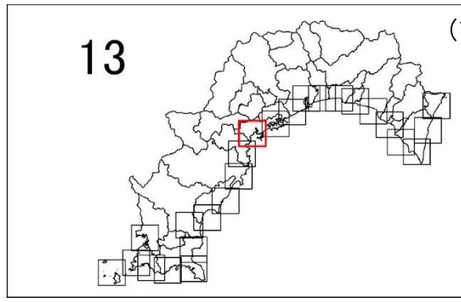
13　須崎市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

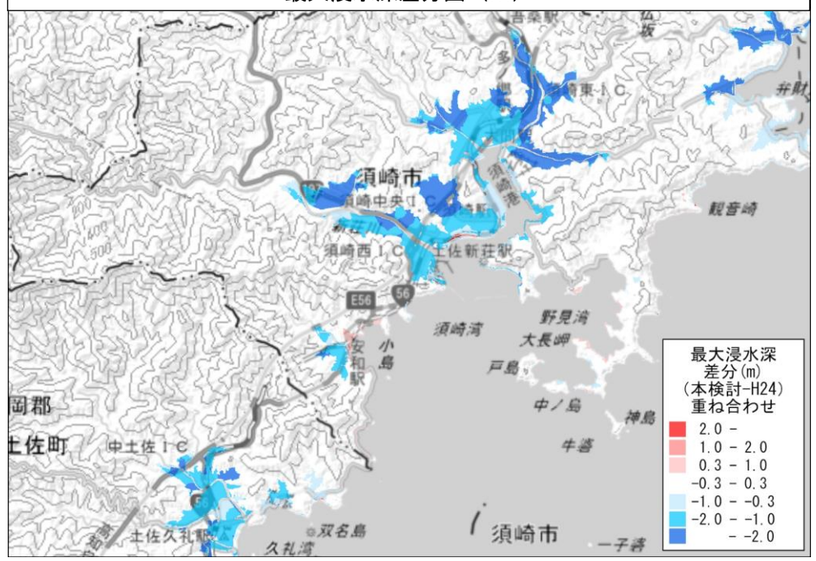
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

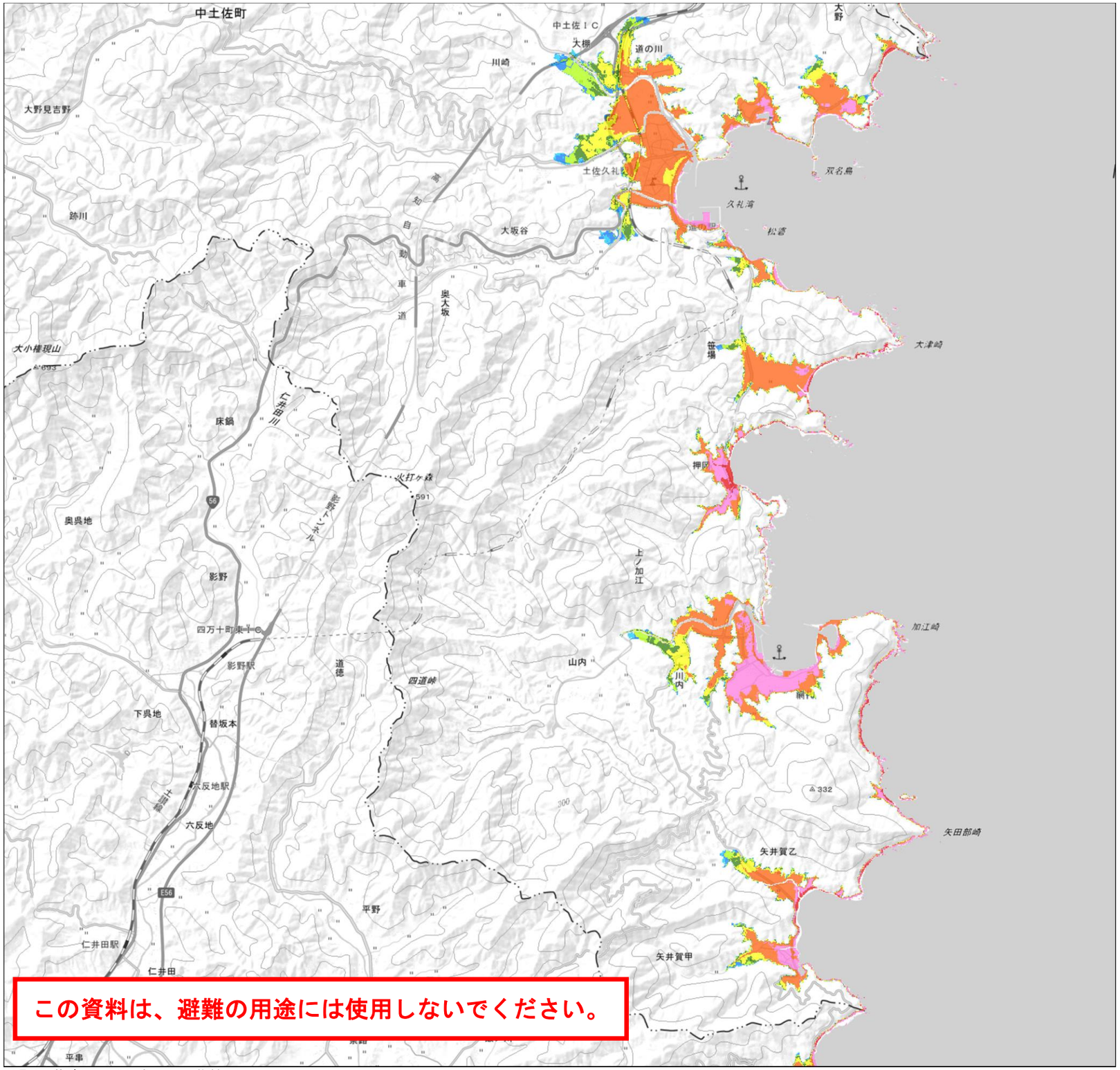
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

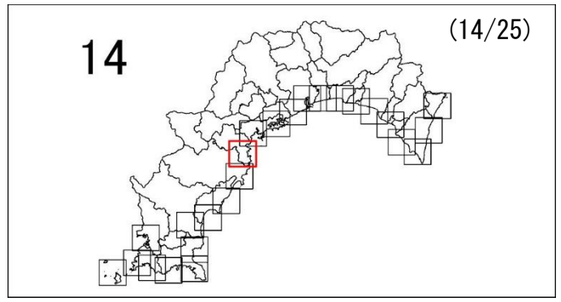
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

14　　中土佐町（最大浸水深）



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

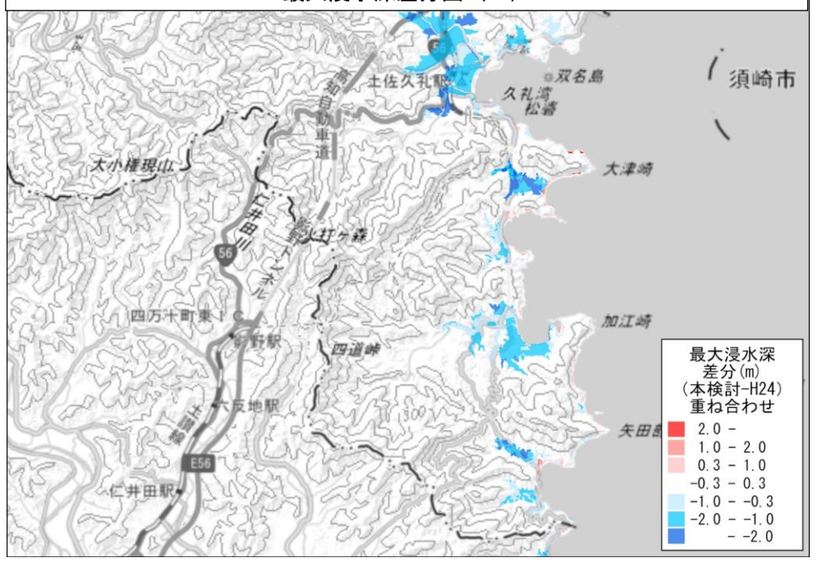
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

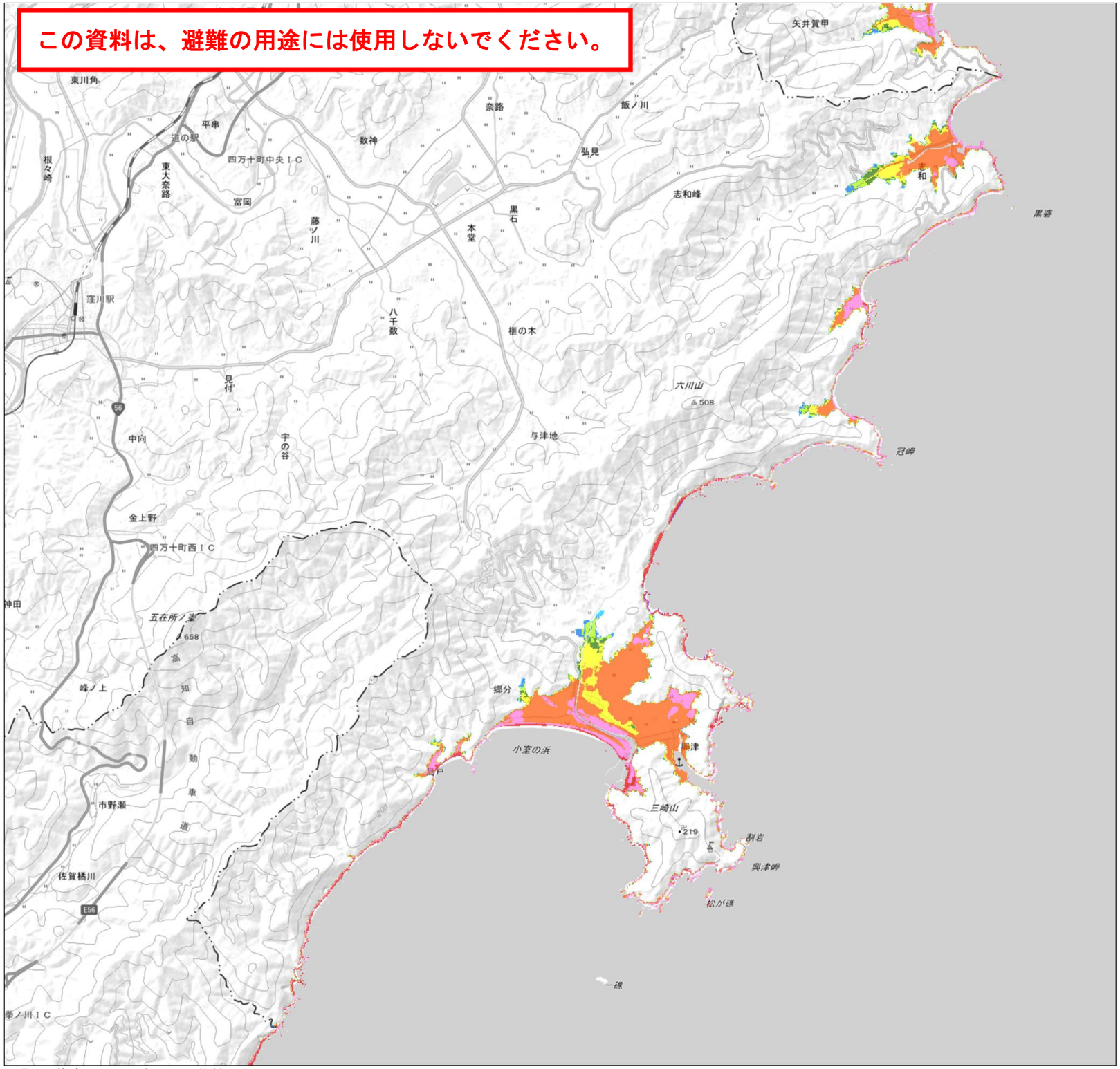
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

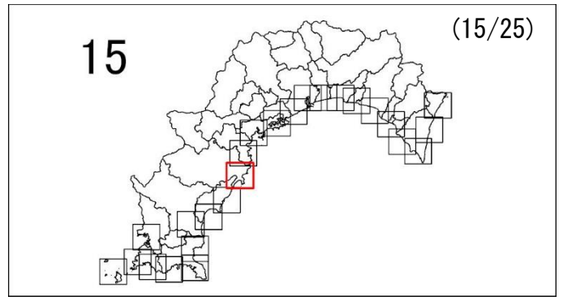
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

15　　四万十町（最大浸水深）



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

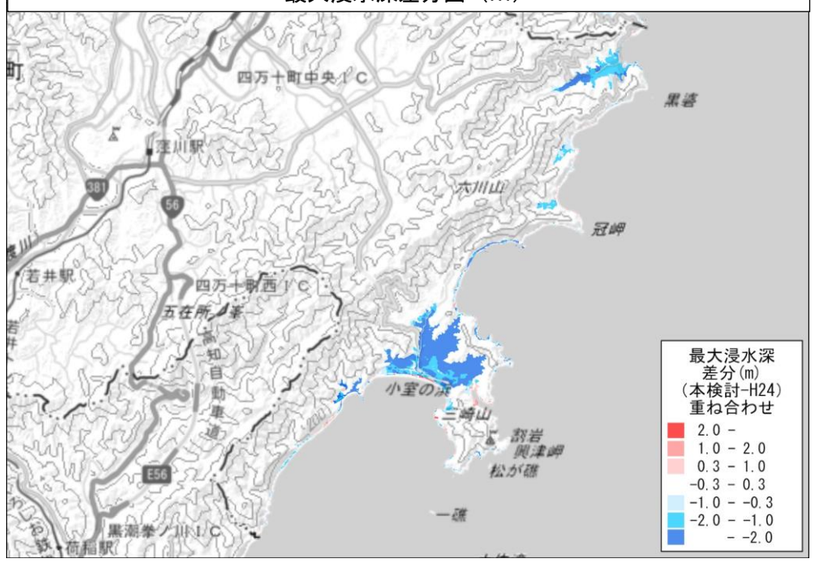
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

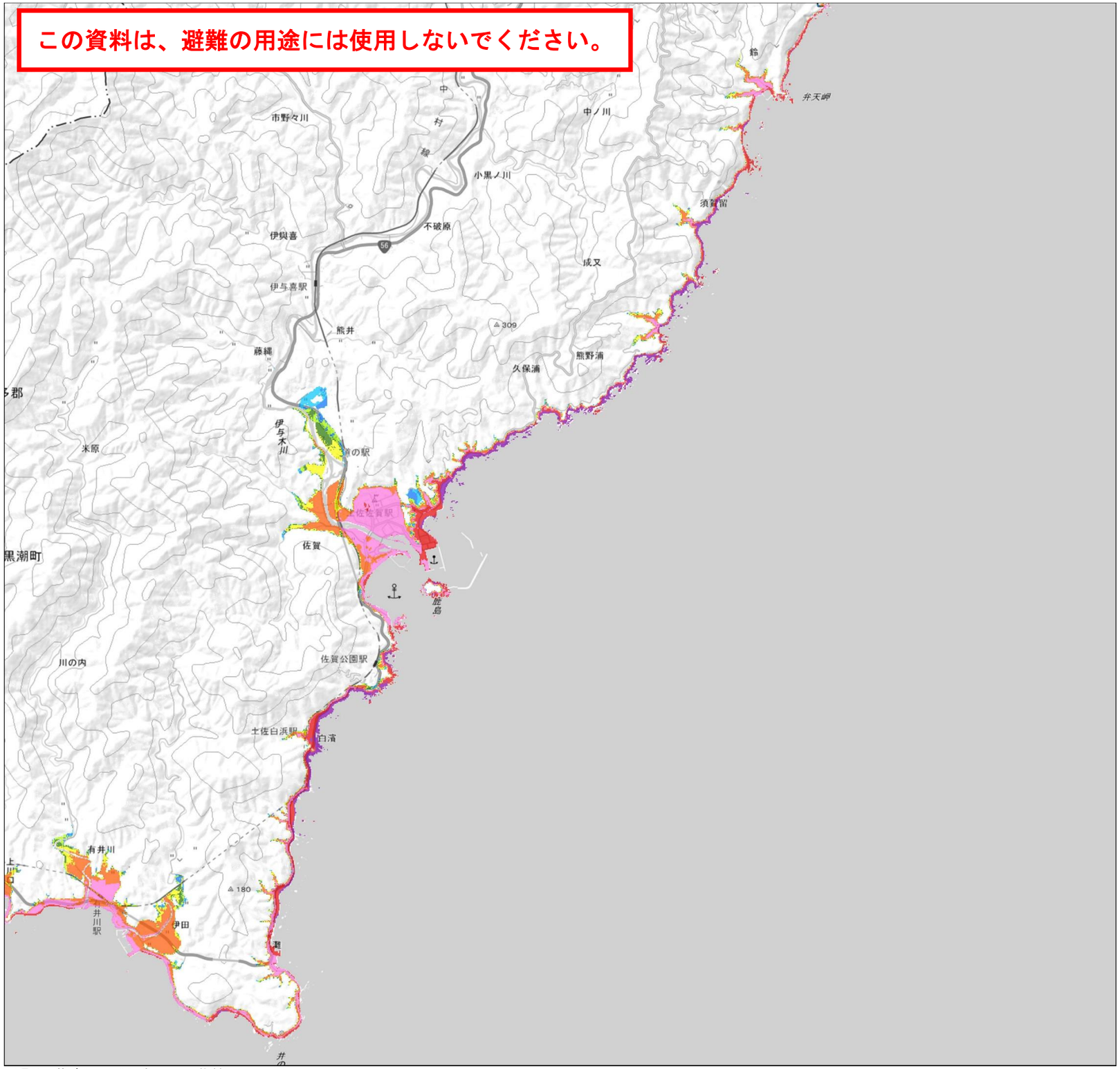


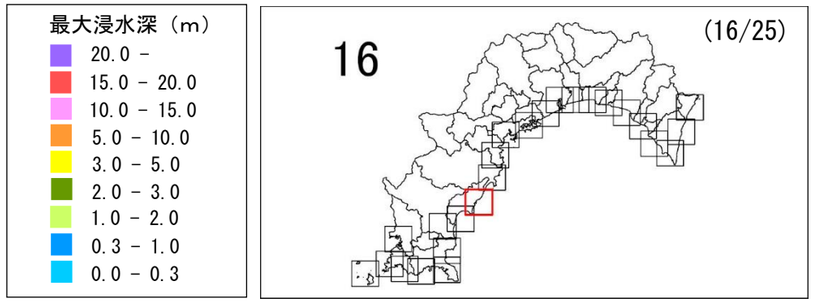
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

16　　黒潮町　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

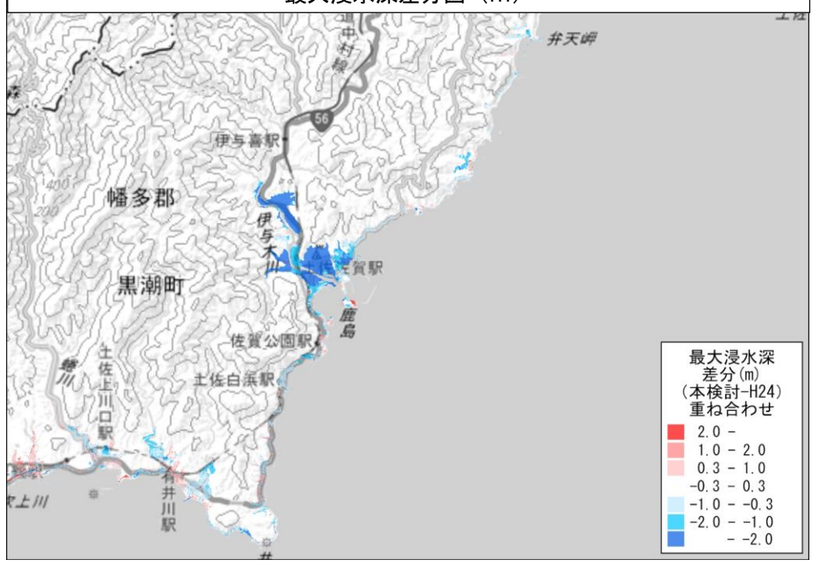
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

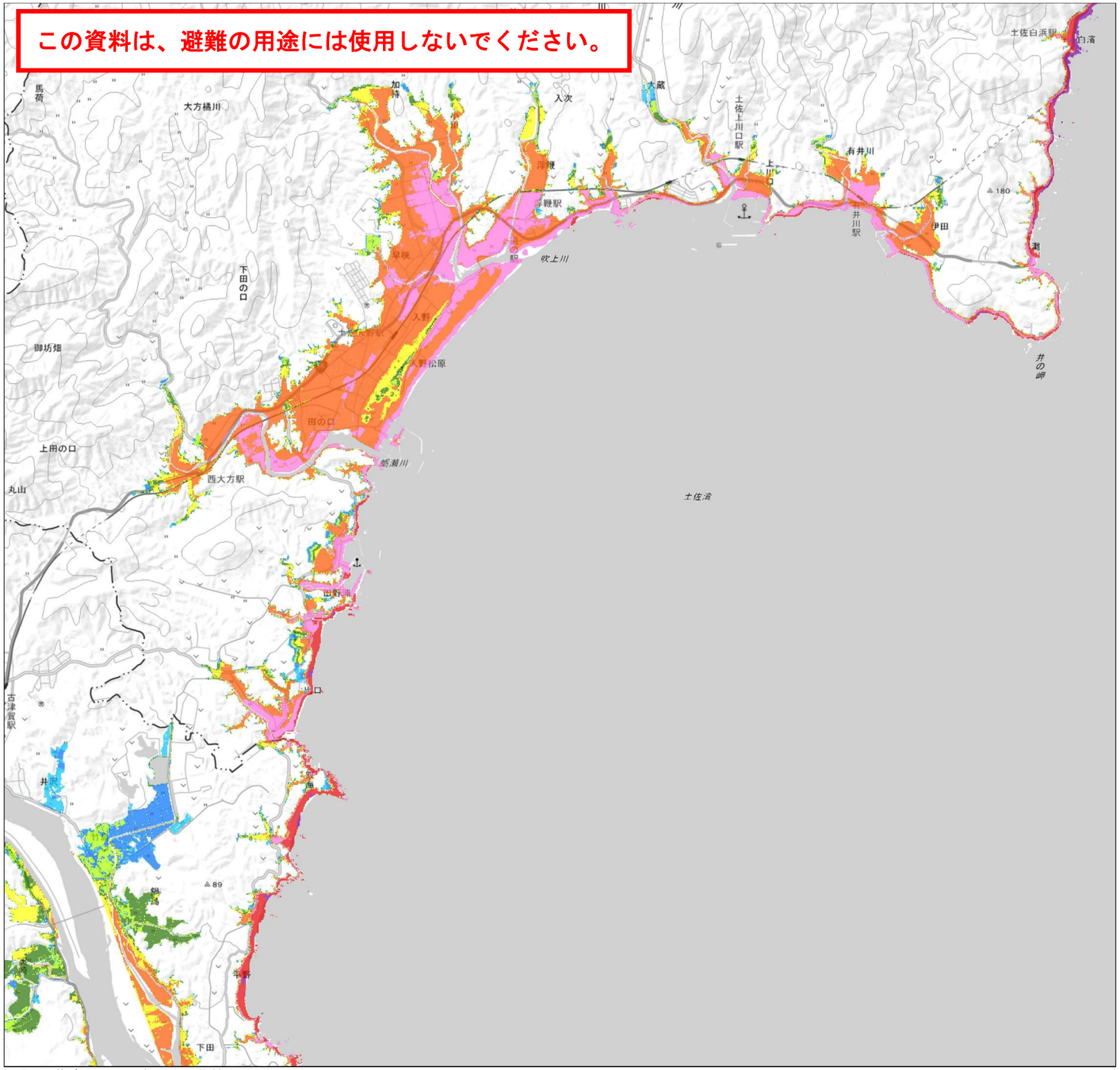


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

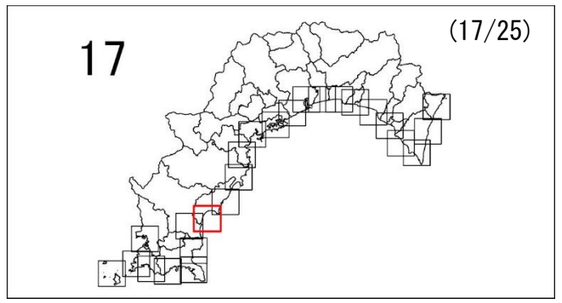
17　　黒潮町　その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

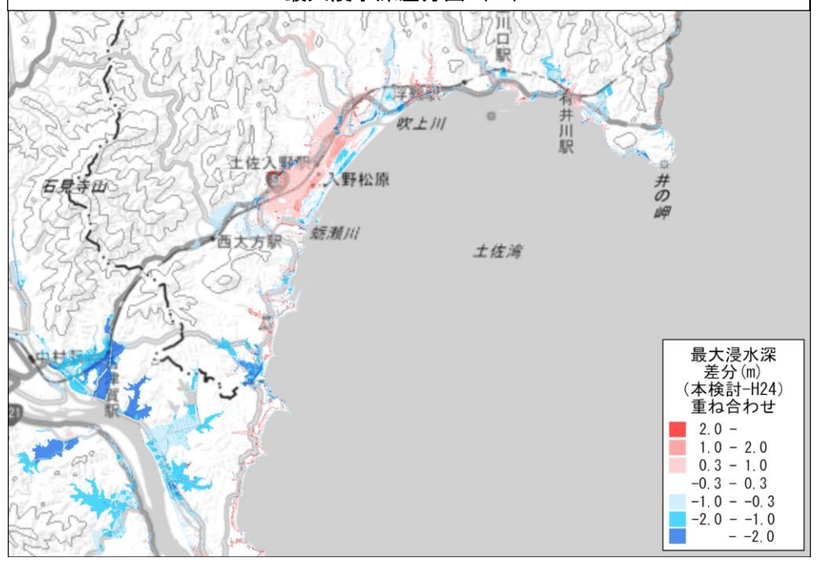
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

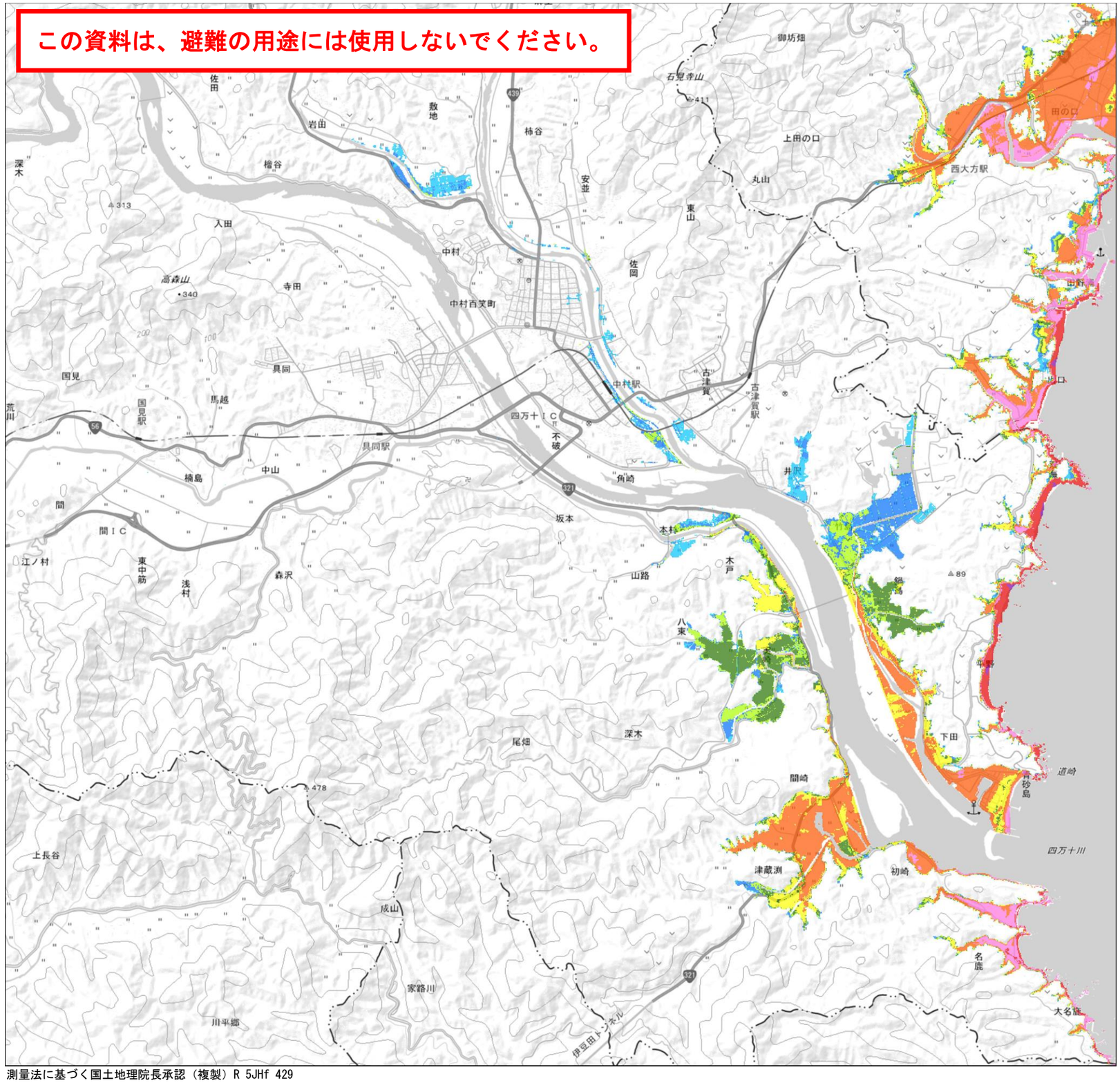


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

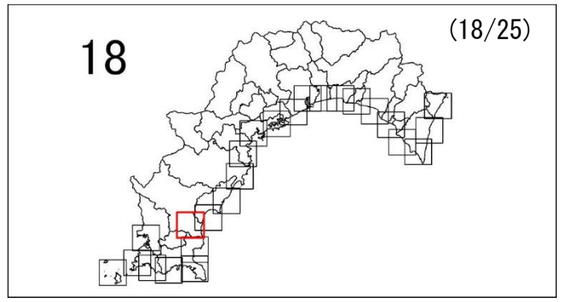
18　　四万十市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

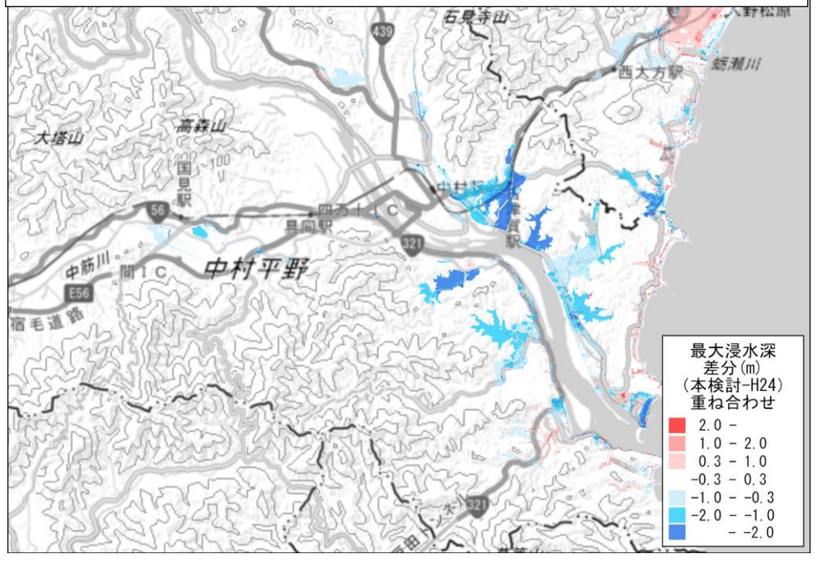
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

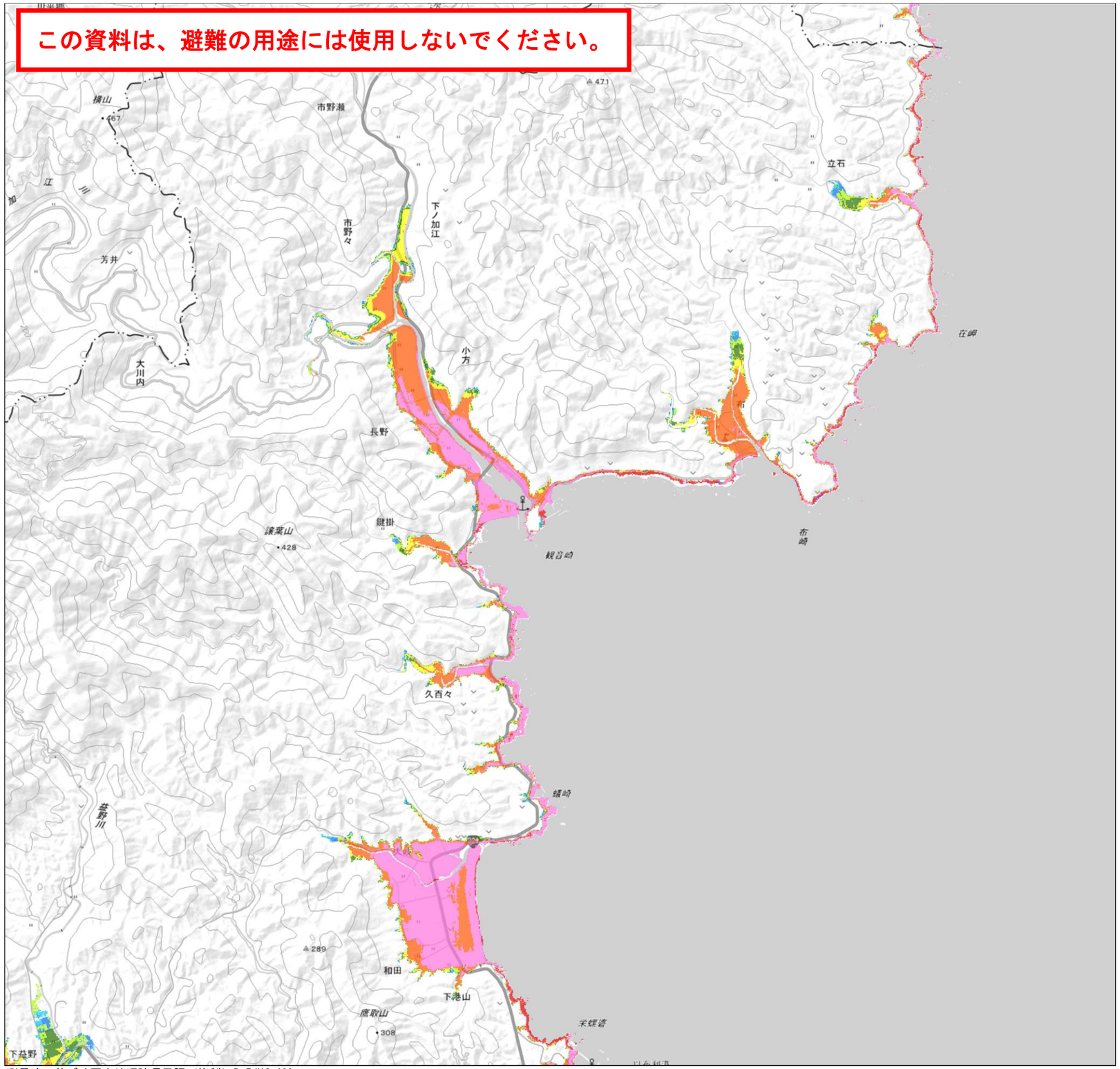


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

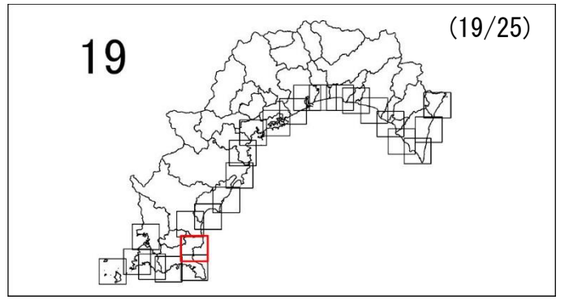
19　　土佐清水市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

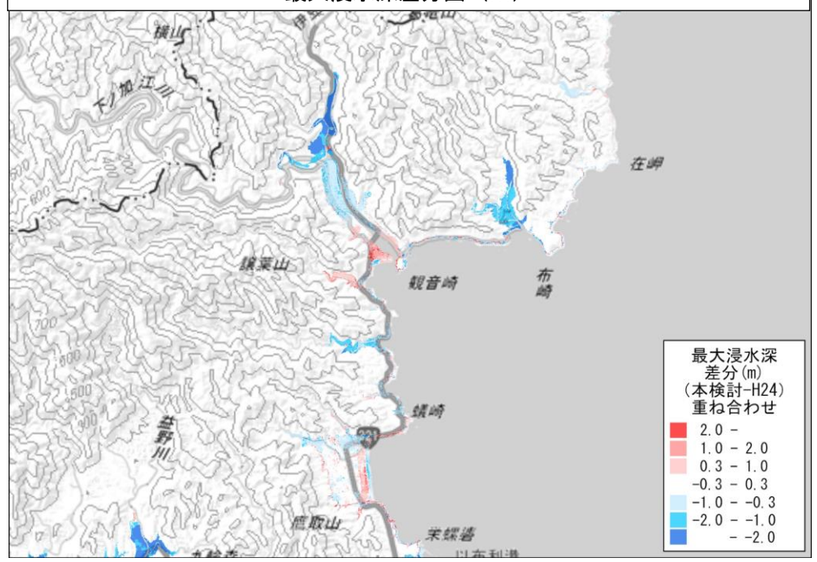
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

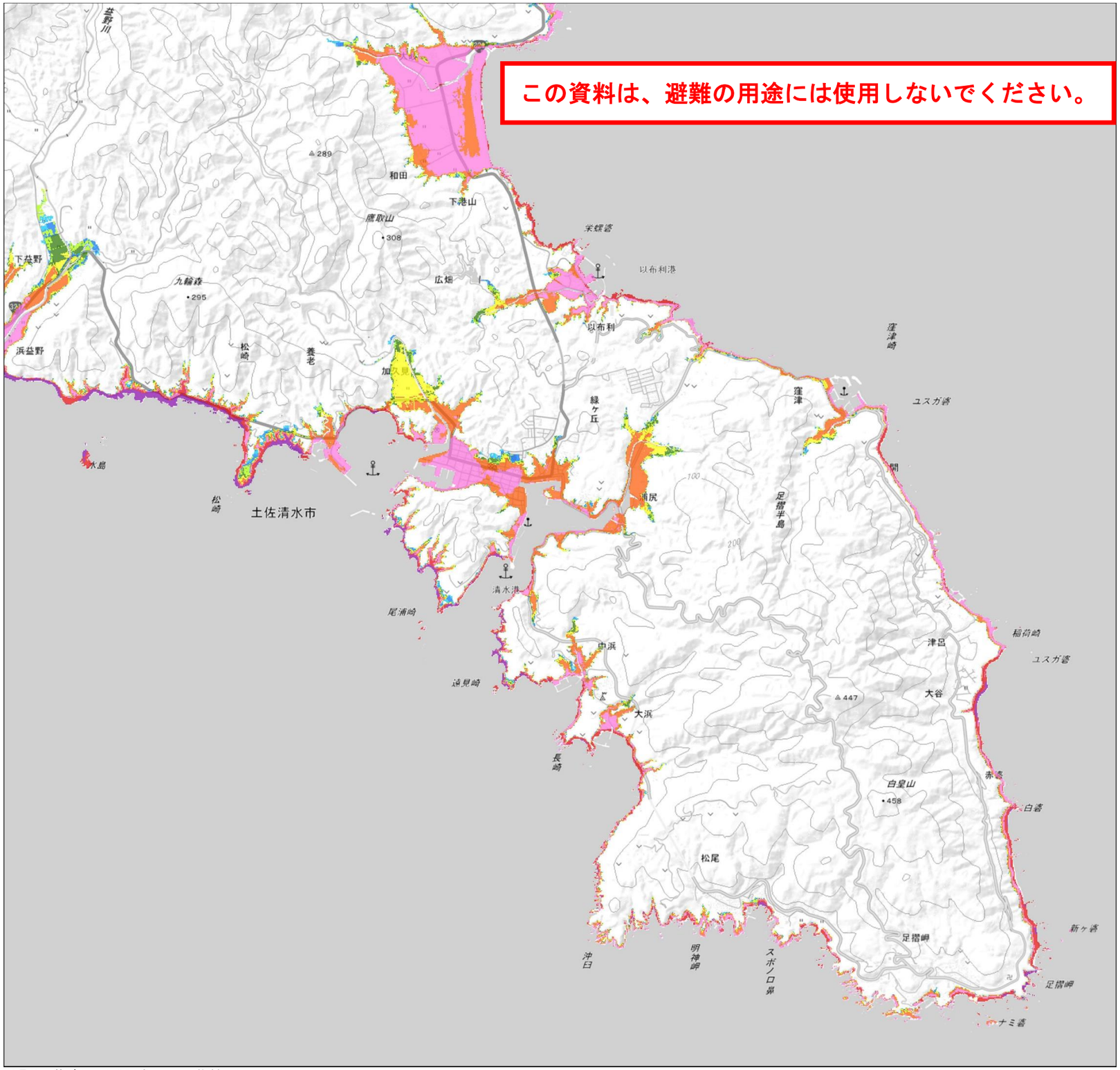
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

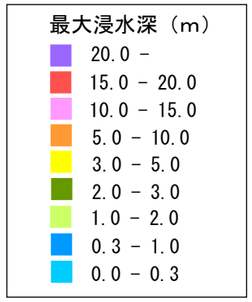
最大浸水深差分図（m）

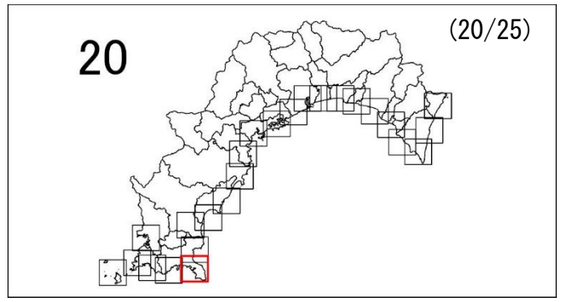


【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

20　　土佐清水市　その２（最大浸水深）







（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

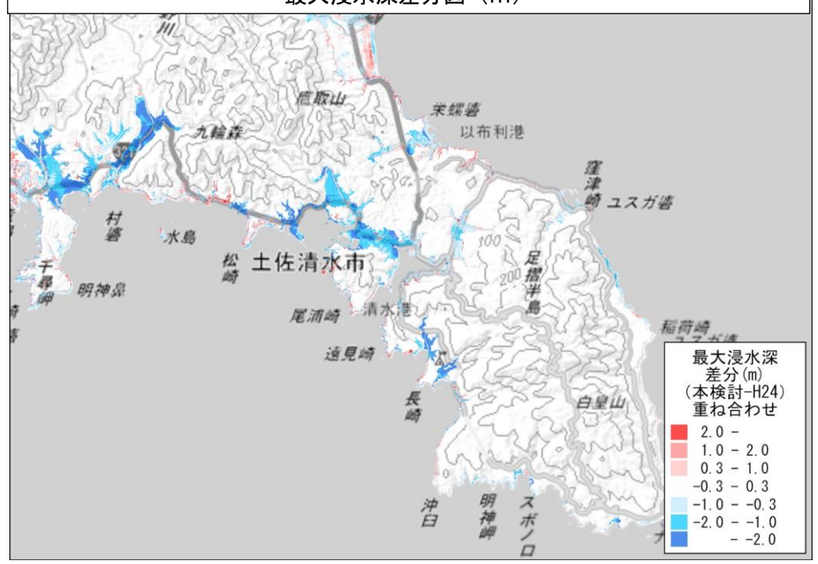
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

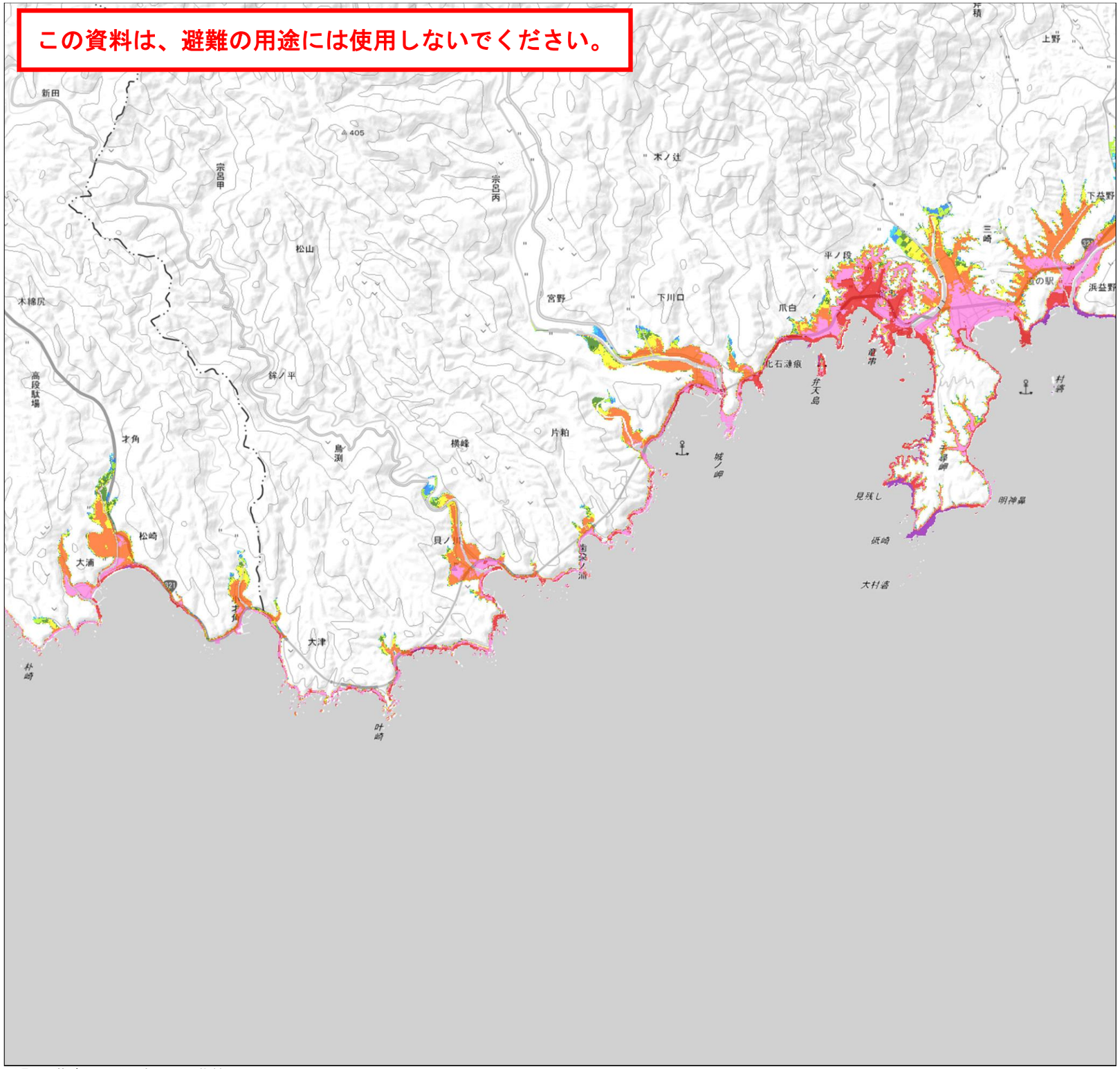
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

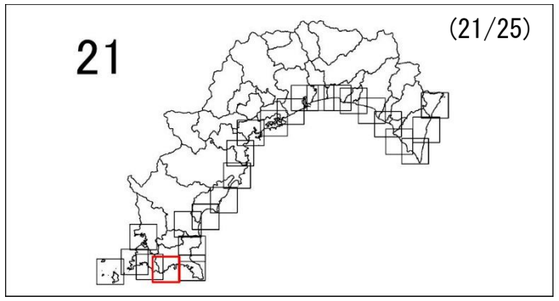


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

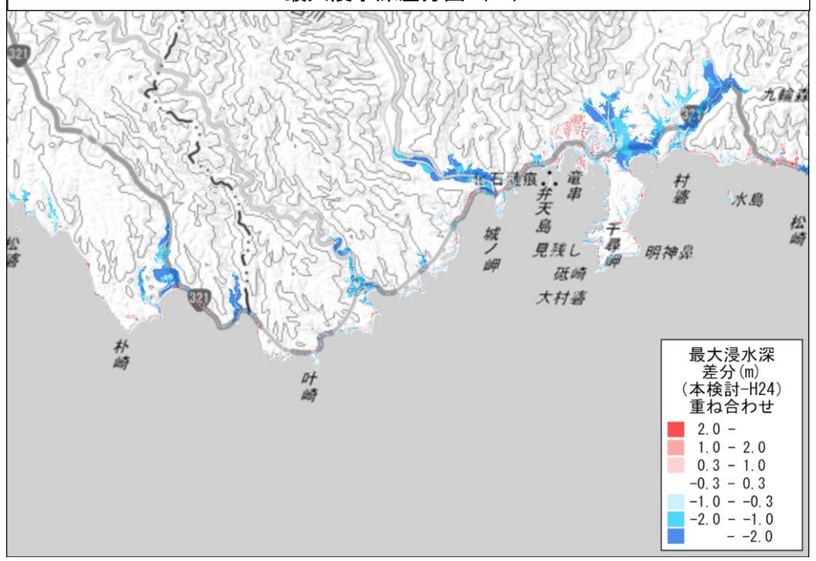
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

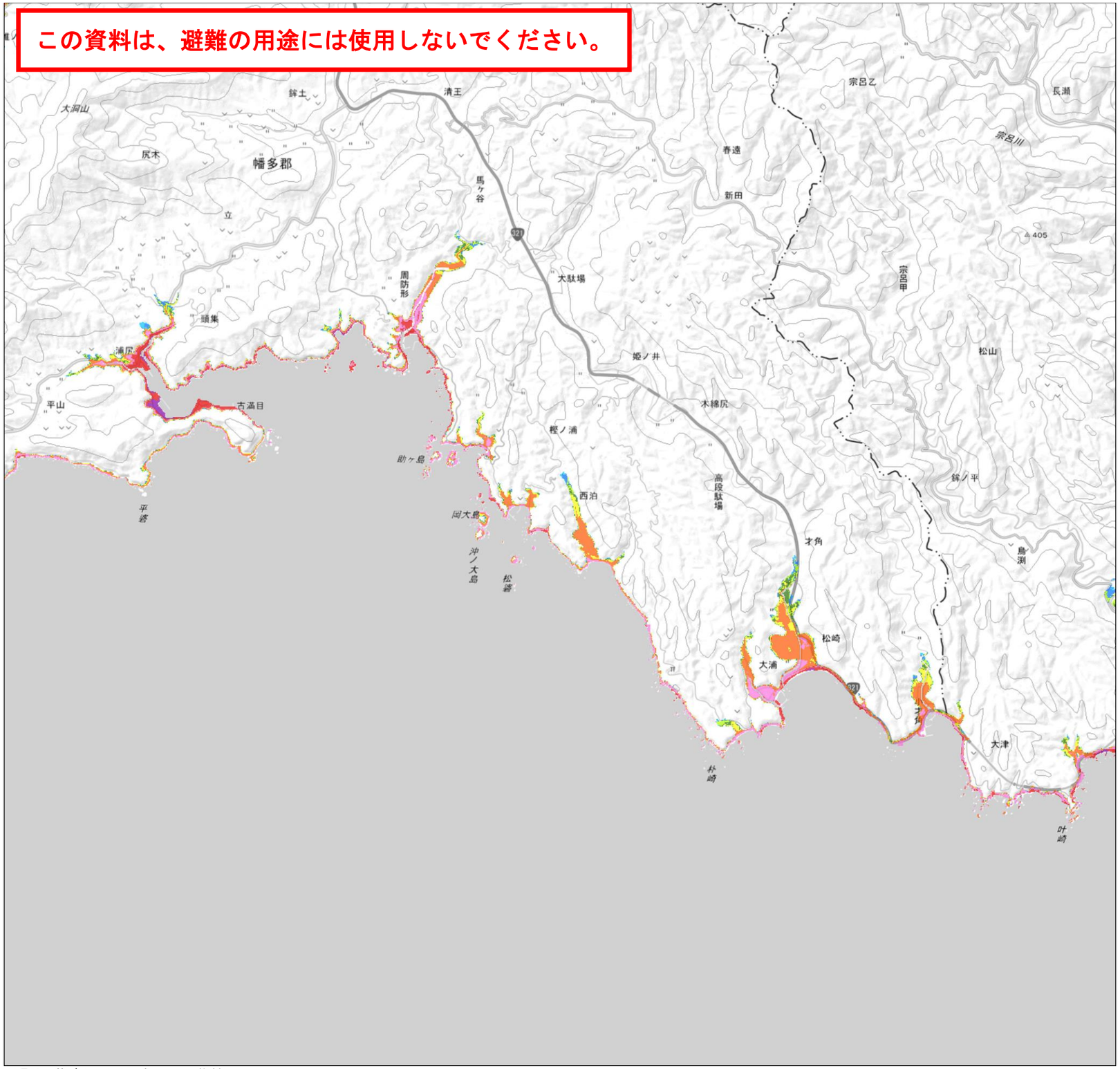
最大浸水深差分図（m）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

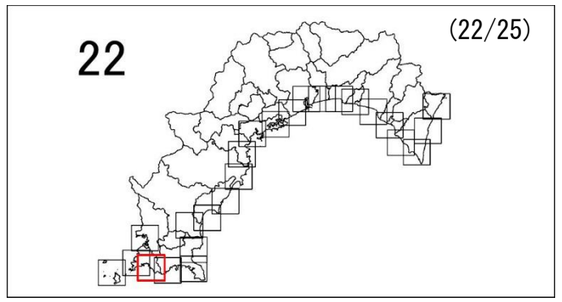
22　　大月町　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

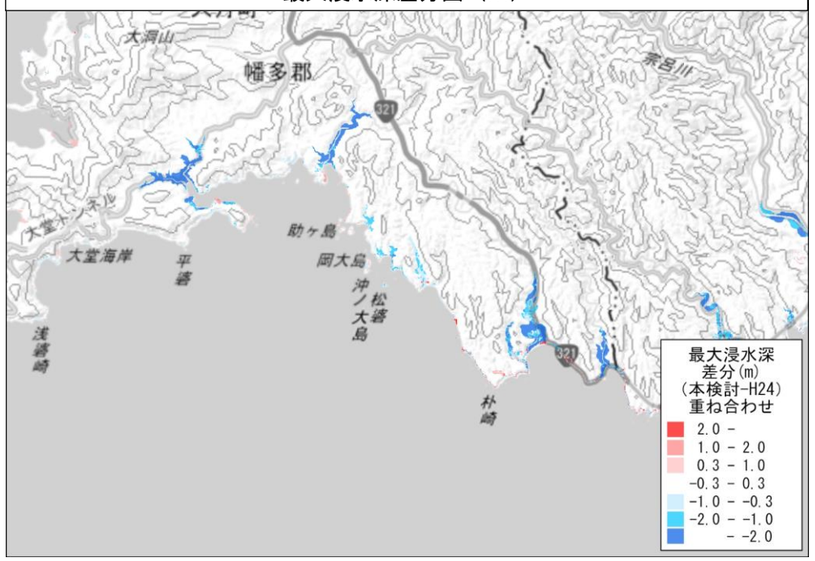
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

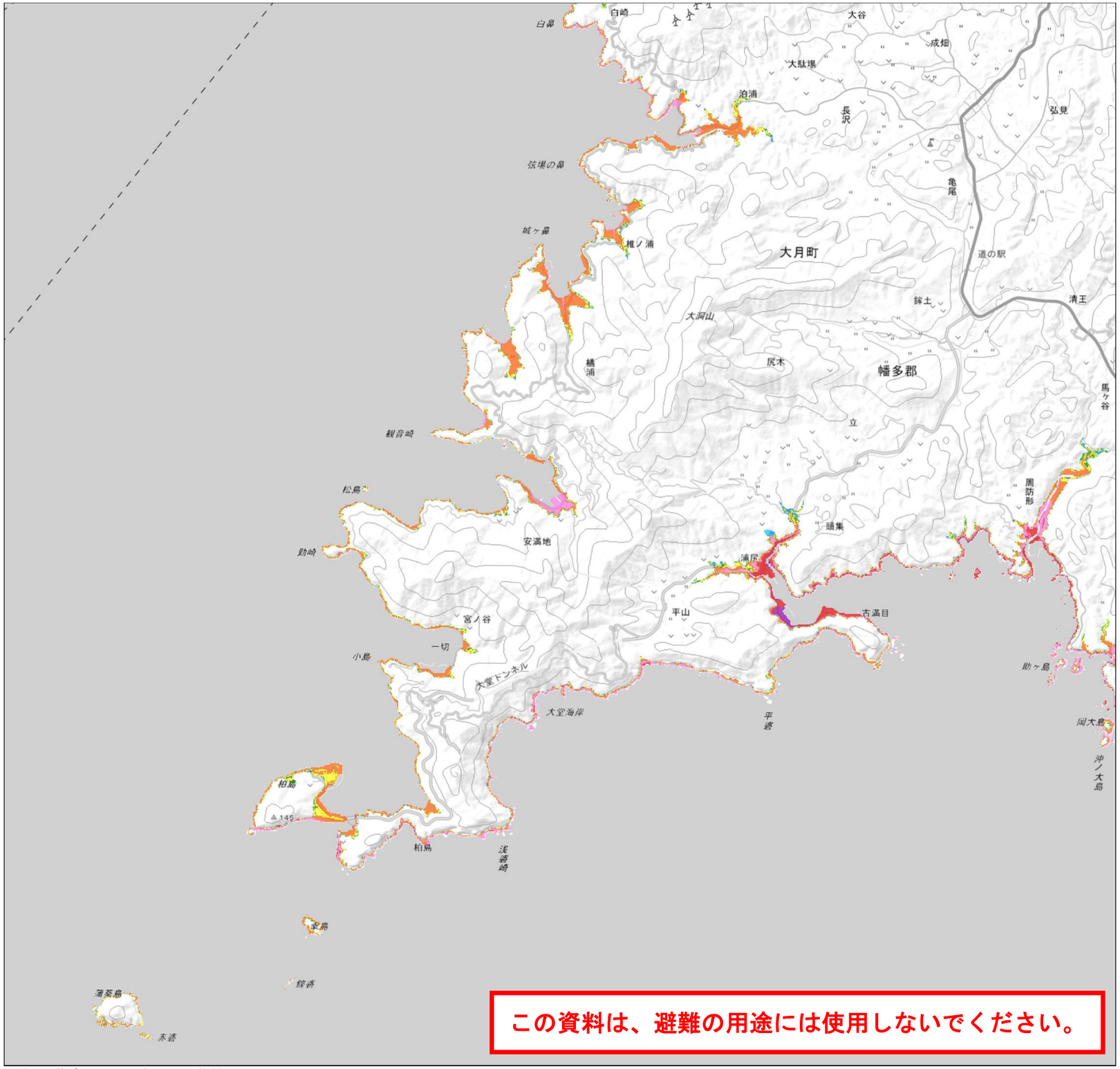
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

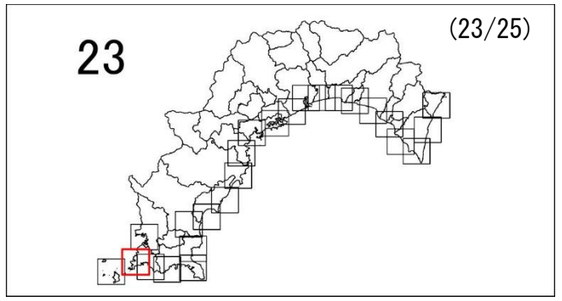
23　大月町 その２（最大浸水深）



この資料は、避難の用途には使用しないでください。

最大浸水深（m）

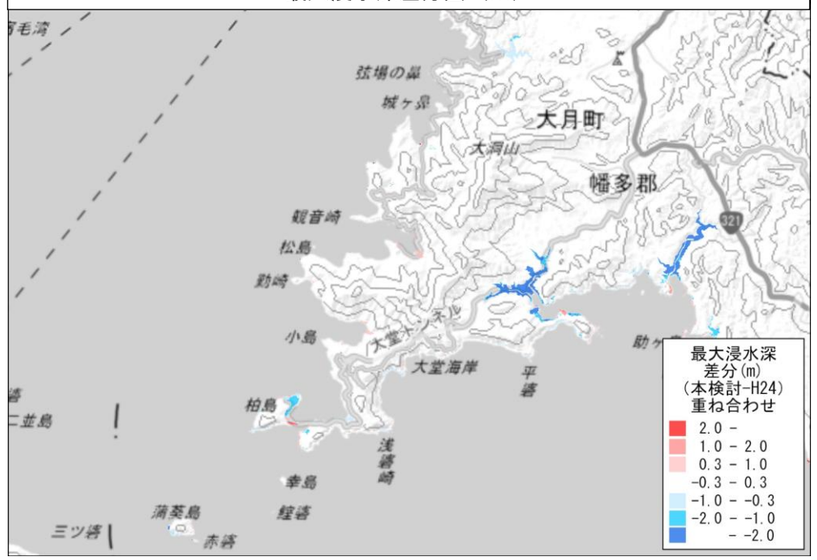
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

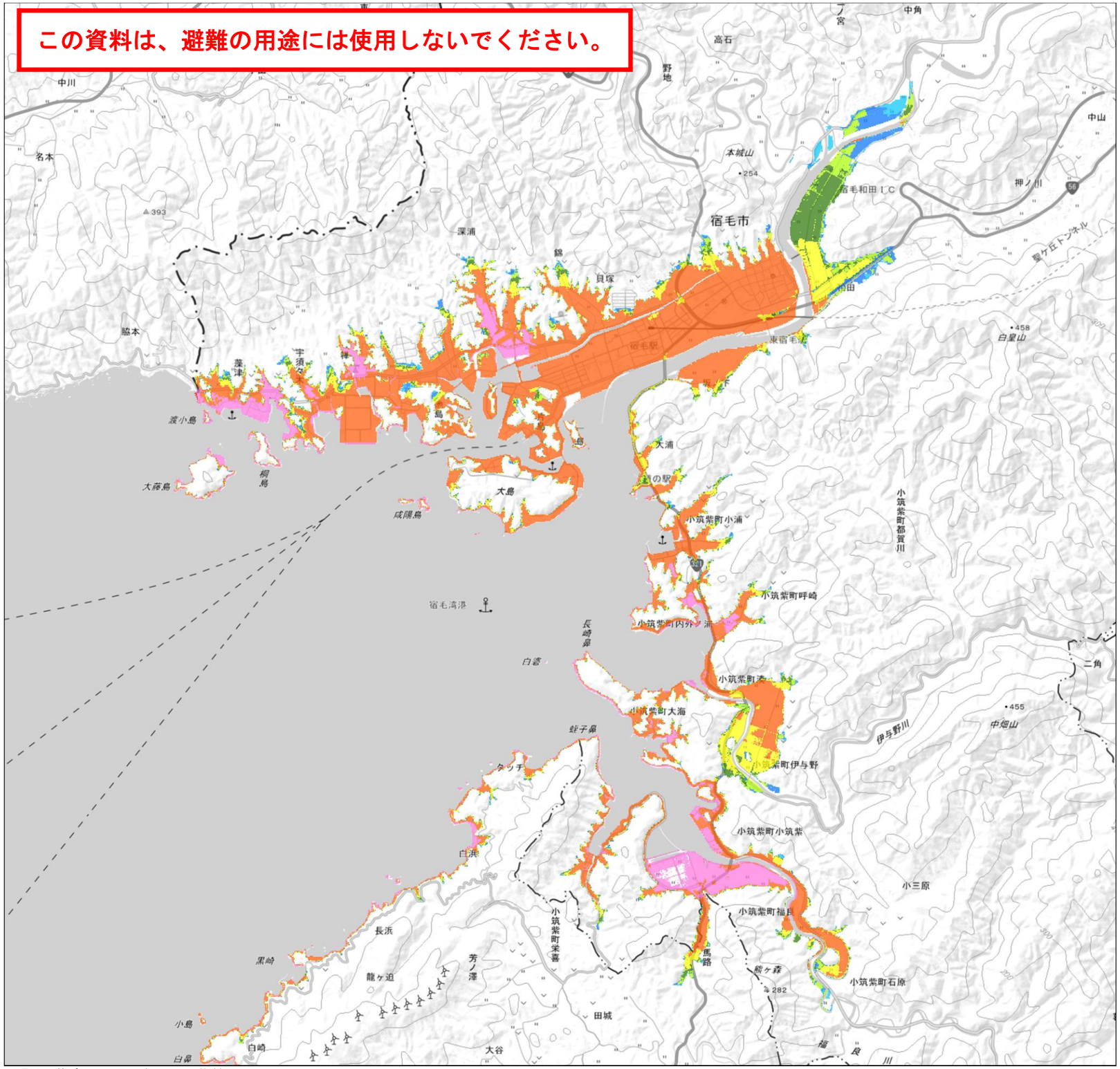


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

24　　宿毛市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

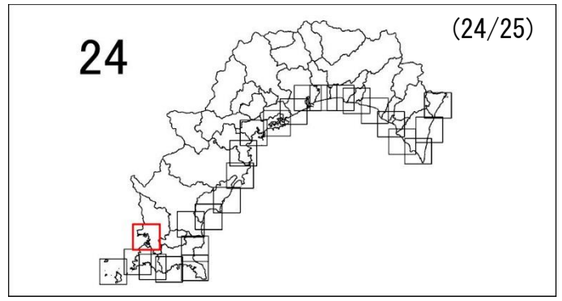


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

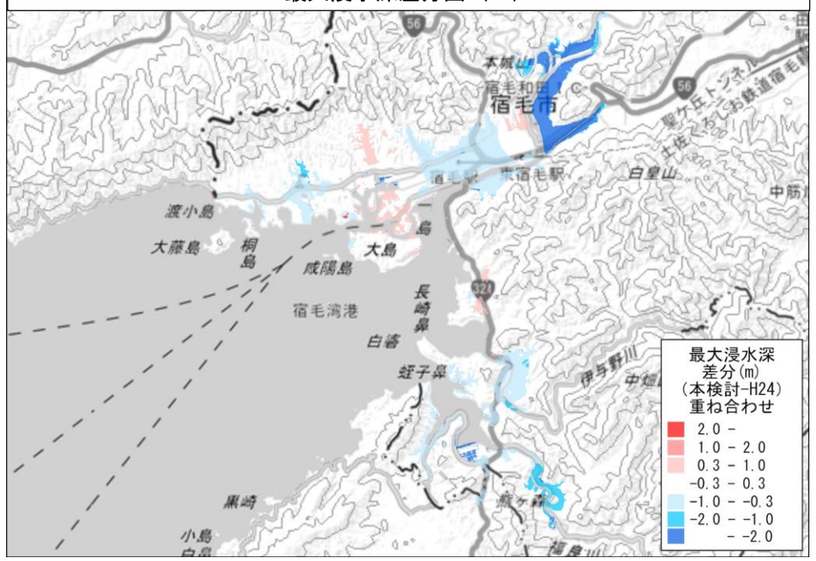
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

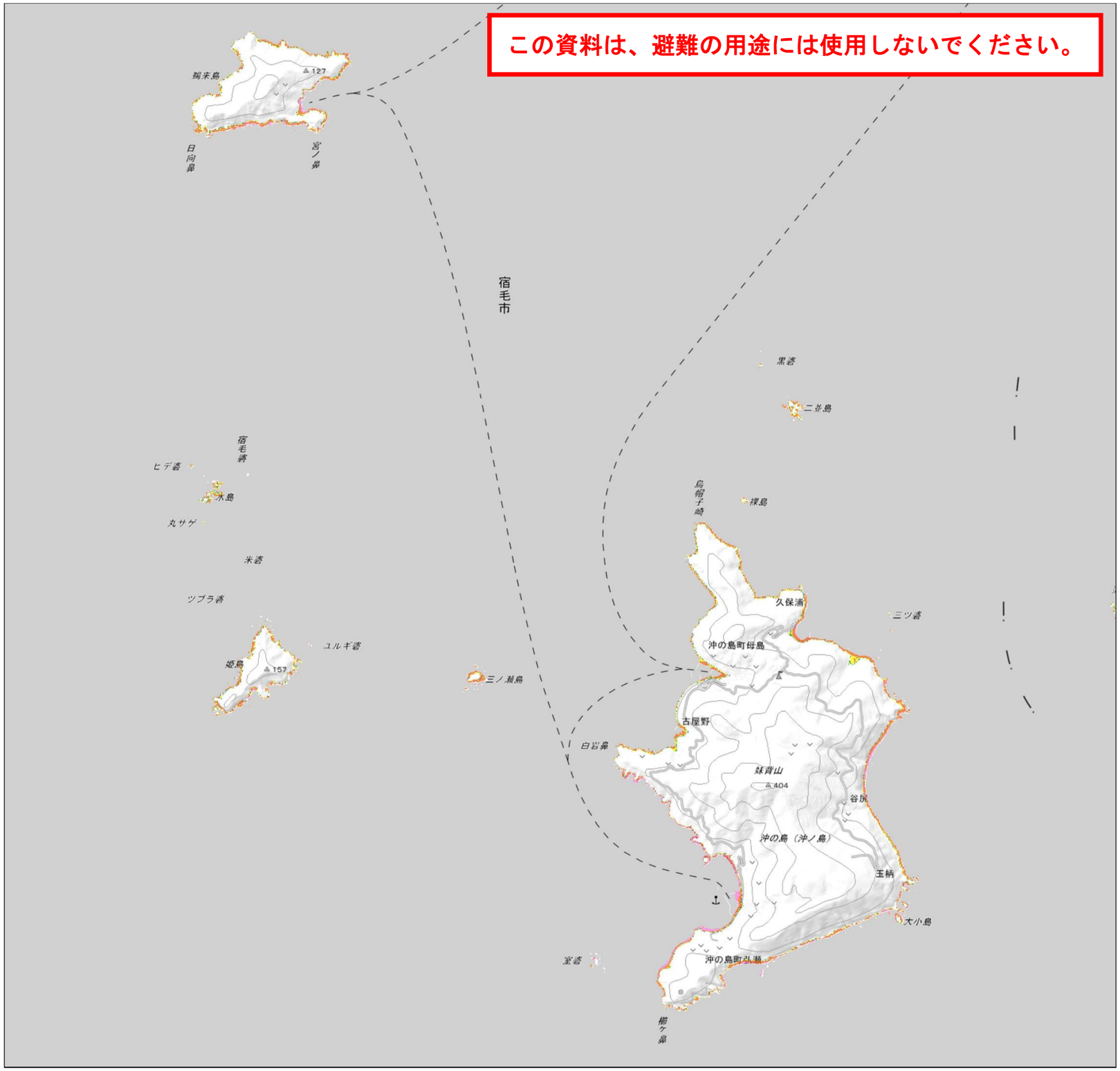
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

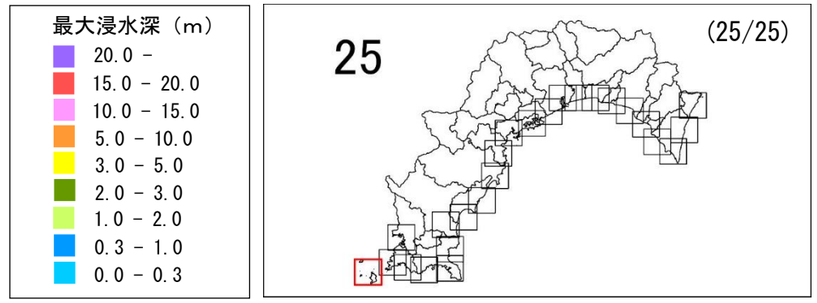
最大浸水深差分図（m）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

25　　宿毛市 その２（最大浸水深）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

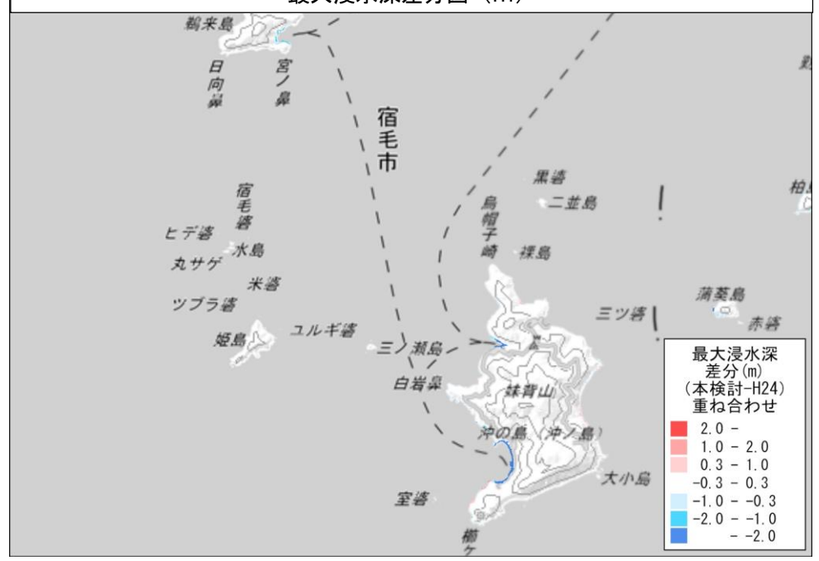
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

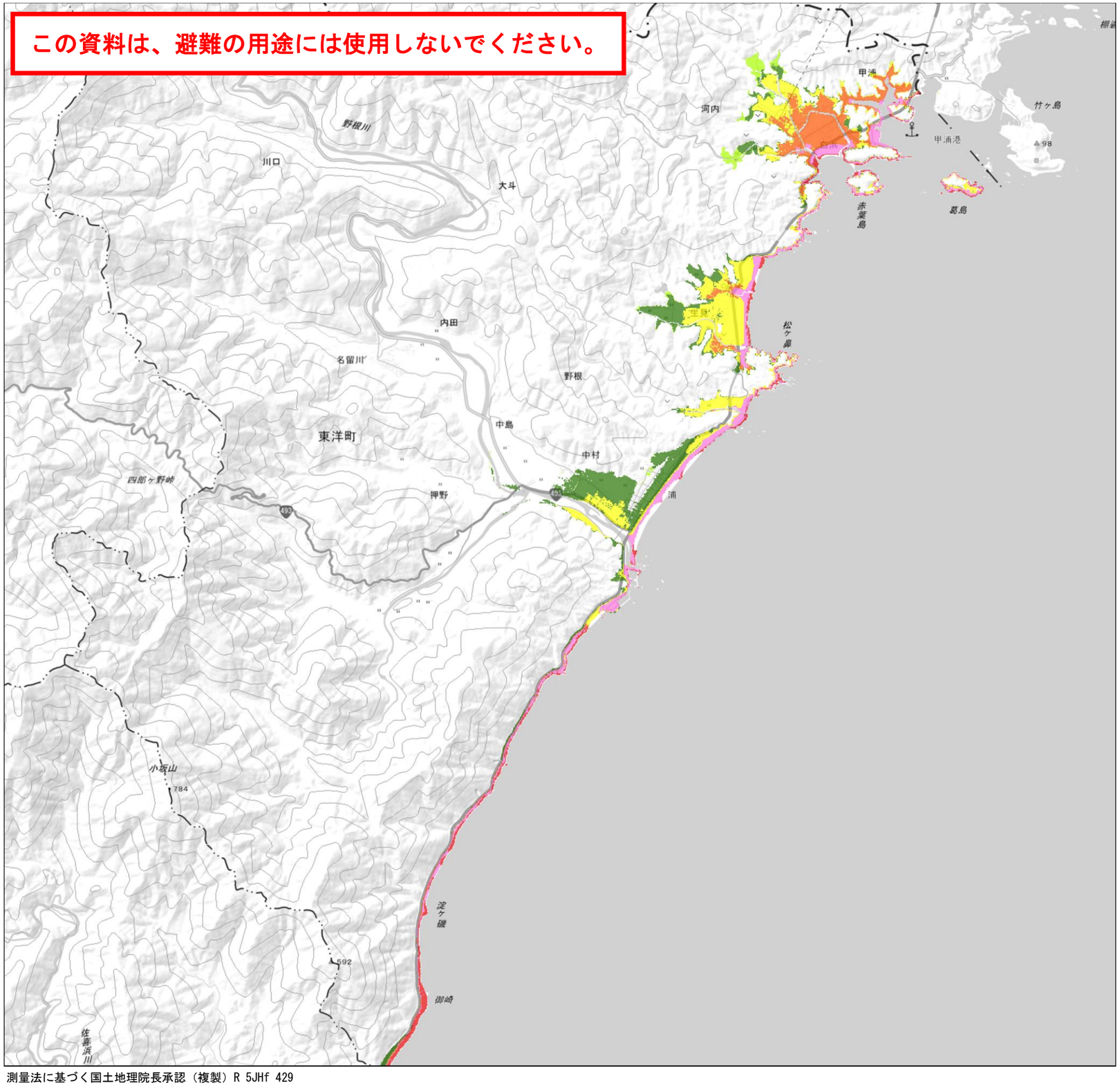


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

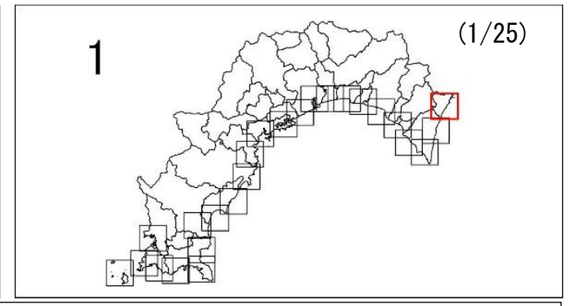
1　　東洋町（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

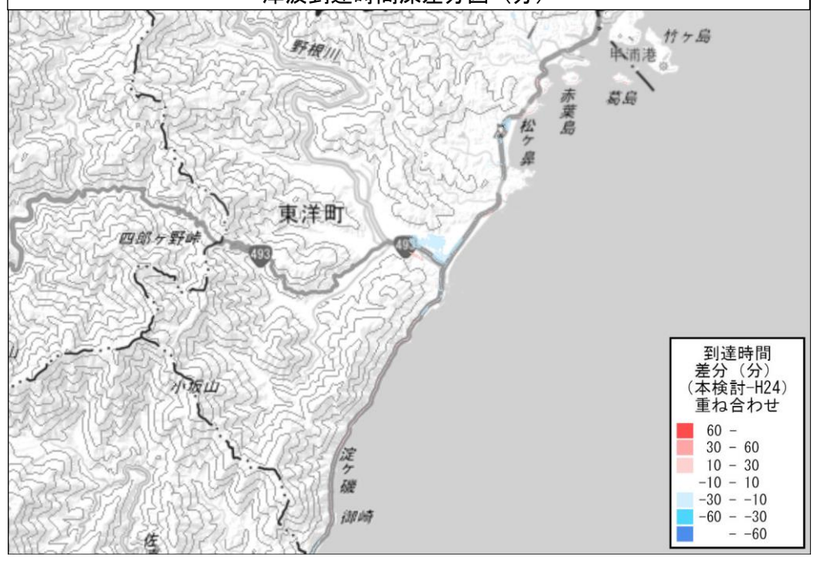
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

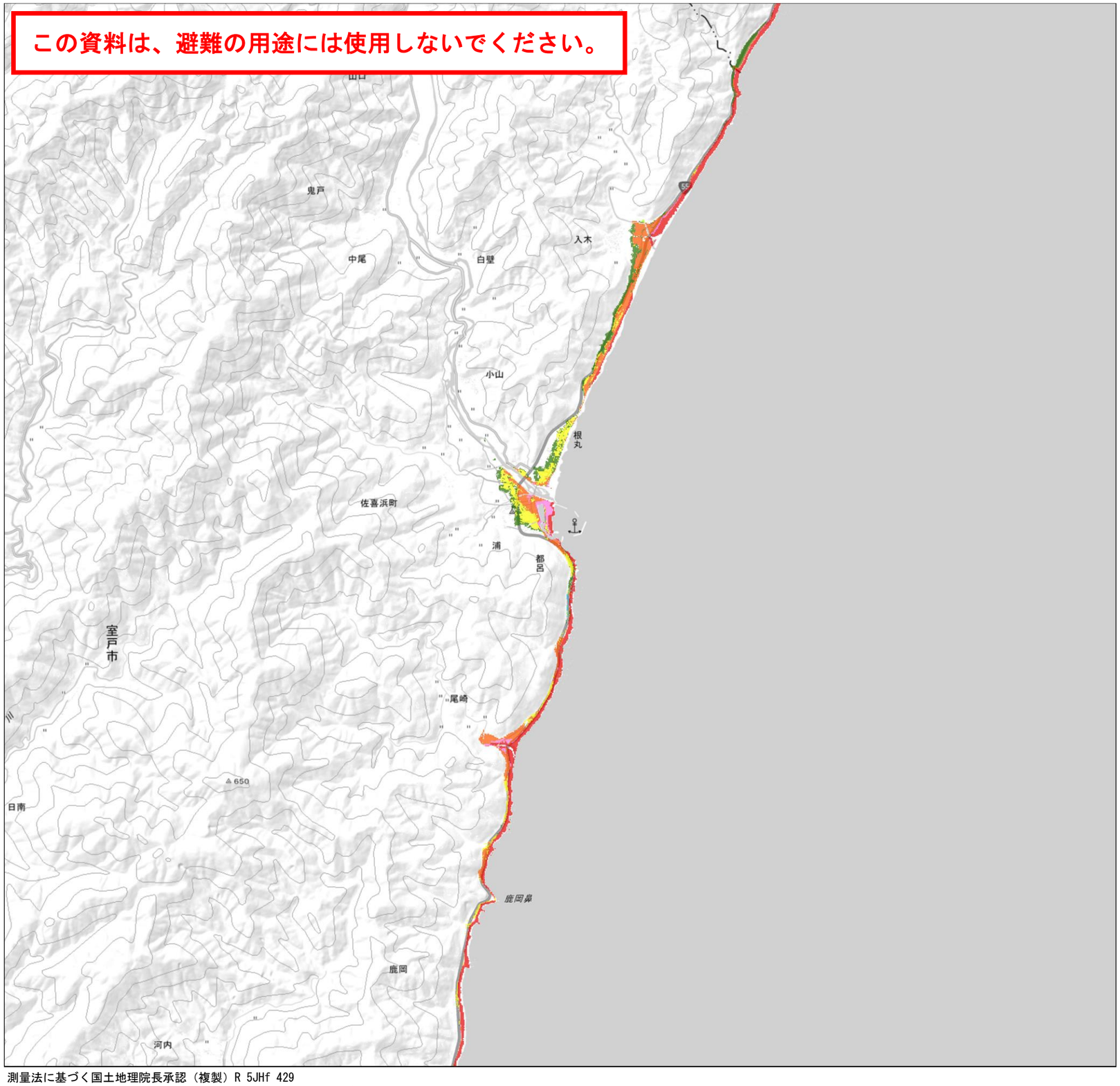


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

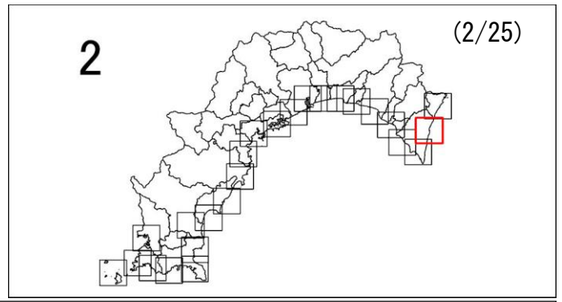
2　　室戸市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

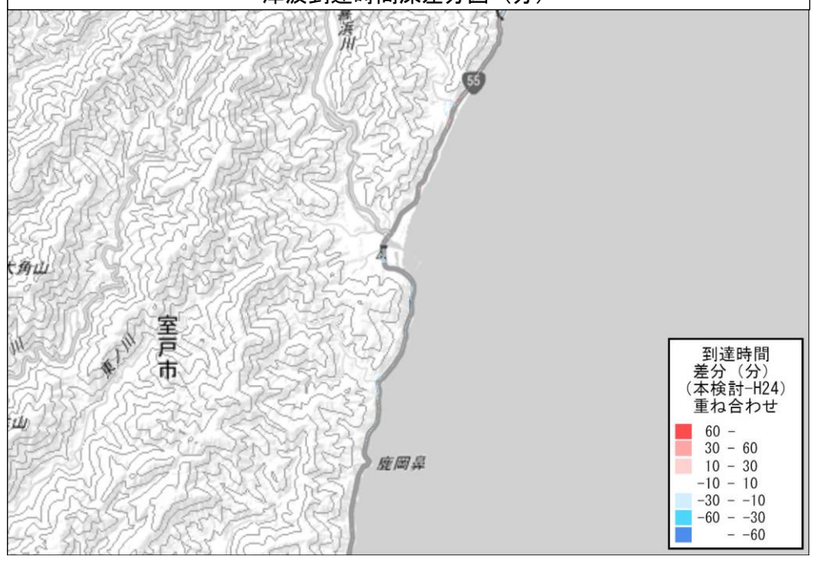
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

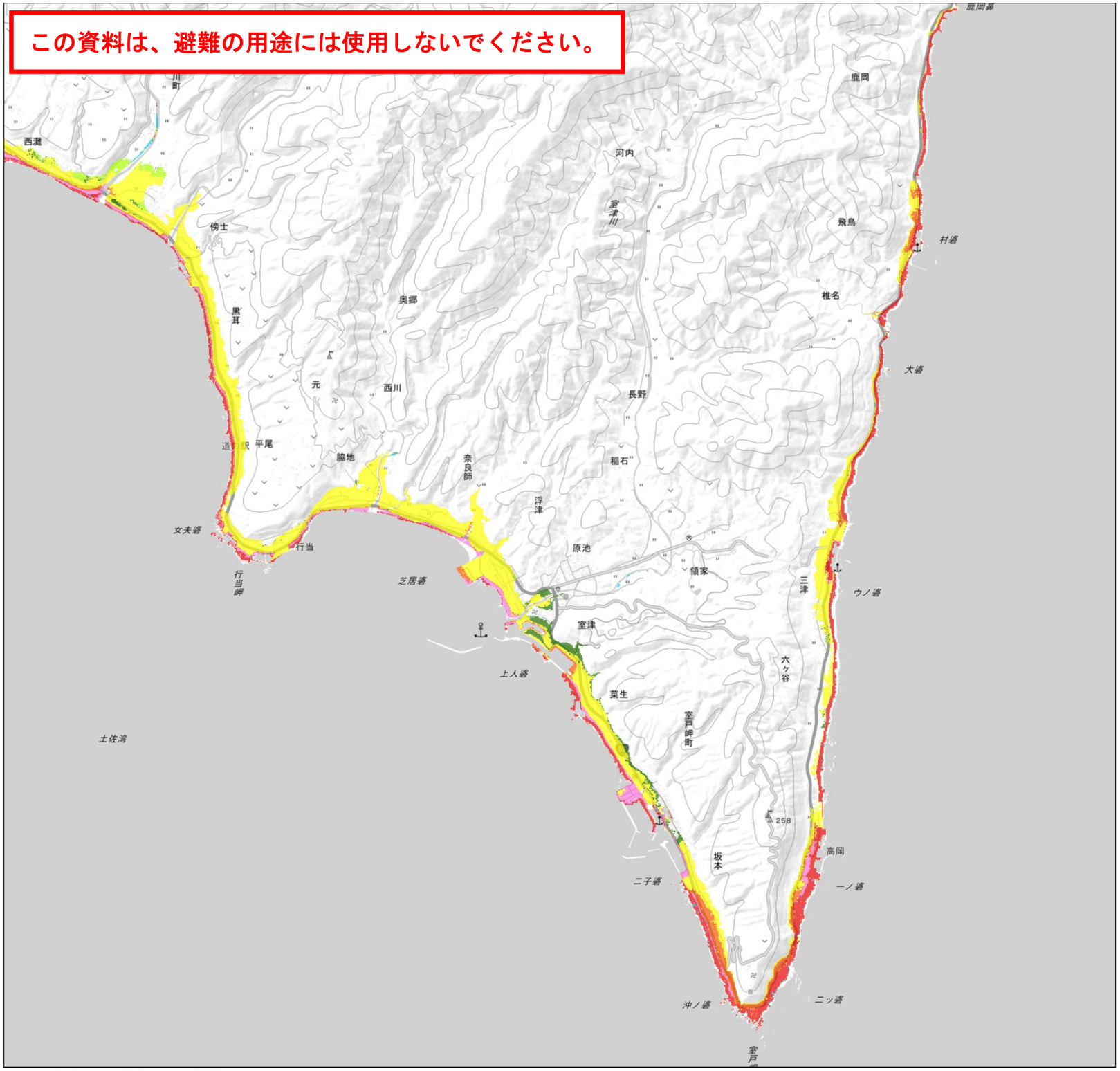


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

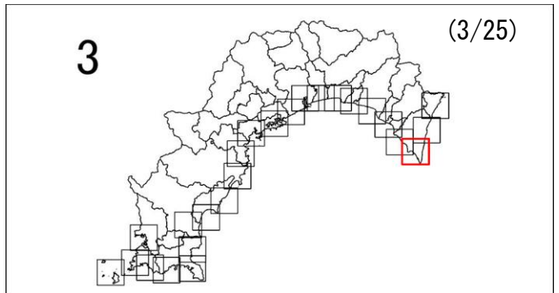
3　　室戸市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

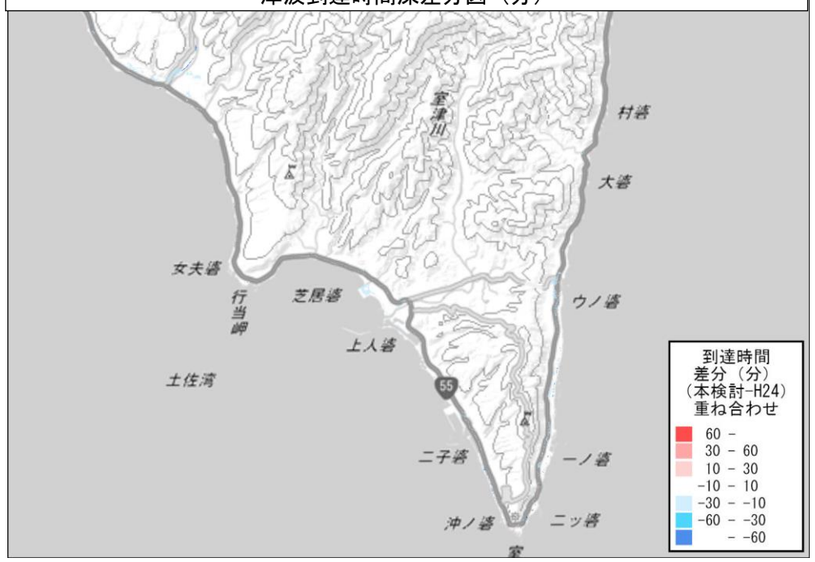
到達時間（分）
- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

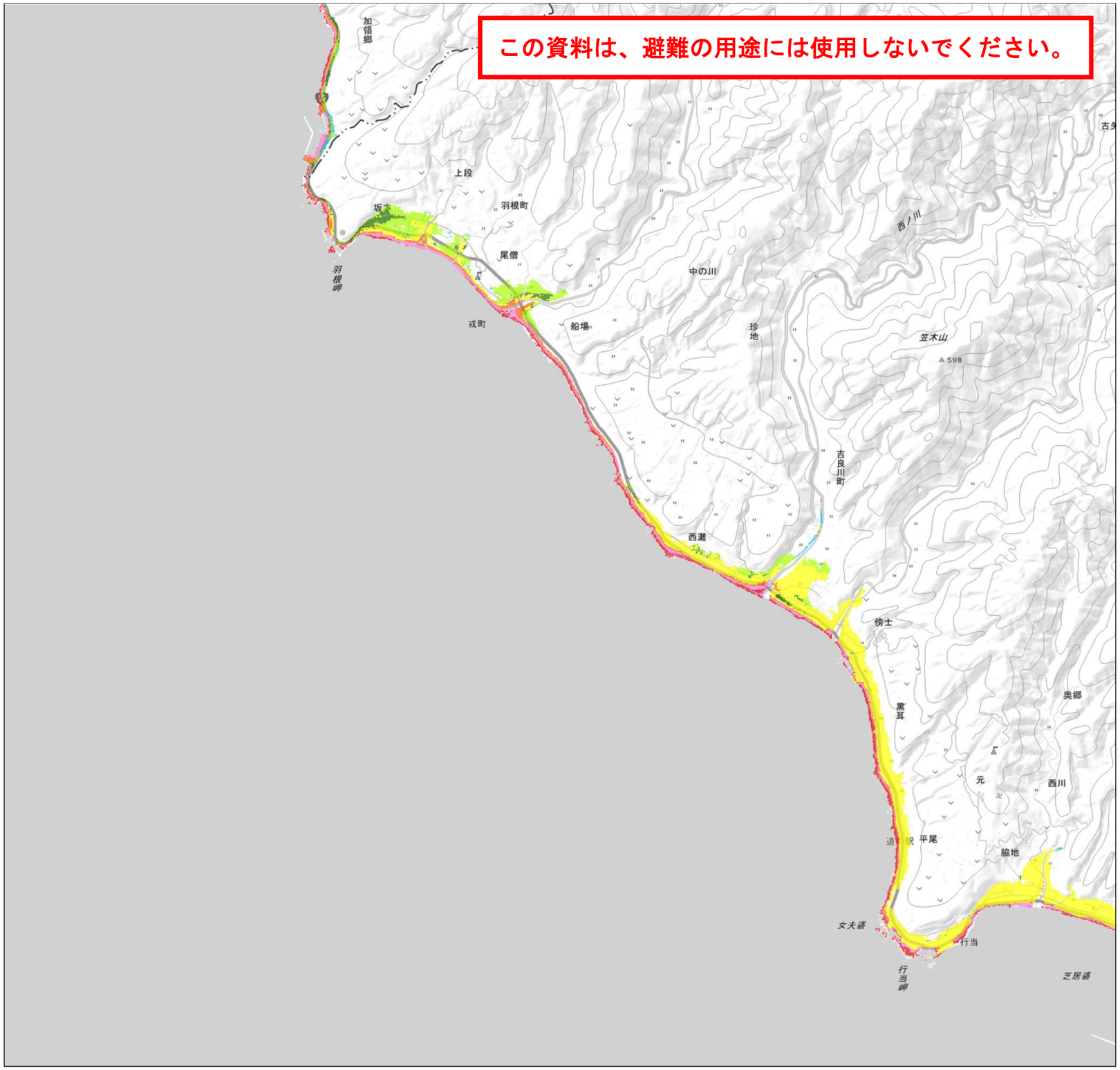
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



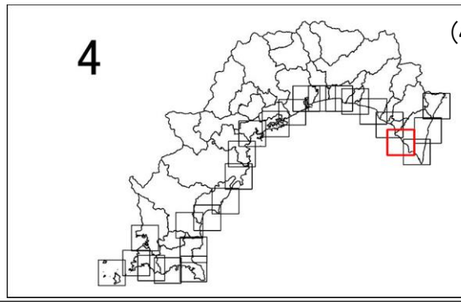
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

4　　室戸市 その３（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

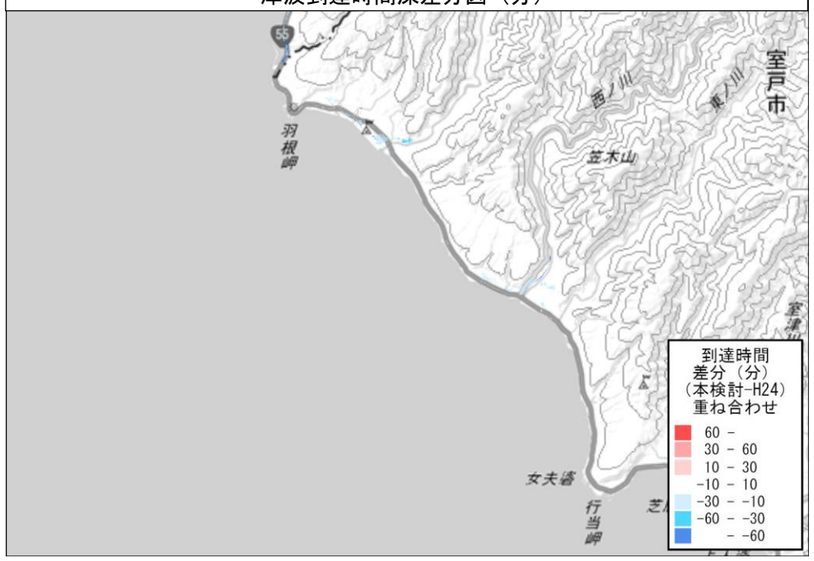
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

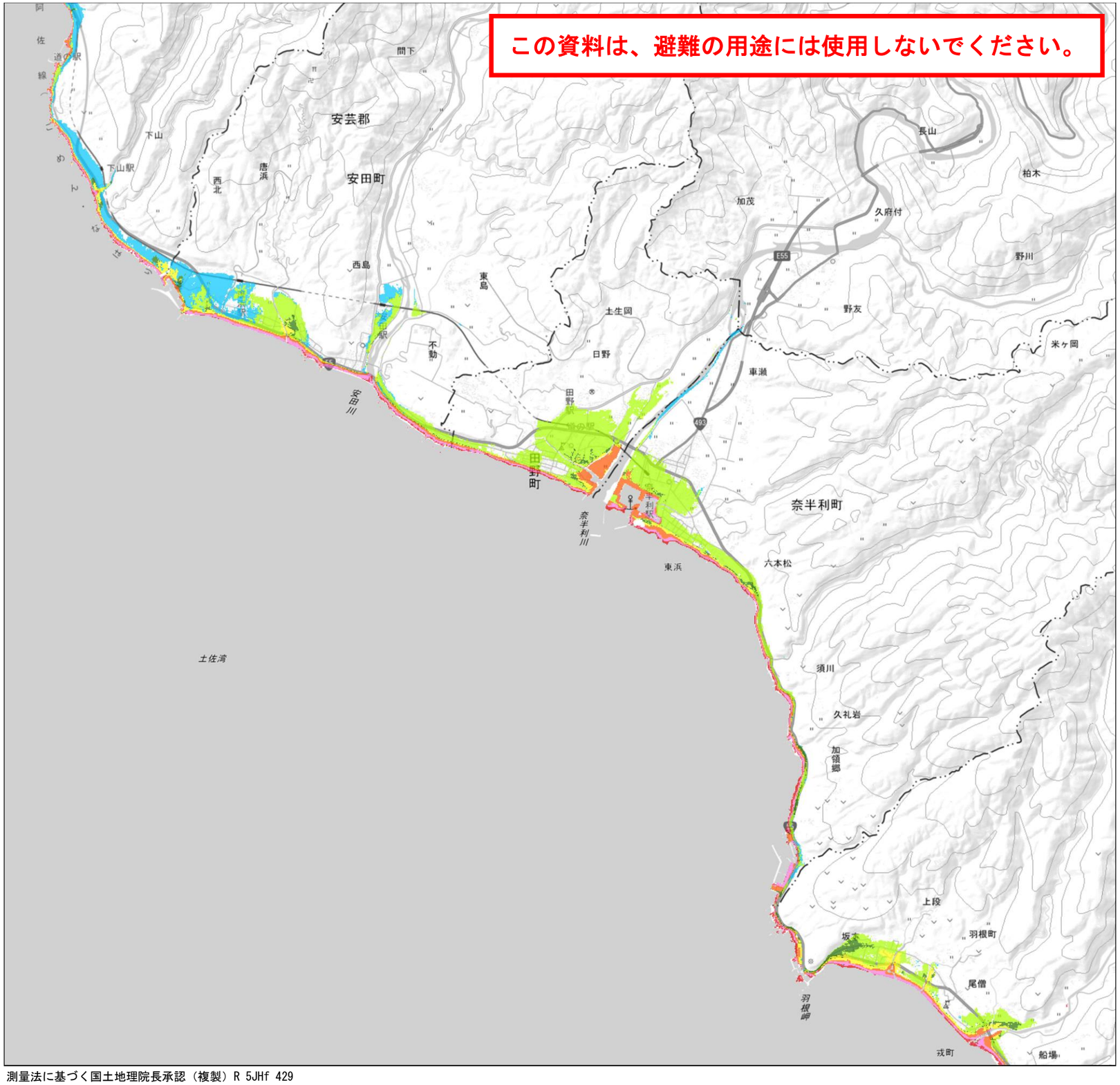
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

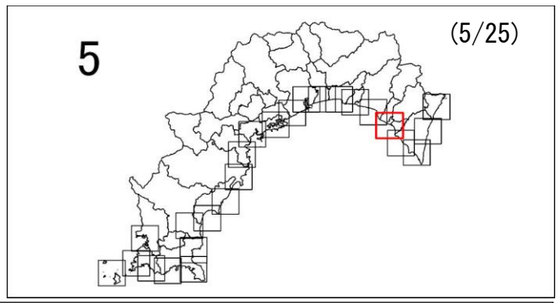
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

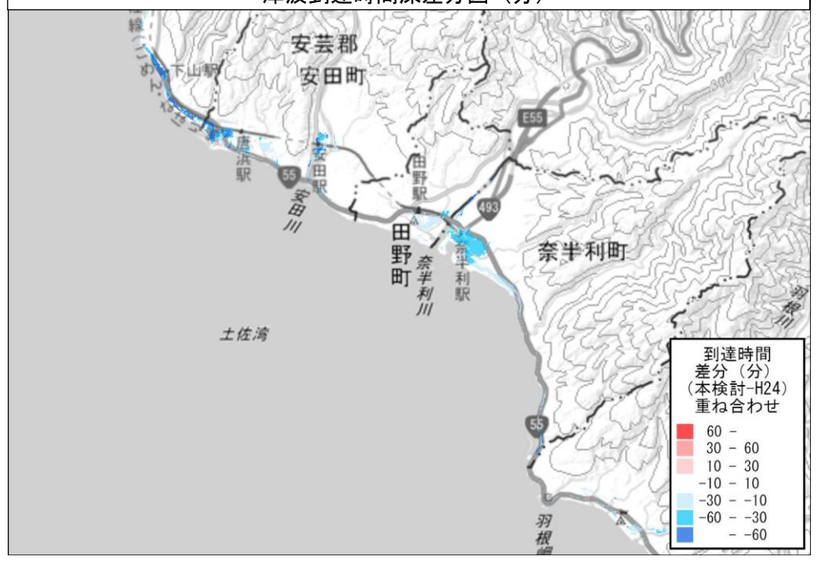
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

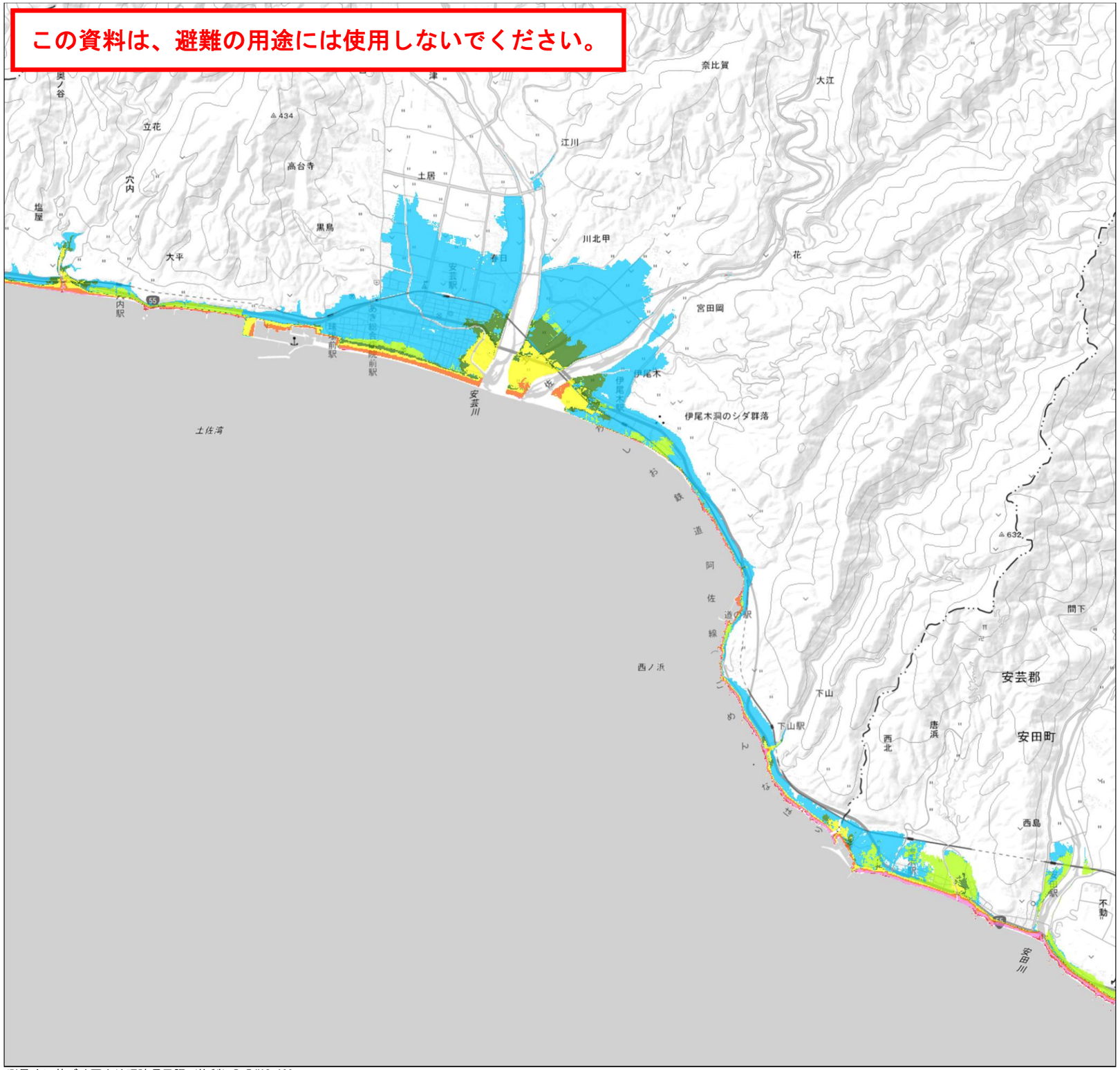


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

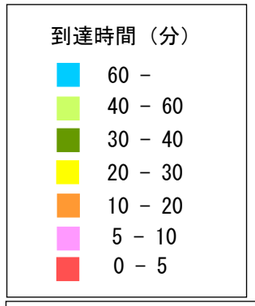
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

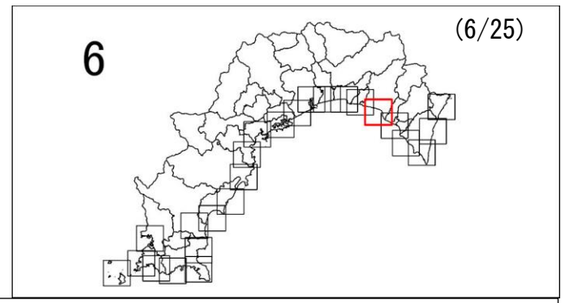
6　　安芸市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。





（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

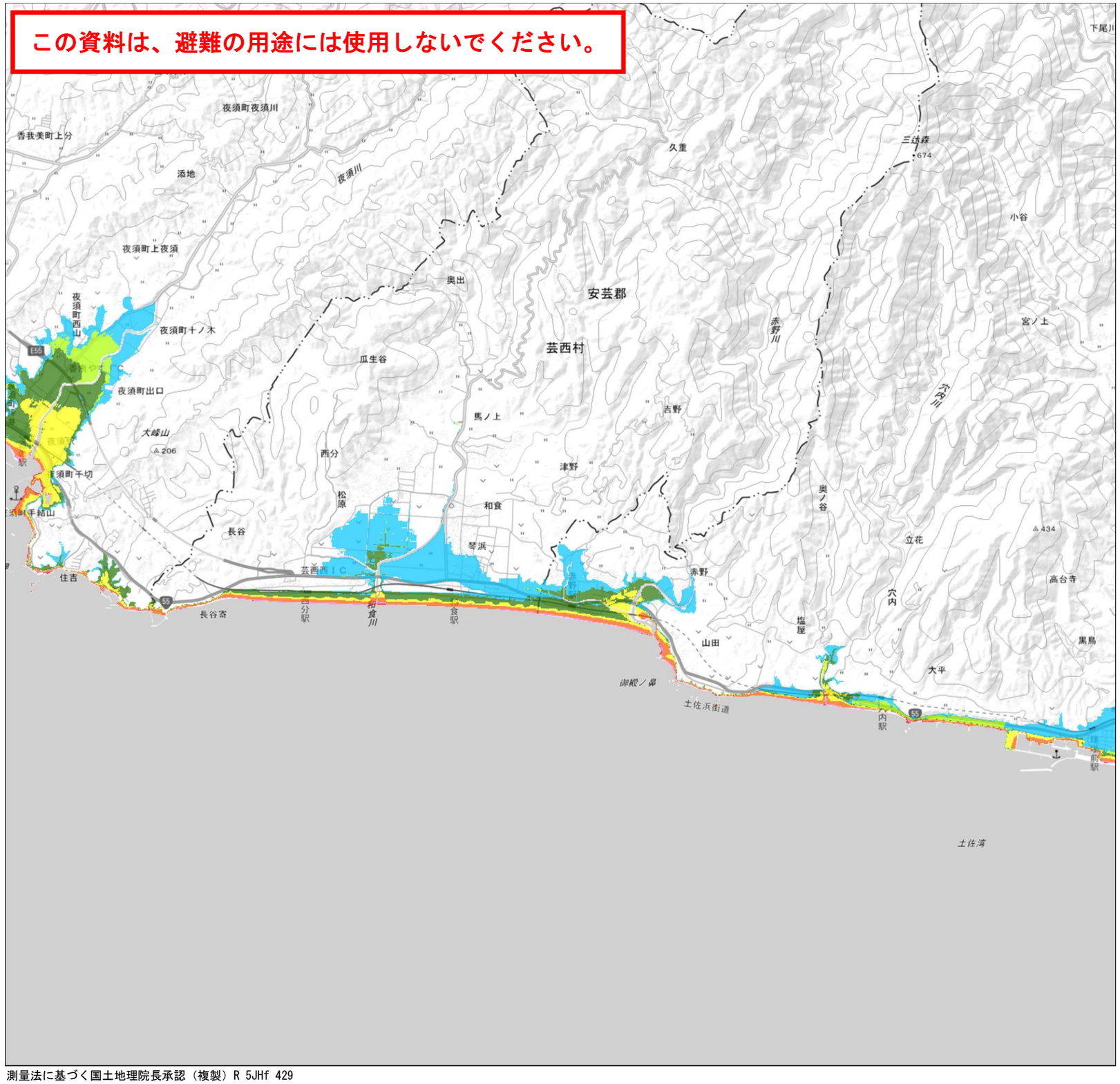
津波到達時間深差分図（分）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

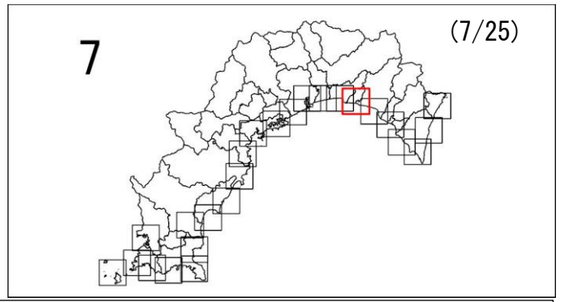
7　　安芸市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

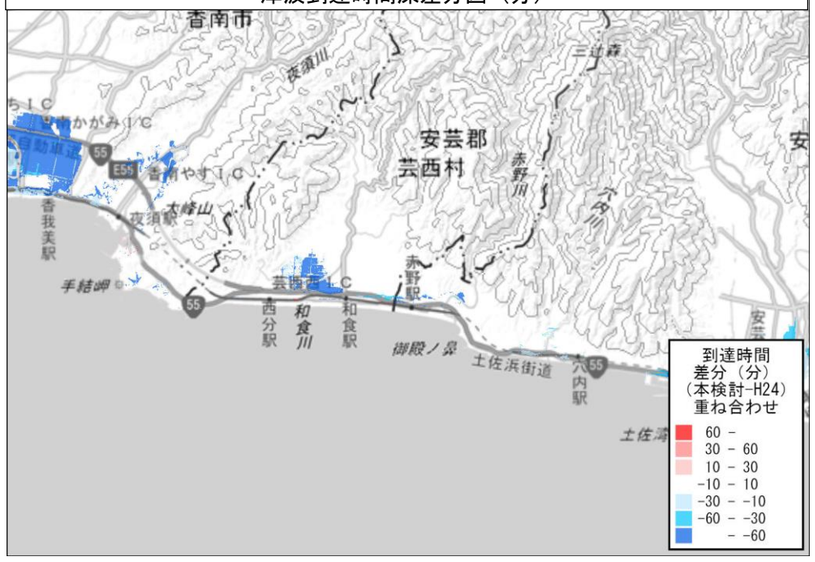
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

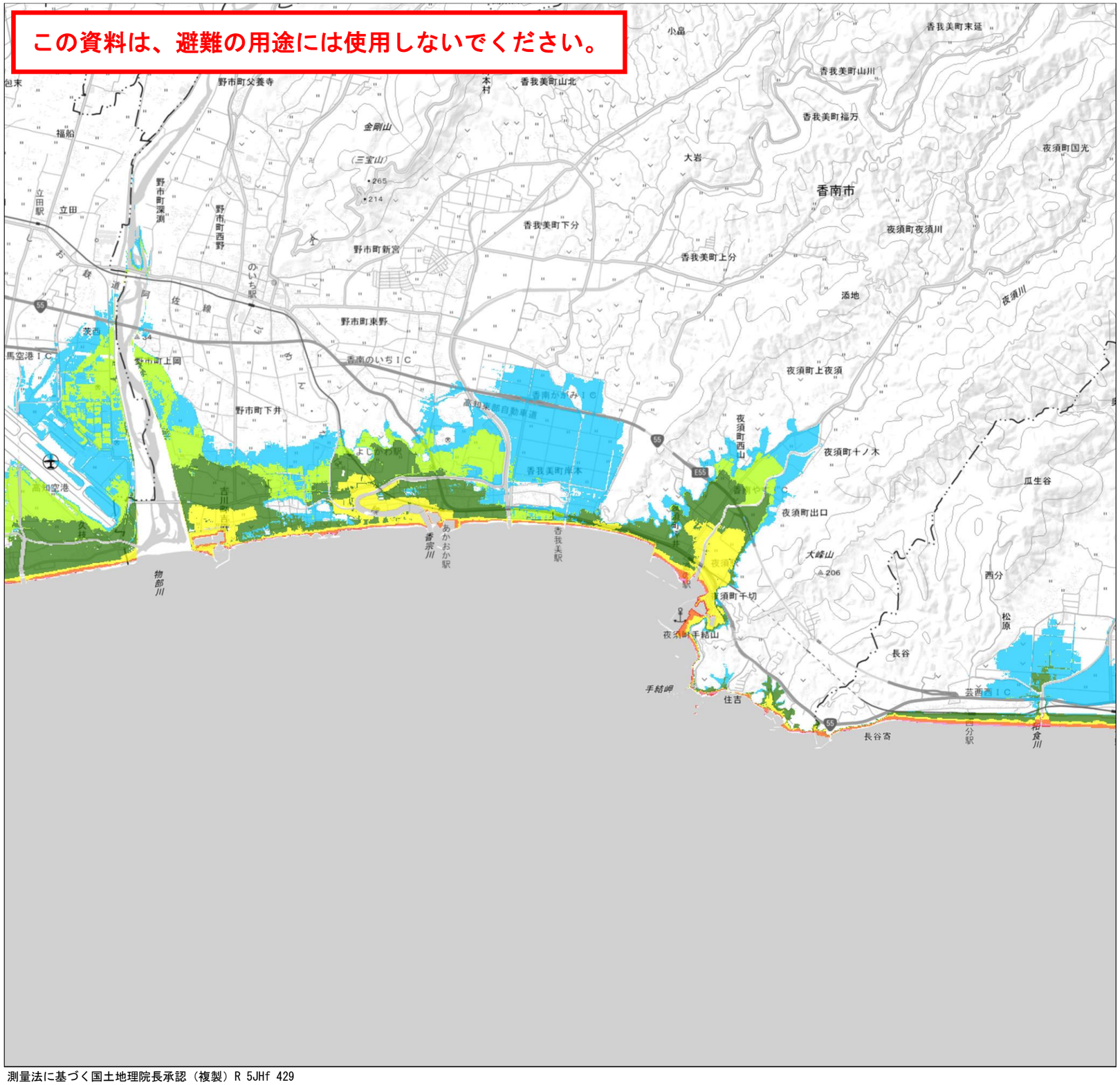


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

8　　香南市（30cm 津波到達時間）

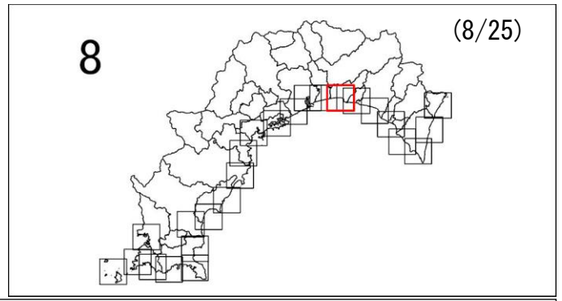
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

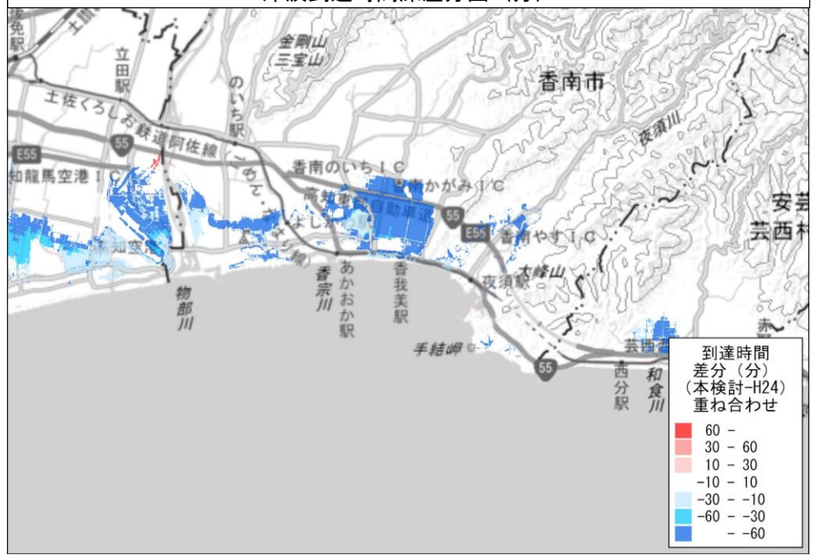
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

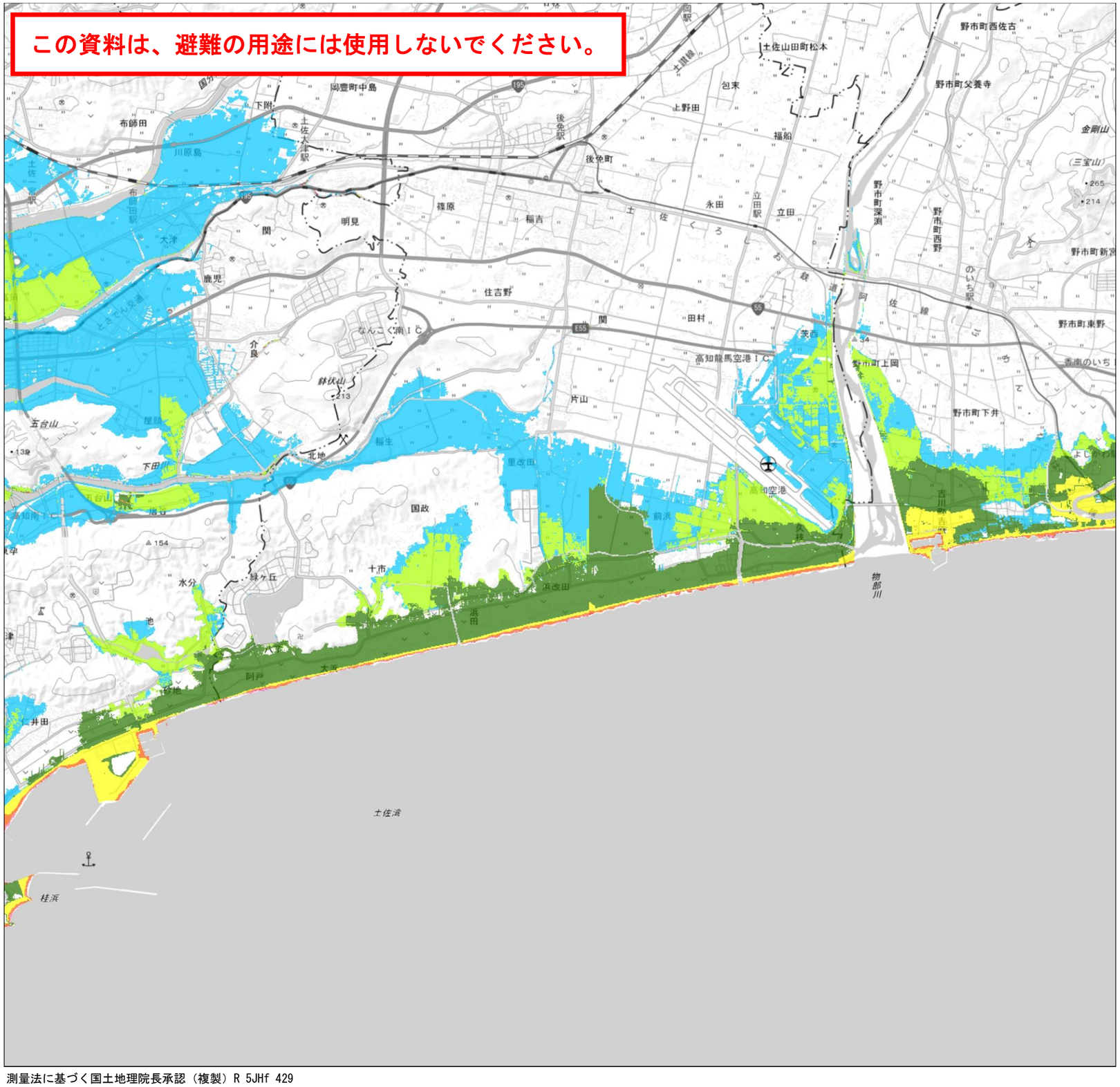
津波到達時間深差分図（分）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

9　　南国市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

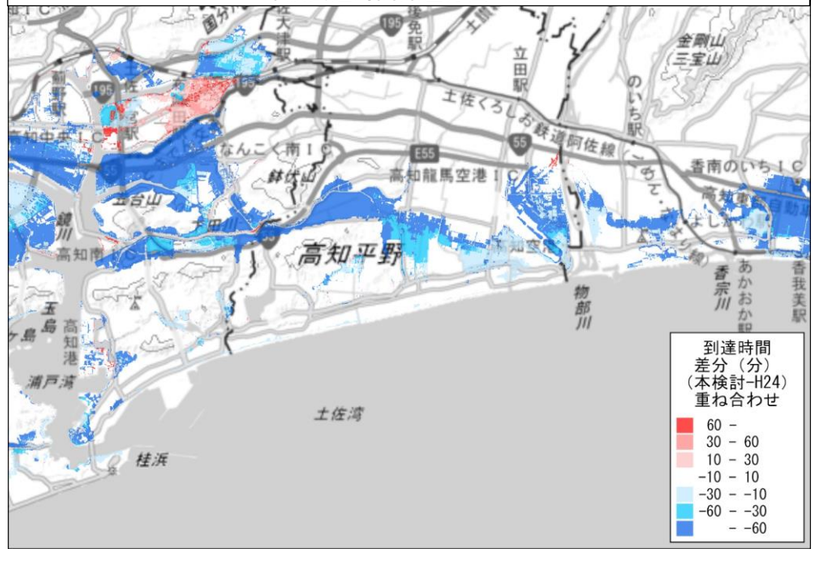
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

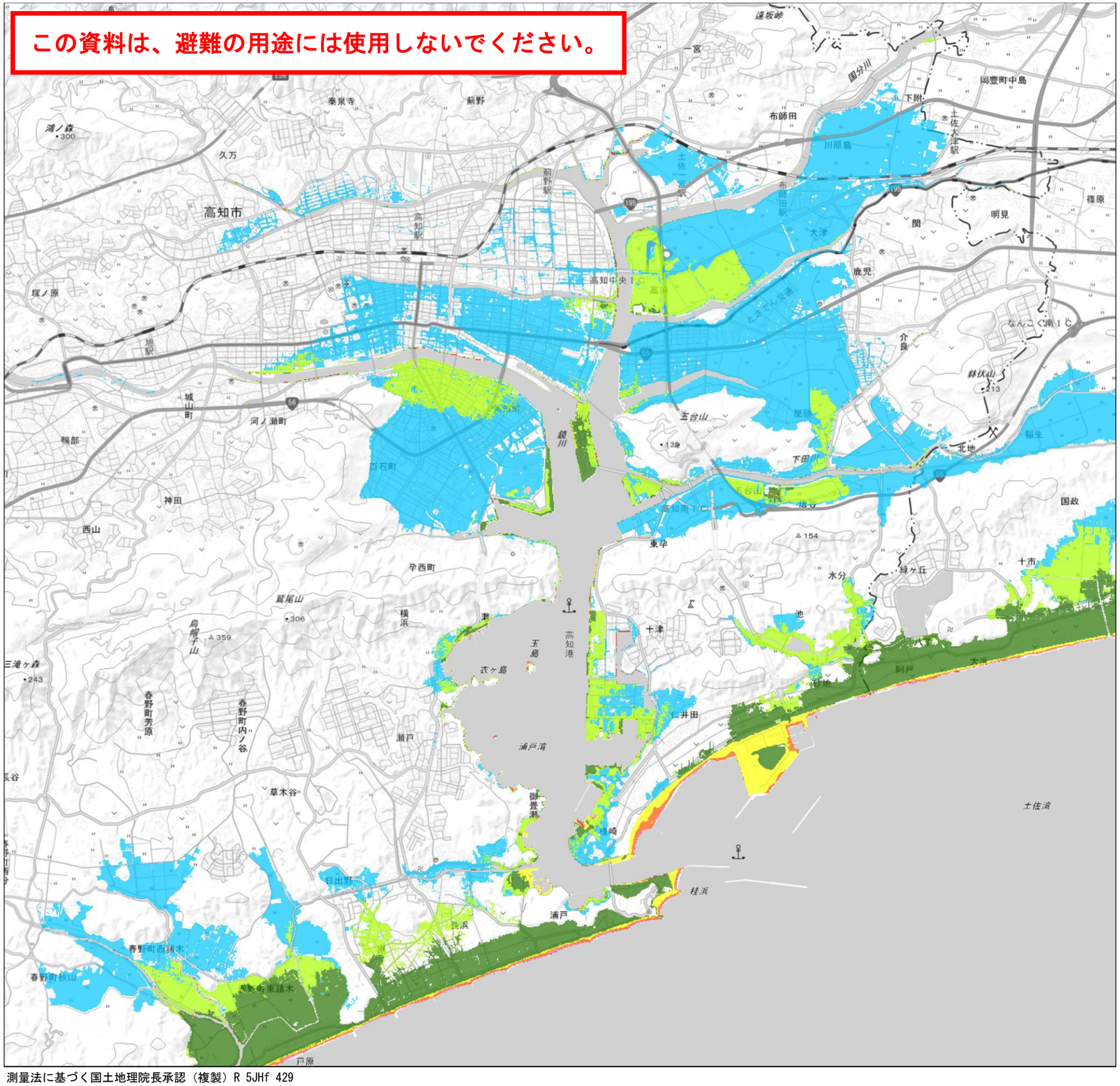


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

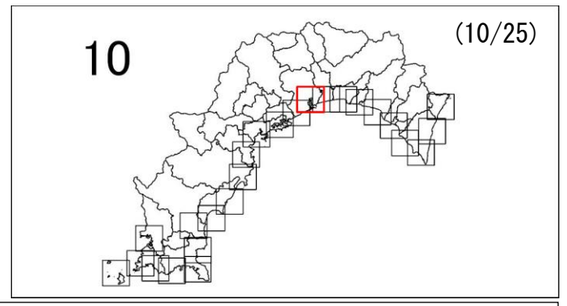
10　　高知市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

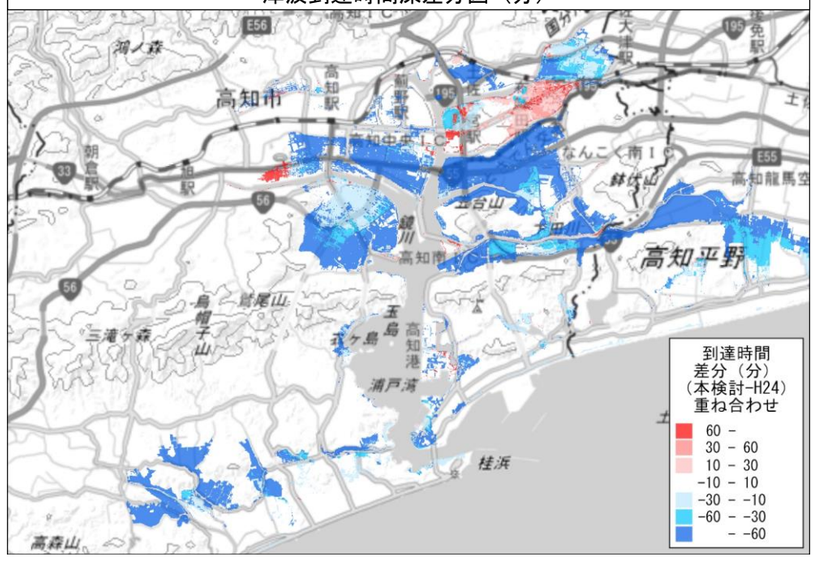
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

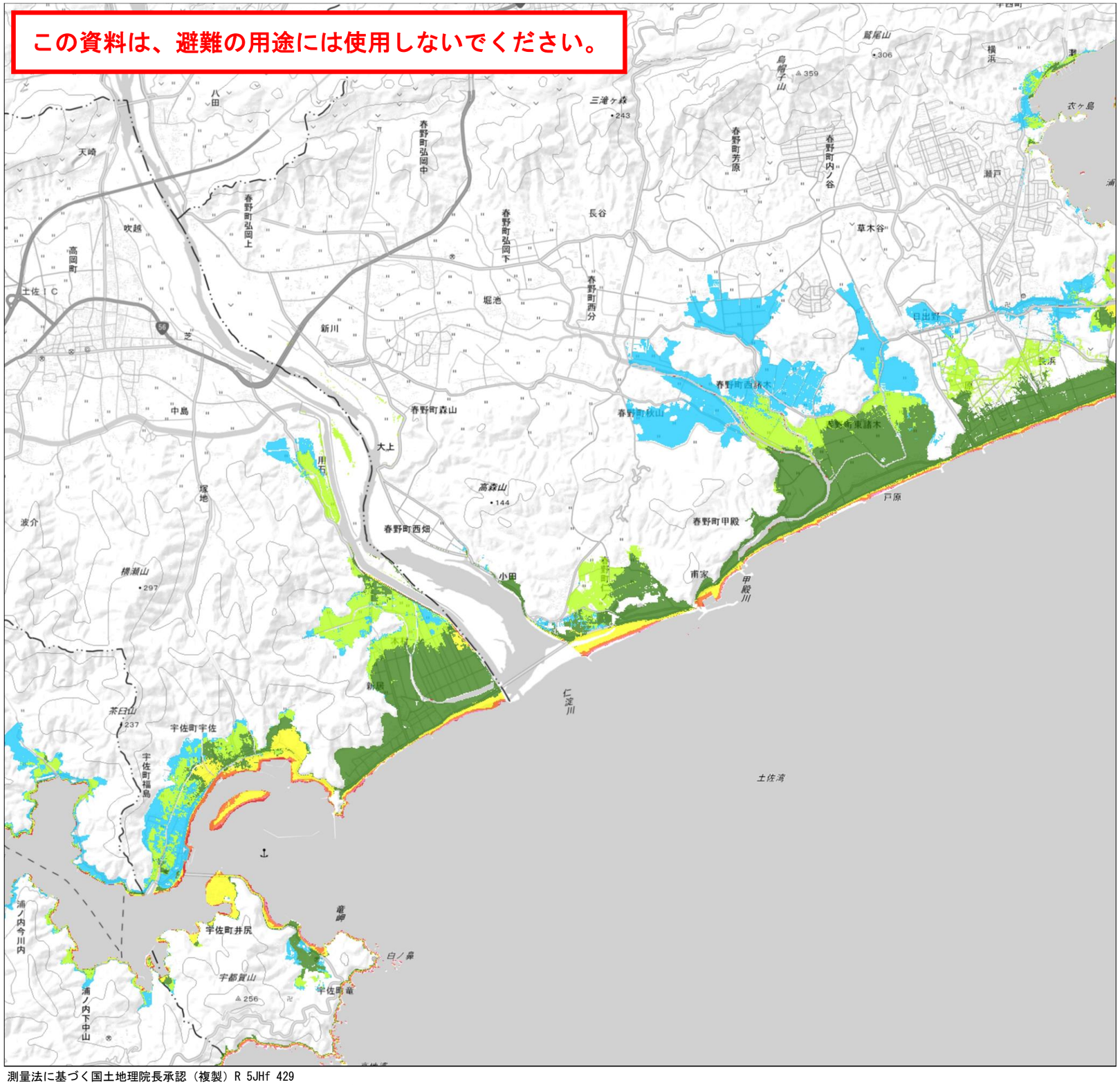


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

11　　高知市　土佐市（30cm 津波到達時間）

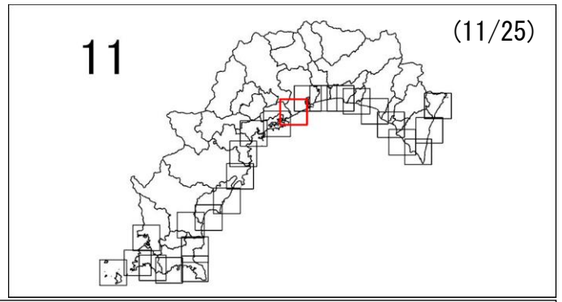
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

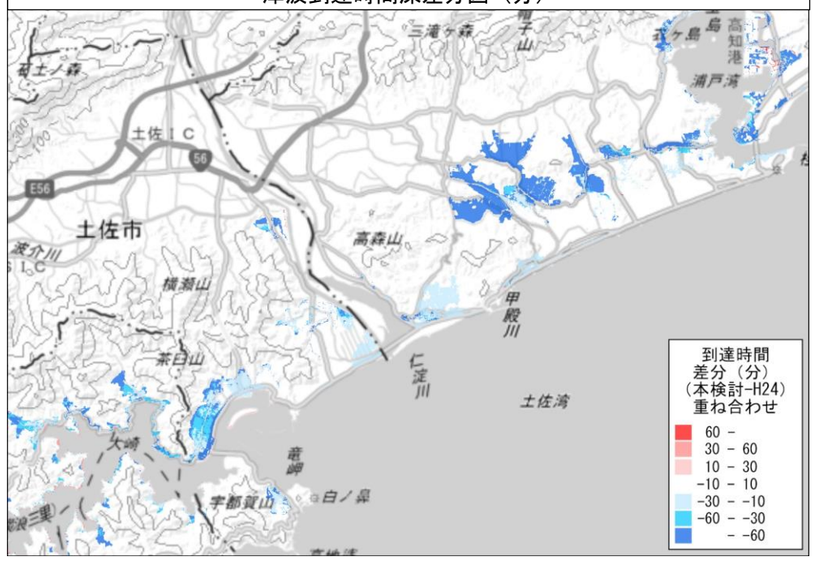
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

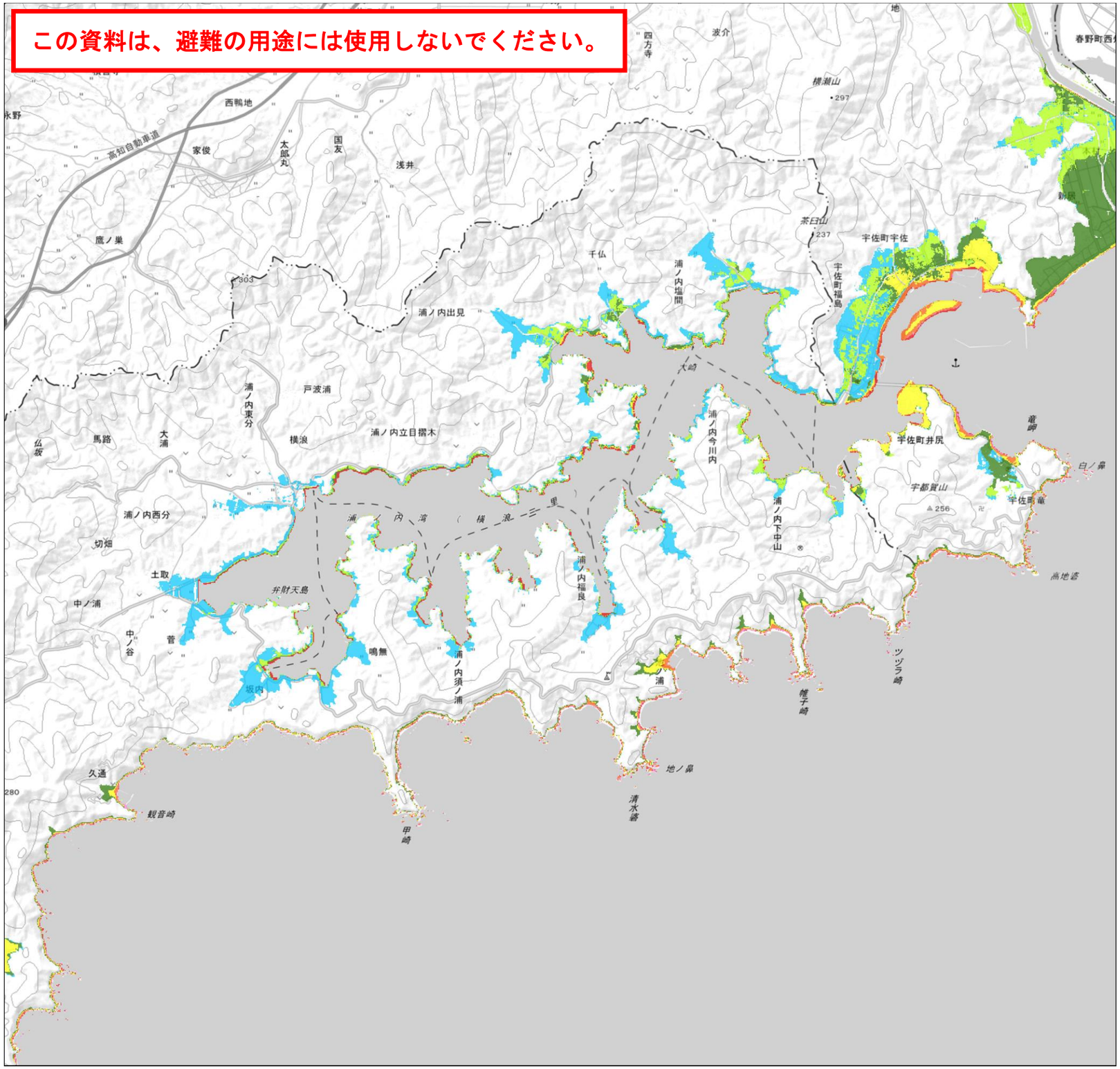
津波到達時間深差分図（分）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

12　須崎市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

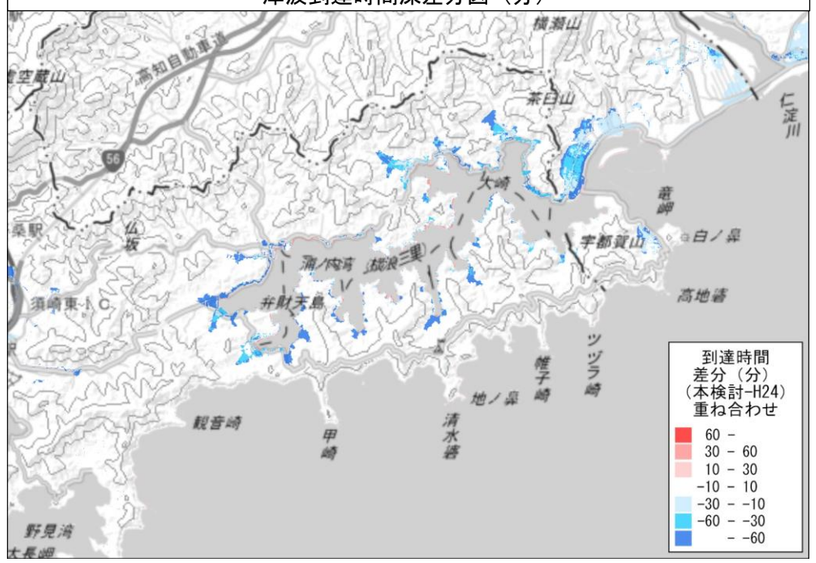


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

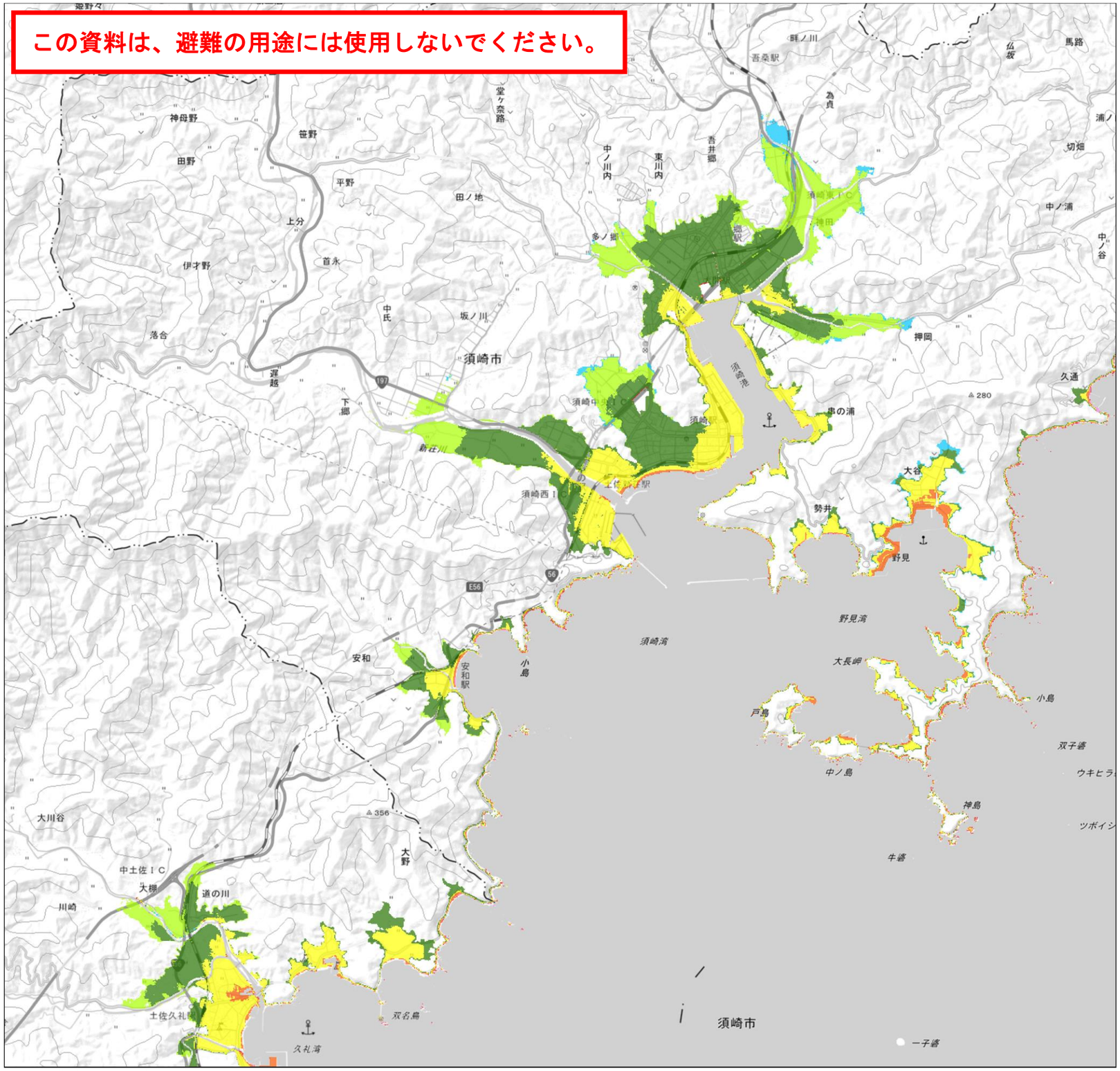
津波到達時間深差分図（分）



【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

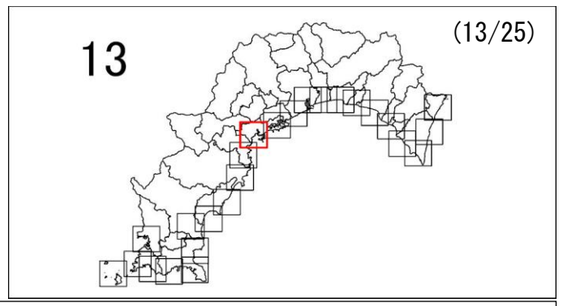
13　須崎市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

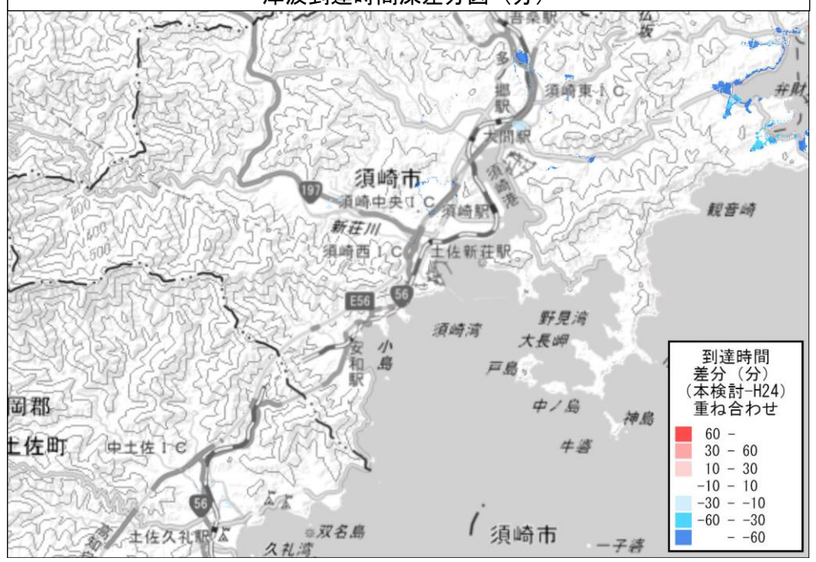
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

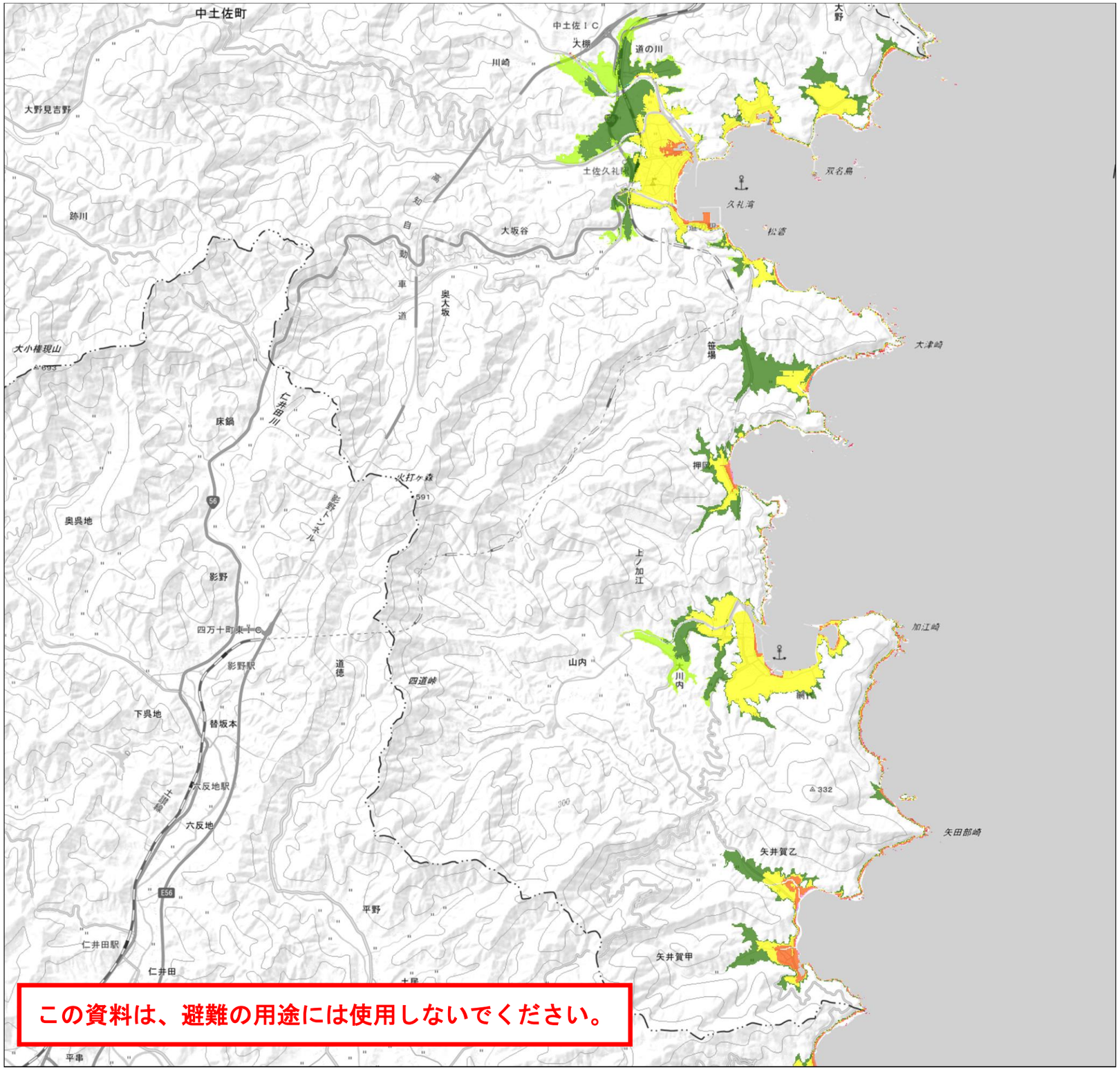
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

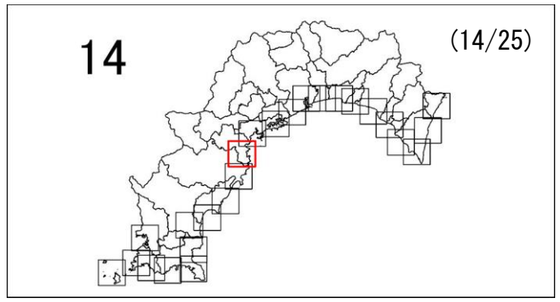
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

14　　中土佐町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

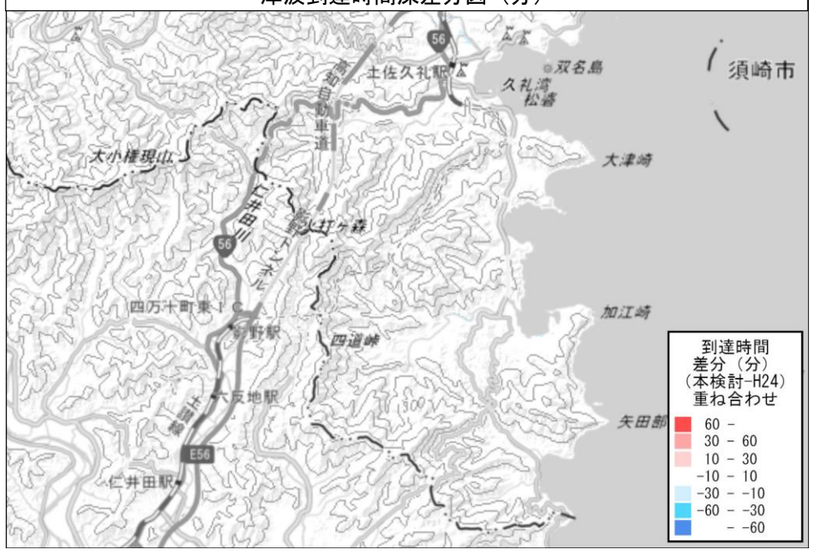
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

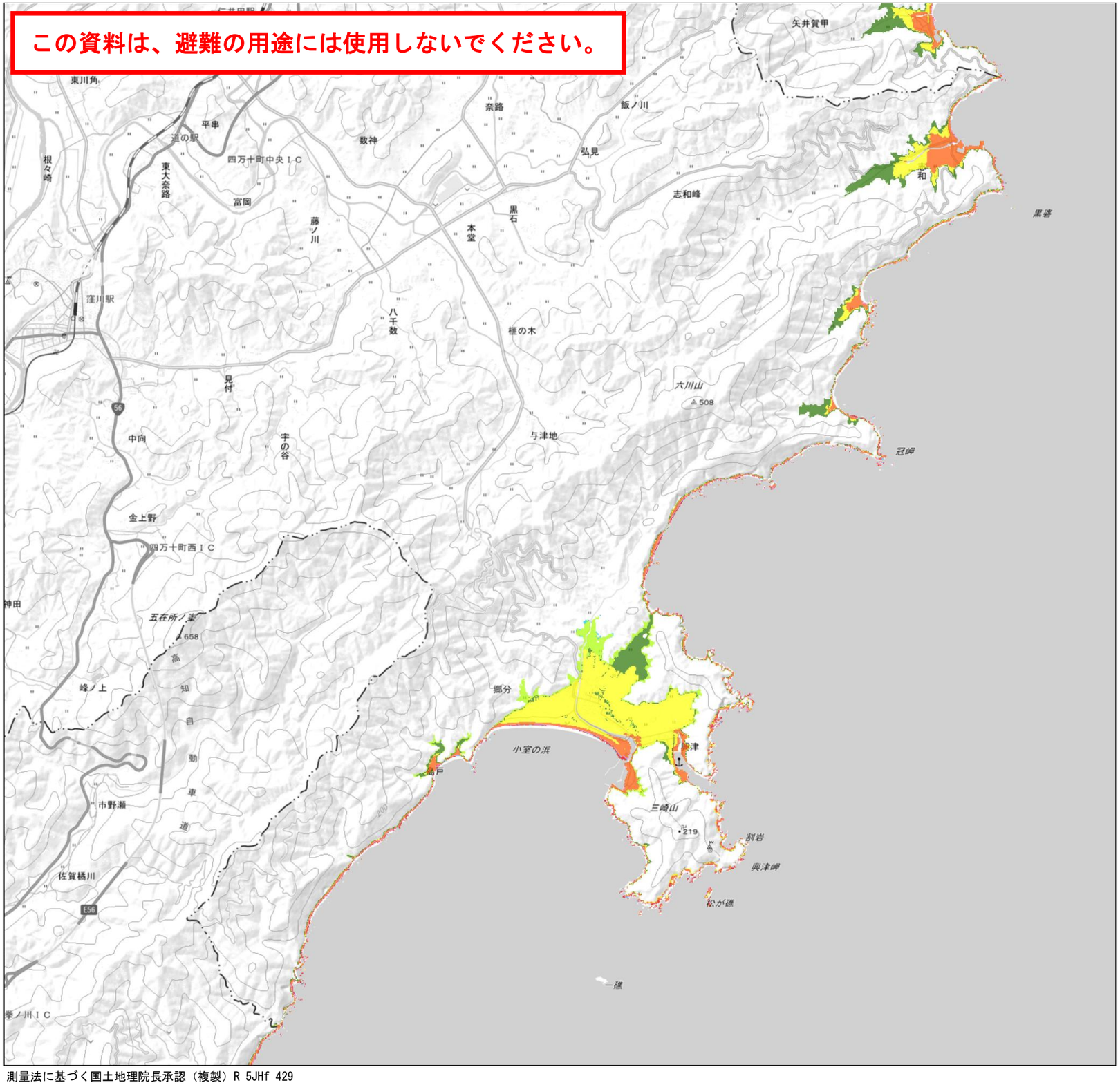


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

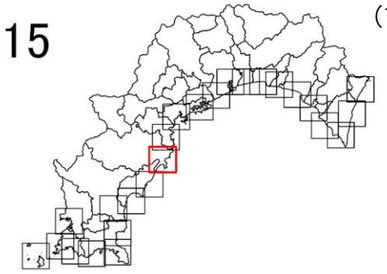
15　四万十町（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



15 (15/25)

（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

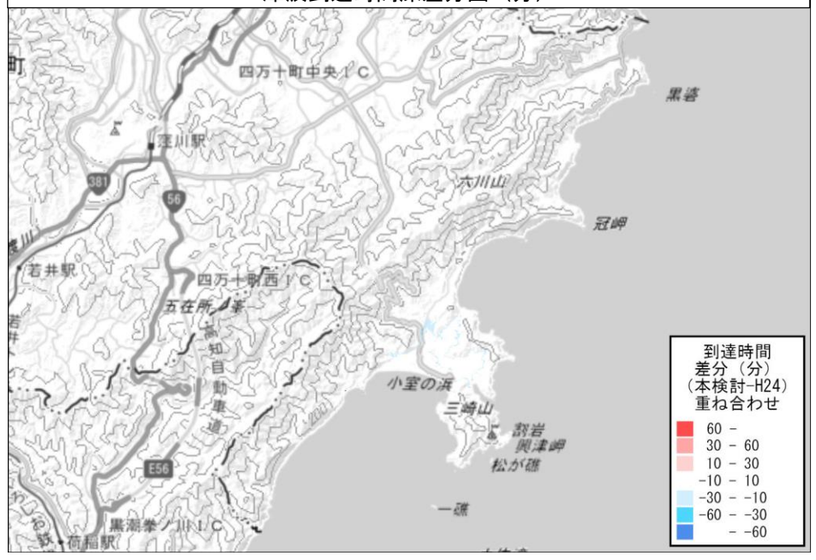
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

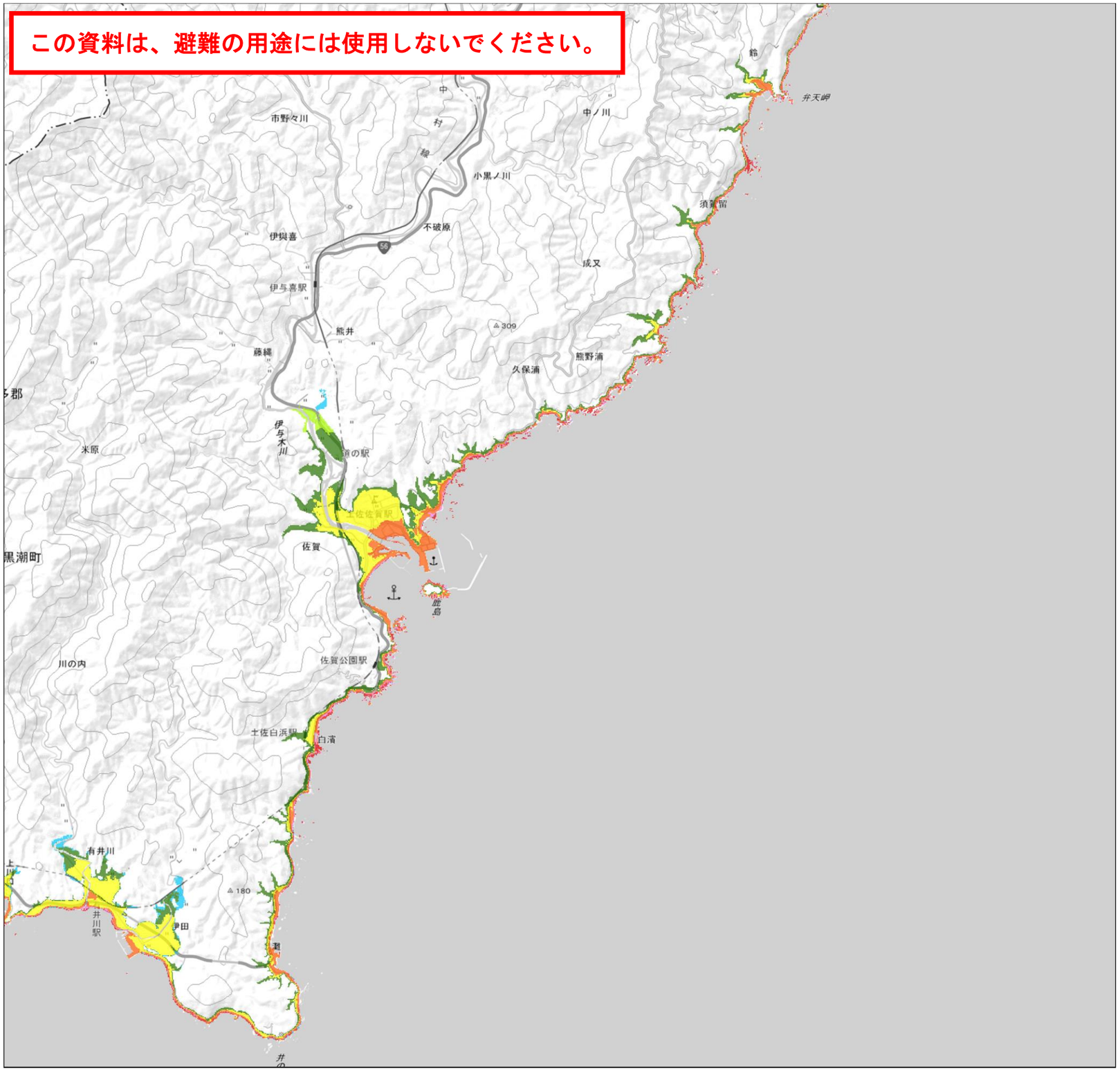
津波到達時間深差分図（分）

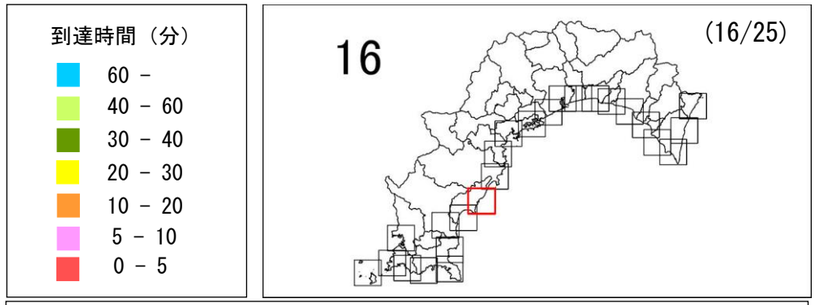


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

16　　黒潮町　その１（30cm 津波到達時間）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

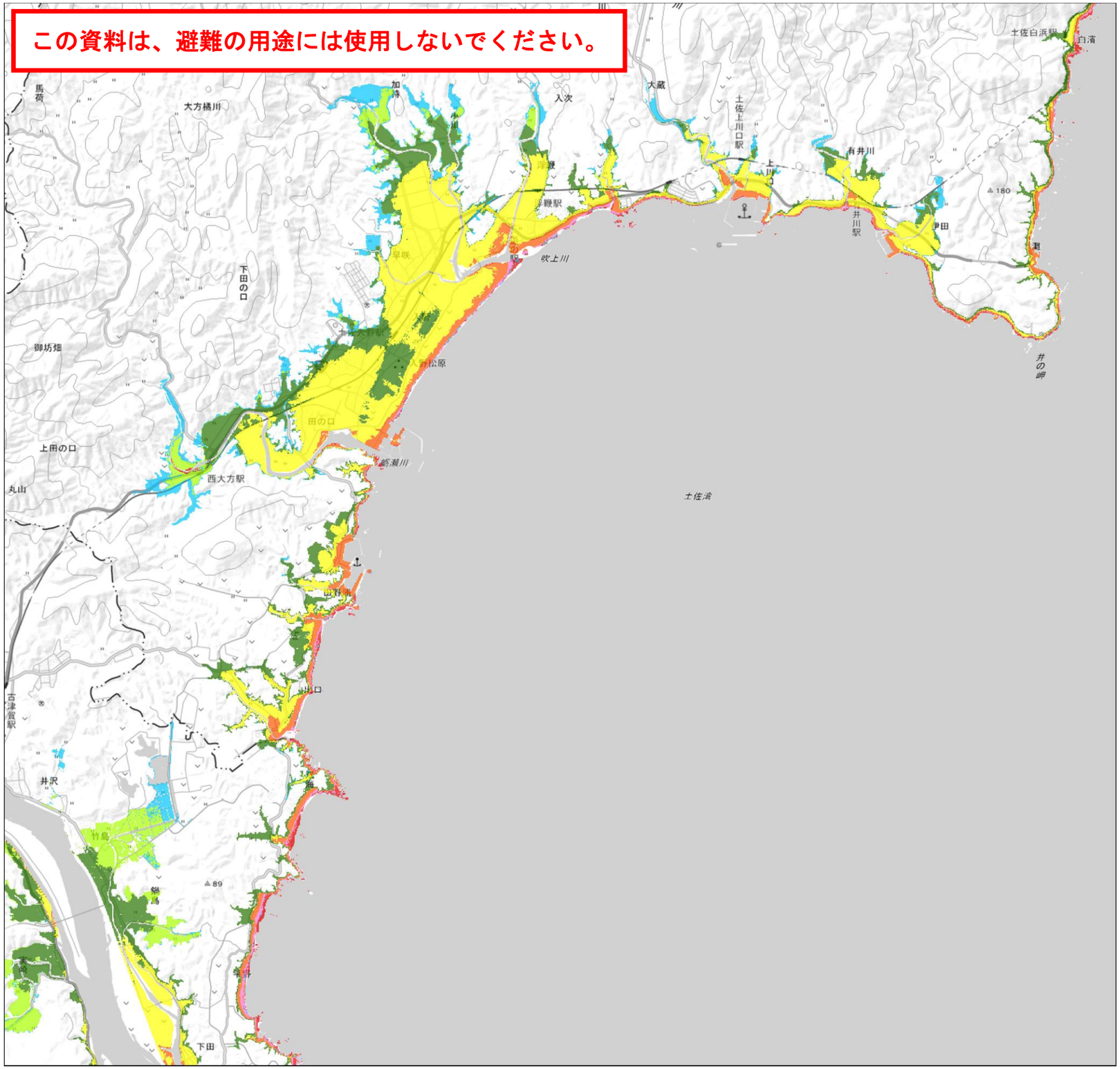


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

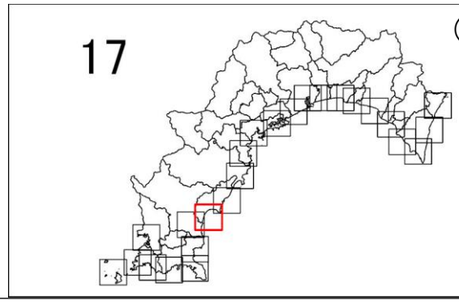
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

17　　黒潮町　その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

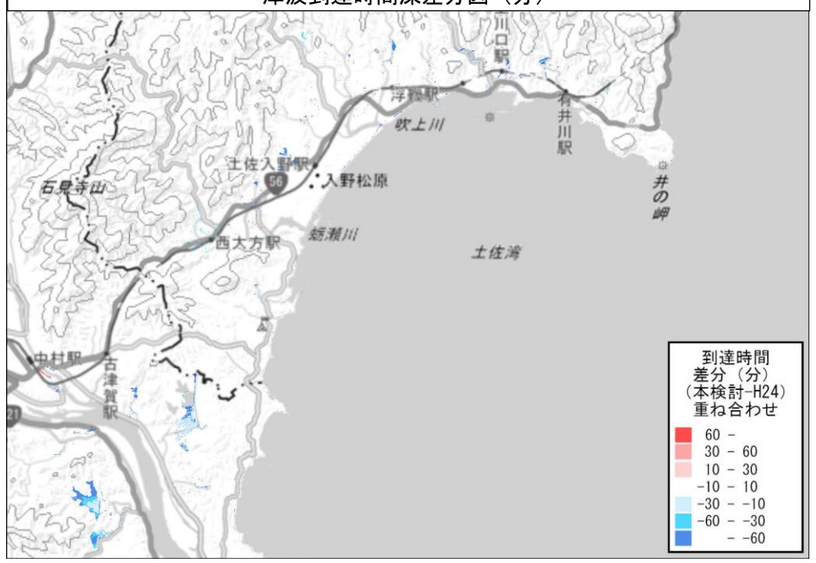
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

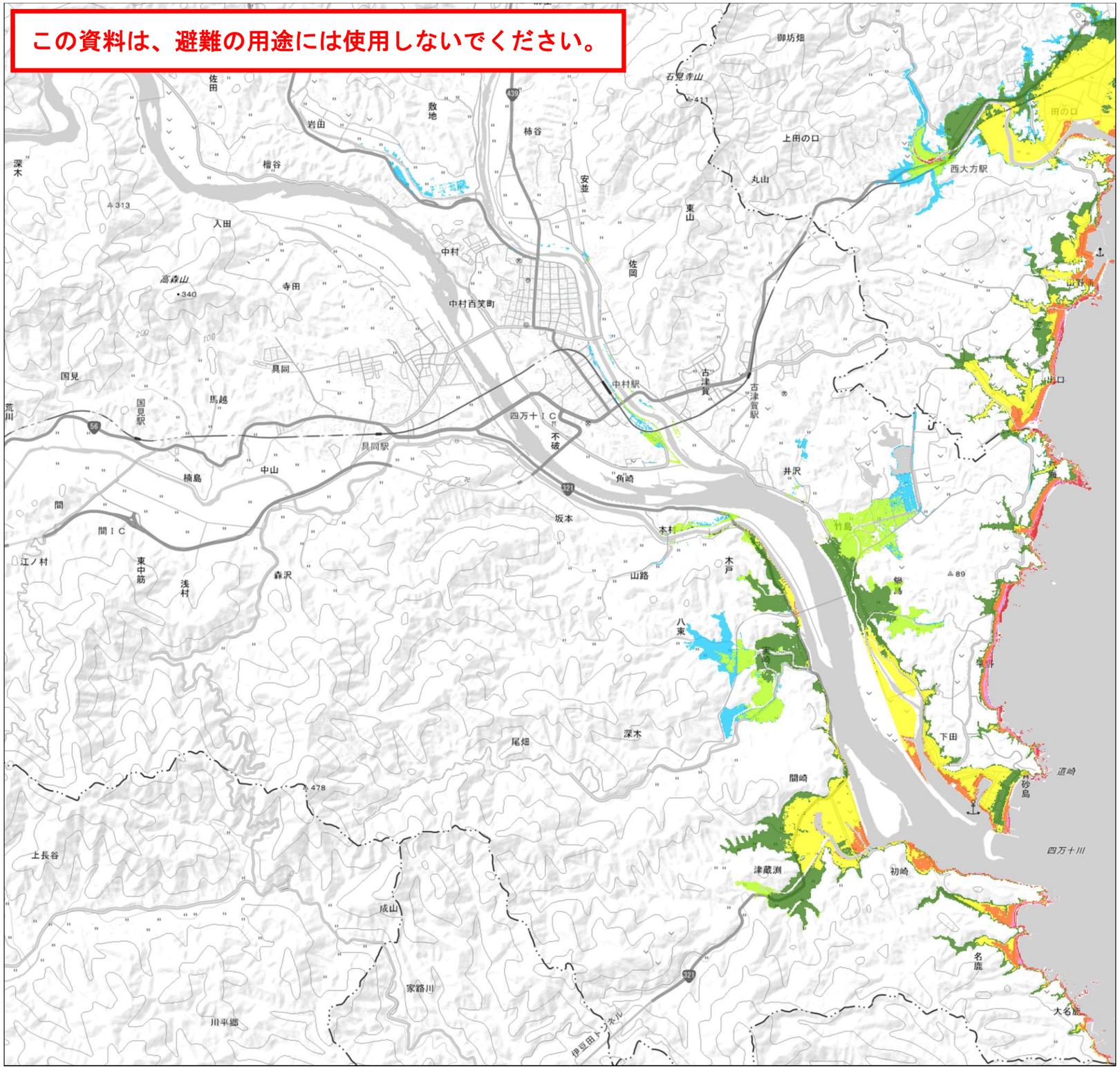


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

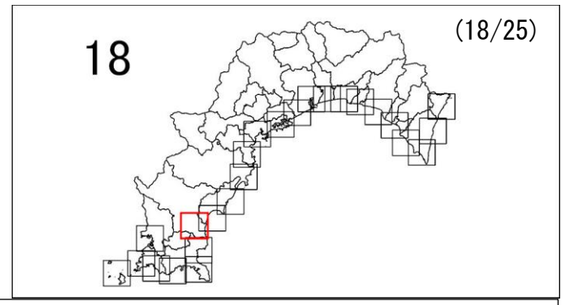
18　四万十市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

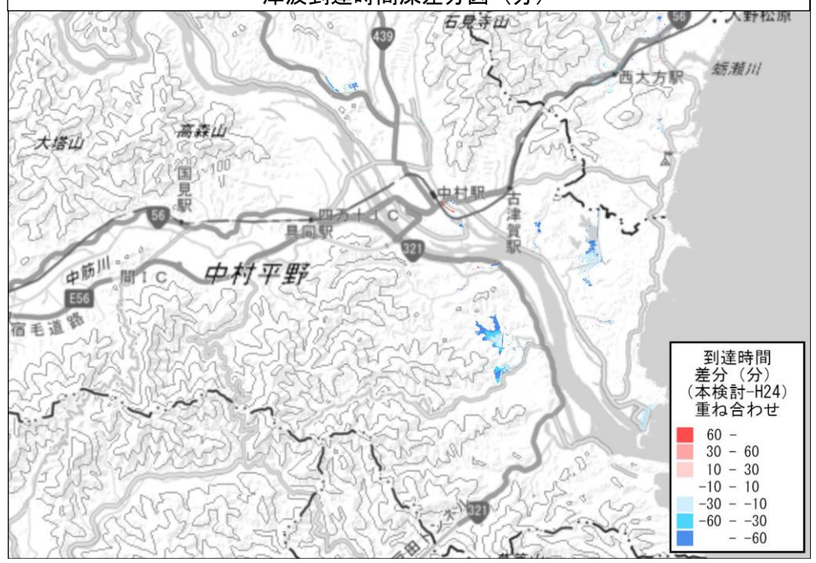
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

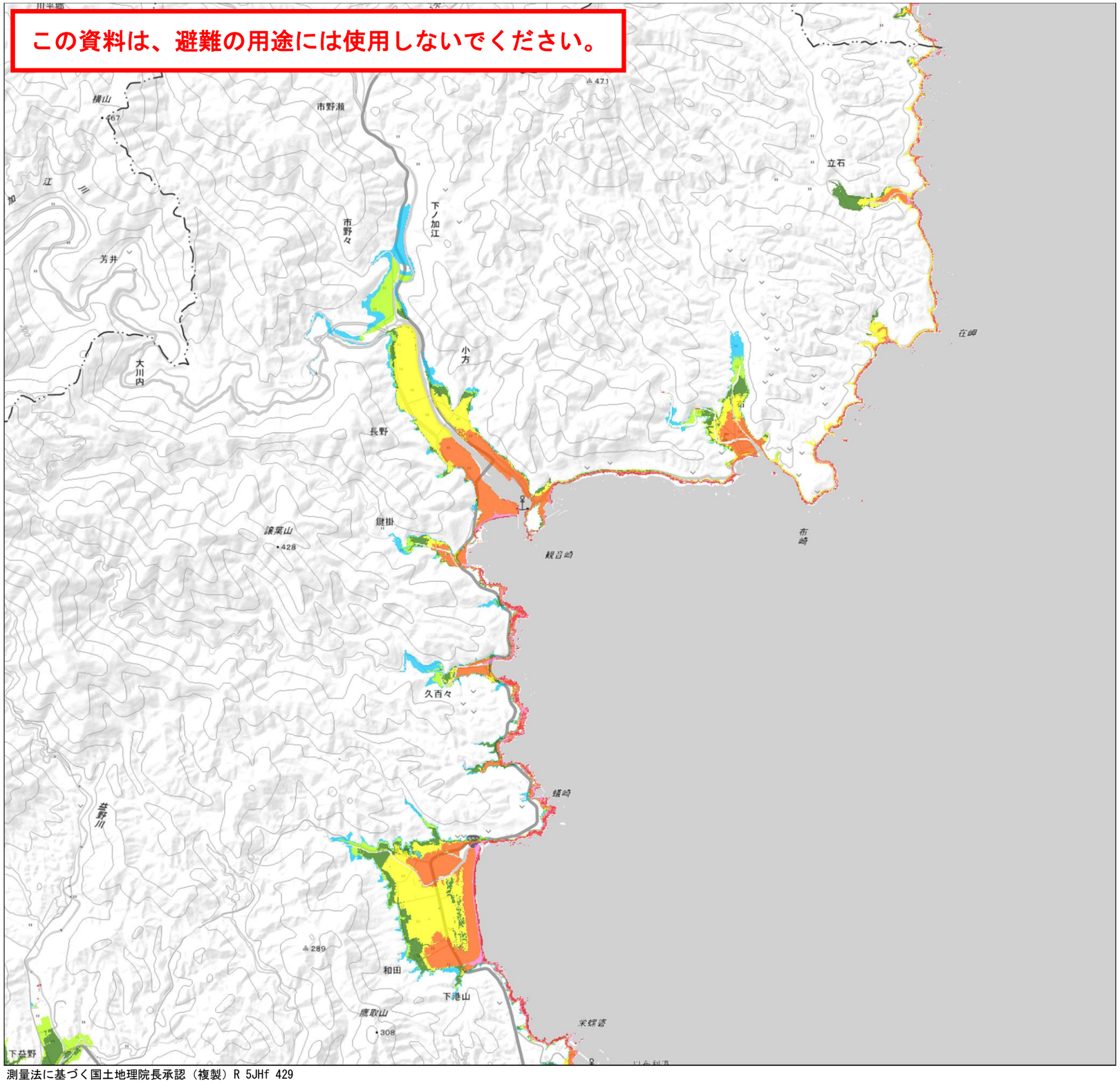
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

19　　土佐清水市　その１（30cm 津波到達時間）

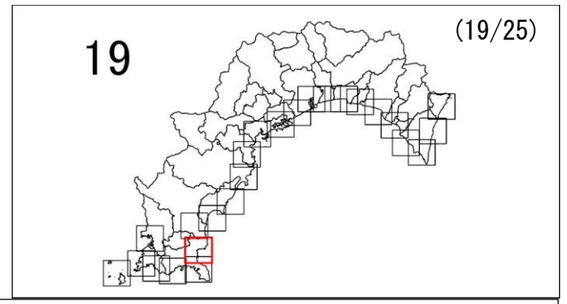


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

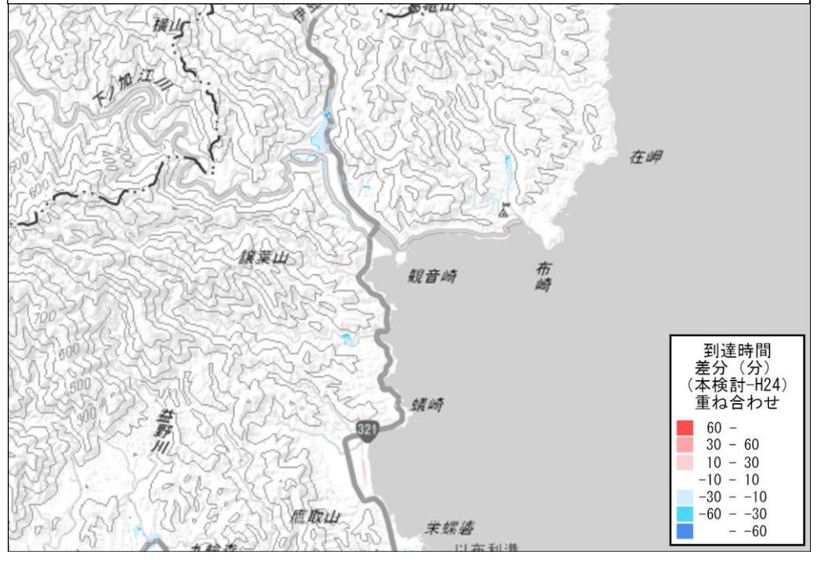
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

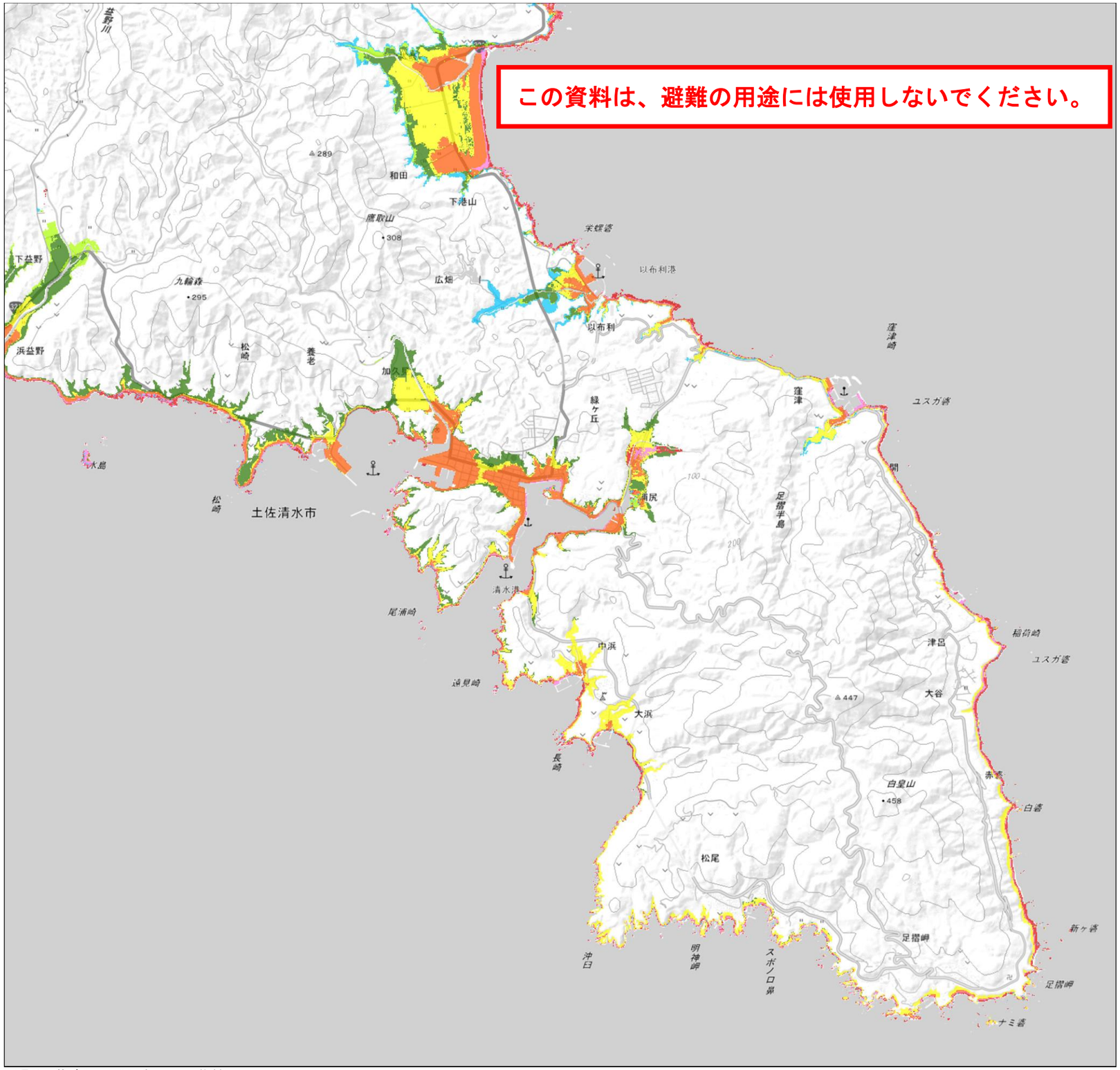
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



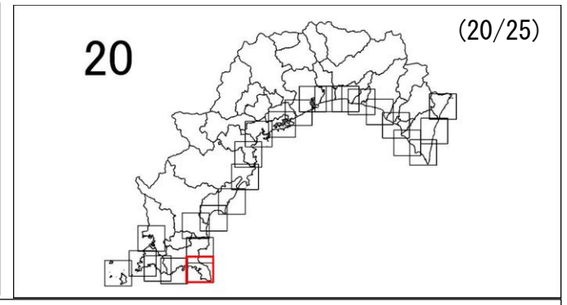
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

20　　土佐清水市　その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

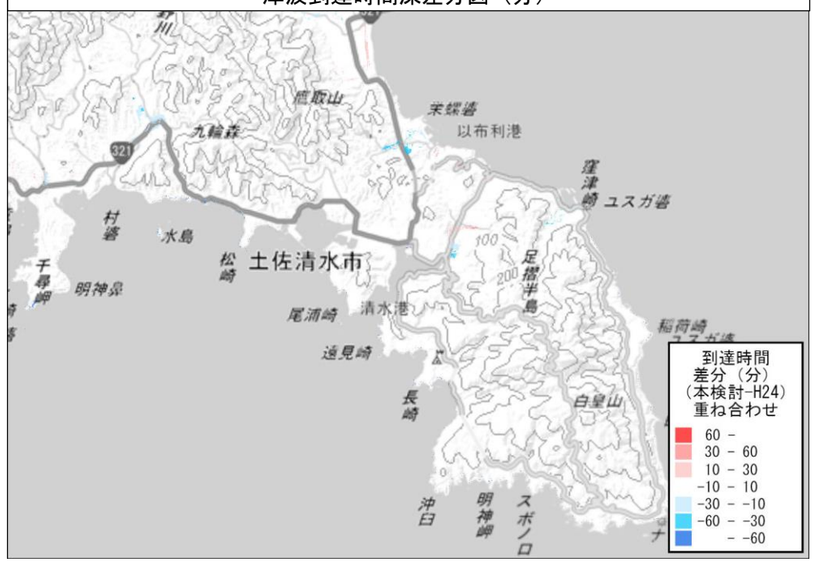
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

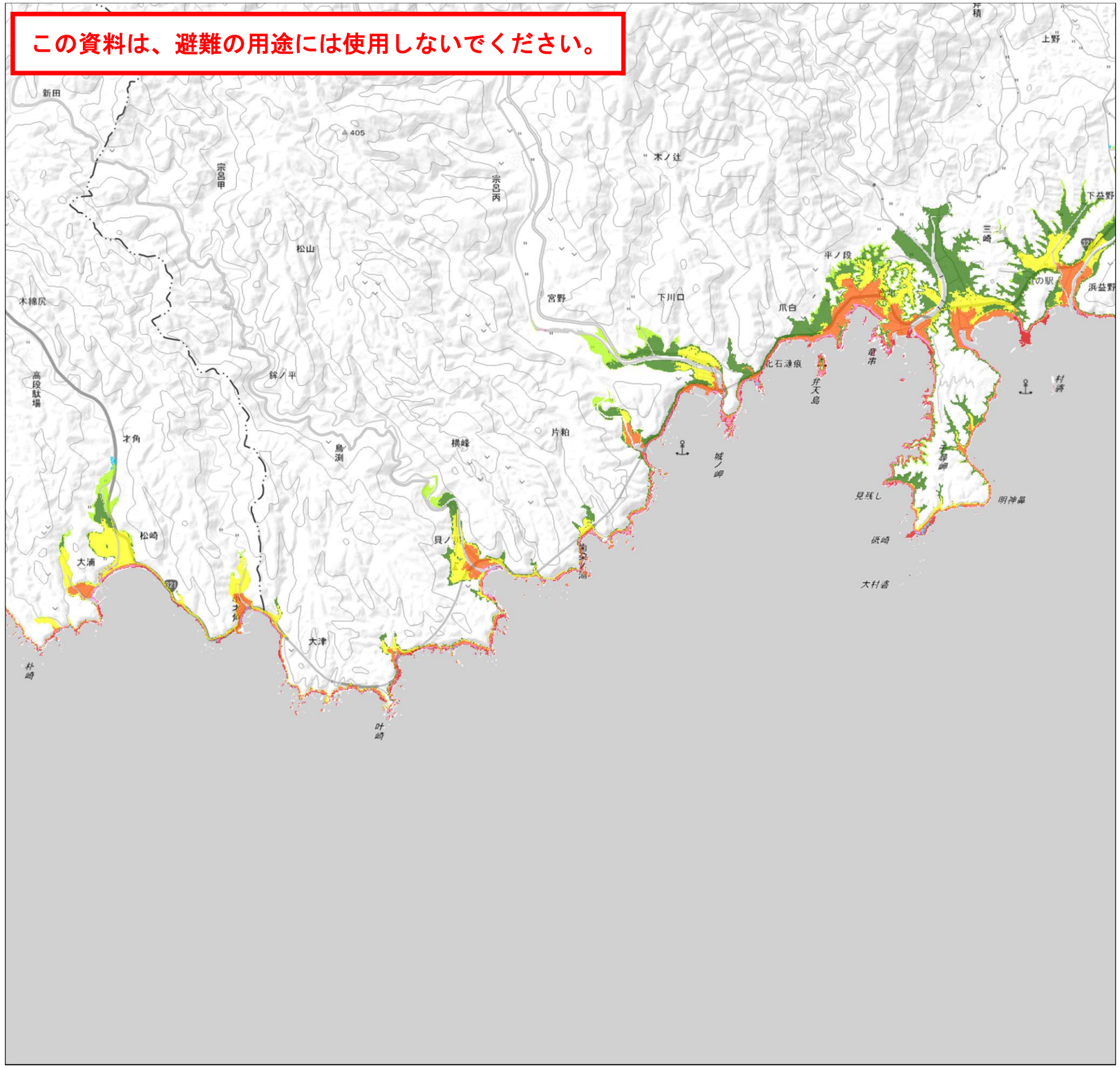


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

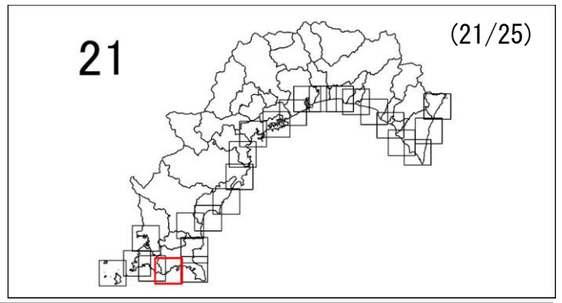
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

21　　土佐清水市　その３（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

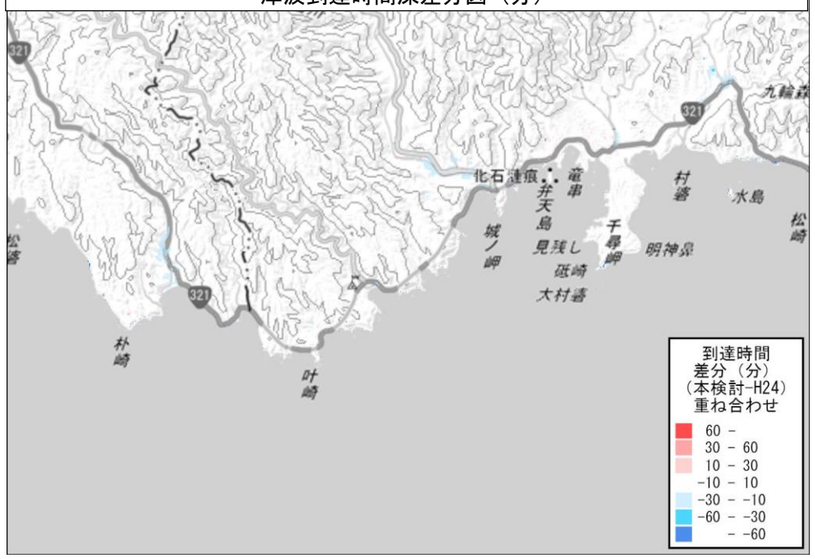
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

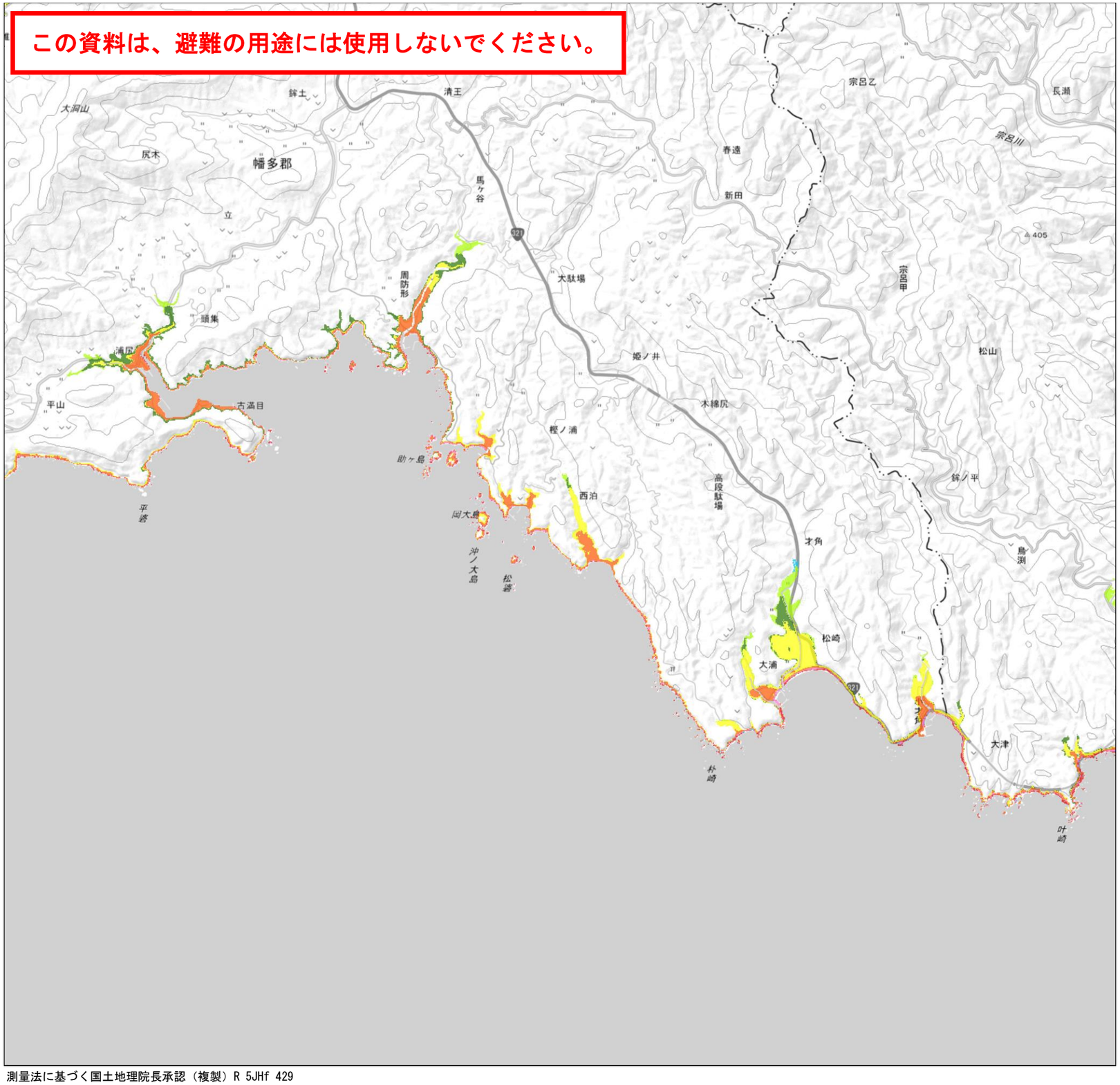


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

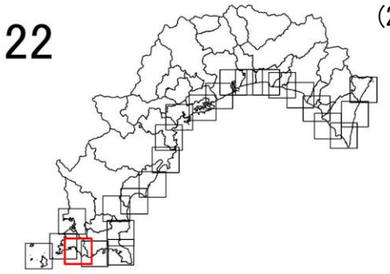
22　　大月町　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

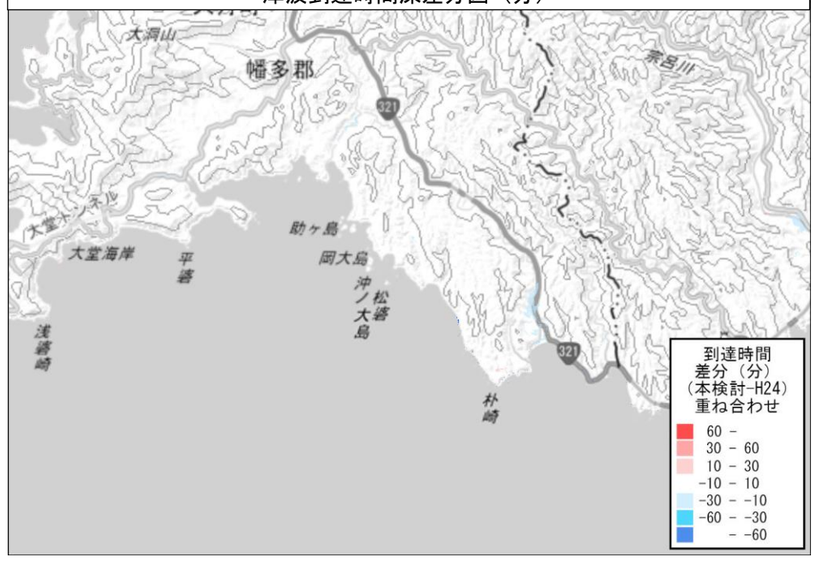
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

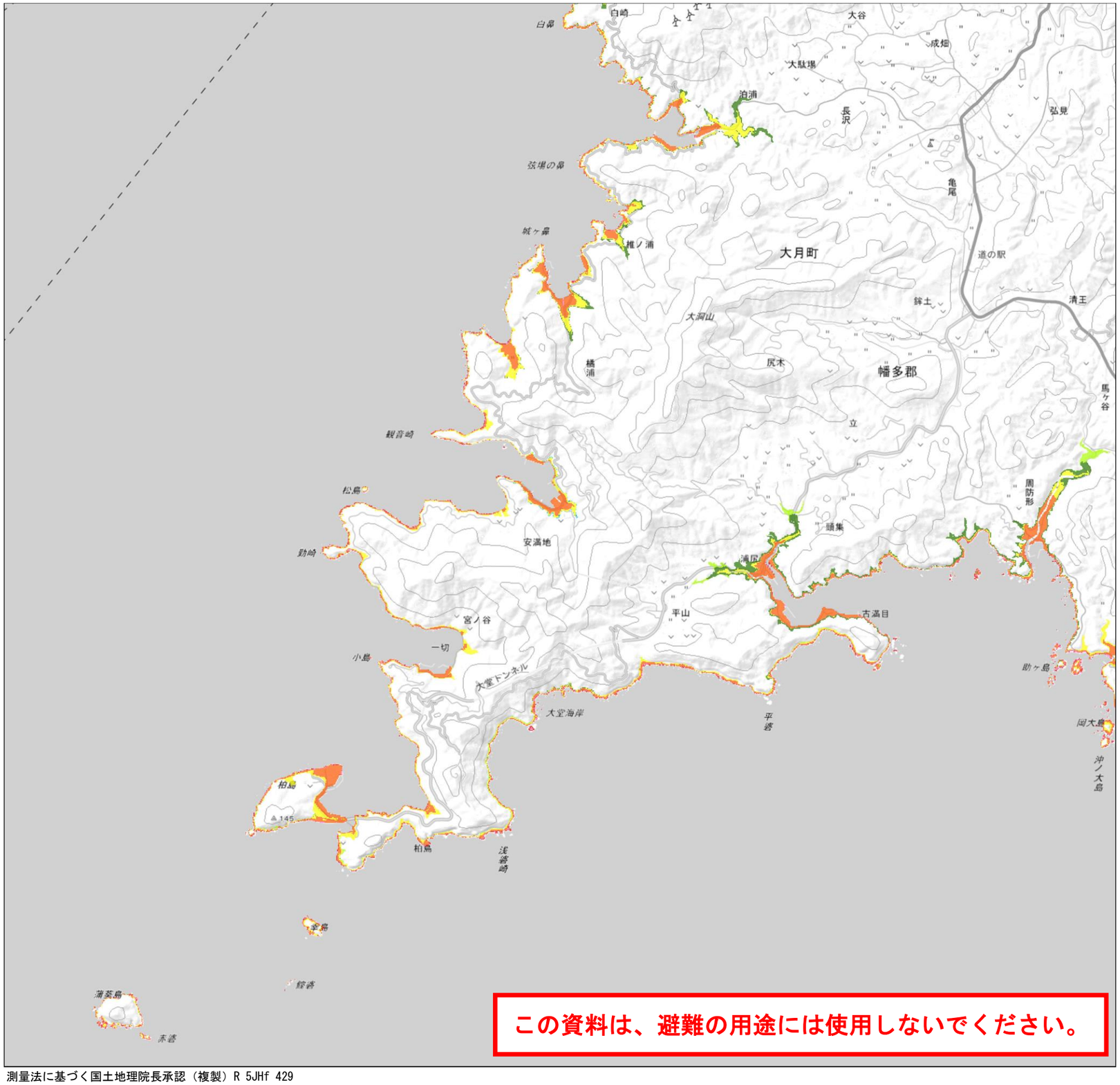
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

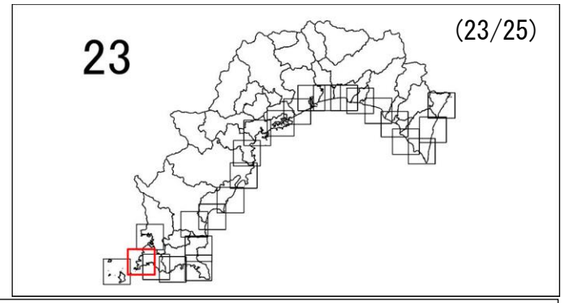
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

23　　大月町 その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

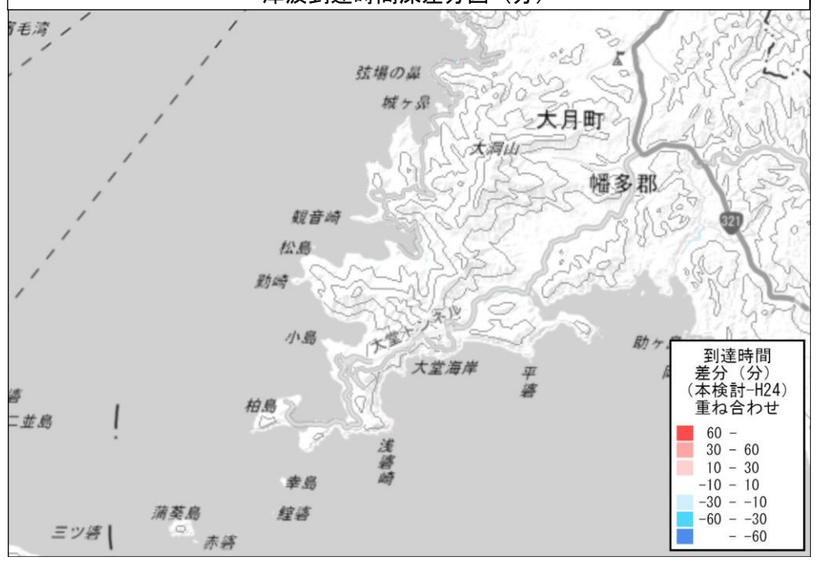
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

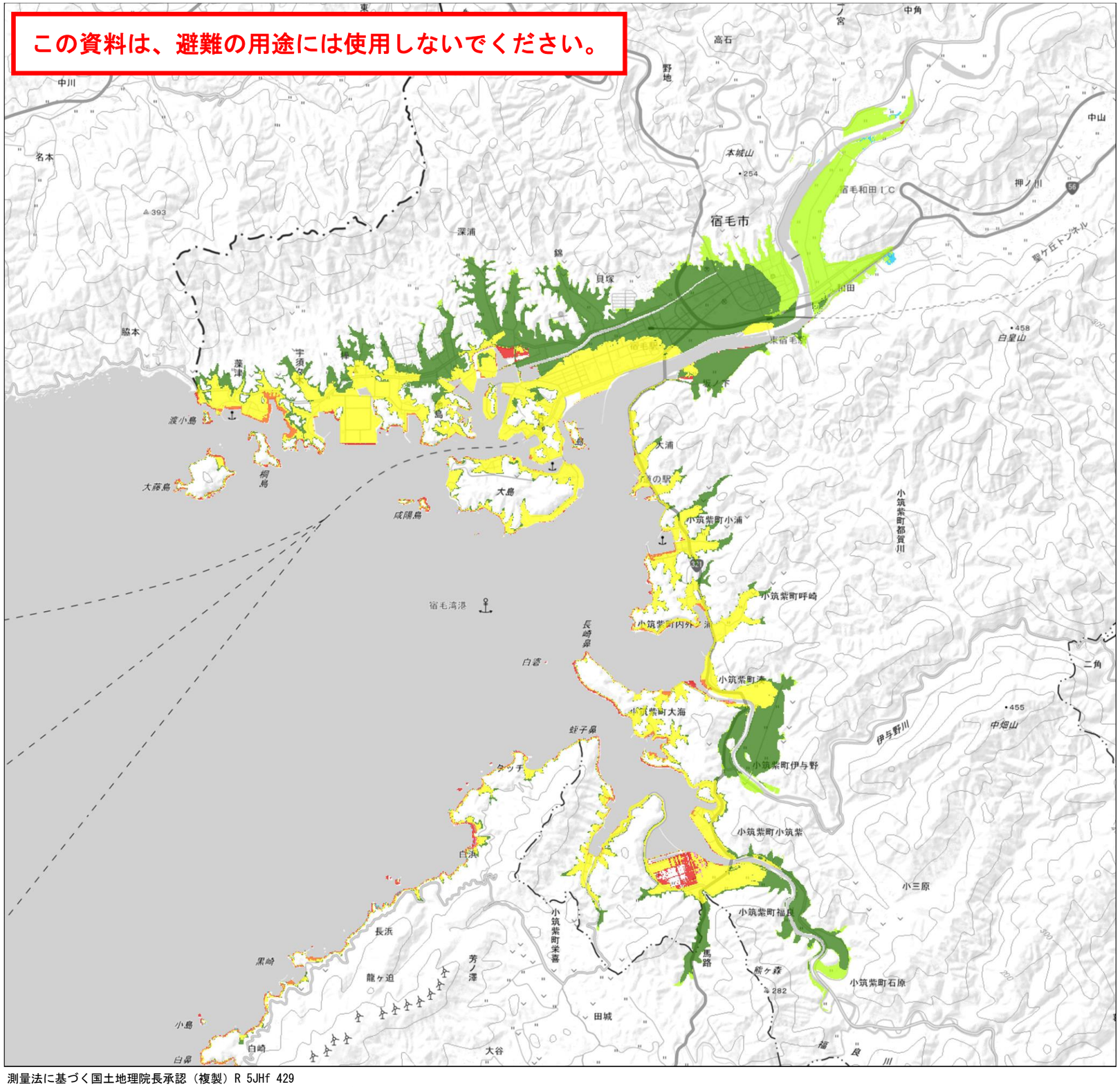


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

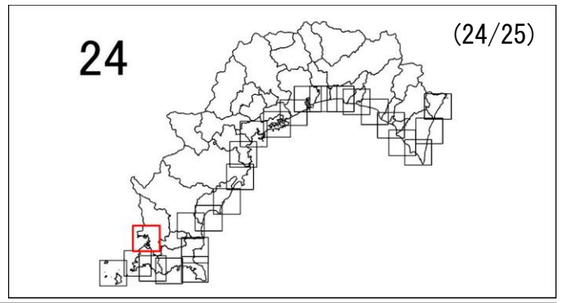
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

24　　宿毛市　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

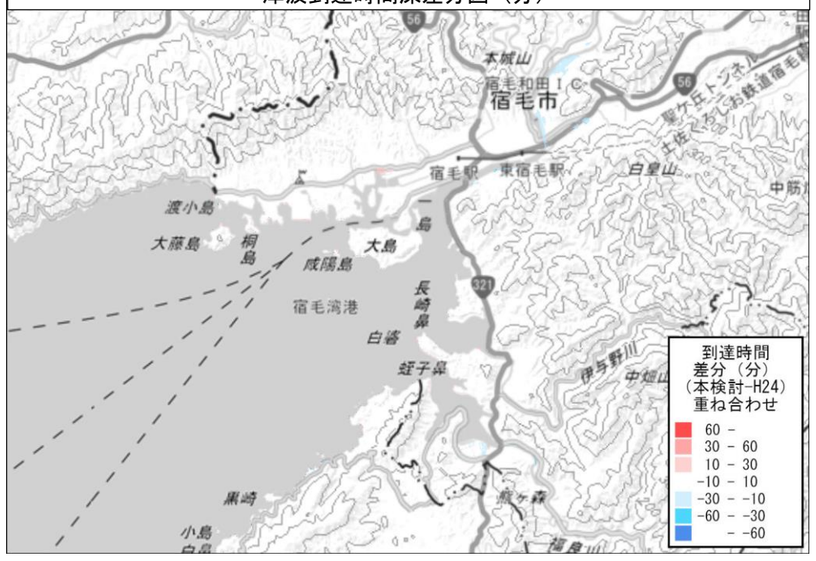
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

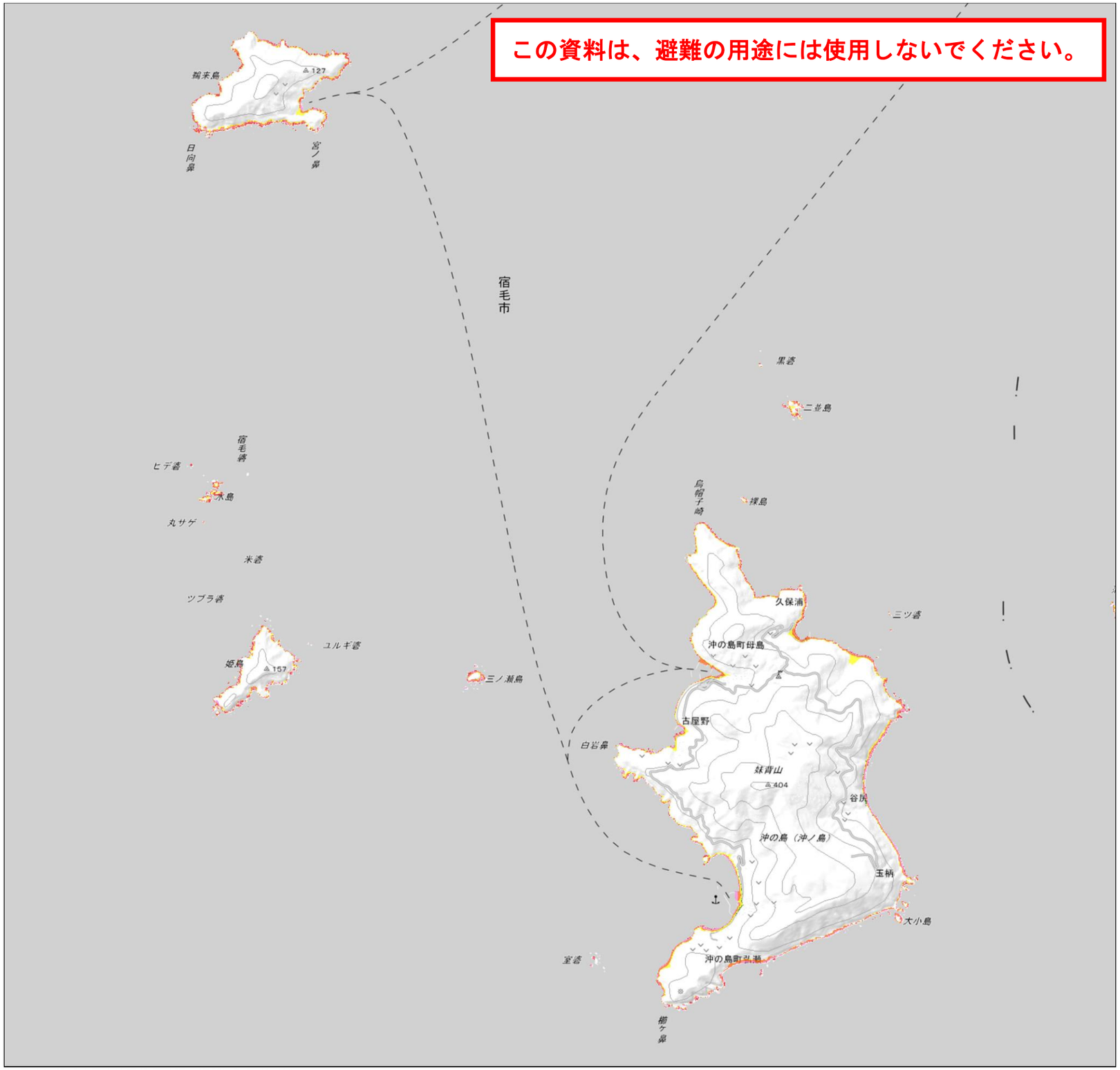
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

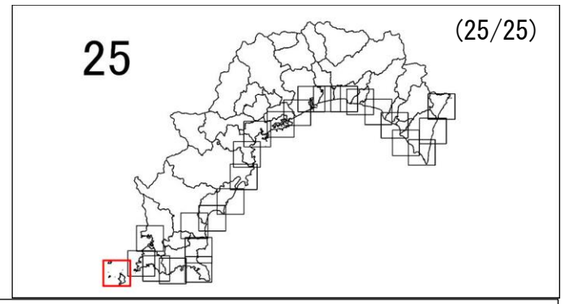
【参考資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（①全ての堤防等が「破壊しない」と仮定した場合）

25　宿毛市 その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

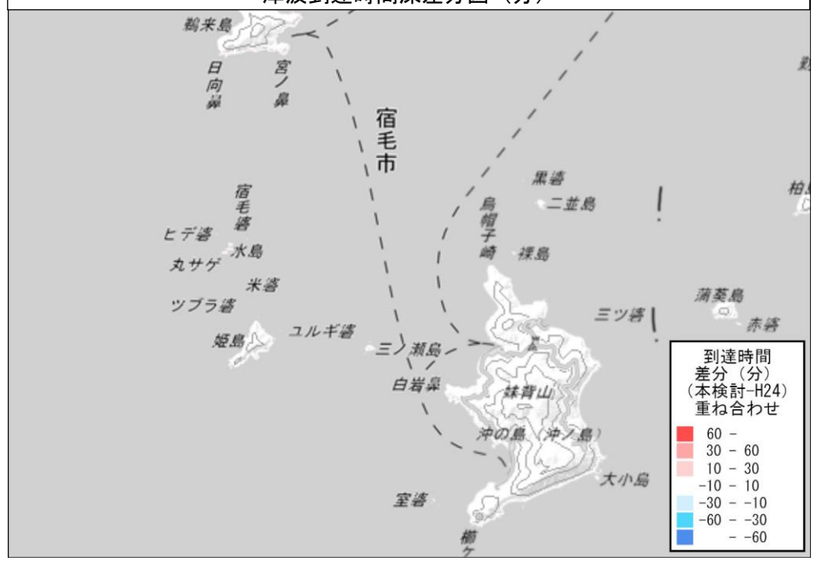
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。耐震整備の計画がない区間については、堤防高を既存施設の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

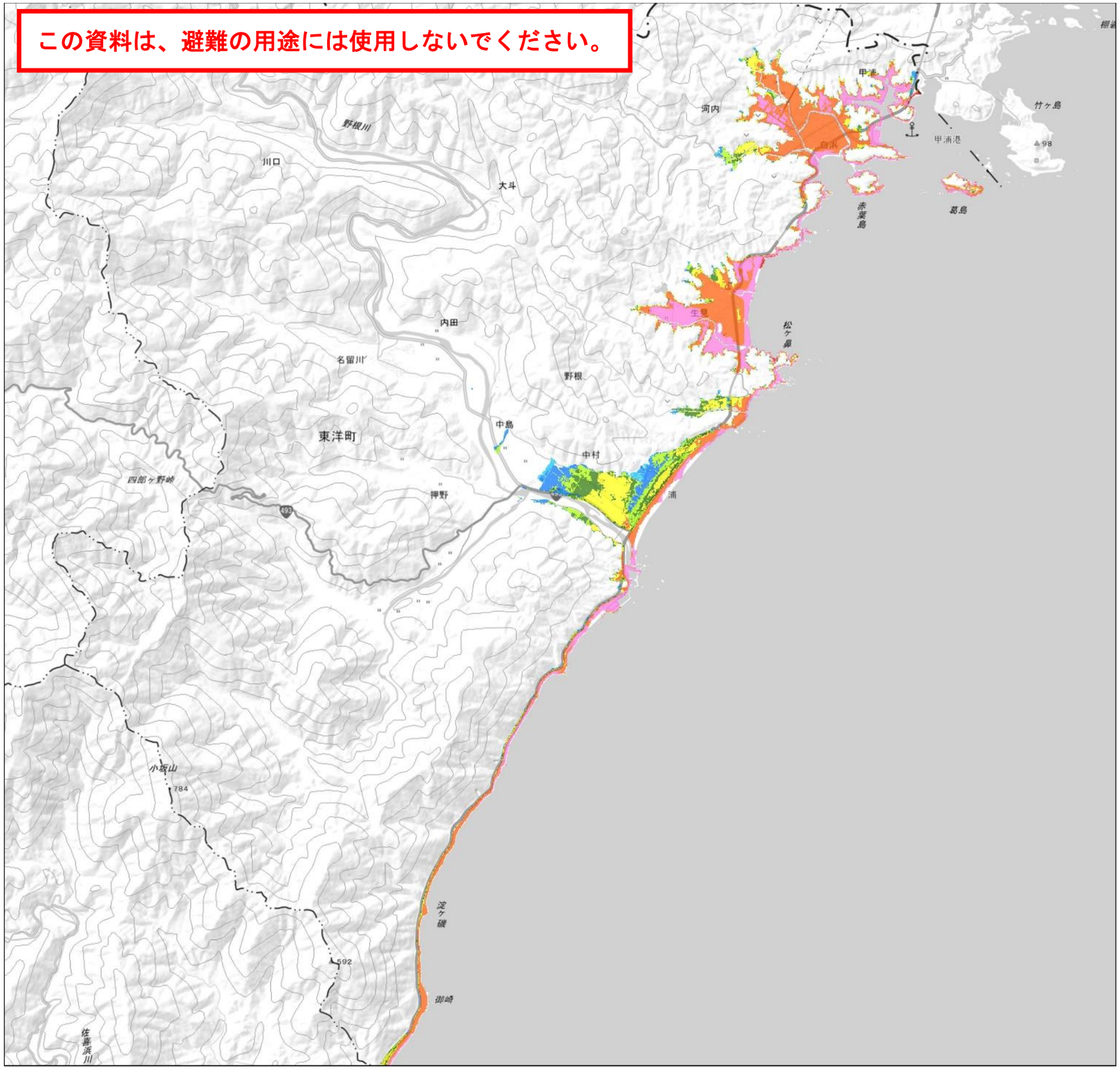
津波到達時間深差分図（分）

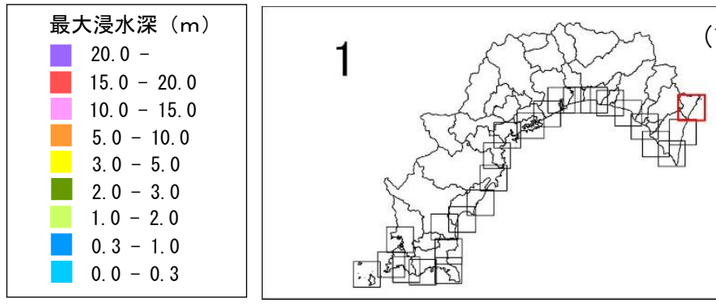


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

1　　東洋町（最大浸水深）

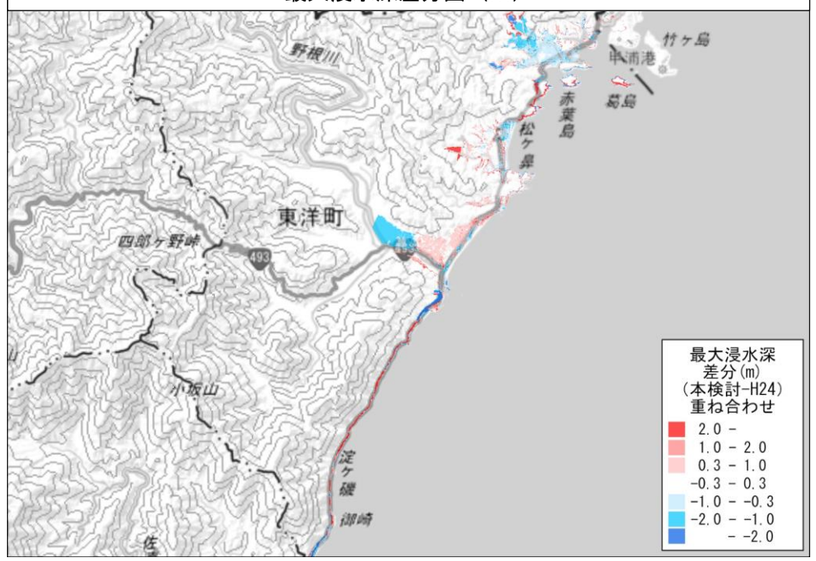




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

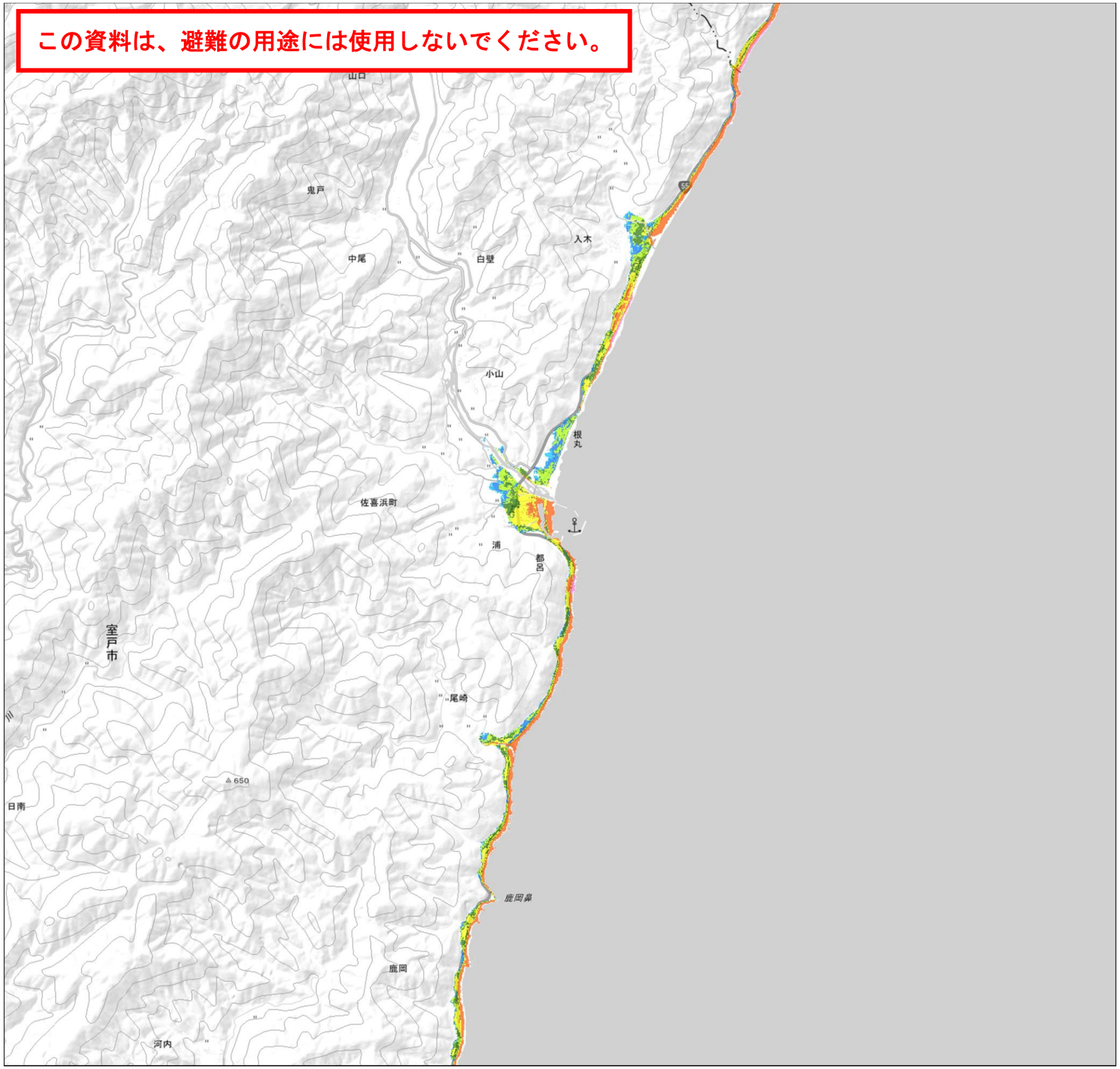
最大浸水深差分図（m）



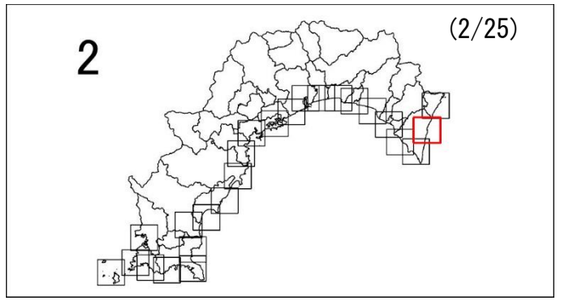
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

2　　室戸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



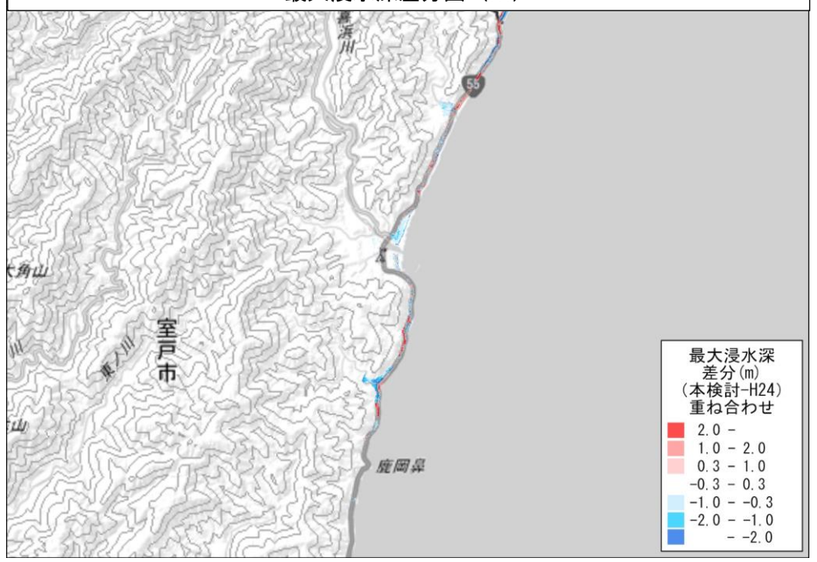
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

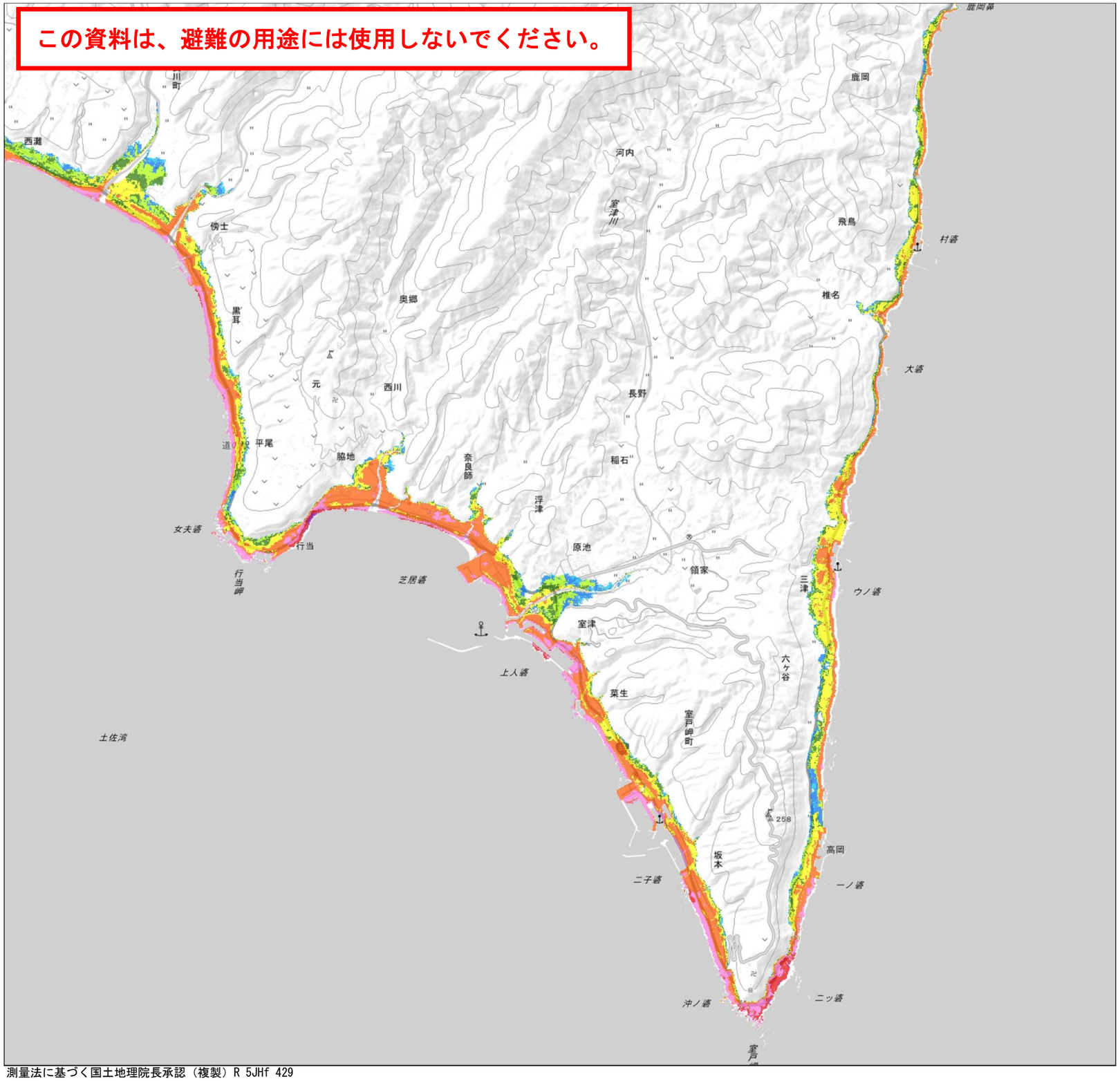


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

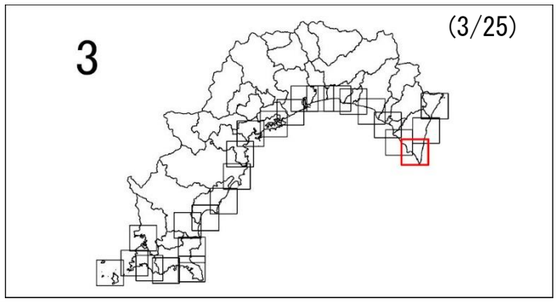
3　　室戸市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

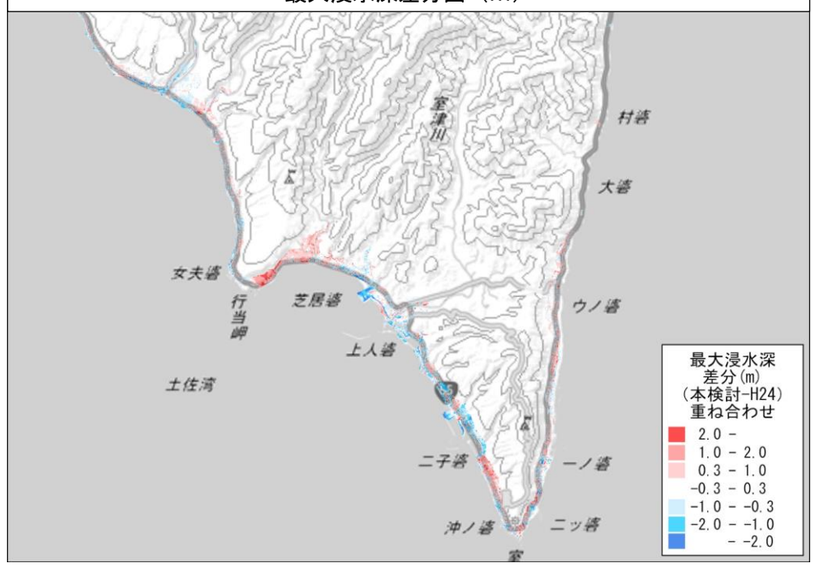
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

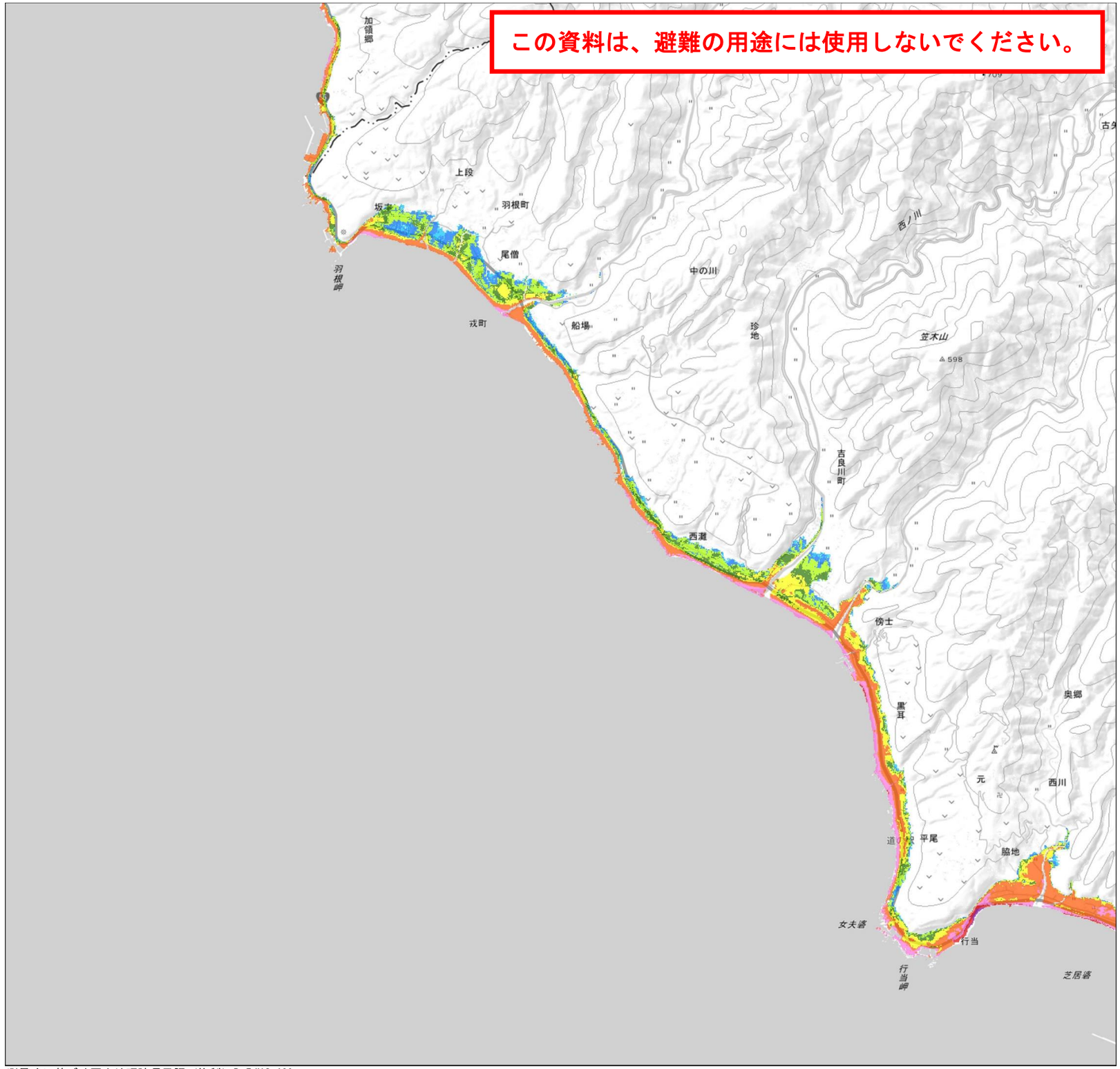
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

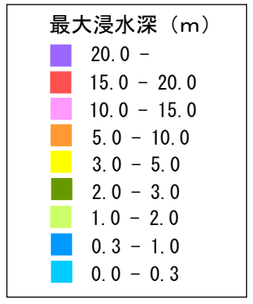
最大浸水深差分図（m）

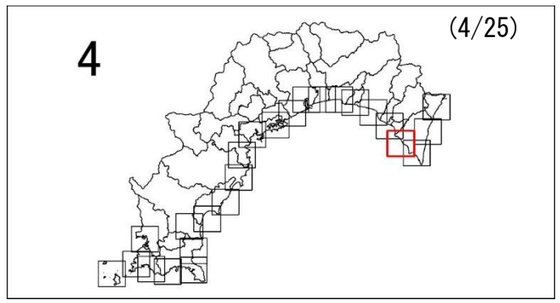


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

4　　室戸市 その３（最大浸水深）



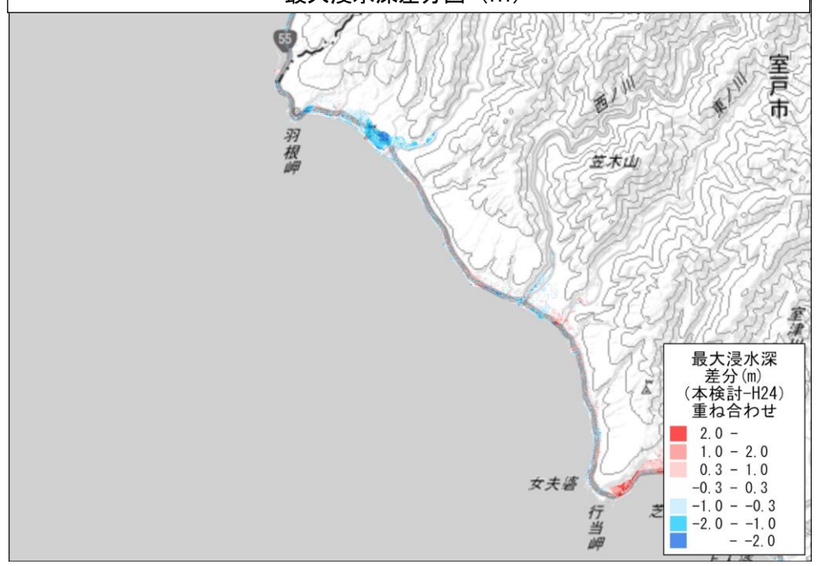




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

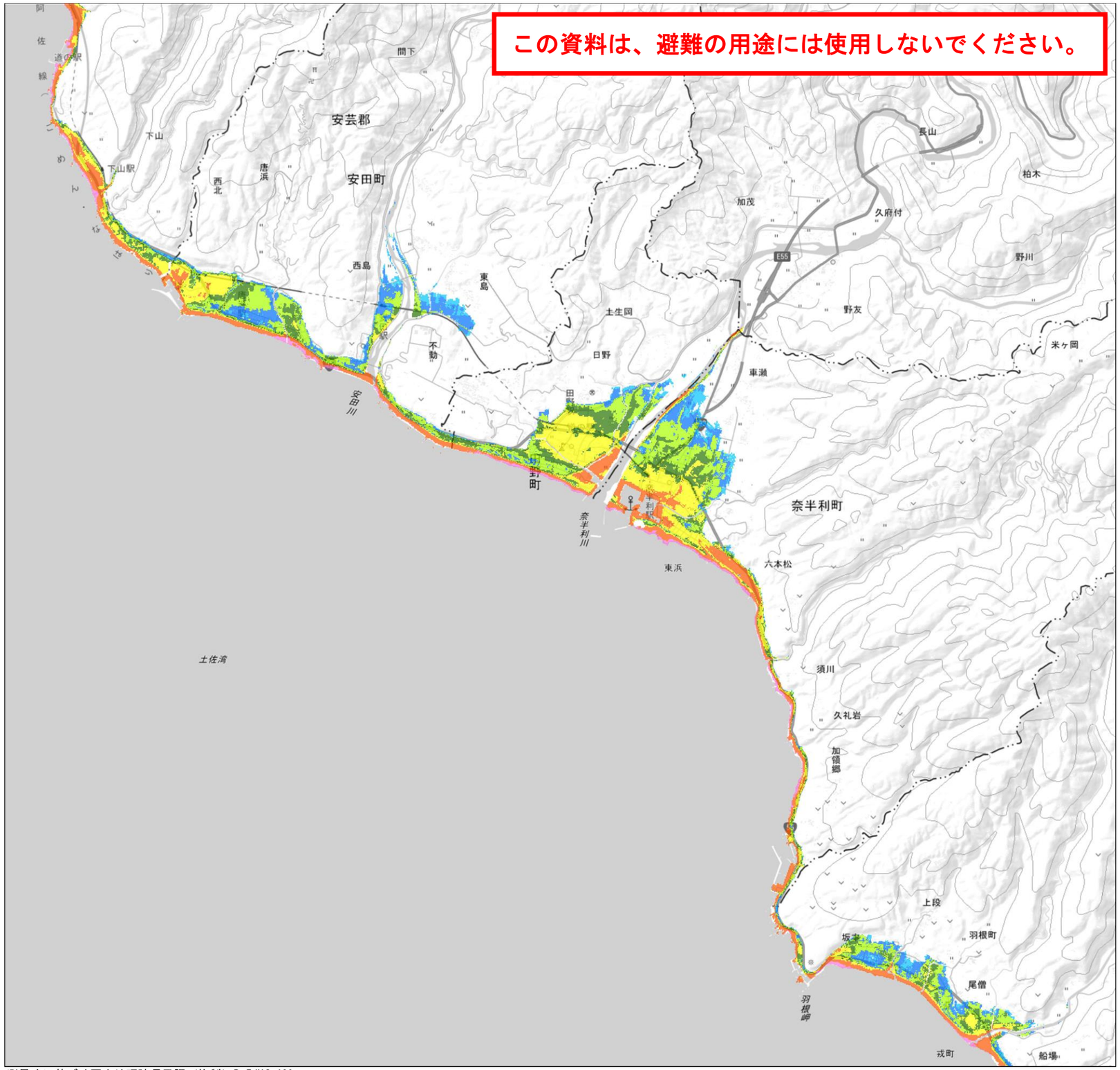
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

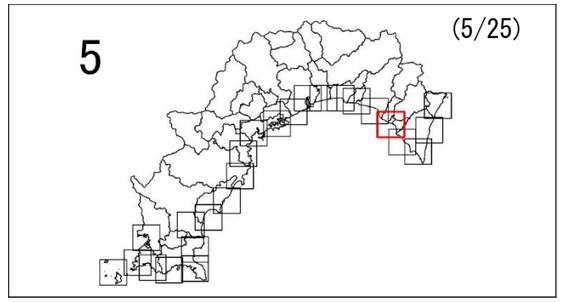
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（最大浸水深）



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

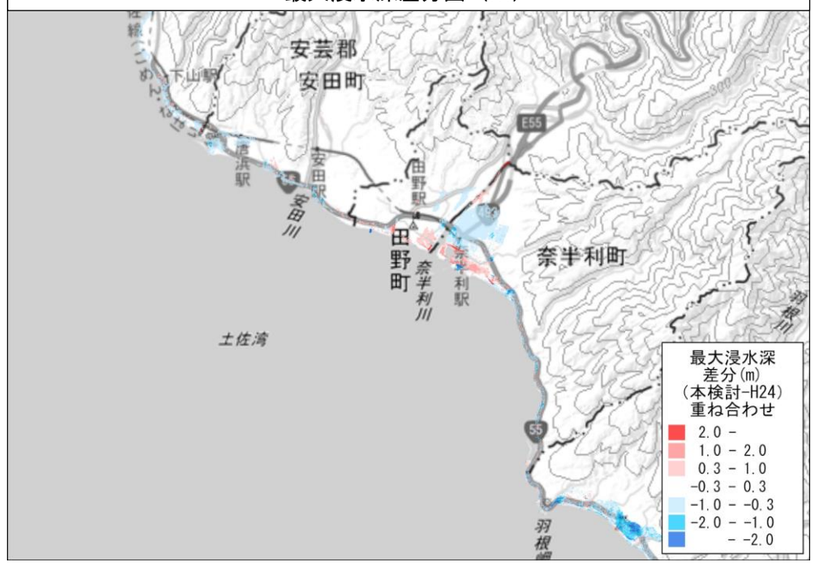
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

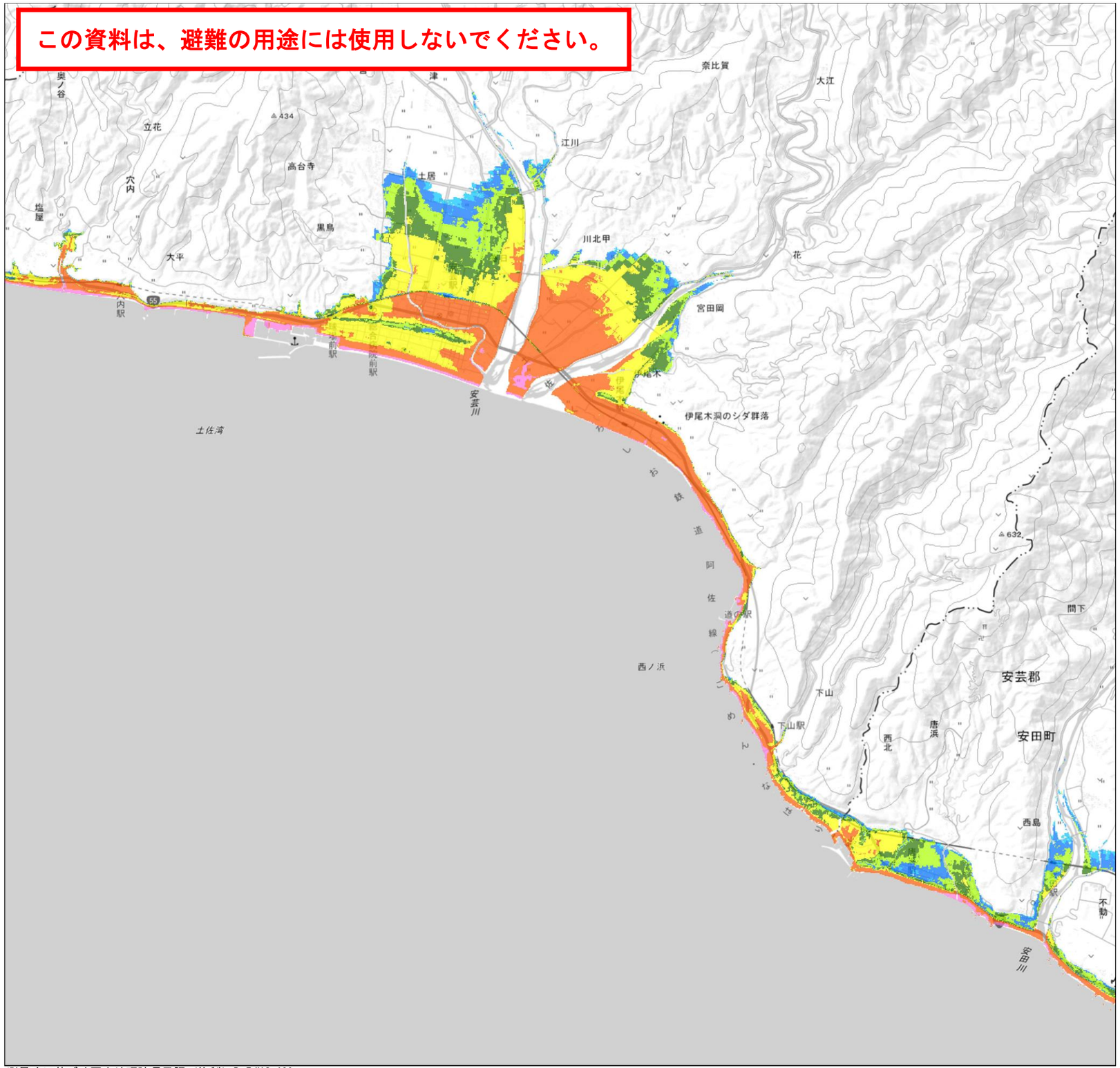


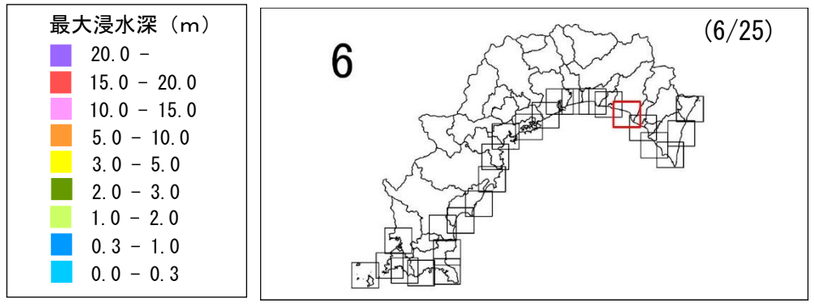
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

6　　安芸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

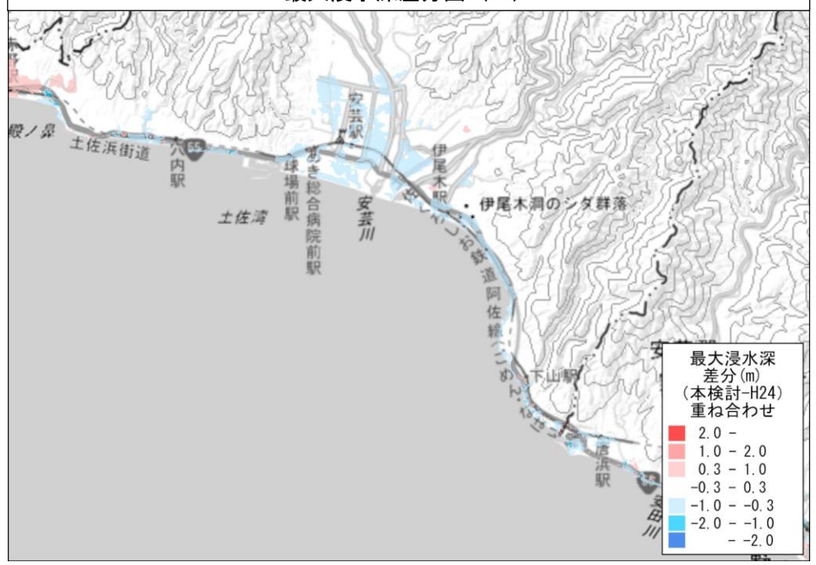




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

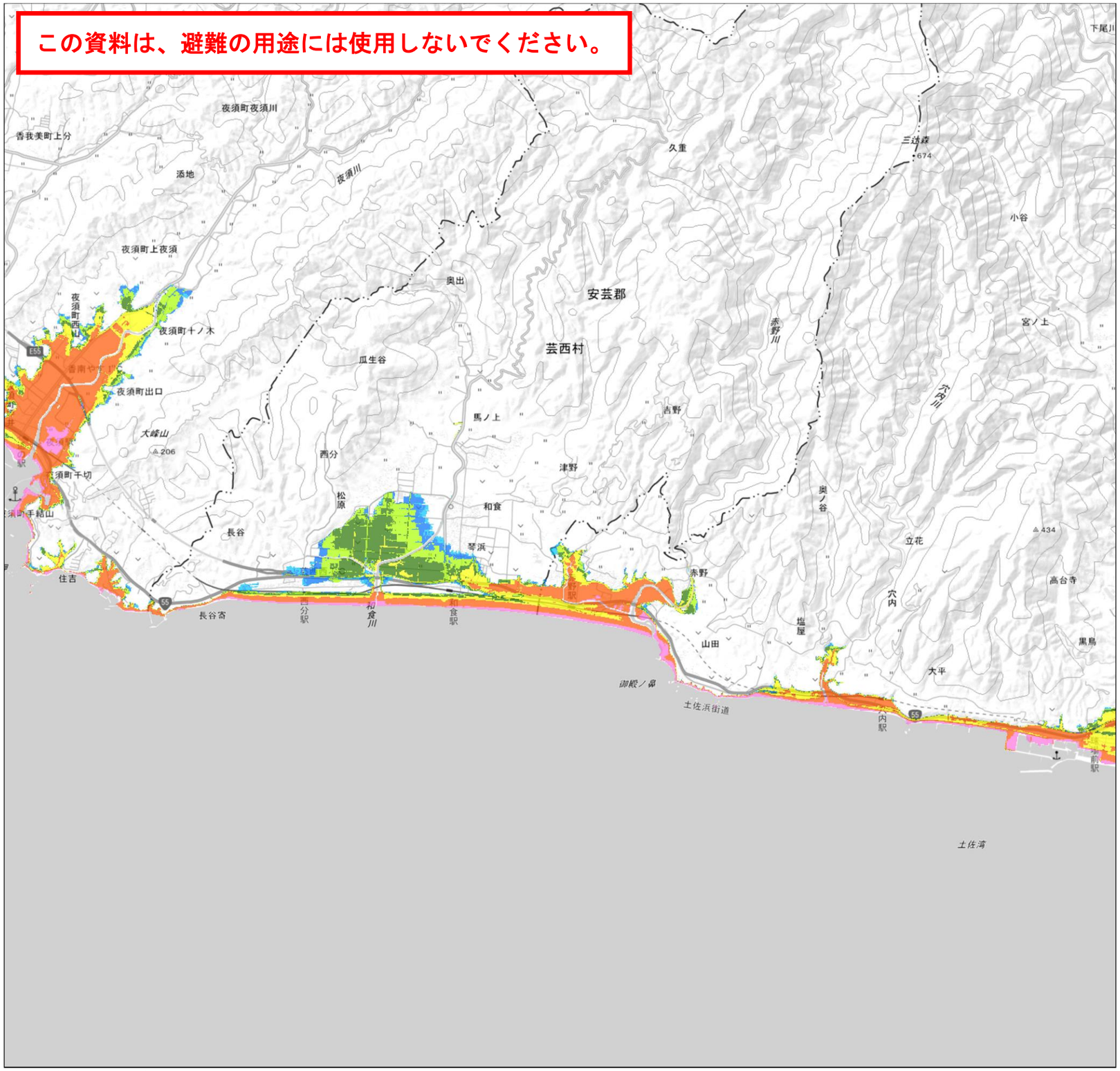


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

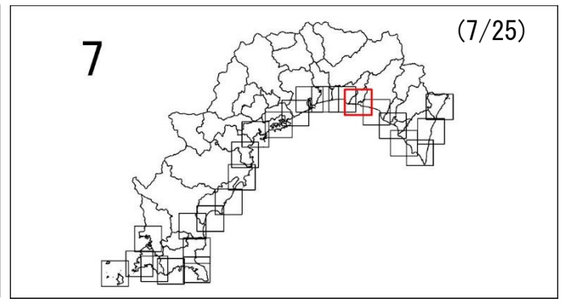
7　　安芸市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

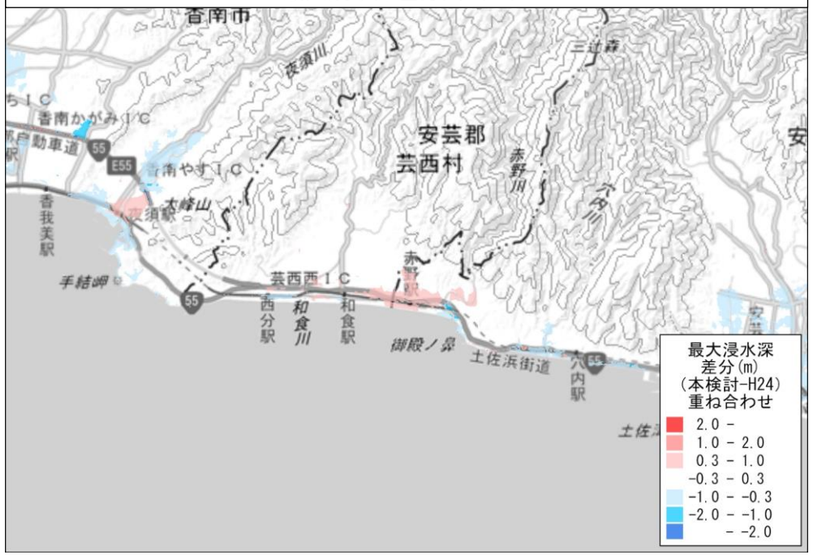
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

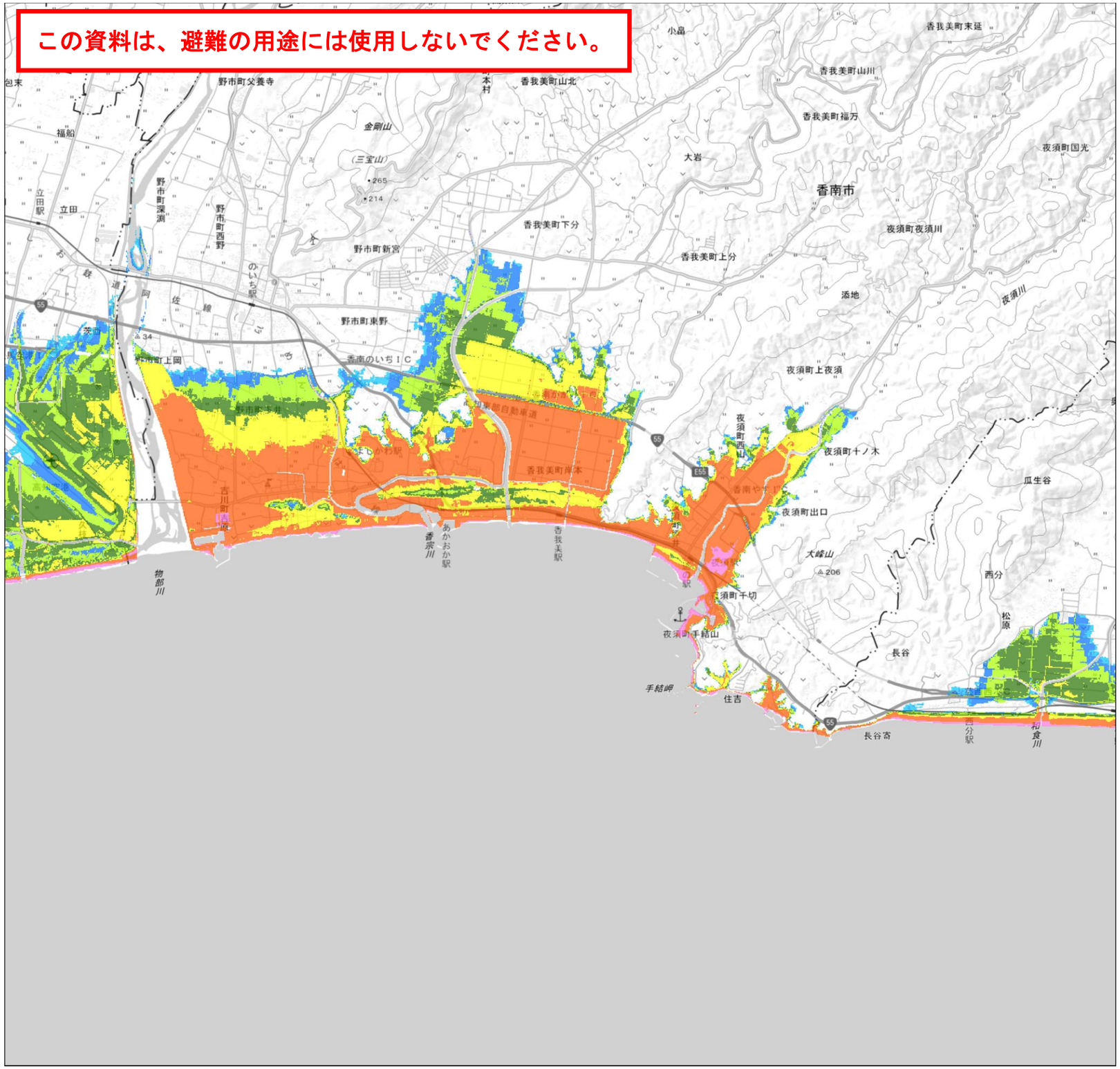


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

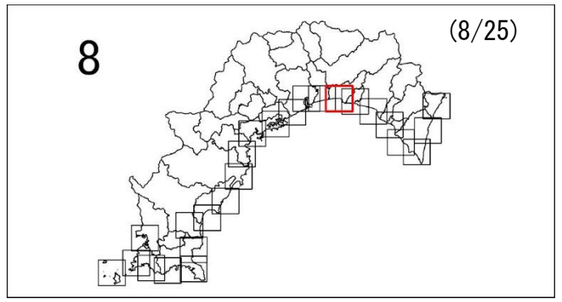
8　　香南市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

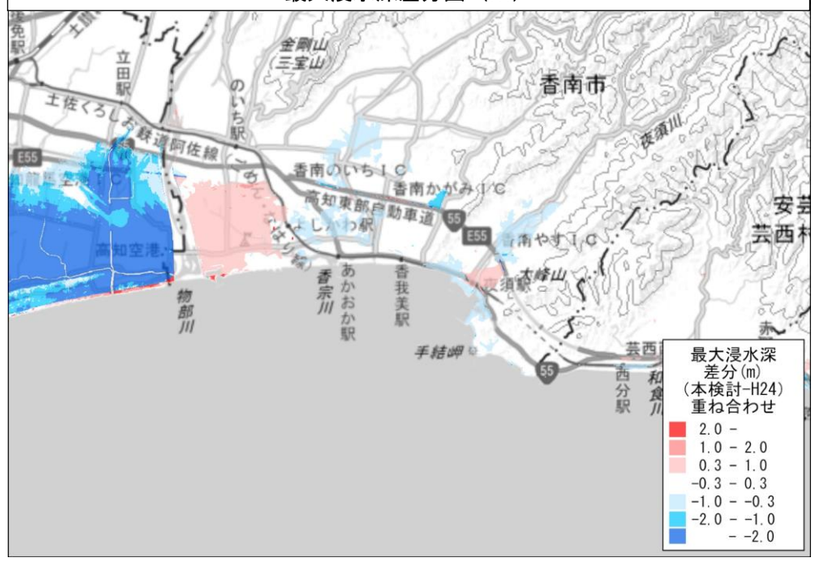
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

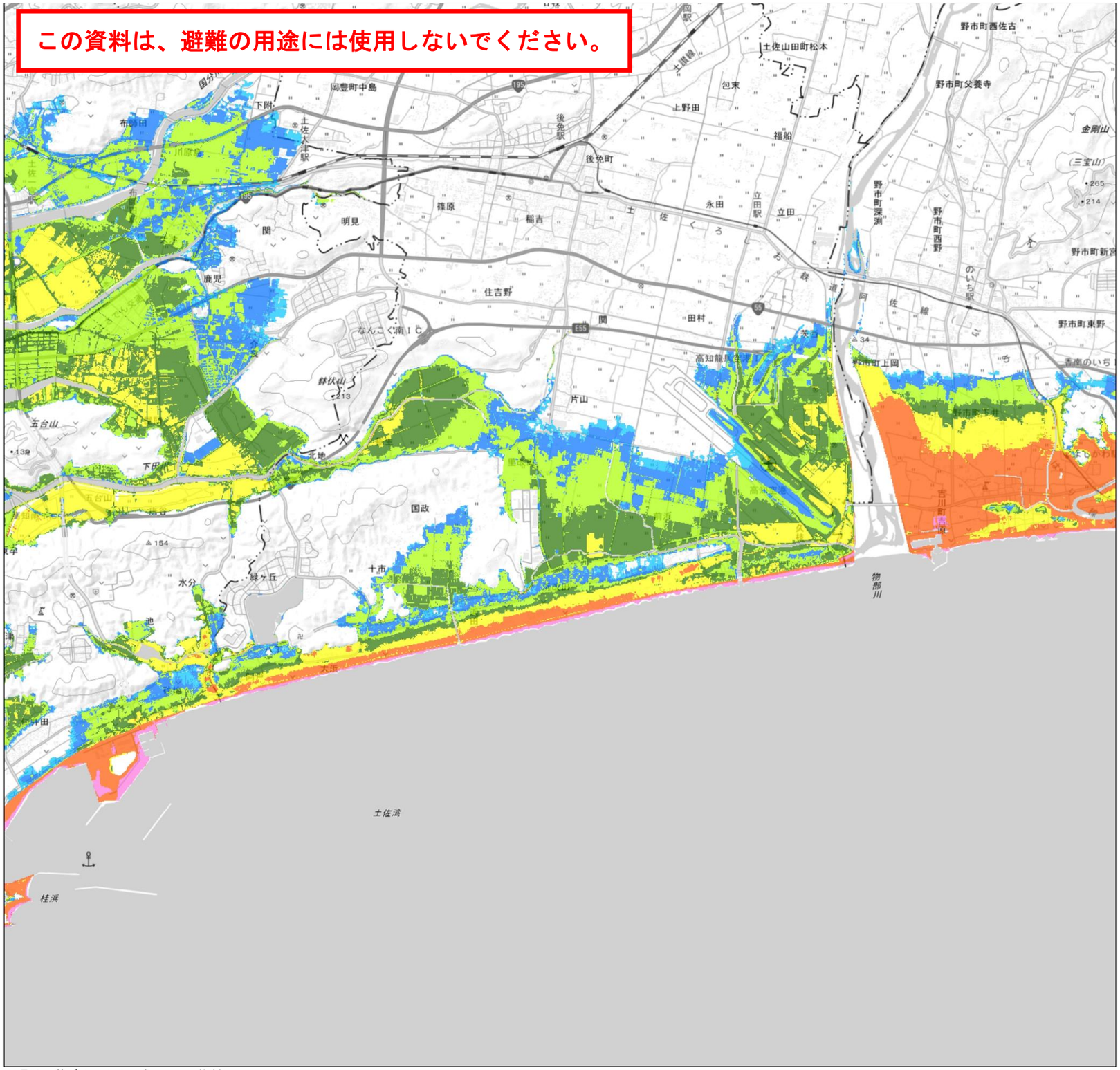


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

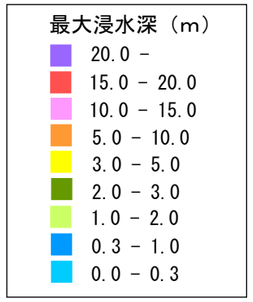
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

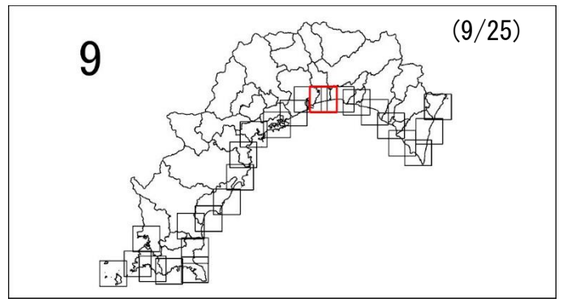
9　　南国市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

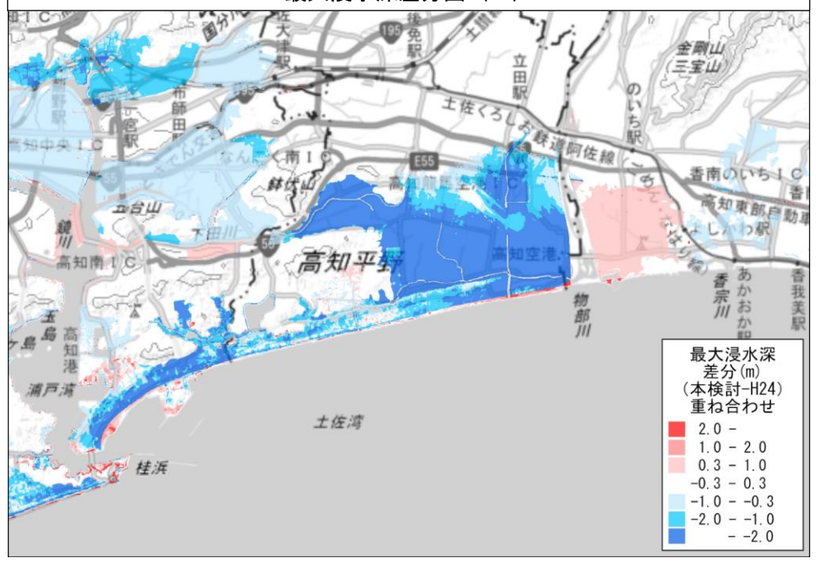




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

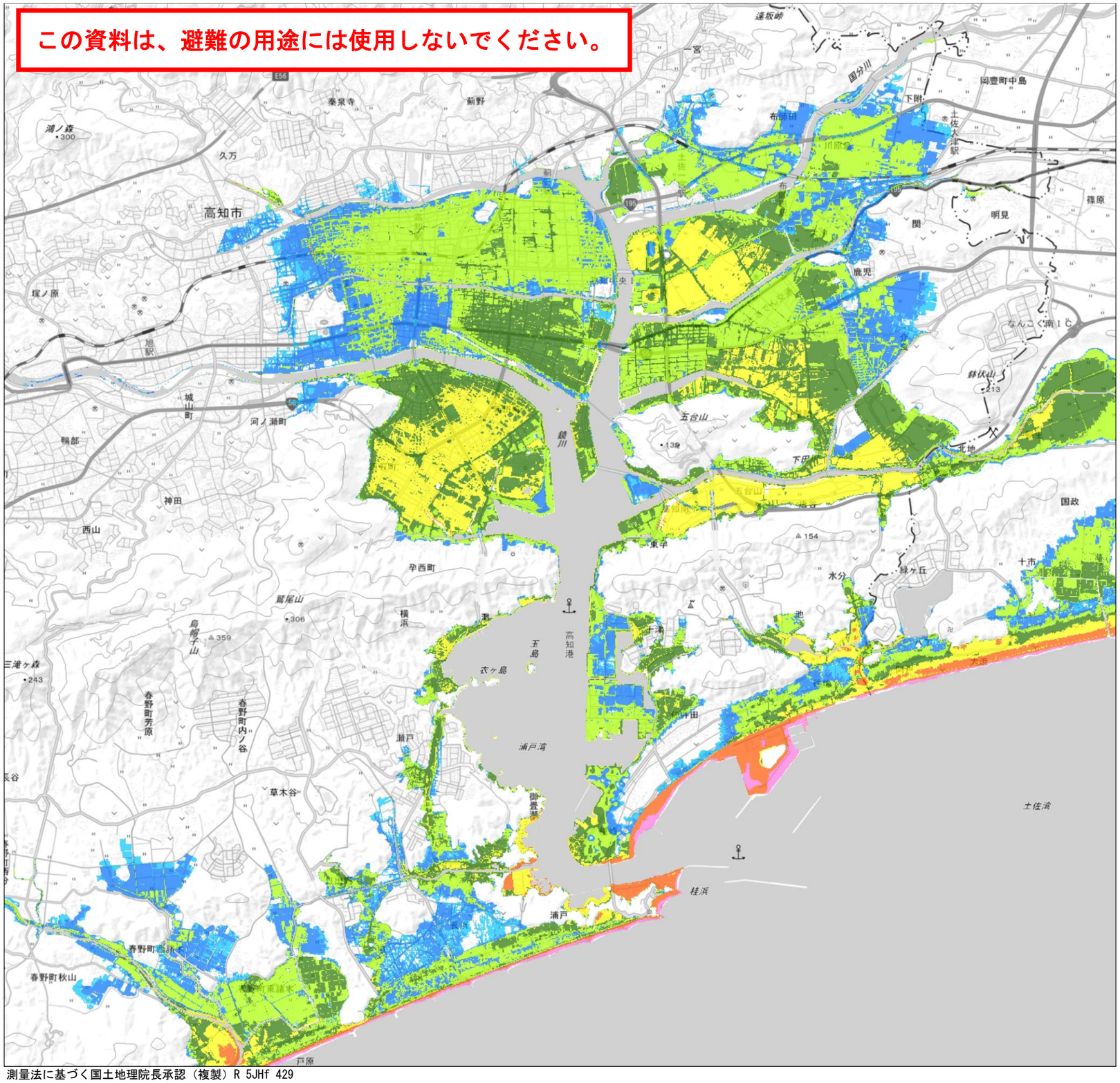
最大浸水深差分図（m）



【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

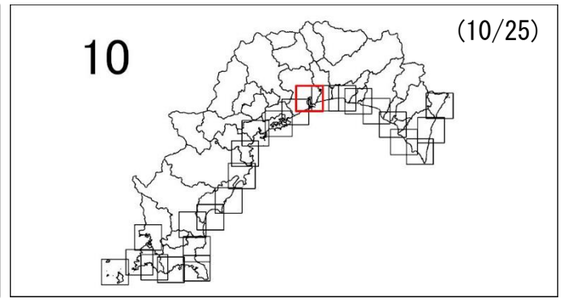
10　　高知市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

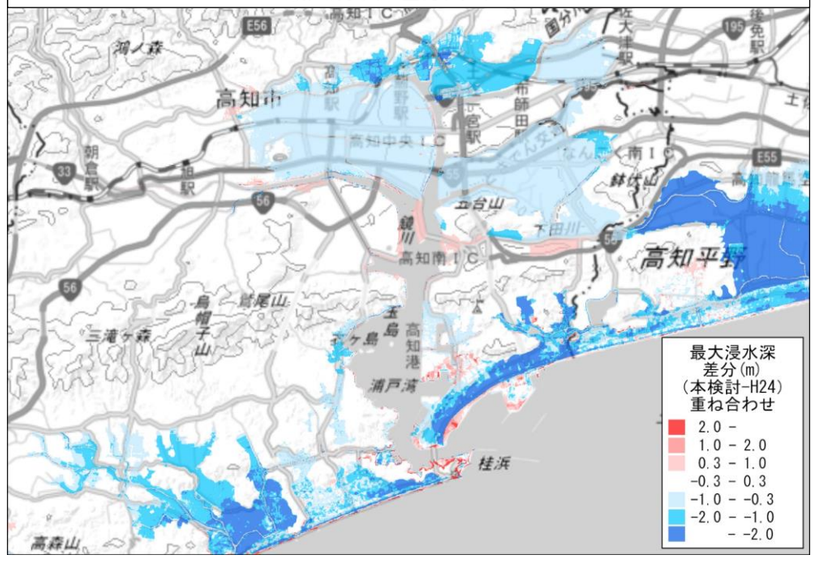
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

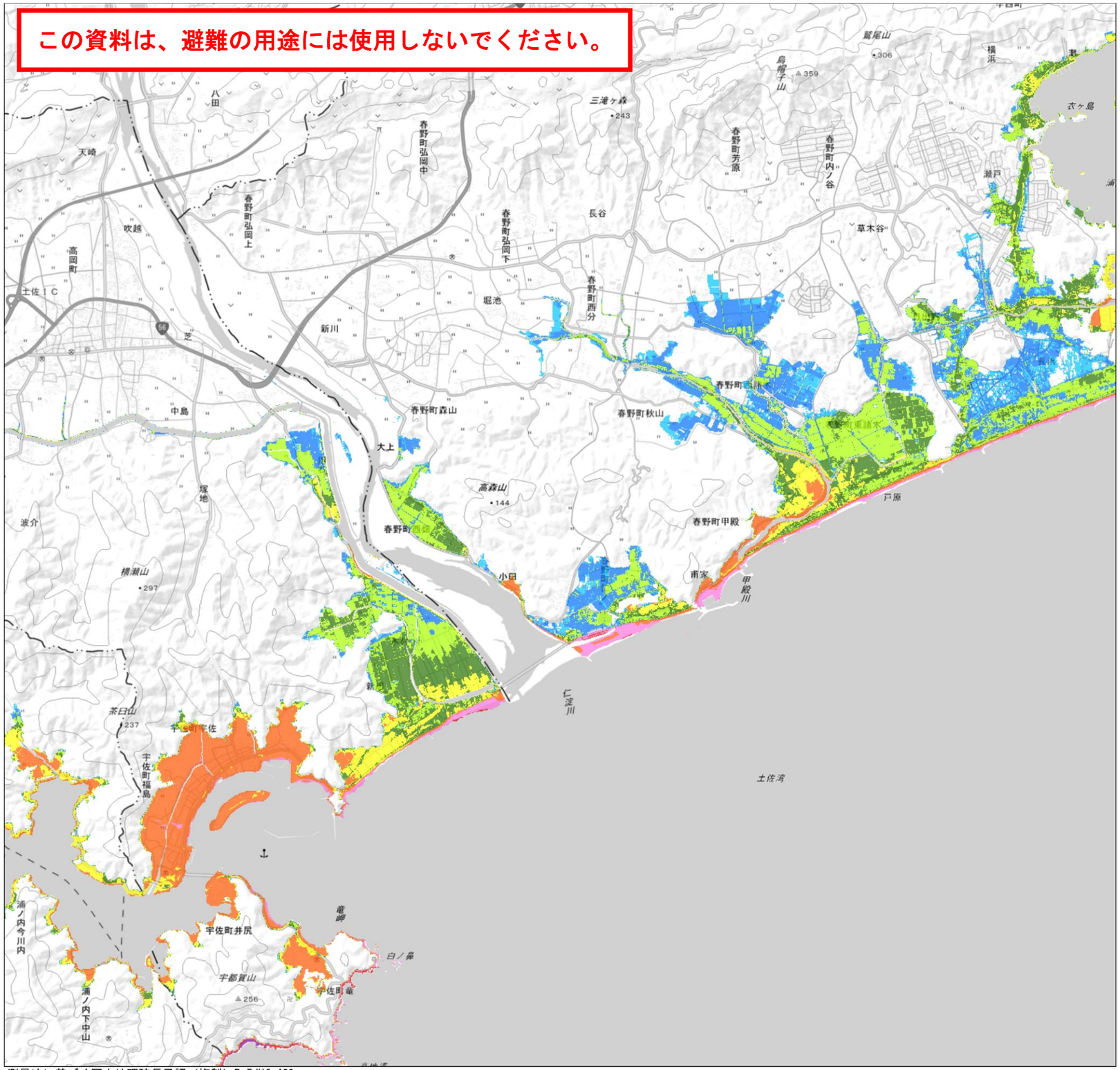


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

11　　高知市　土佐市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

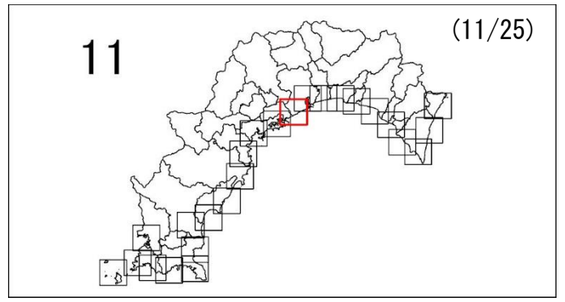


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

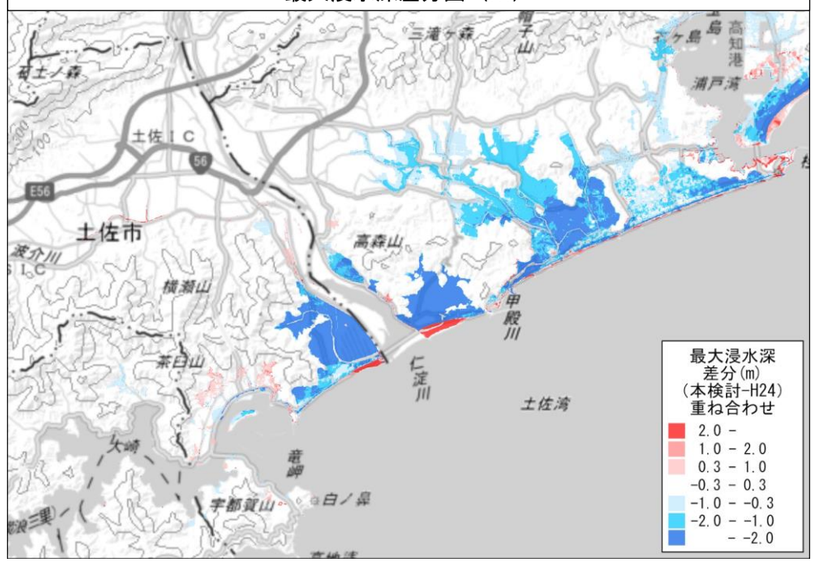
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

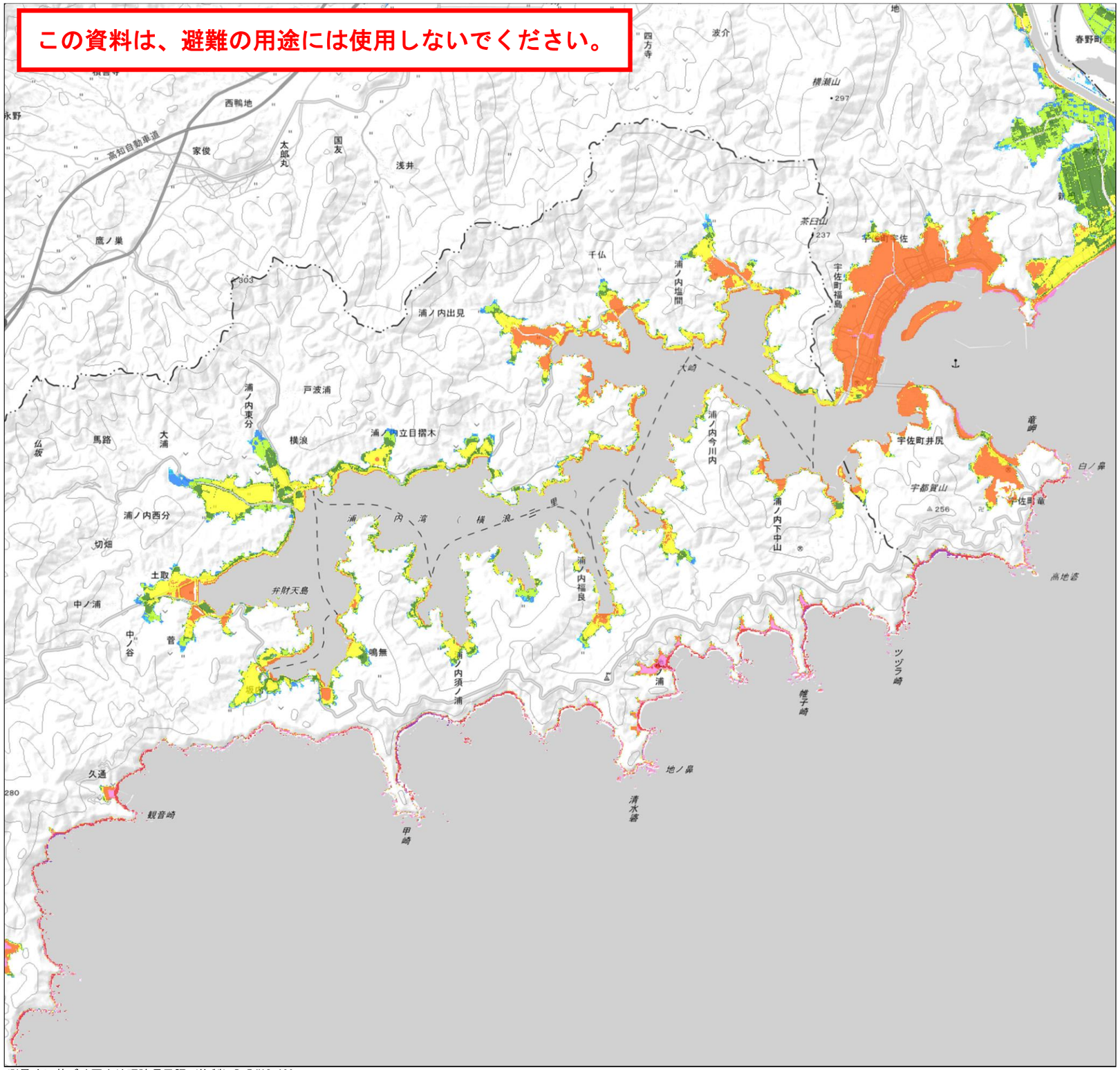
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

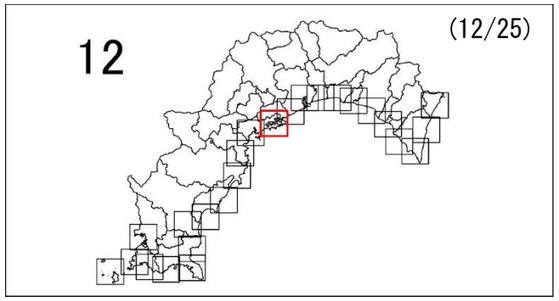


12　須崎市 その１（最大浸水深）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

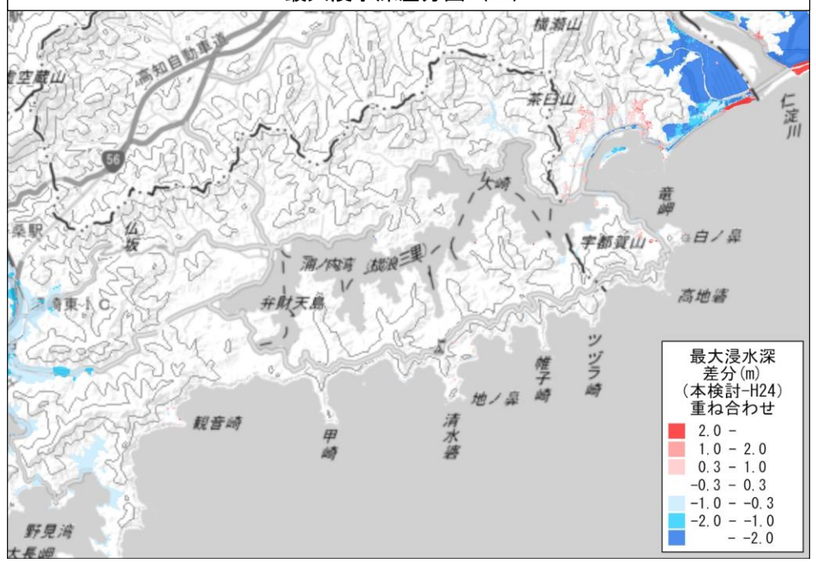
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

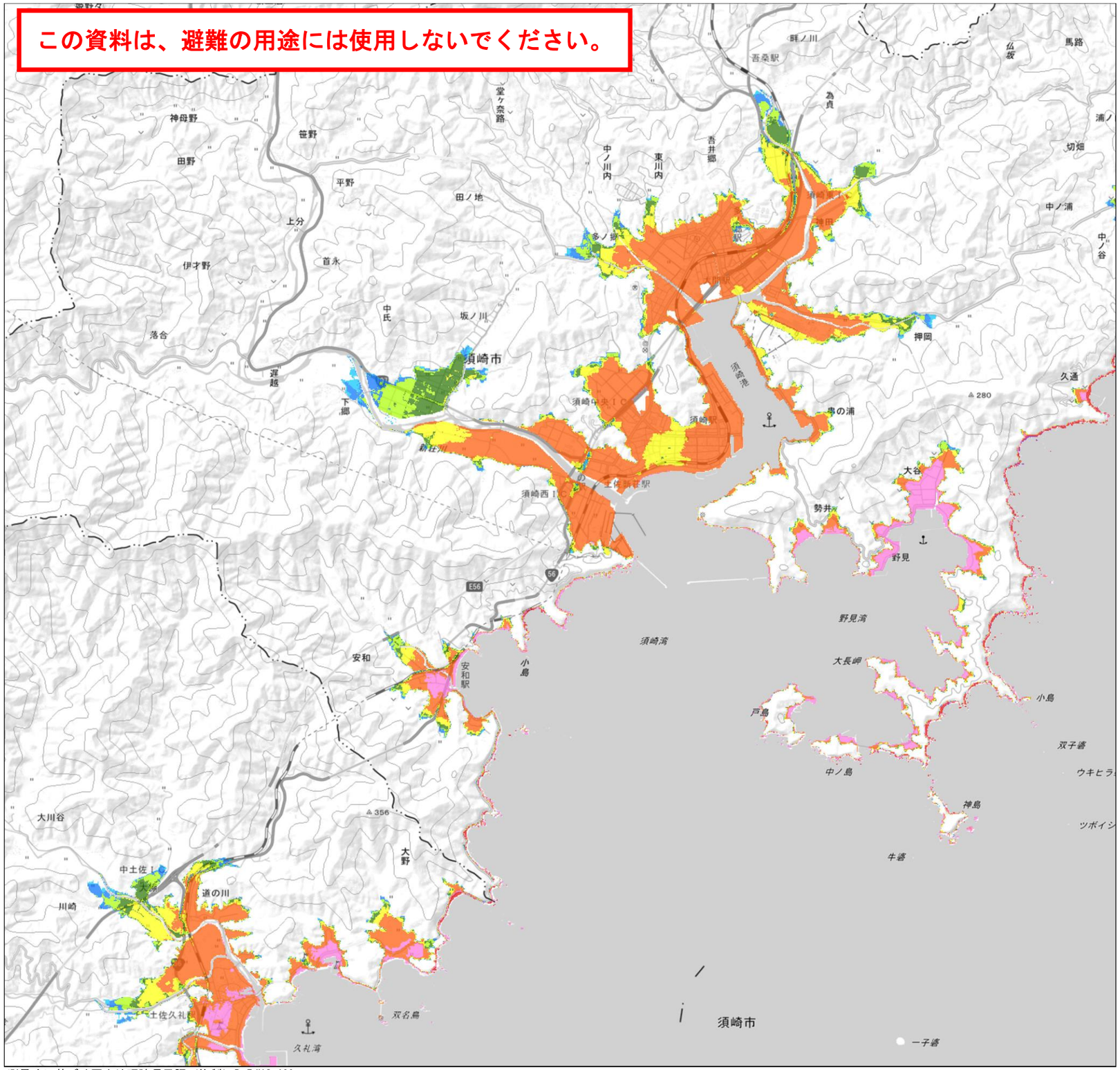
最大浸水深差分図（m）



【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

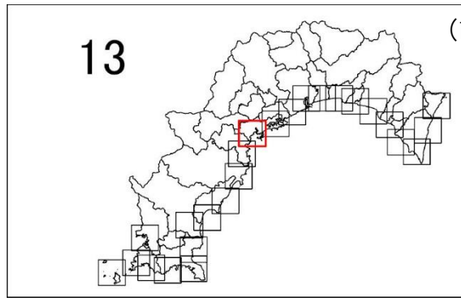
13　須崎市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

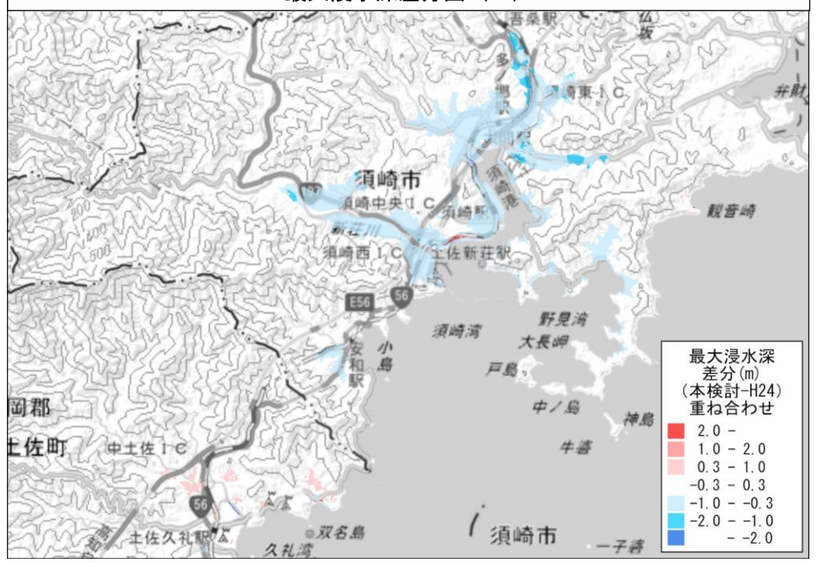
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

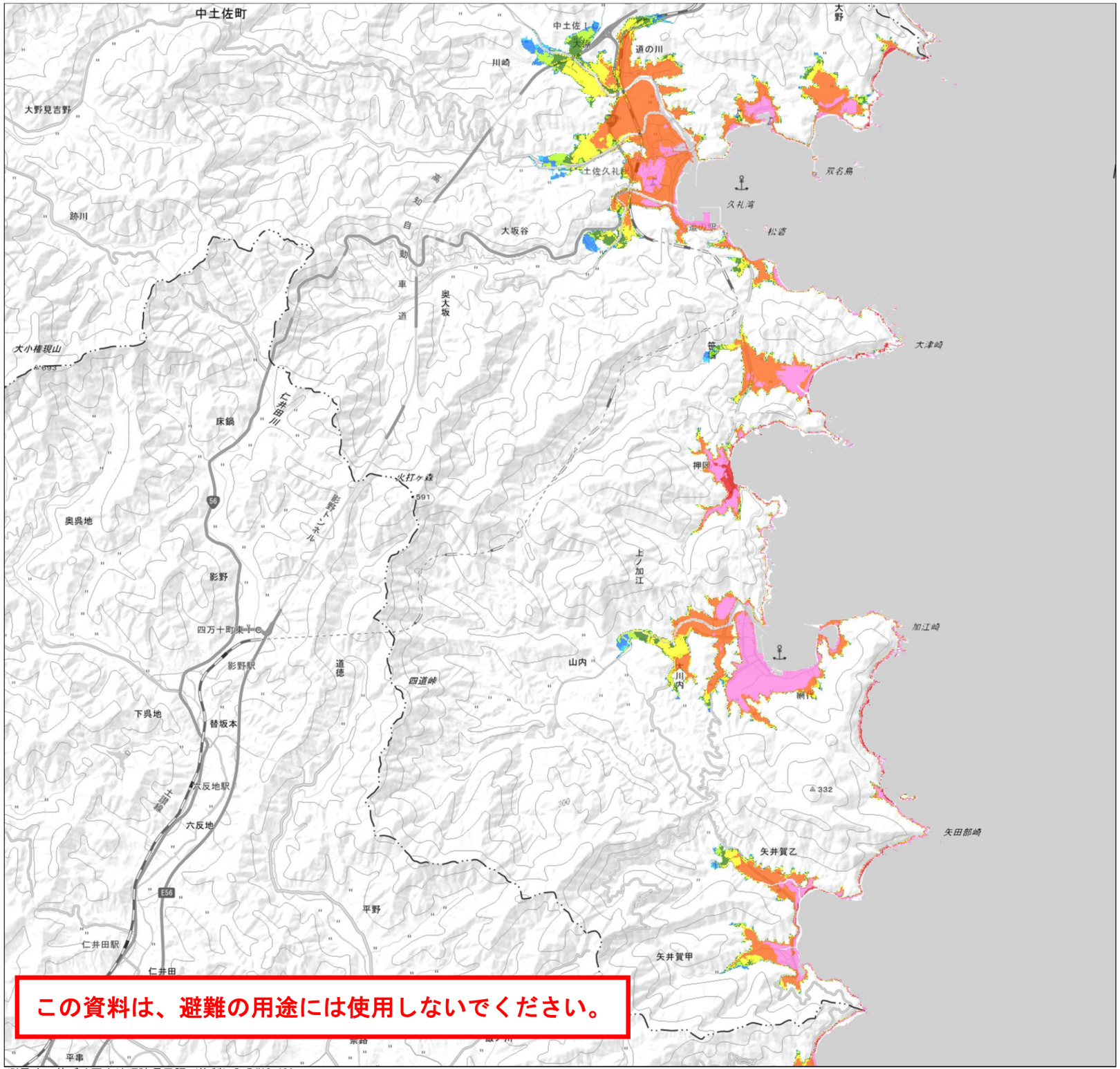
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

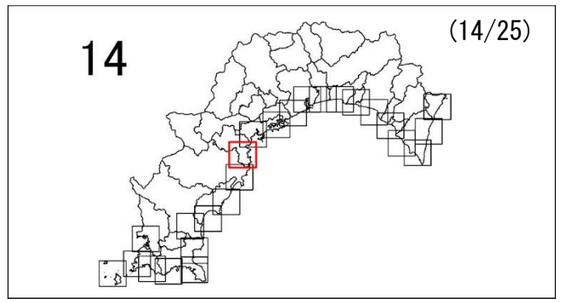
14　　中土佐町（最大浸水深）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

最大浸水深（m）

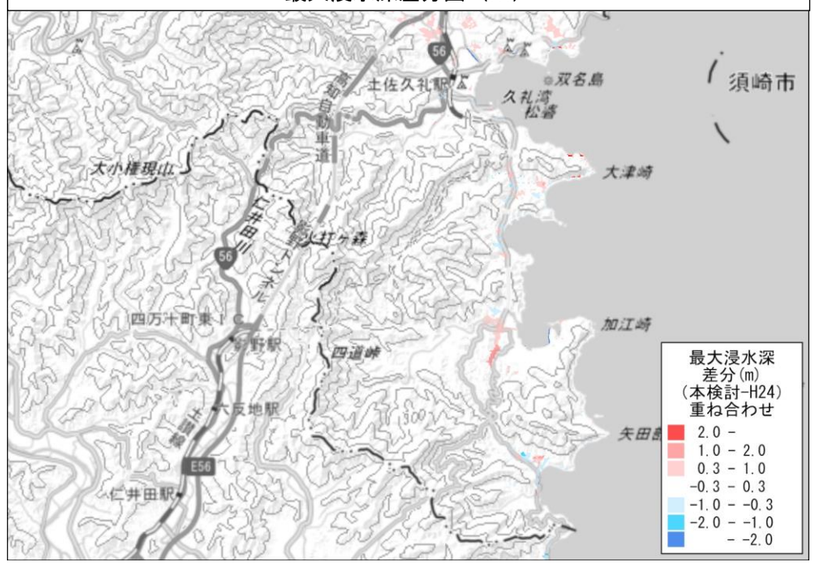
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



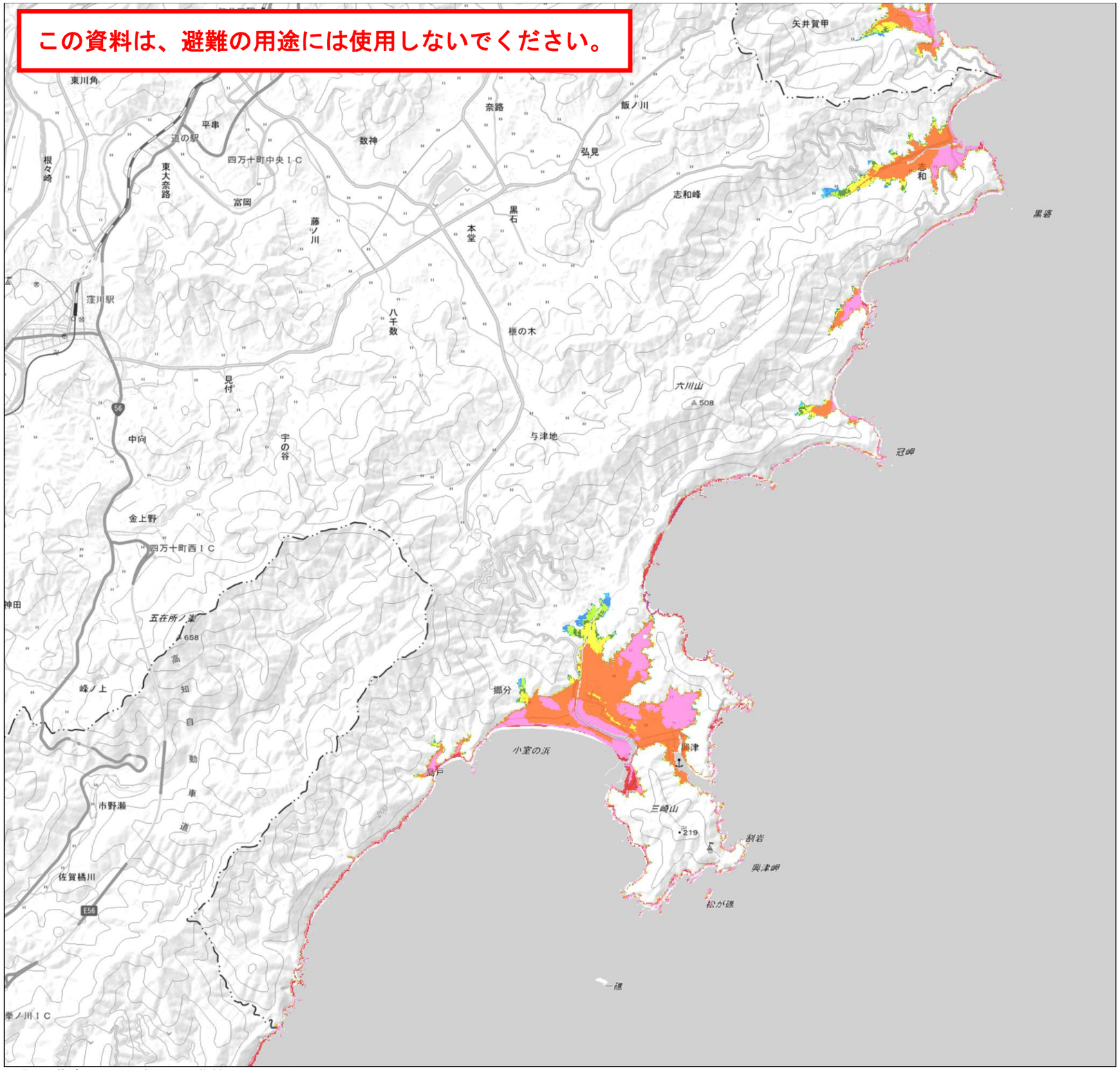
（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

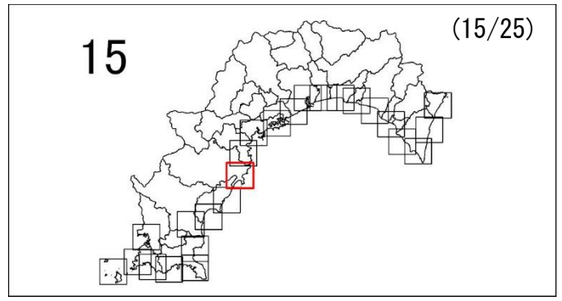


15　四万十町（最大浸水深）



最大浸水深（m）

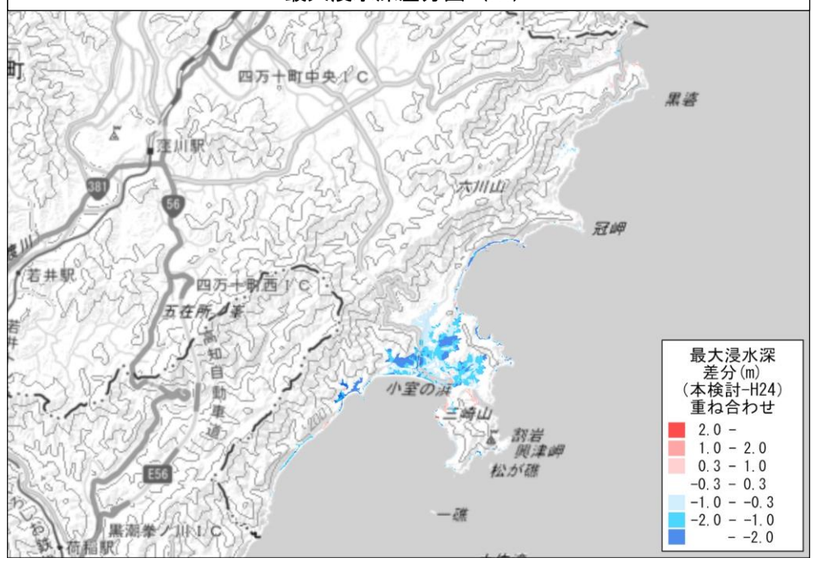
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

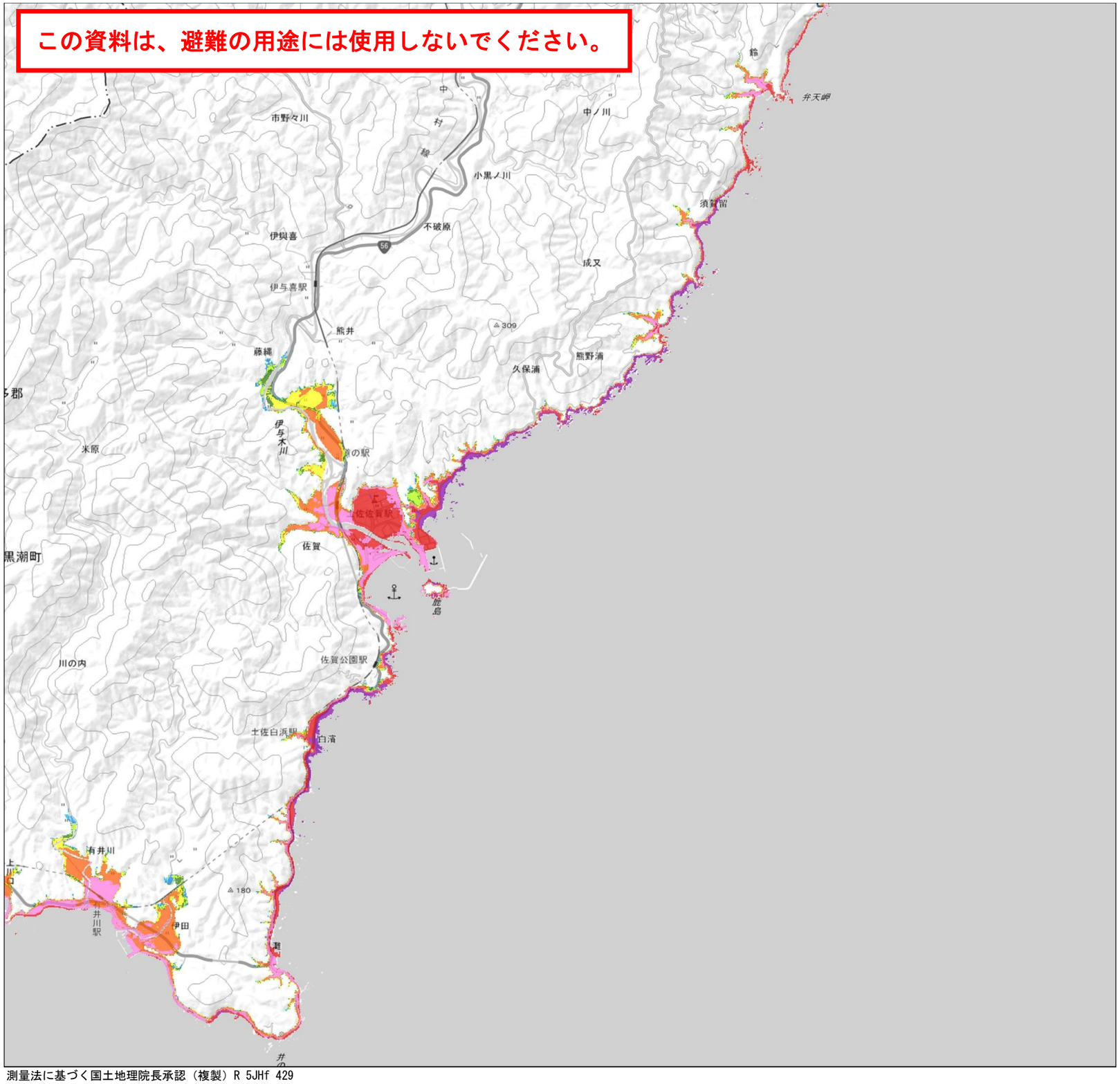


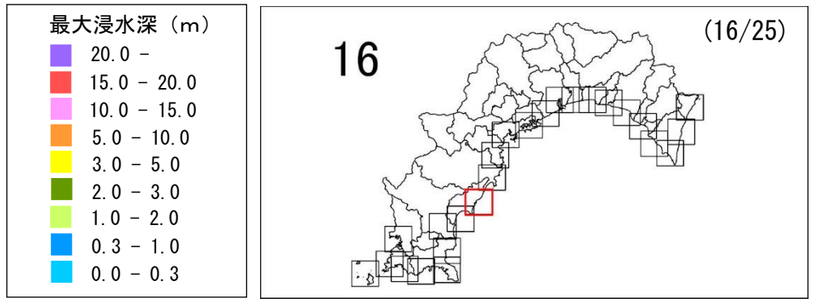
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

16　　黒潮町　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

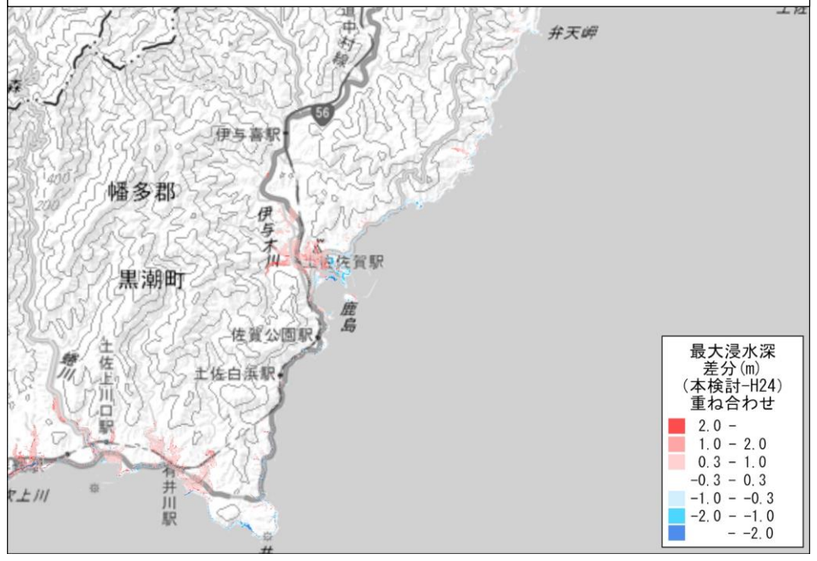
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

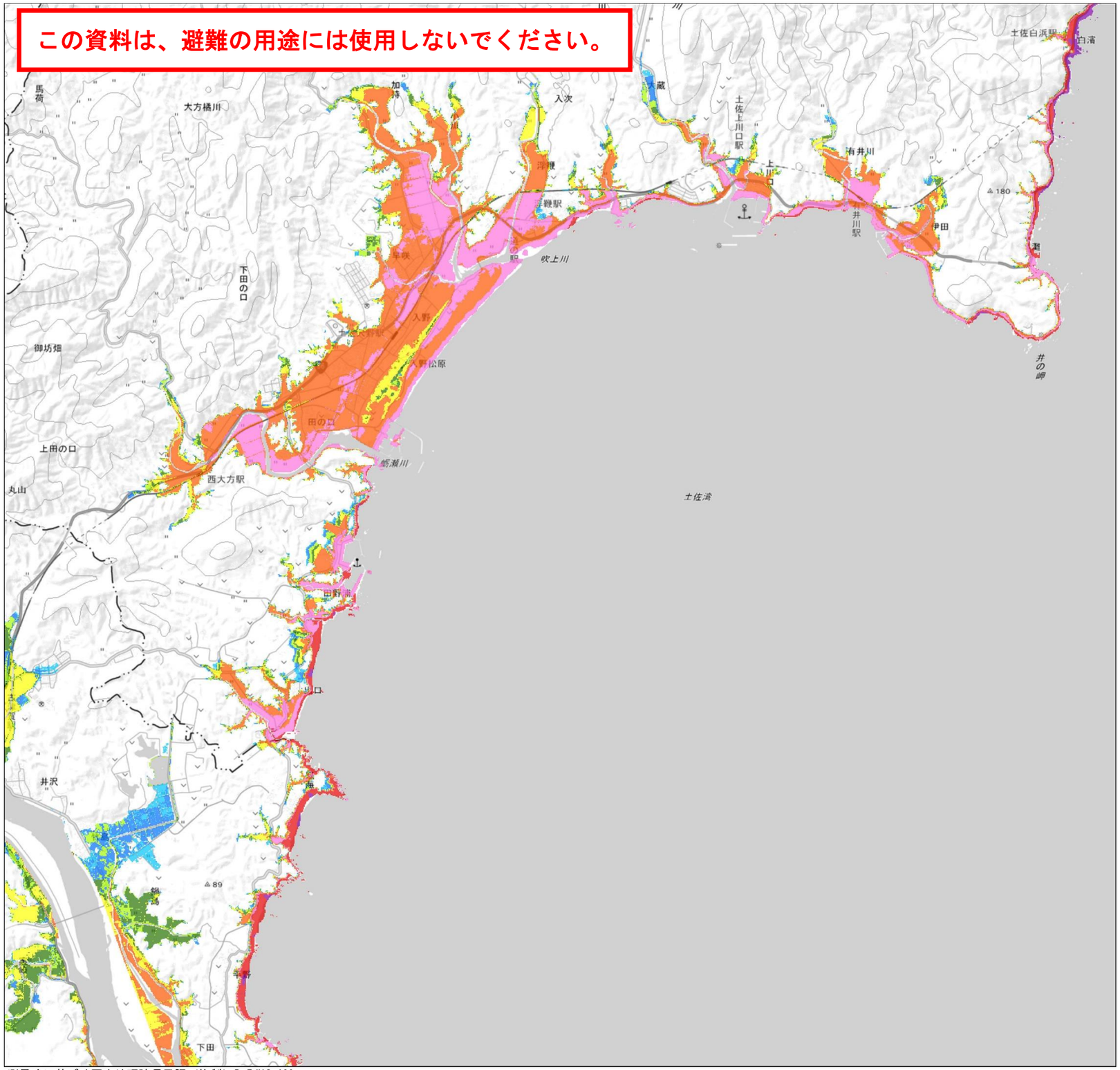
最大浸水深差分図（m）



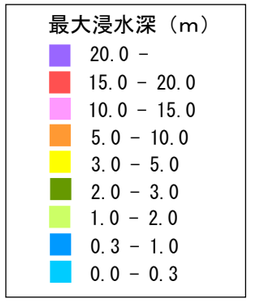
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

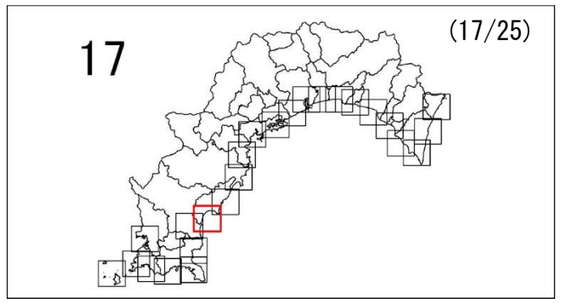
17　黒潮町　その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

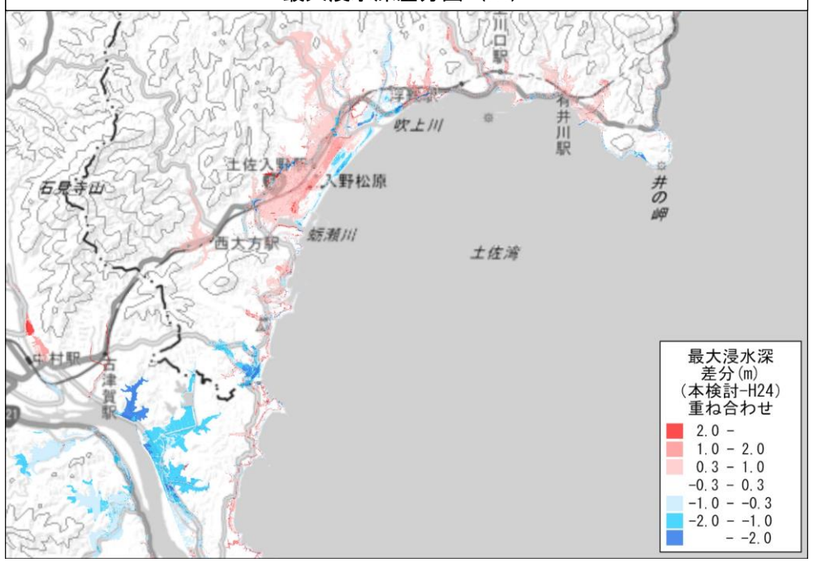




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

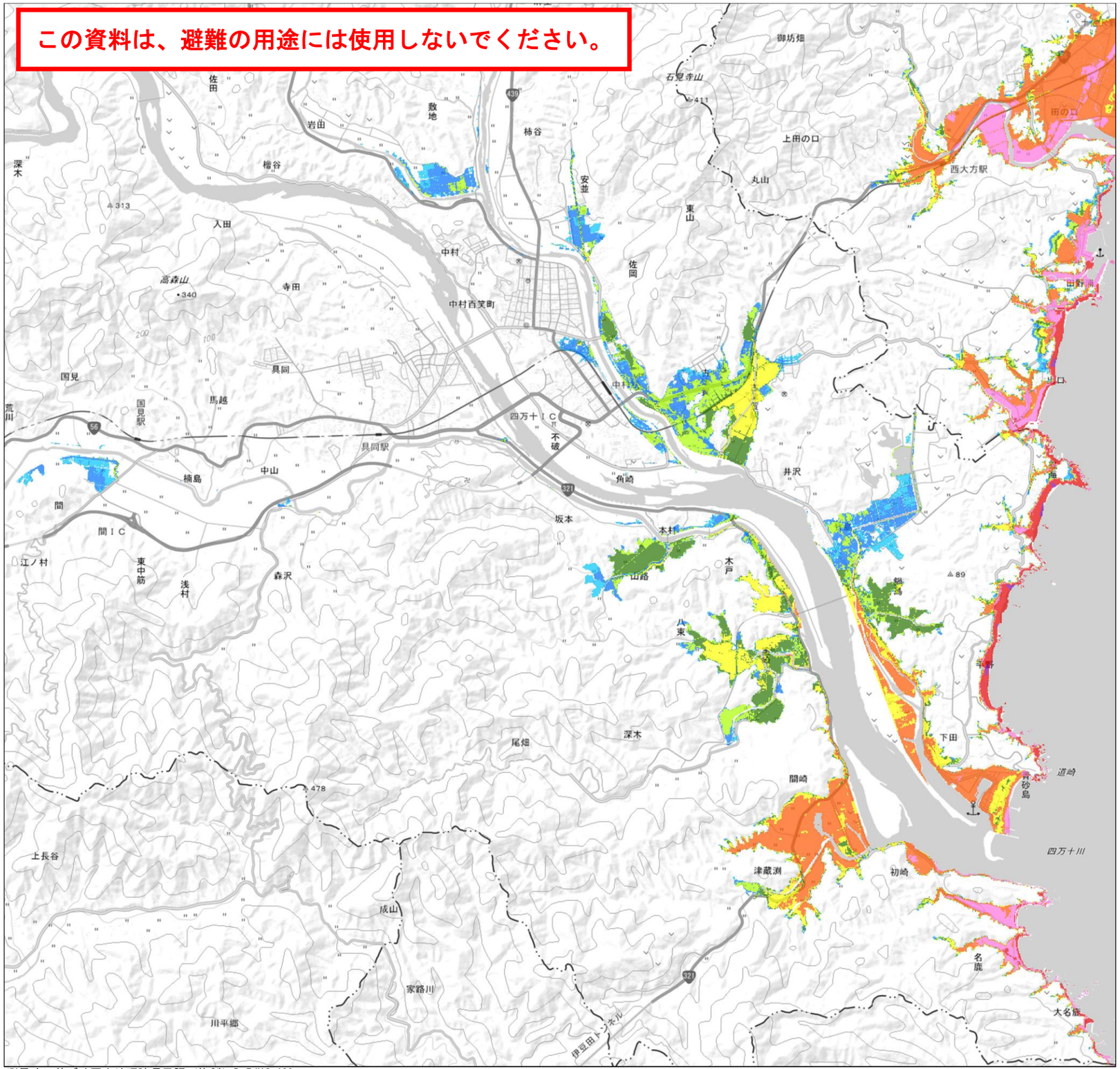
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



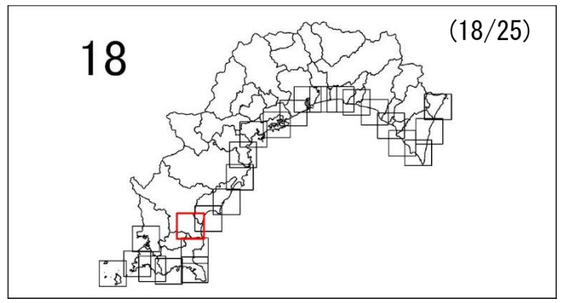
18　　四万十市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

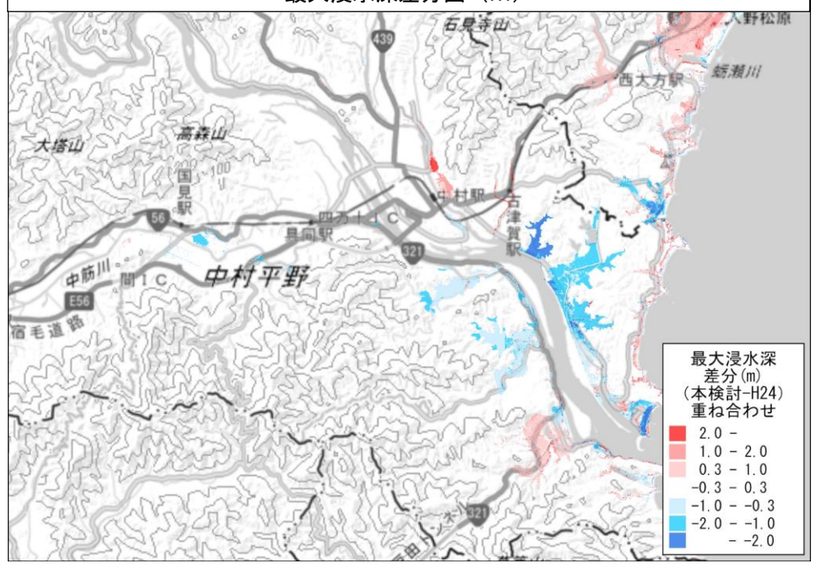
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

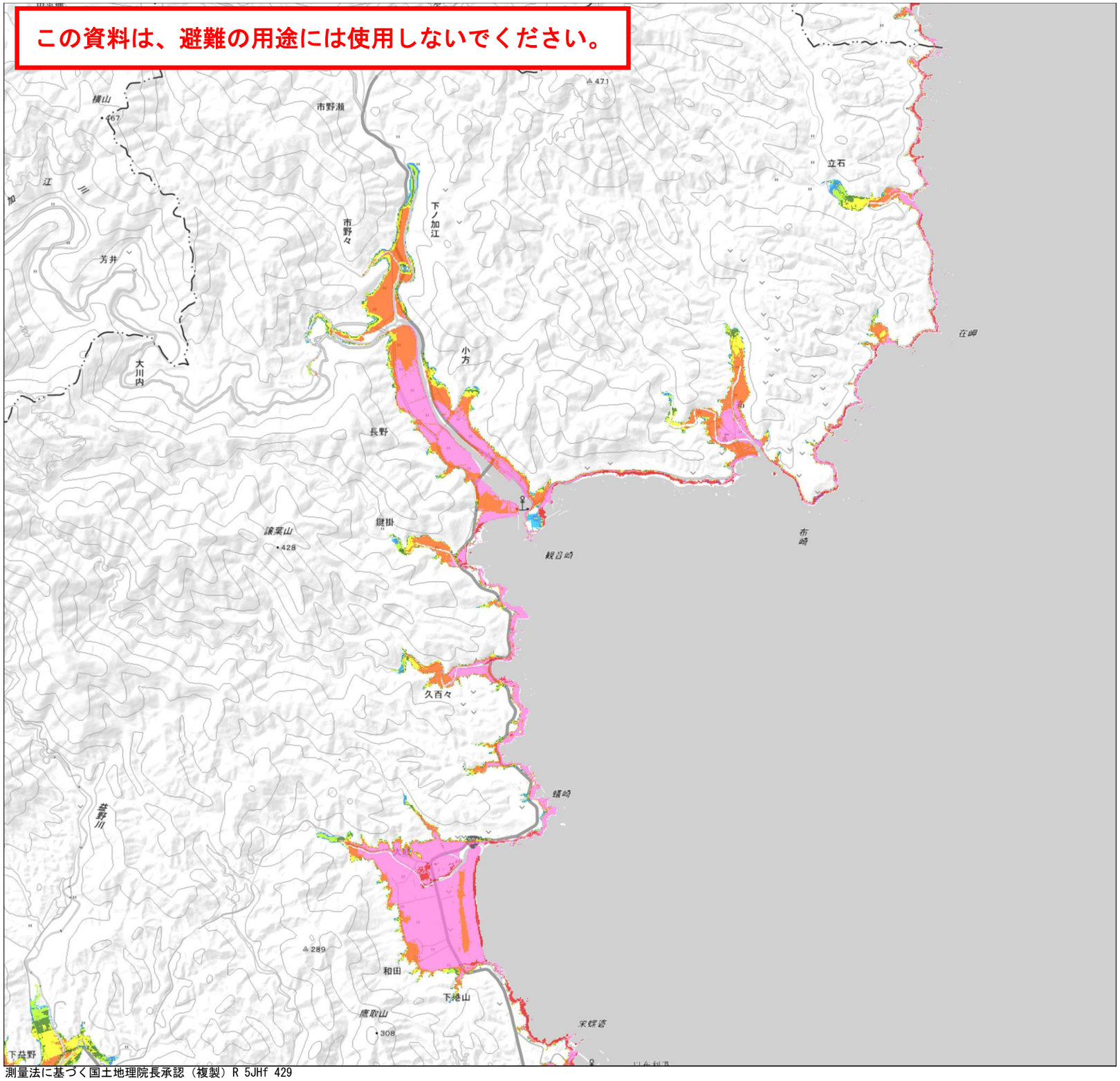
最大浸水深差分図（m）

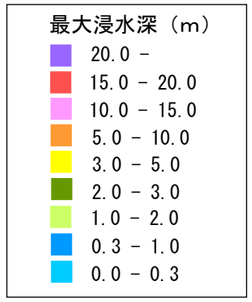


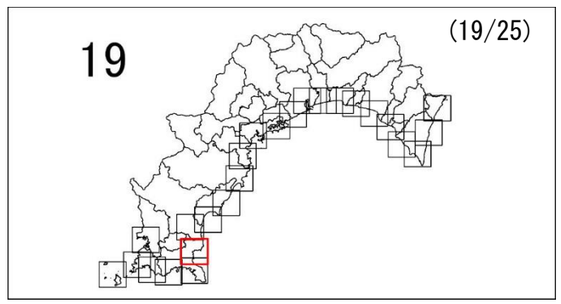
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

19　　土佐清水市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



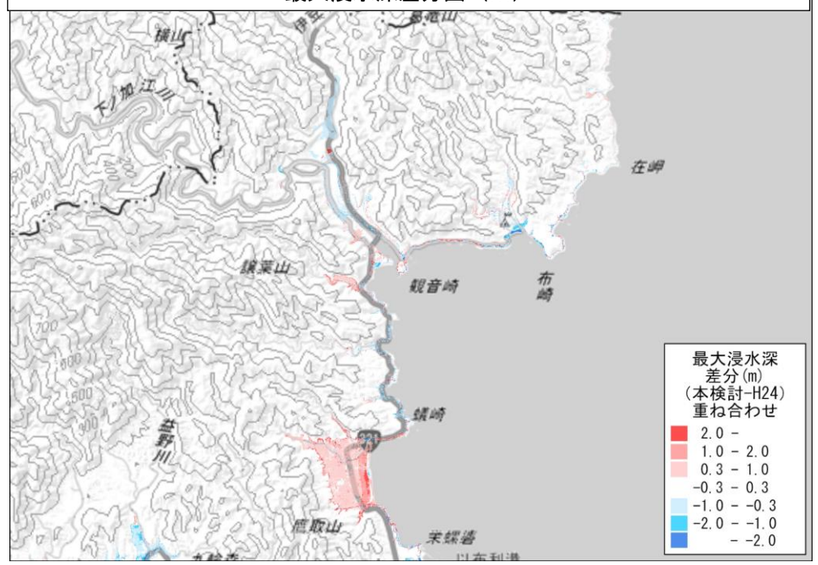




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

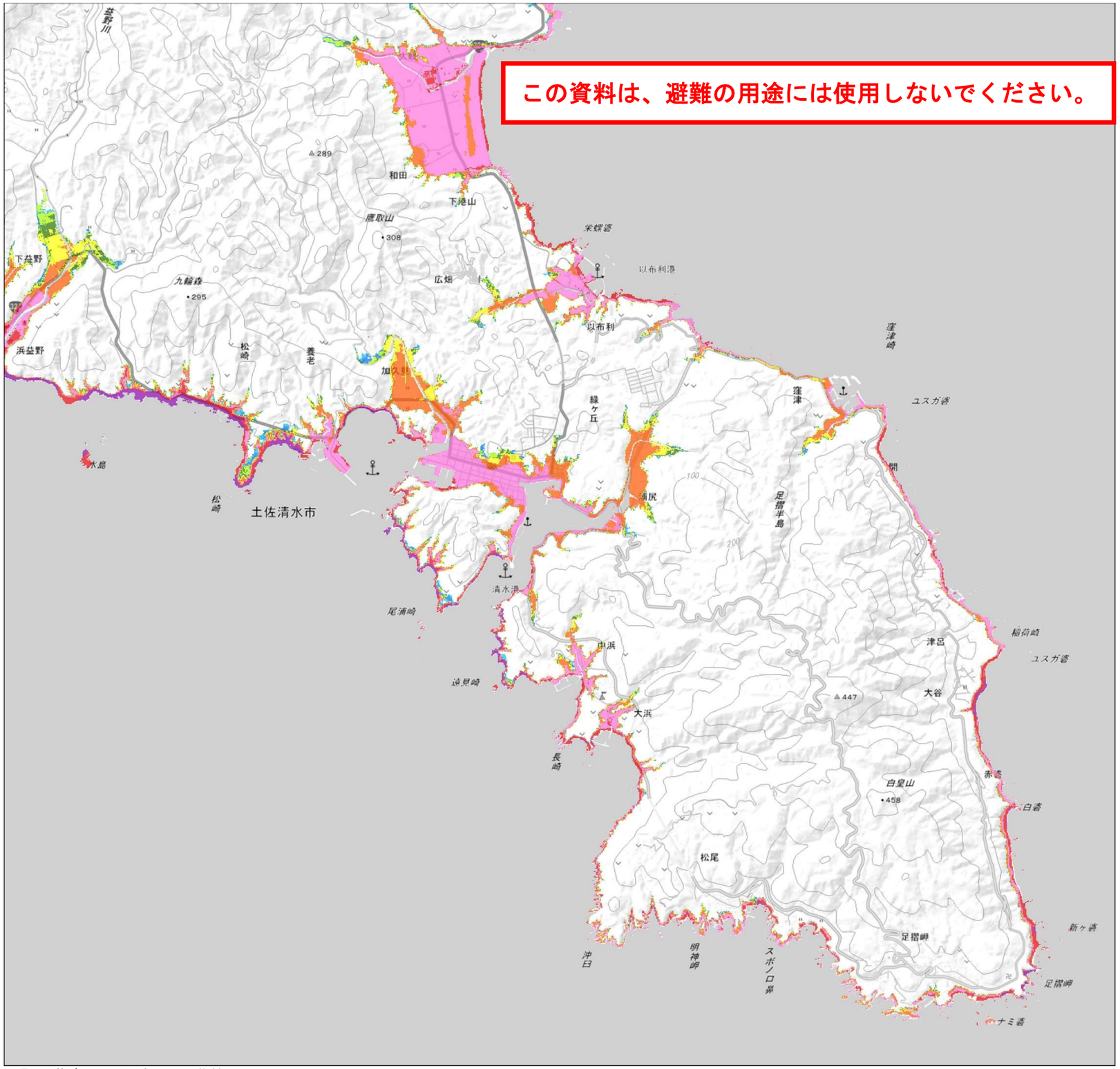
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



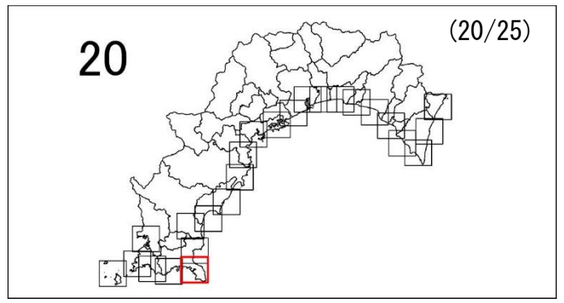
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

20　　土佐清水市　その２（最大浸水深）



最大浸水深（m）

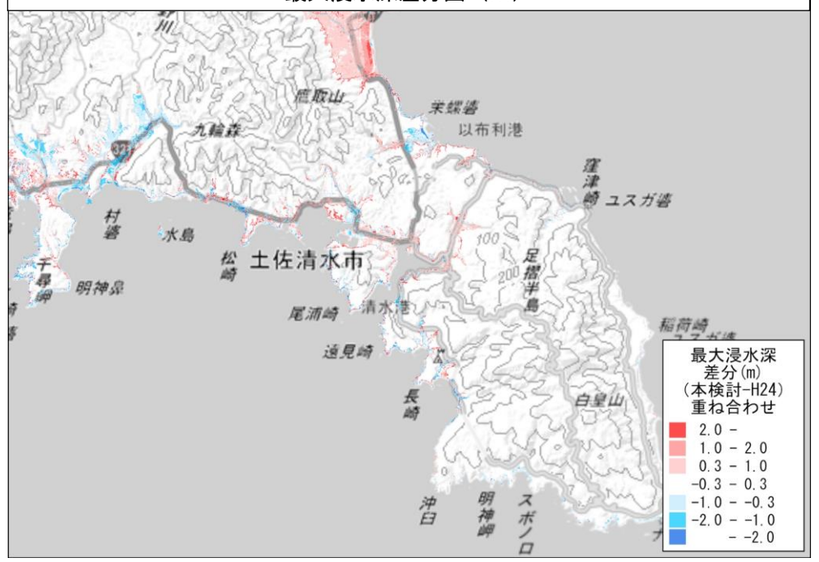
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

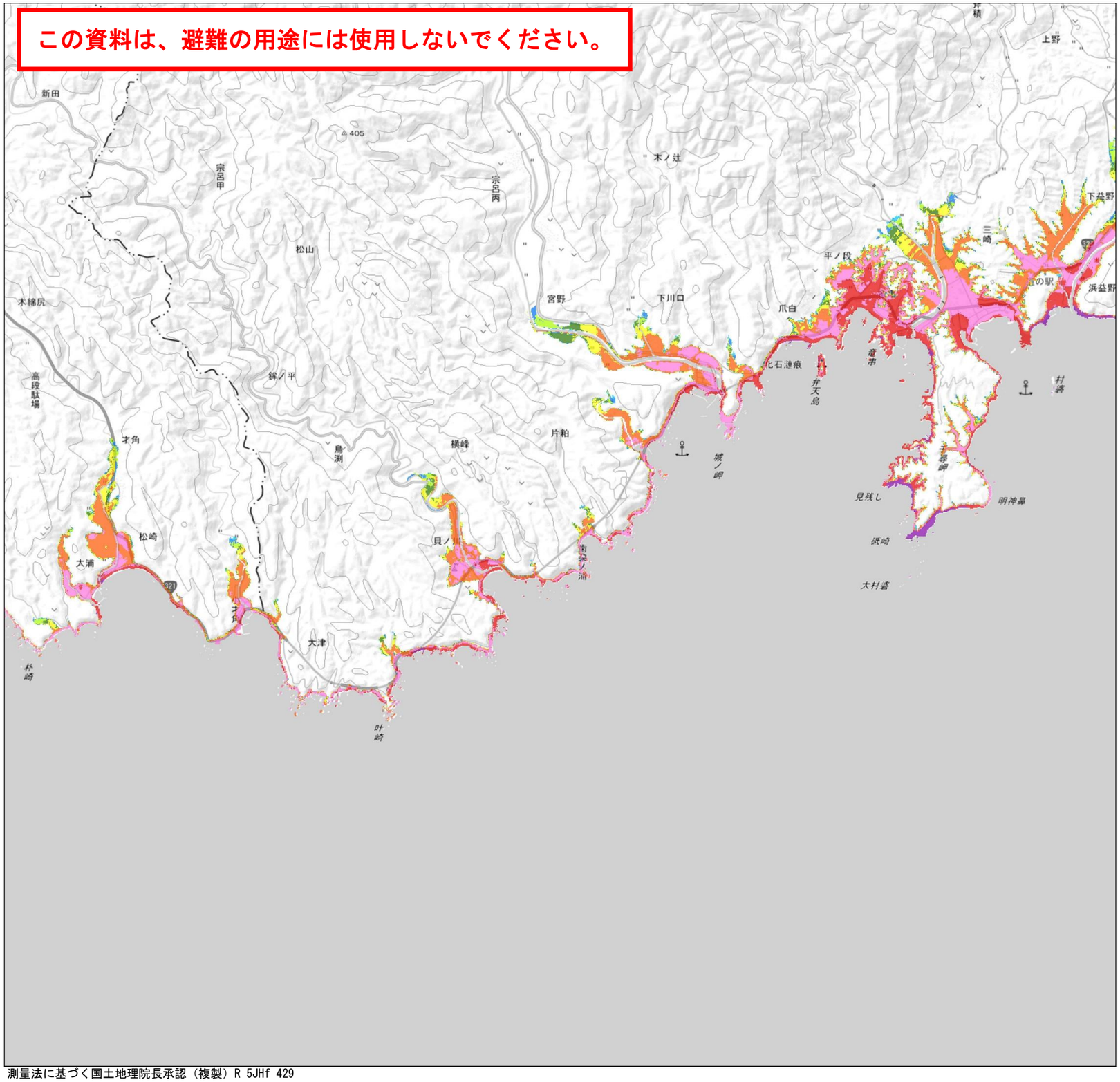
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

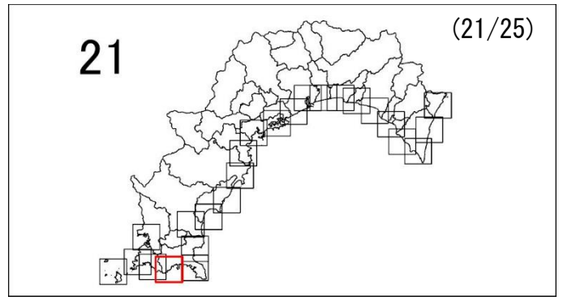
21　　土佐清水市　その３（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

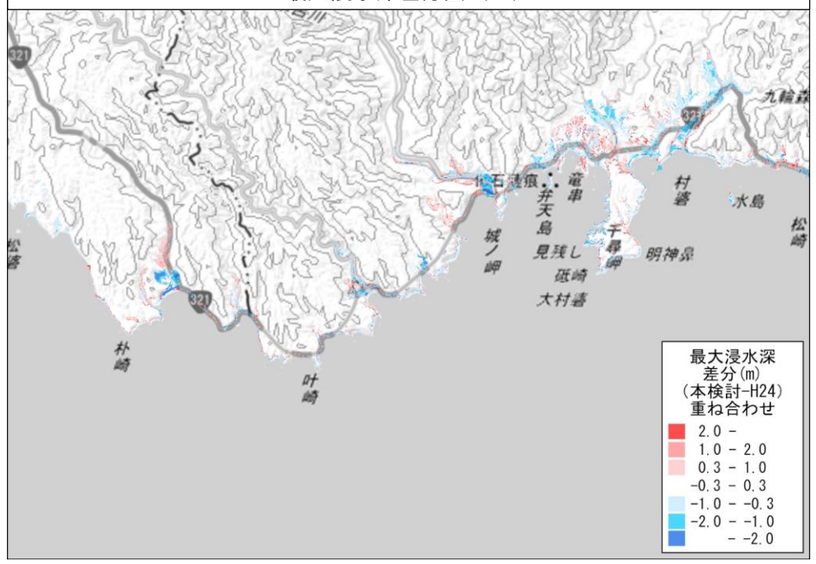
20.0 －
15.0 － 20.0
10.0 － 15.0
5.0 － 10.0
3.0 － 5.0
2.0 － 3.0
1.0 － 2.0
0.3 － 1.0
0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

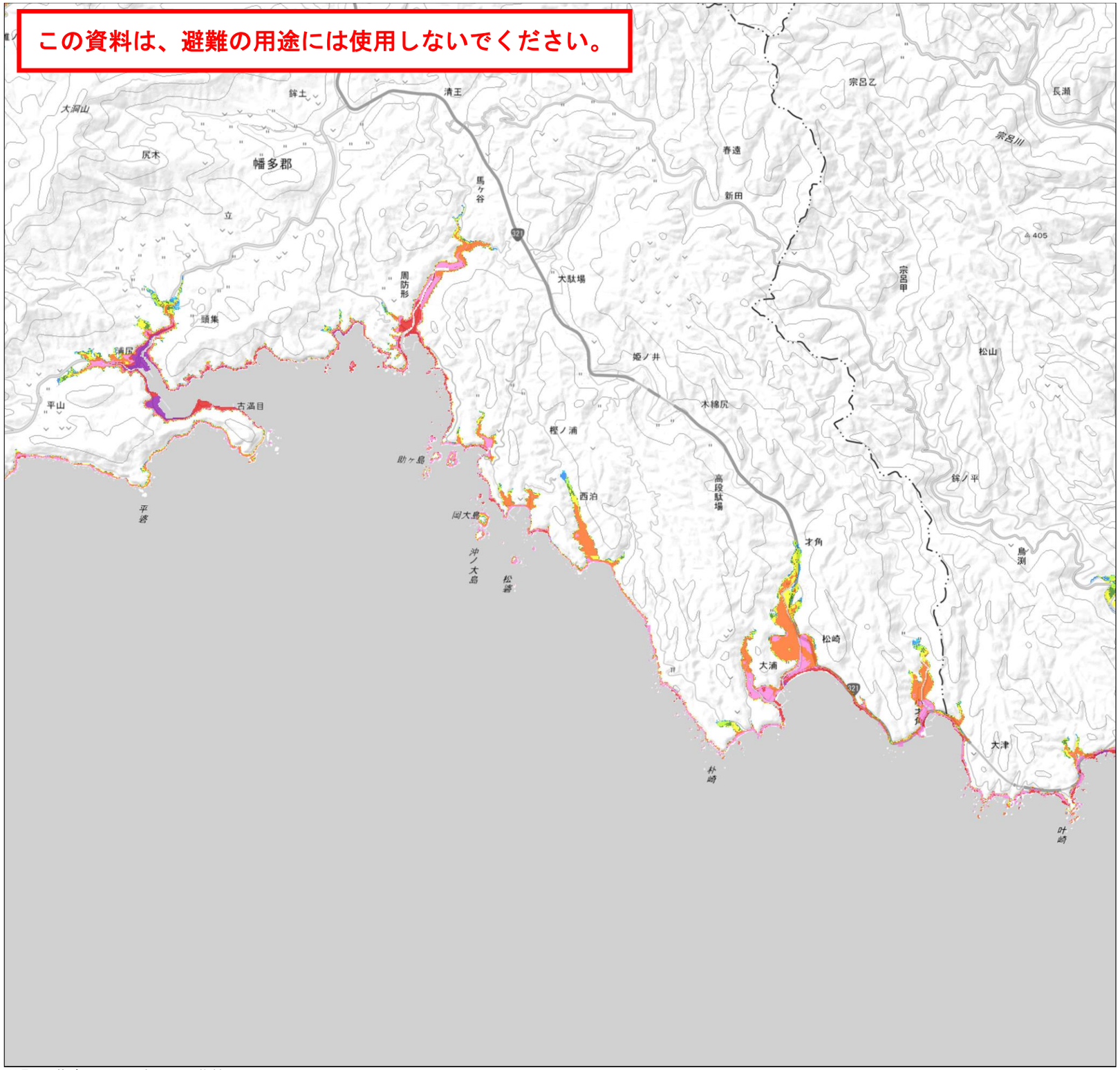


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

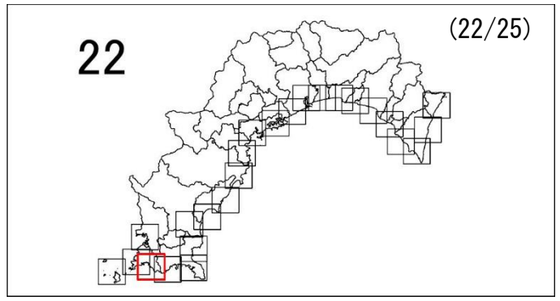
22　　大月町　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

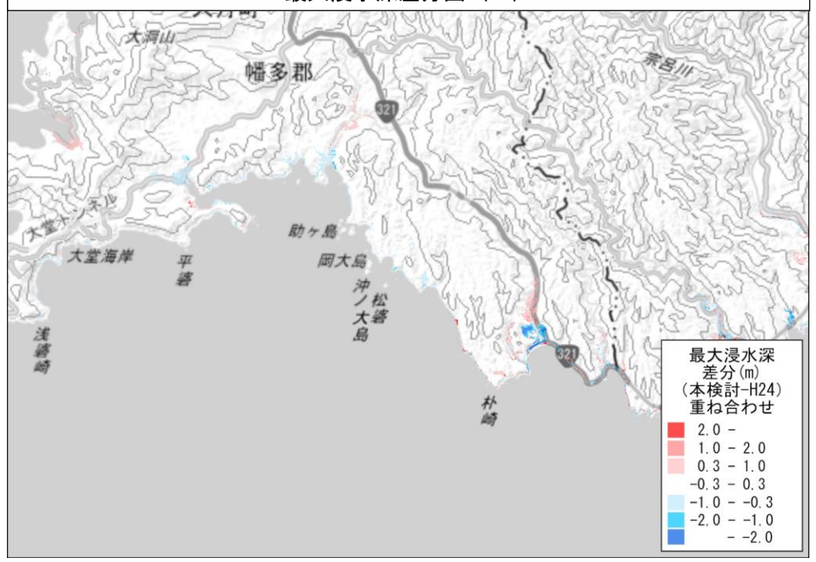
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

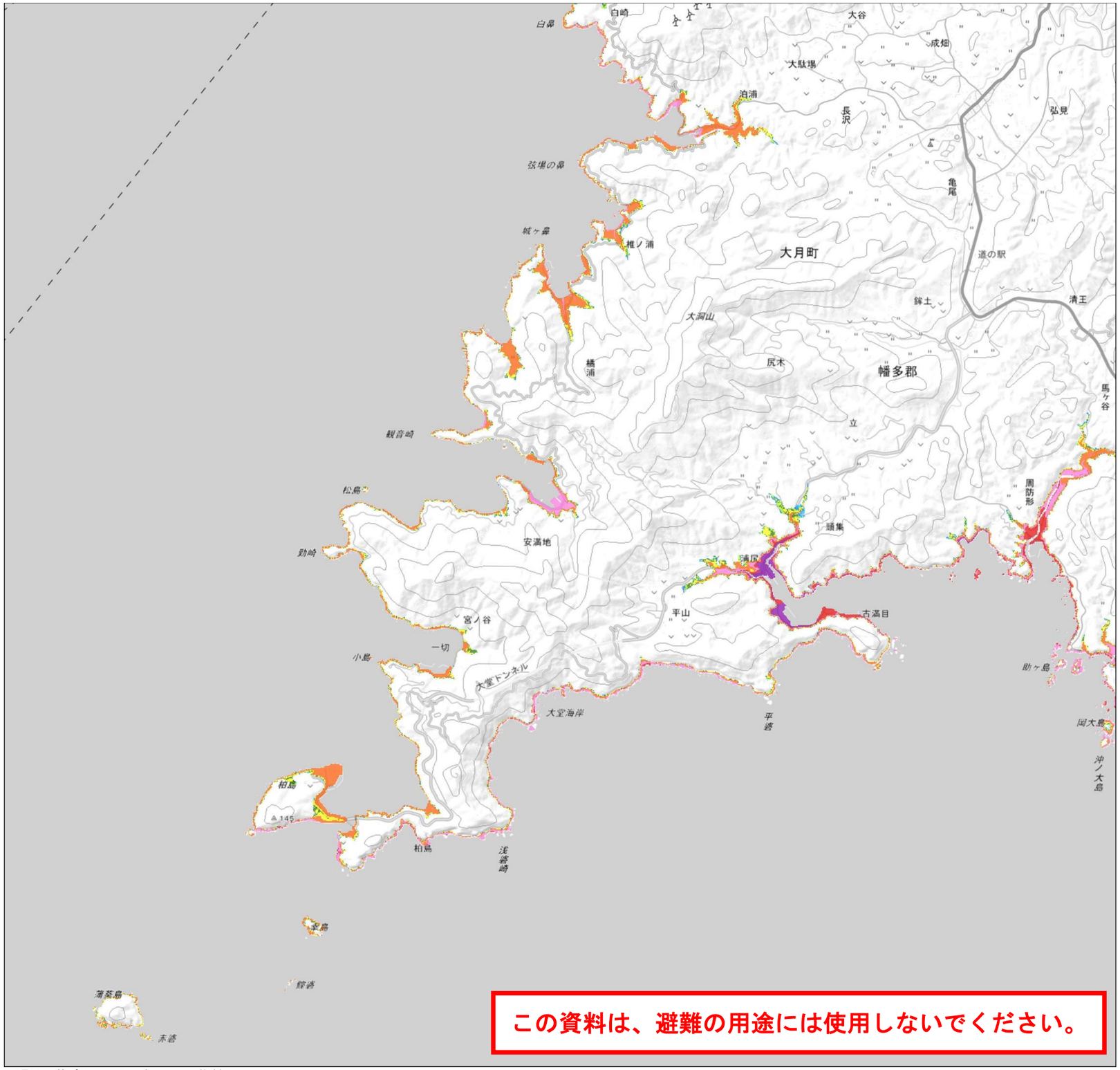
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

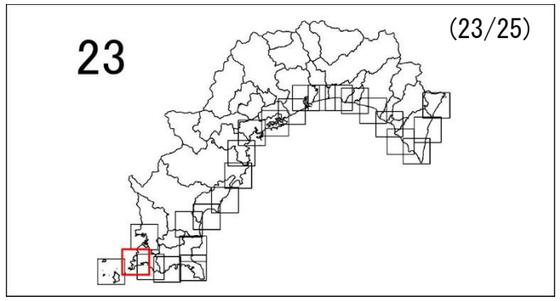
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

23　　大月町 その２（最大浸水深）



最大浸水深（m）

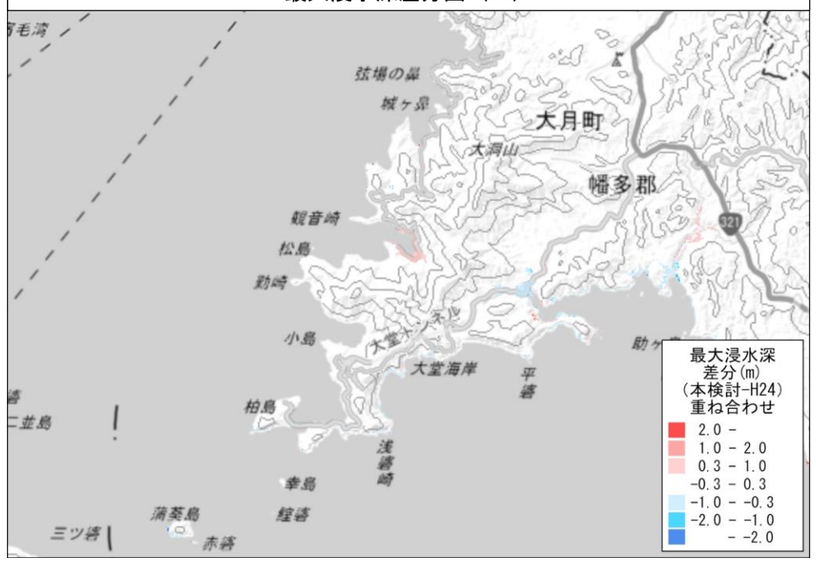
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

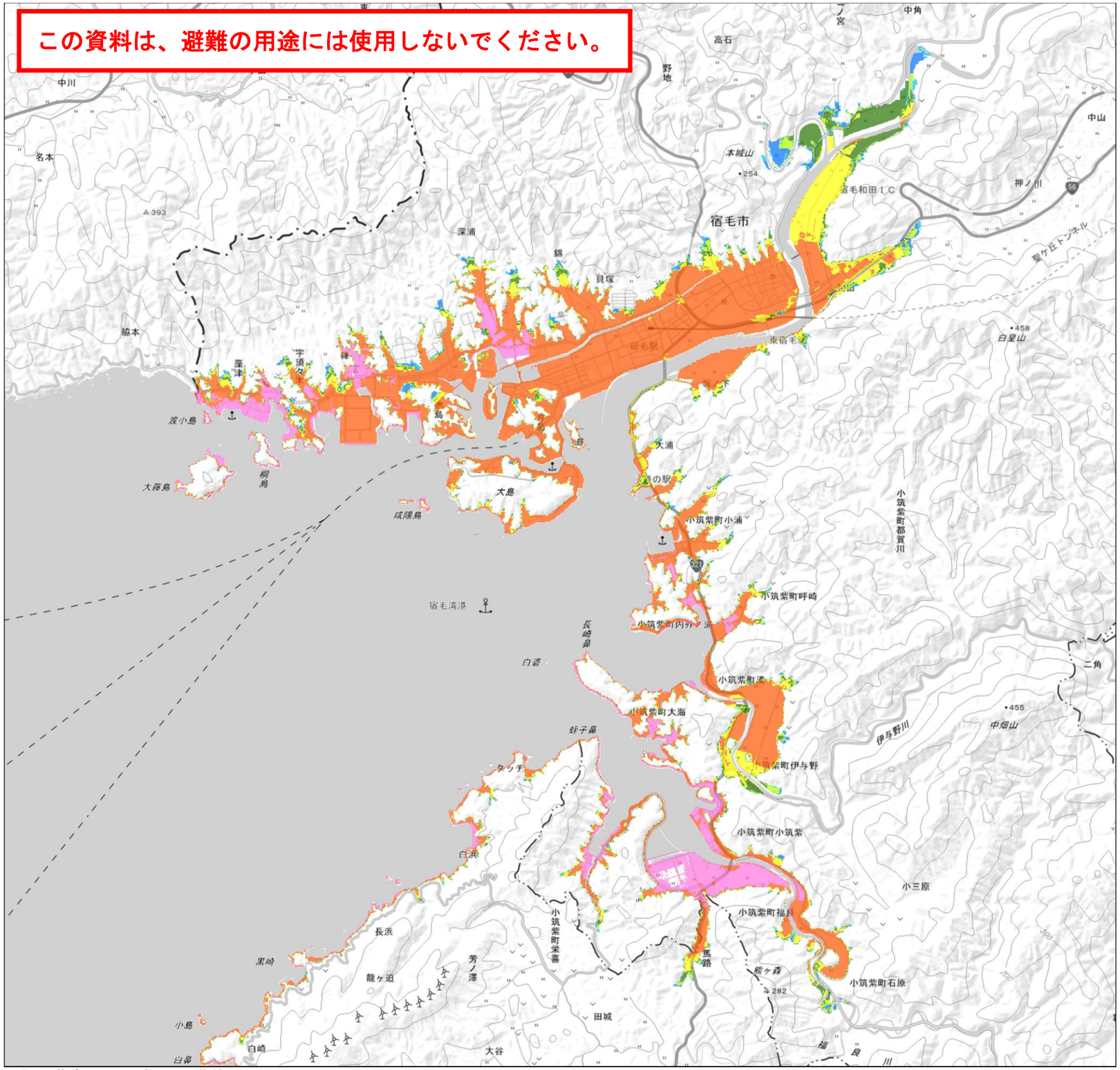


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

24　　宿毛市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

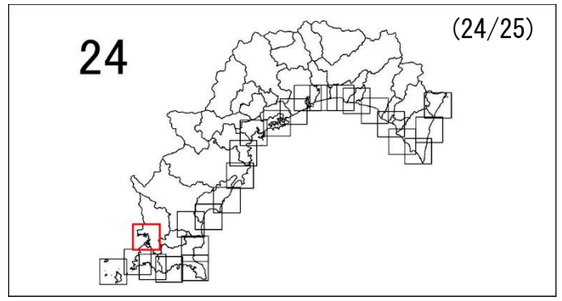


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

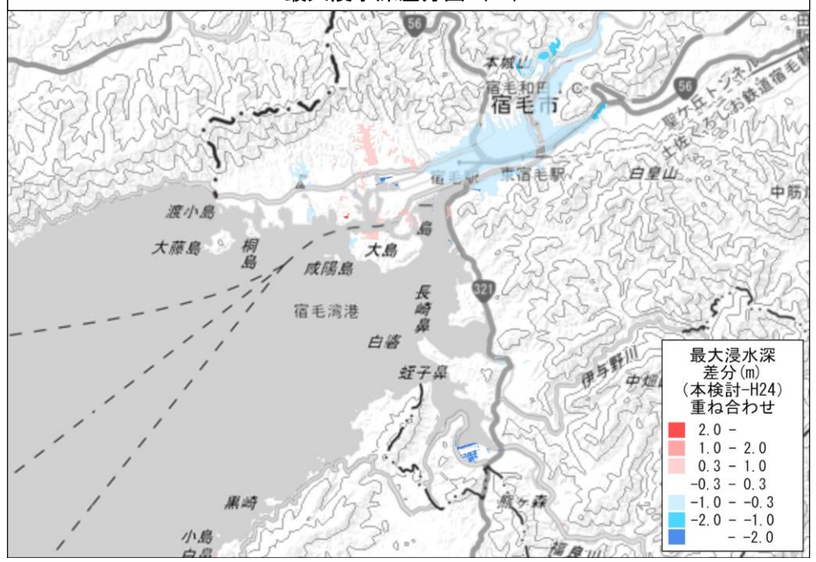
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

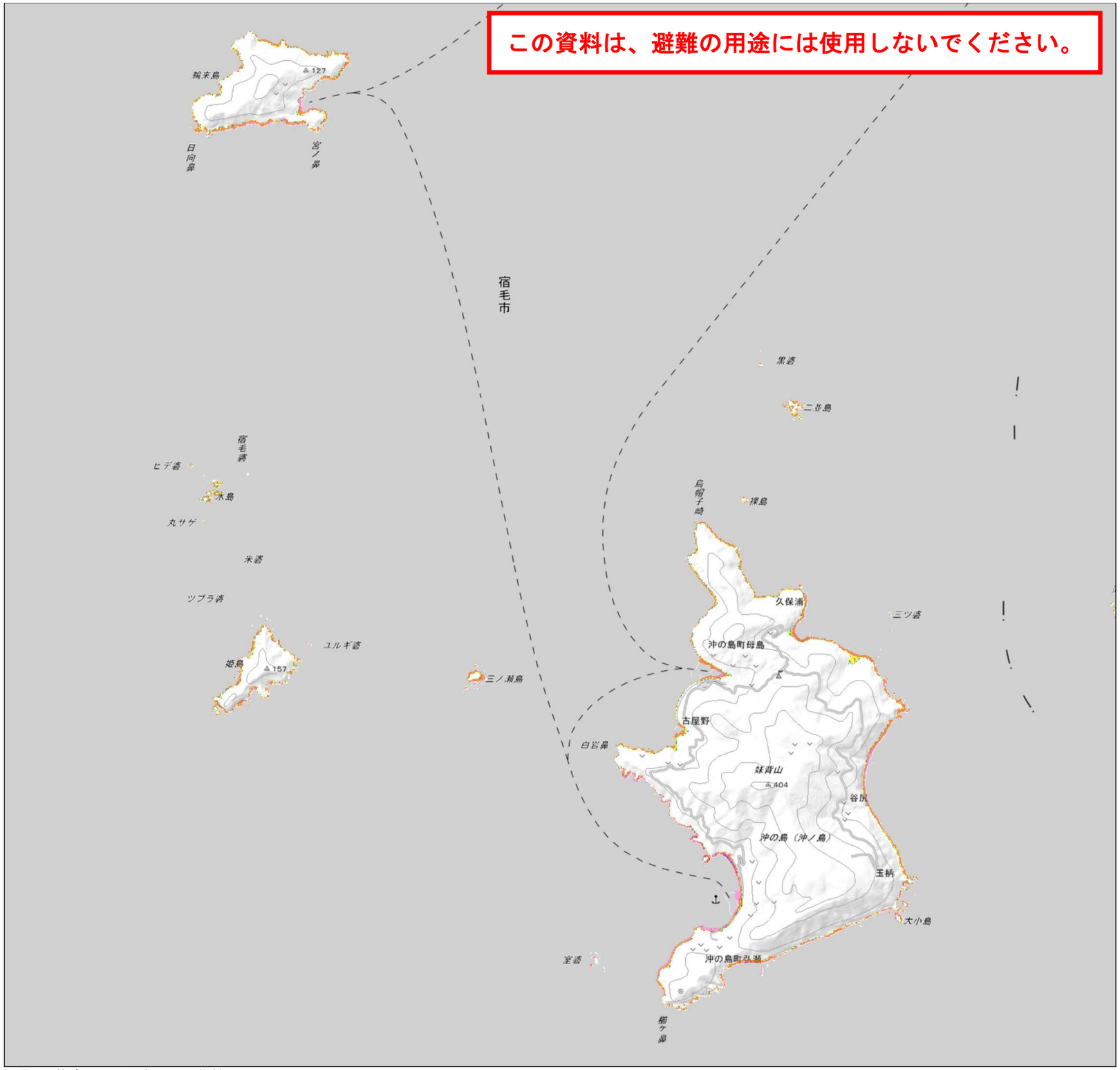
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

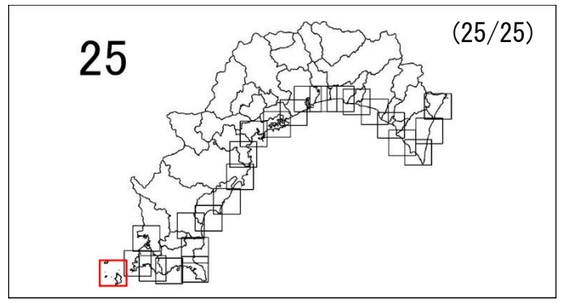
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



25　宿毛市 その２（最大浸水深）

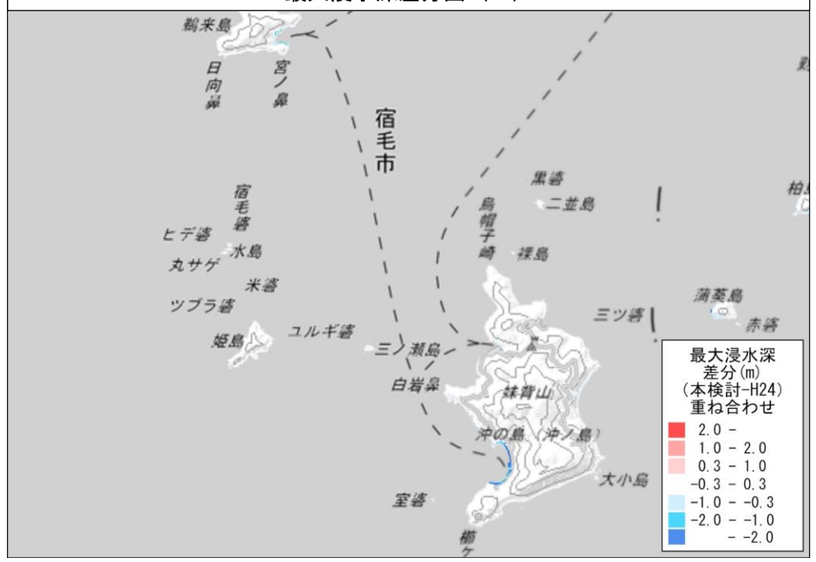




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

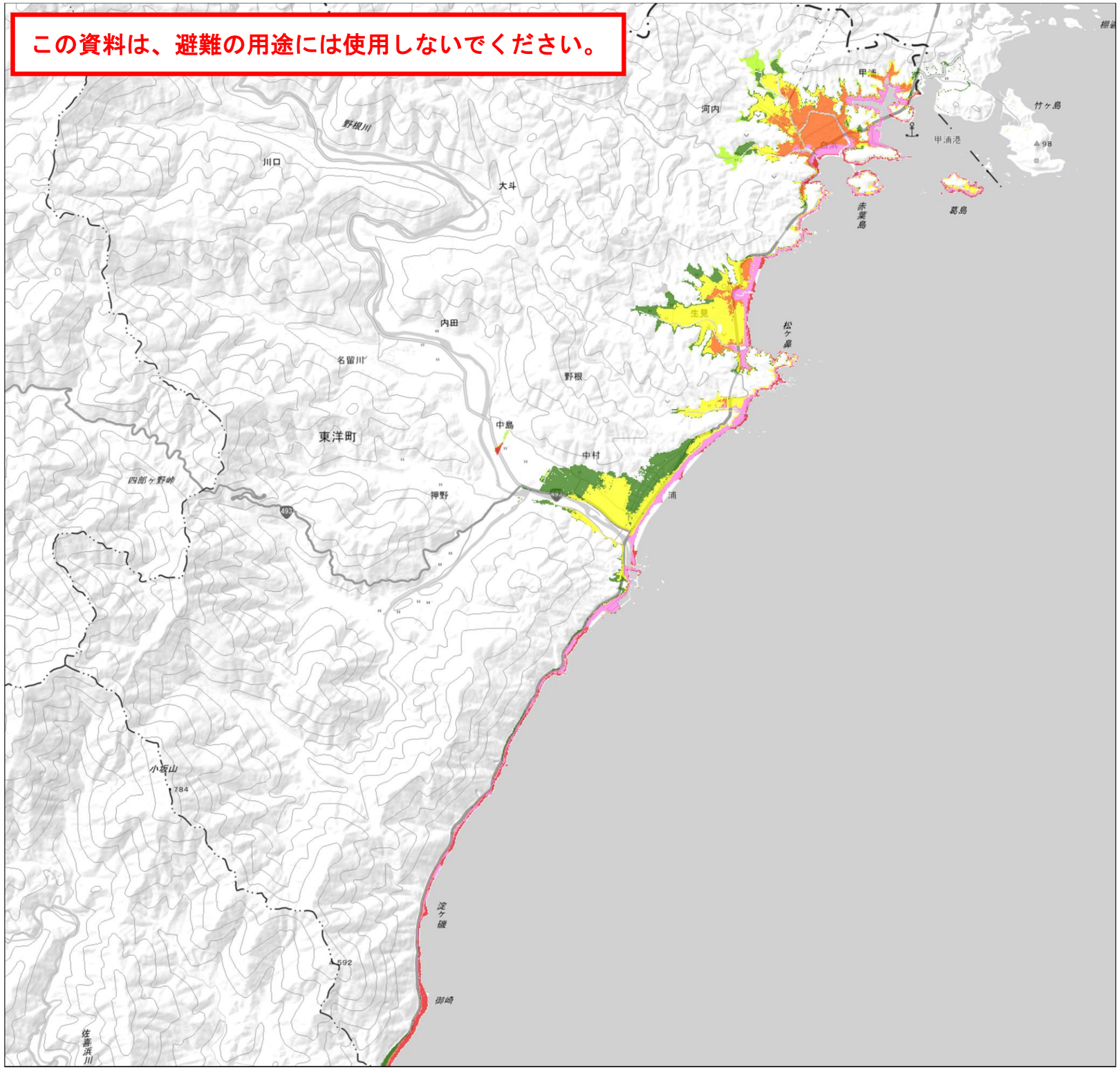
最大浸水深差分図（m）

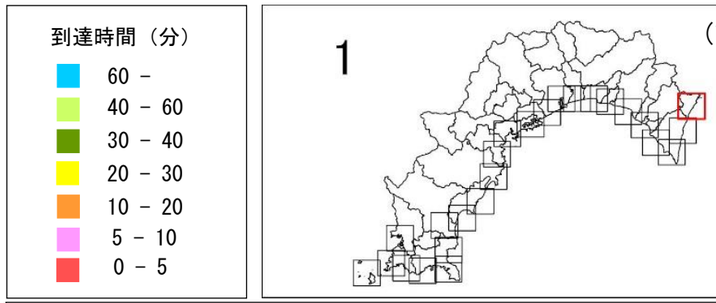


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

1　　東洋町（30cm 津波到達時間）

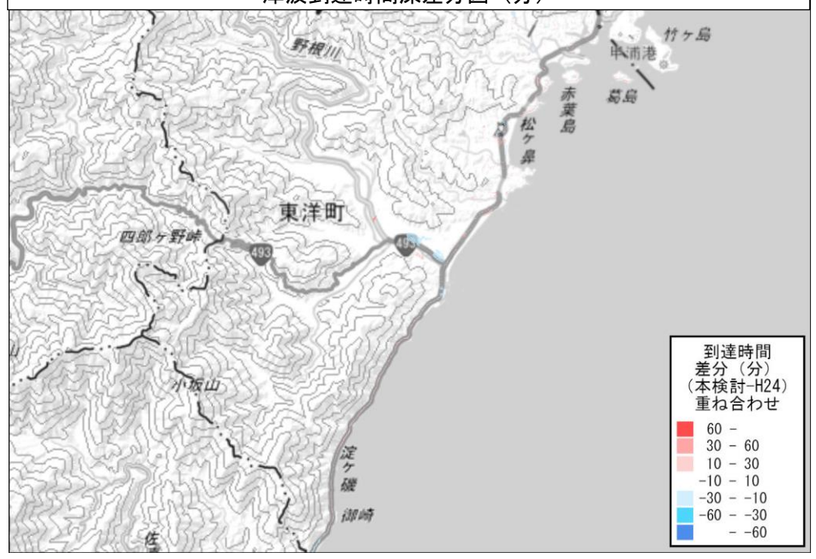




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

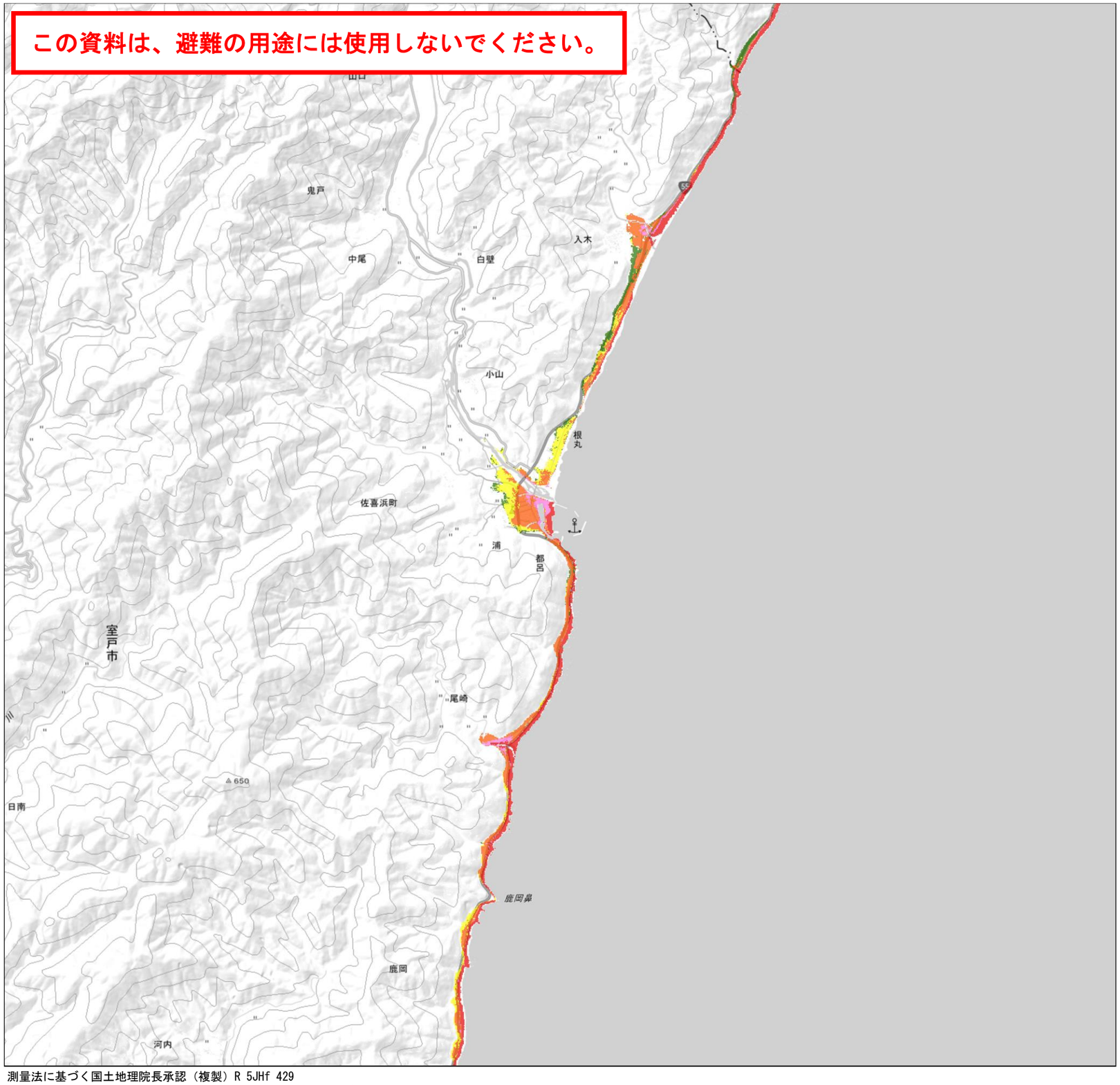
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

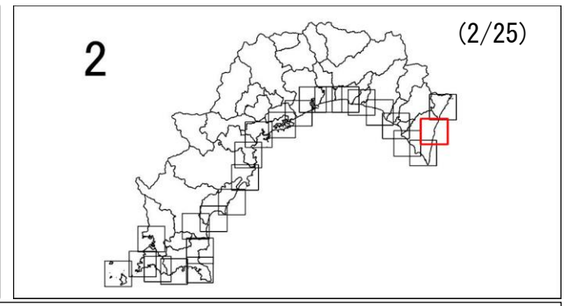
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

2　　室戸市 その１（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

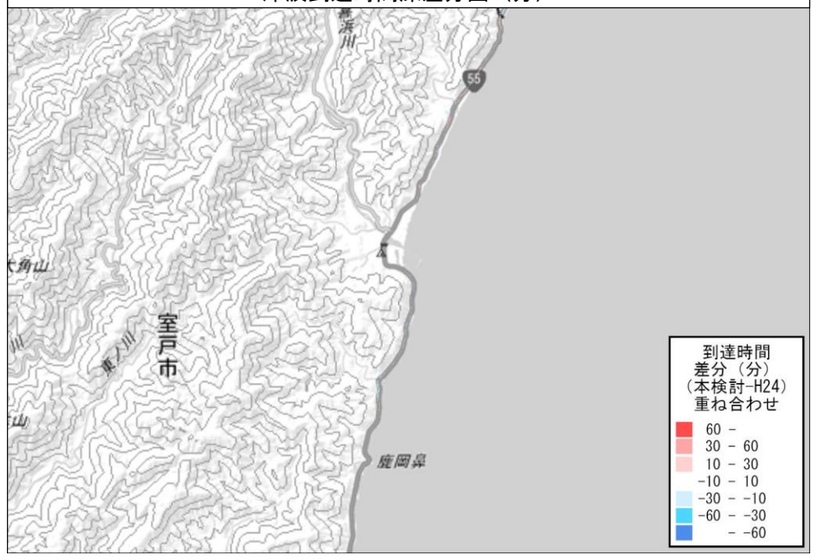
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

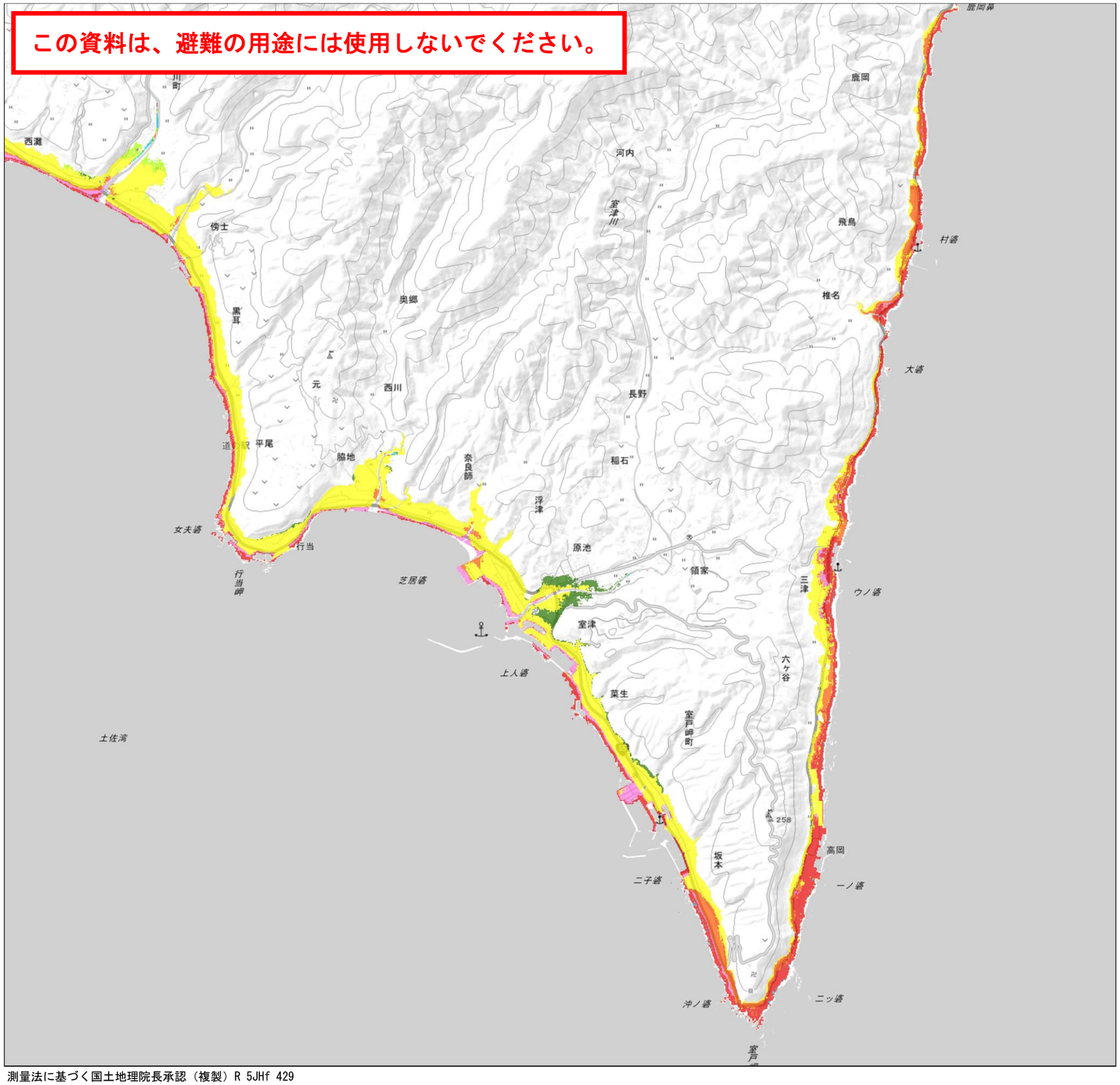


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

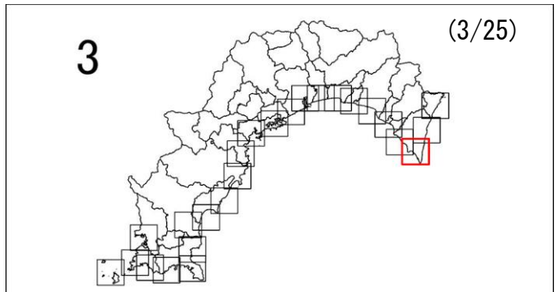
3　　室戸市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

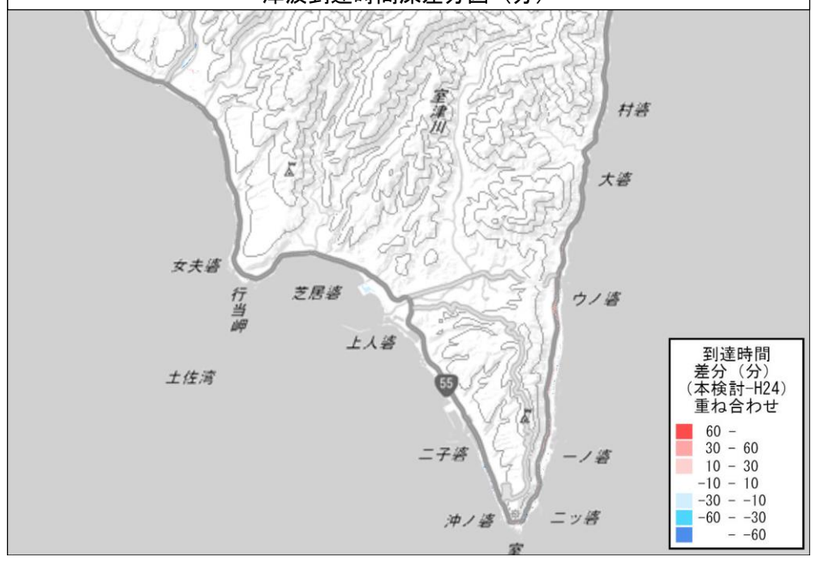
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

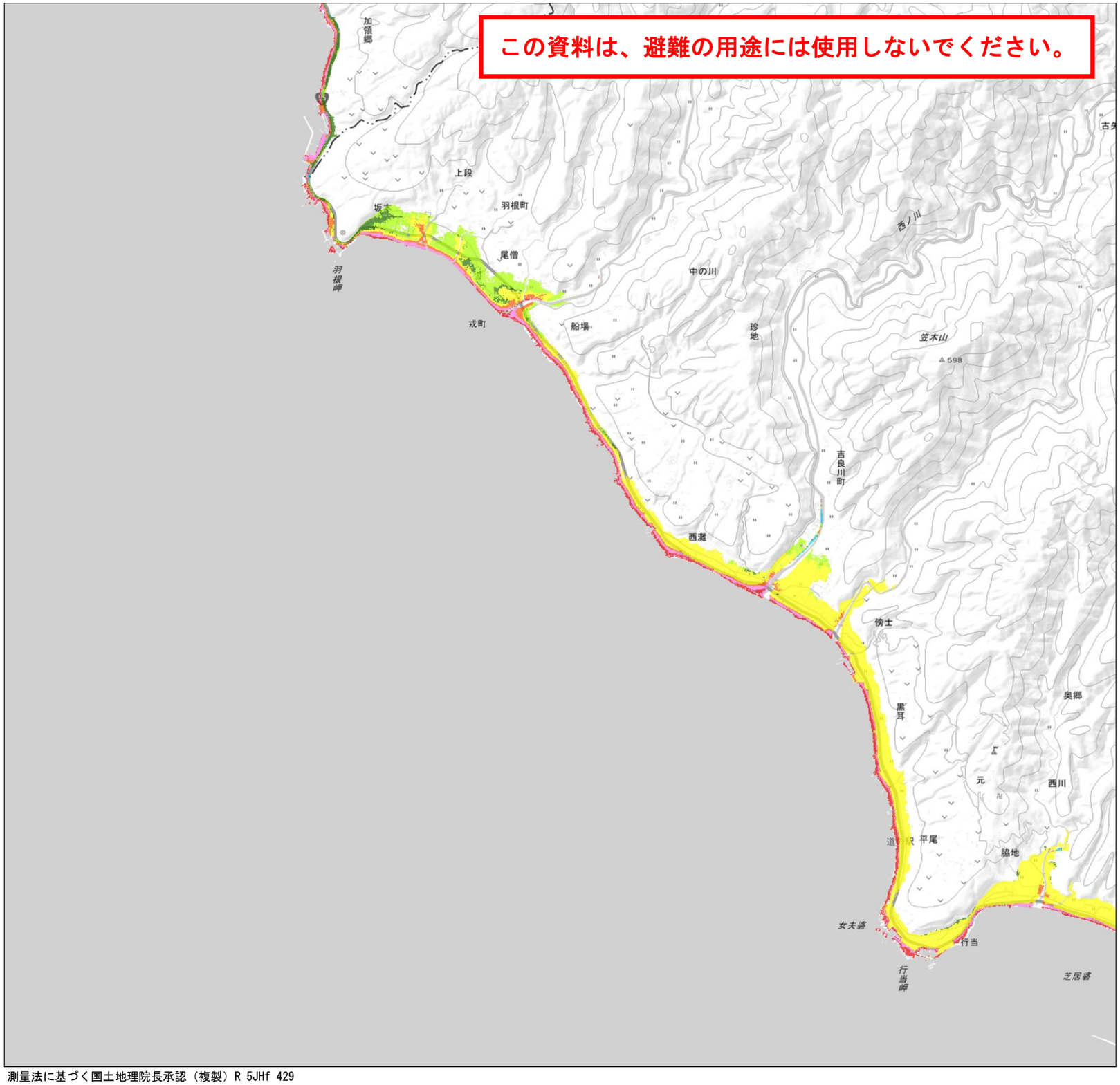
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

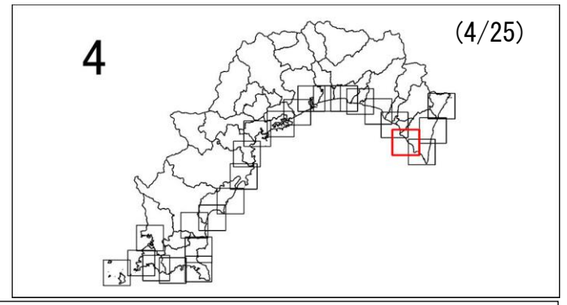
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

4　　室戸市 その３（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

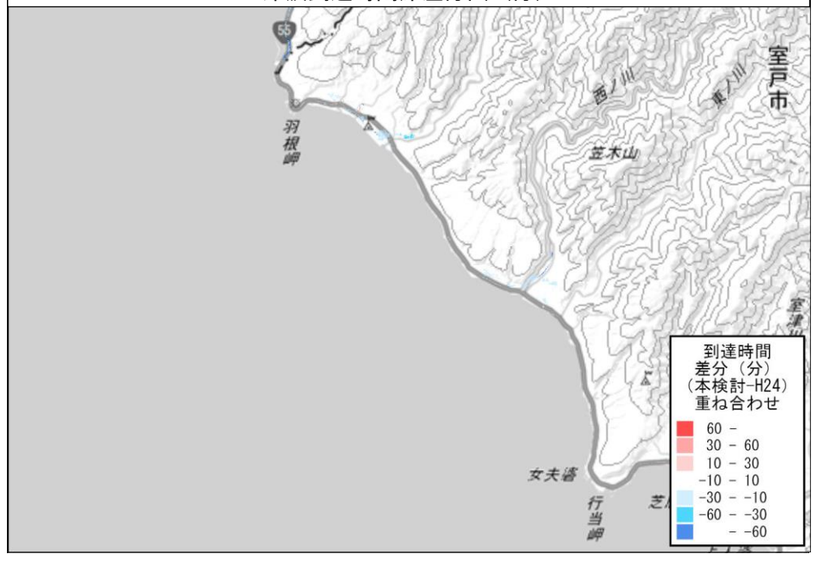
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

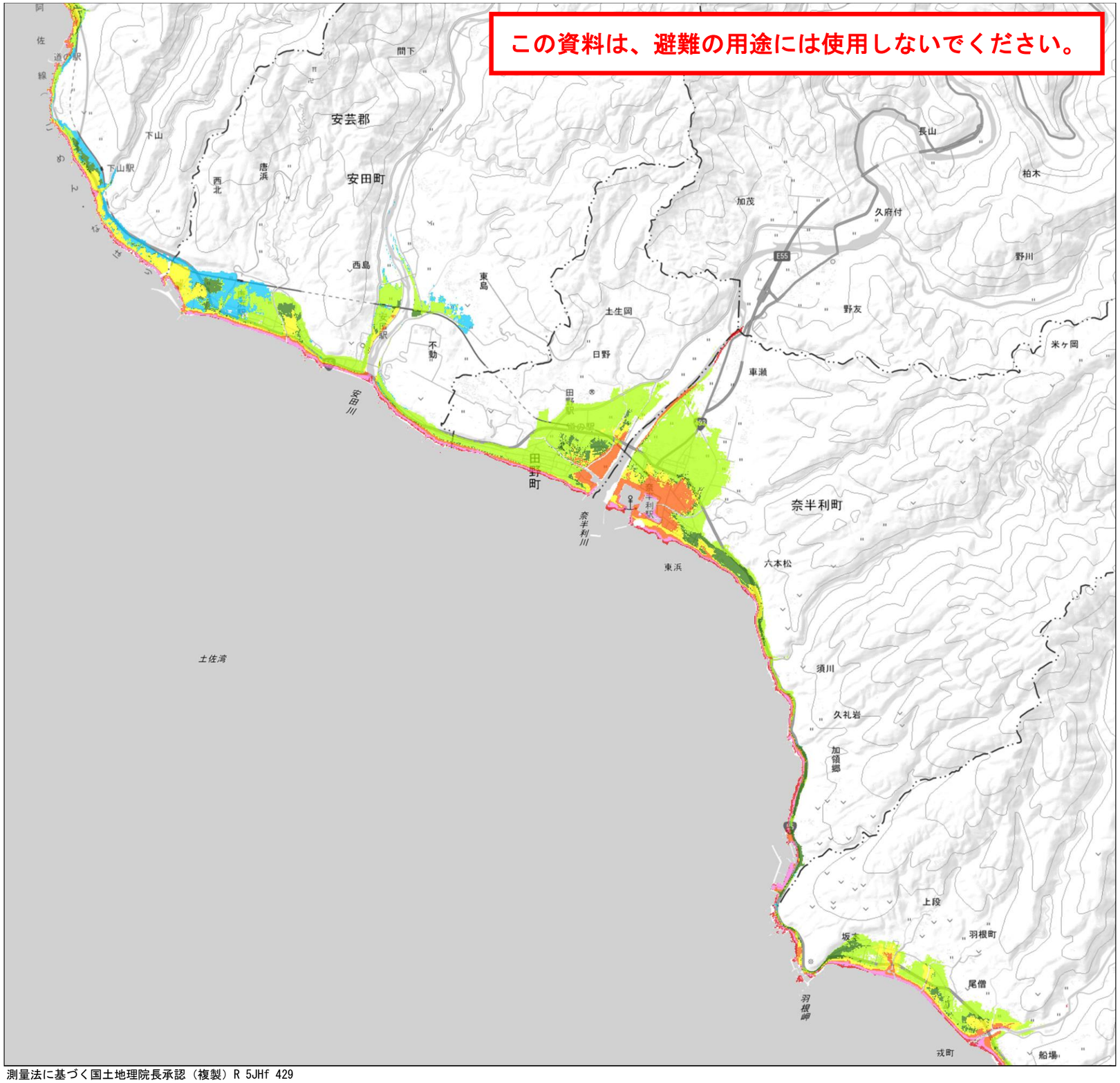
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

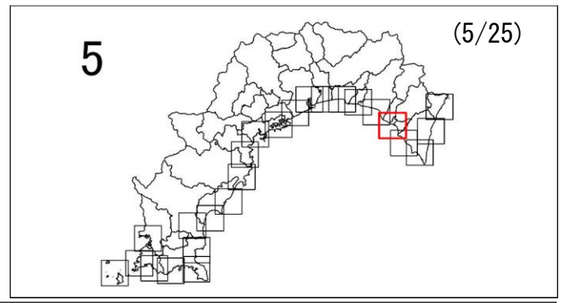
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

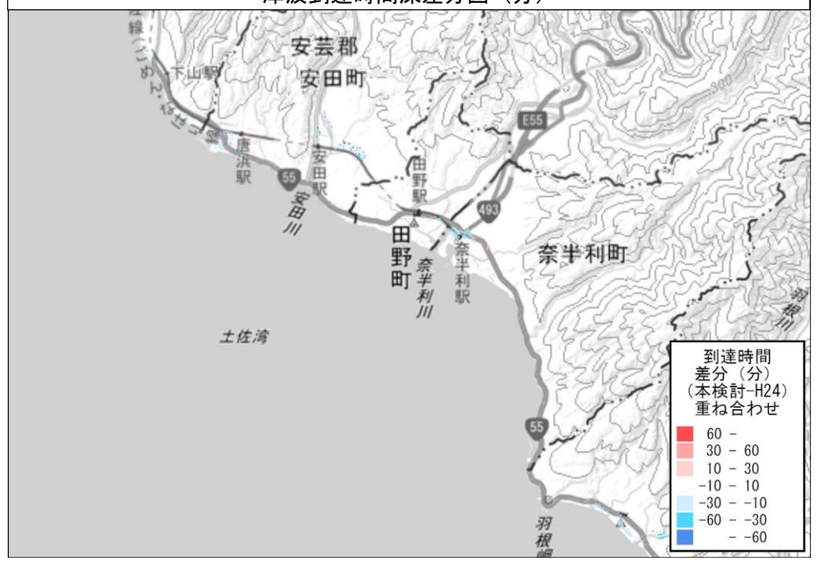
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

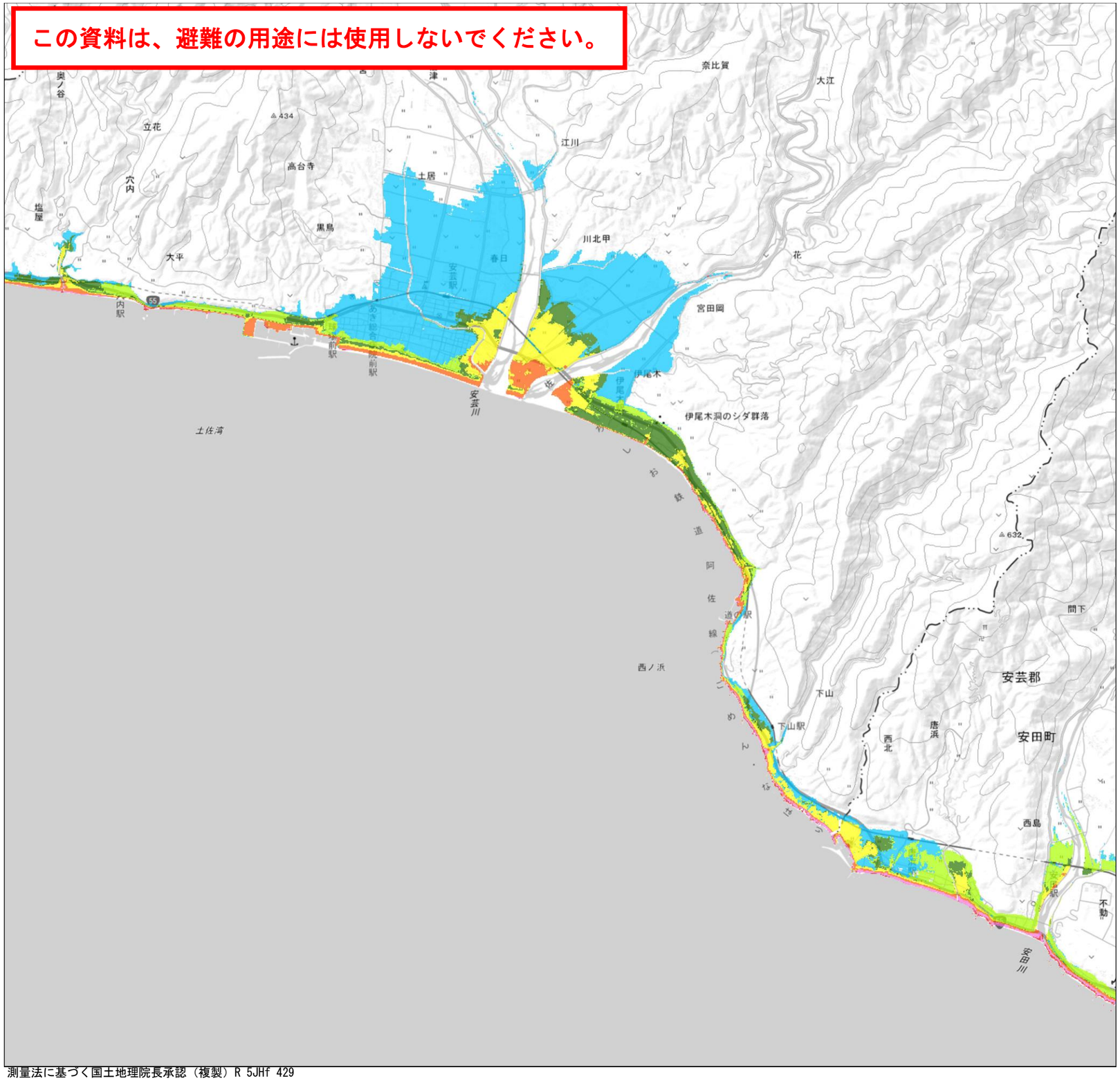


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

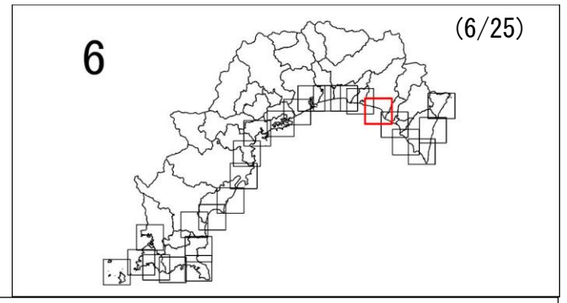
6　　安芸市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

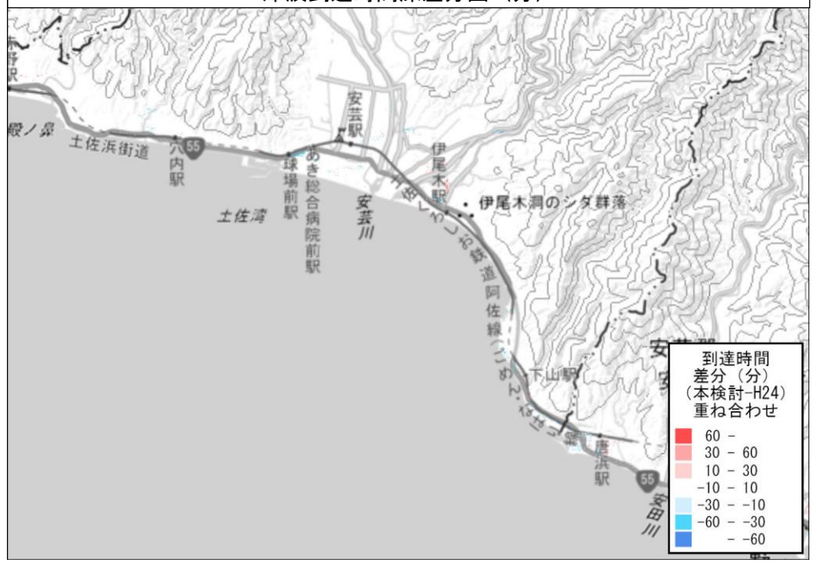
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

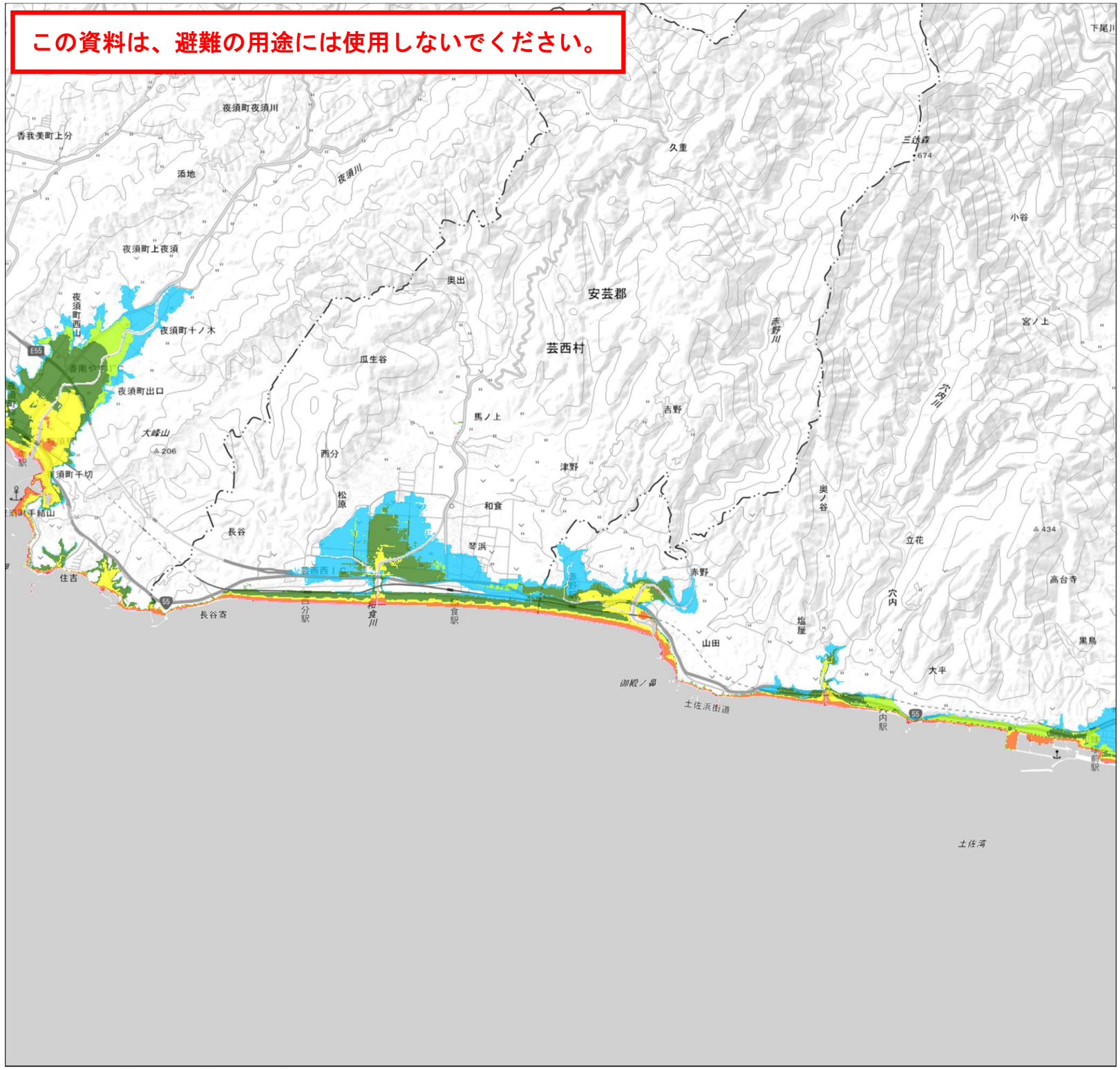


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

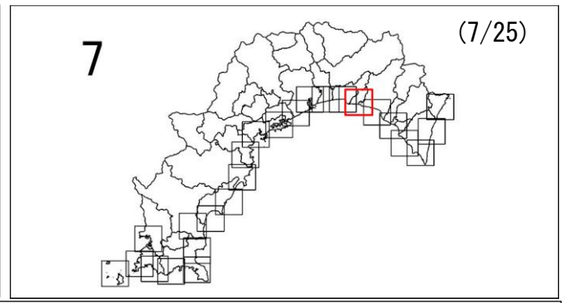
7　　安芸市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

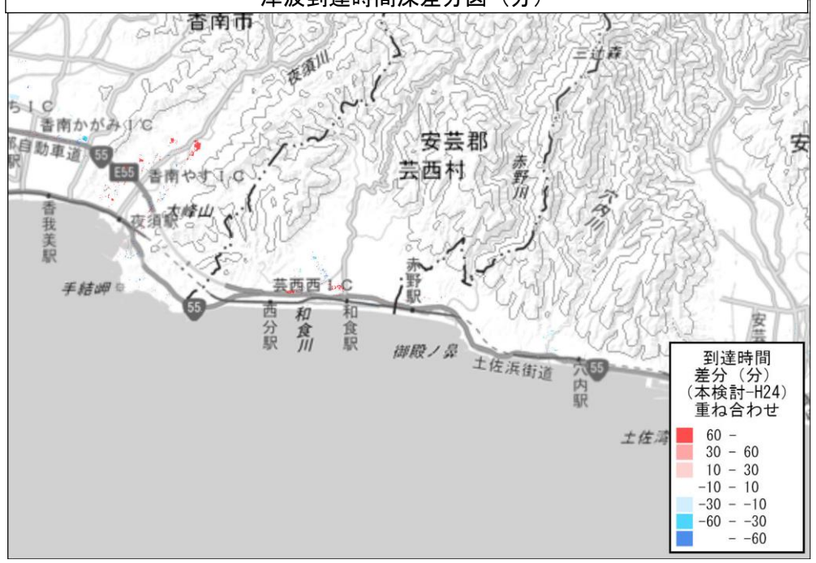
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

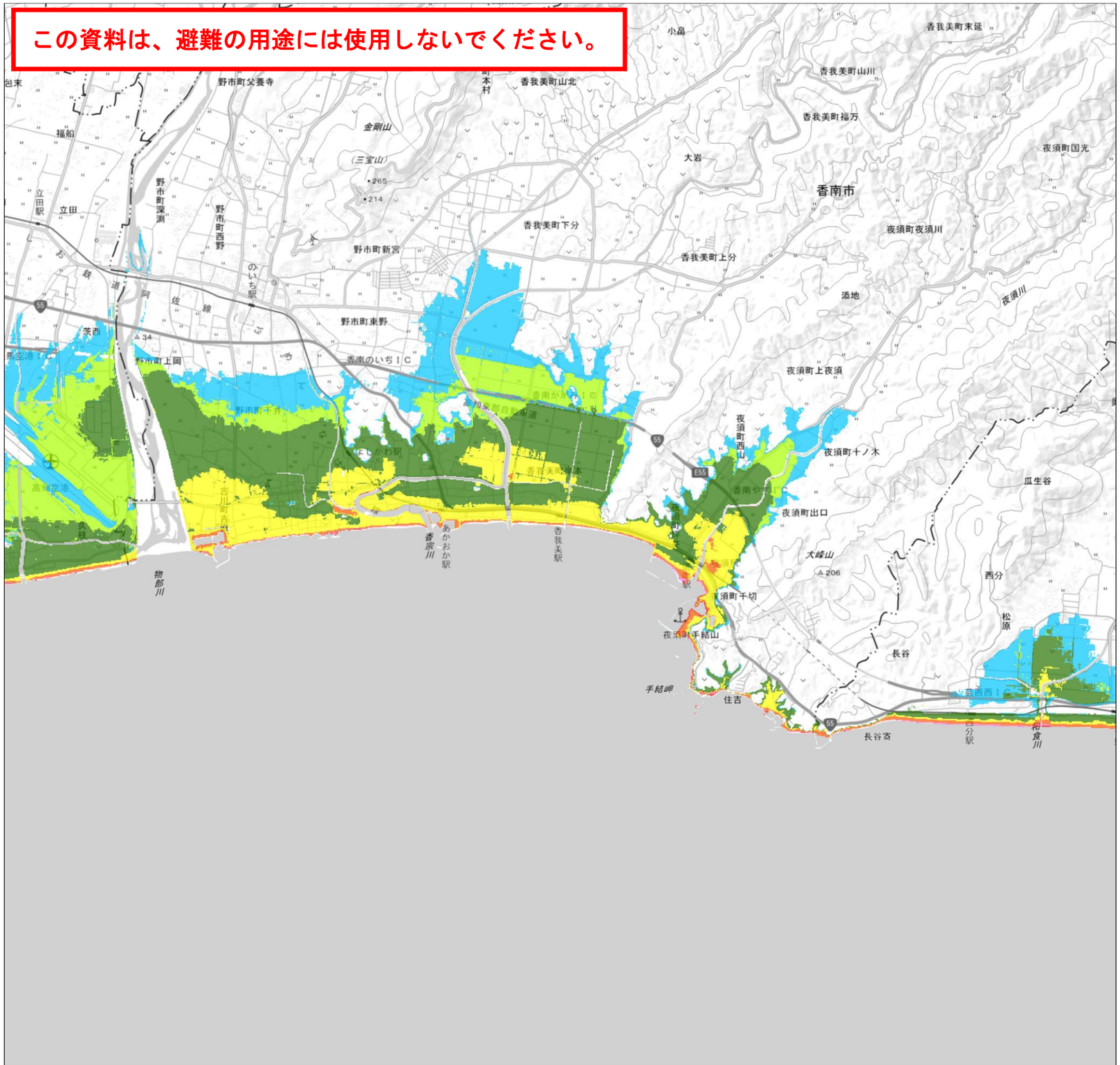
津波到達時間深差分図（分）

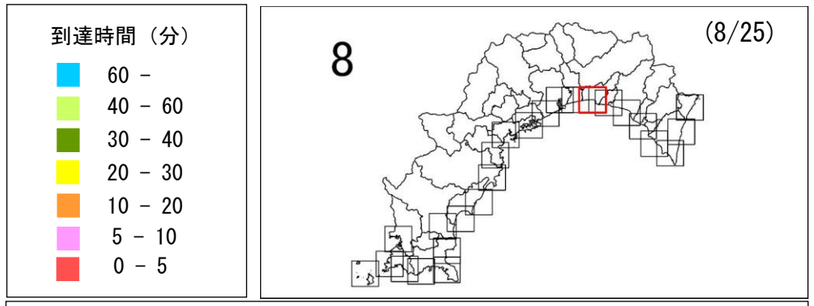


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

8　　香南市（30cm 津波到達時間）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

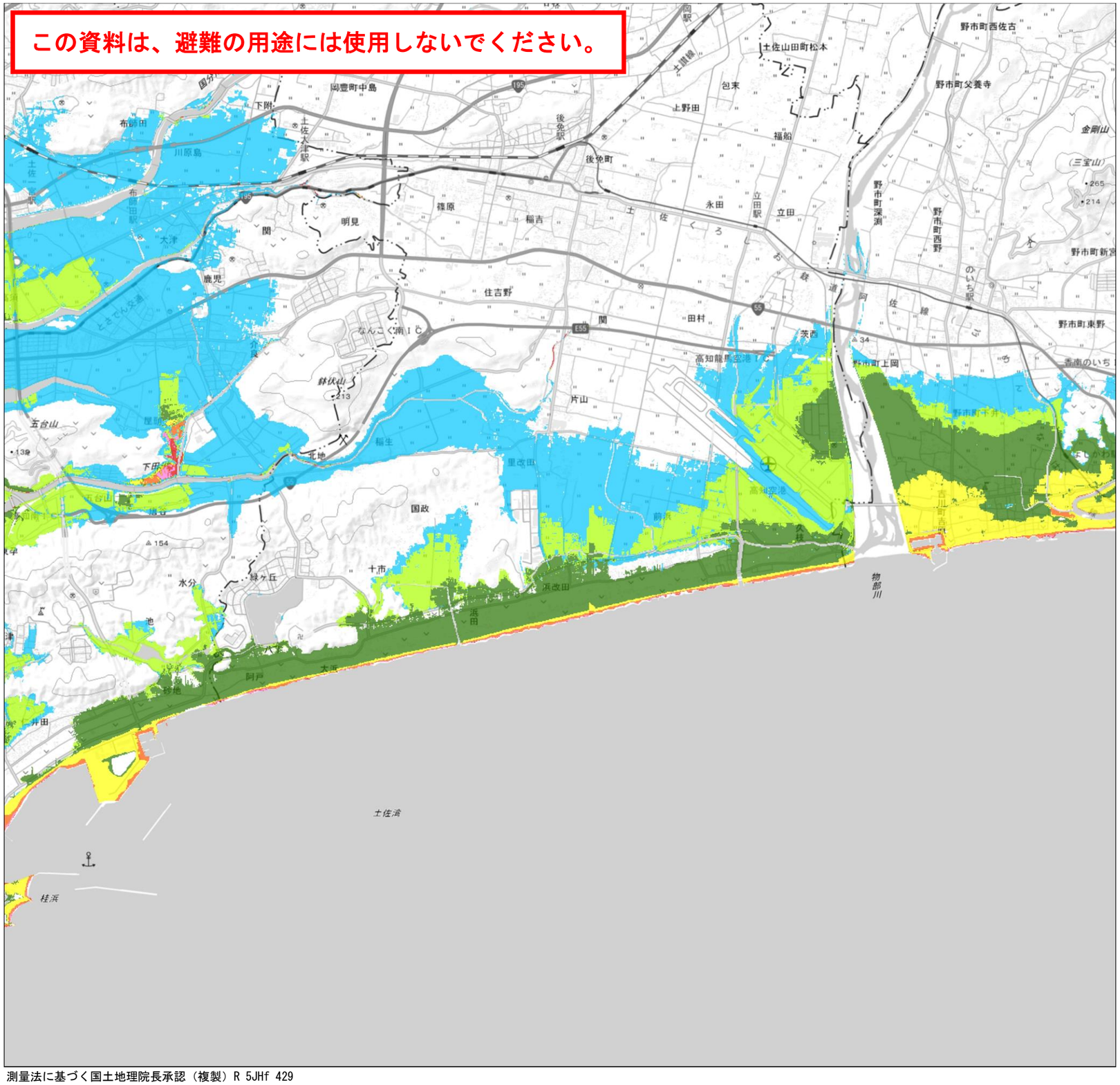
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

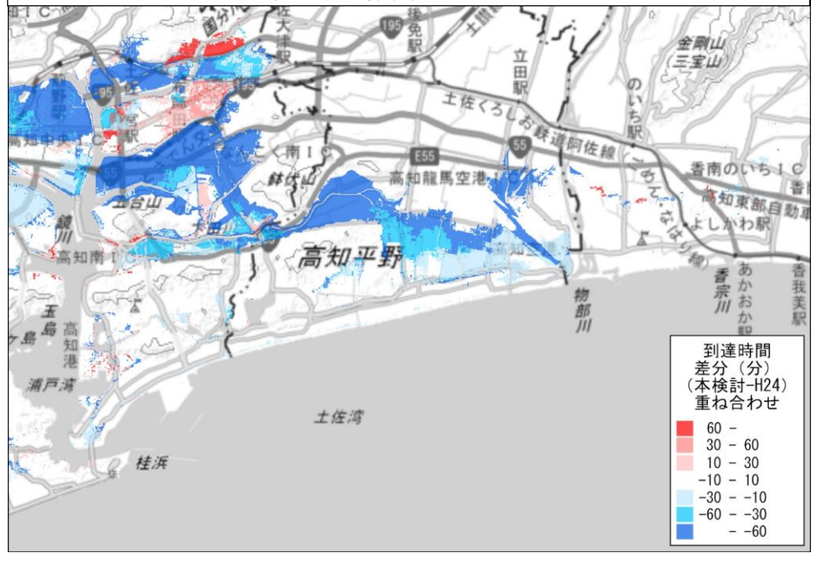
9　　南国市（30cm 津波到達時間）



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

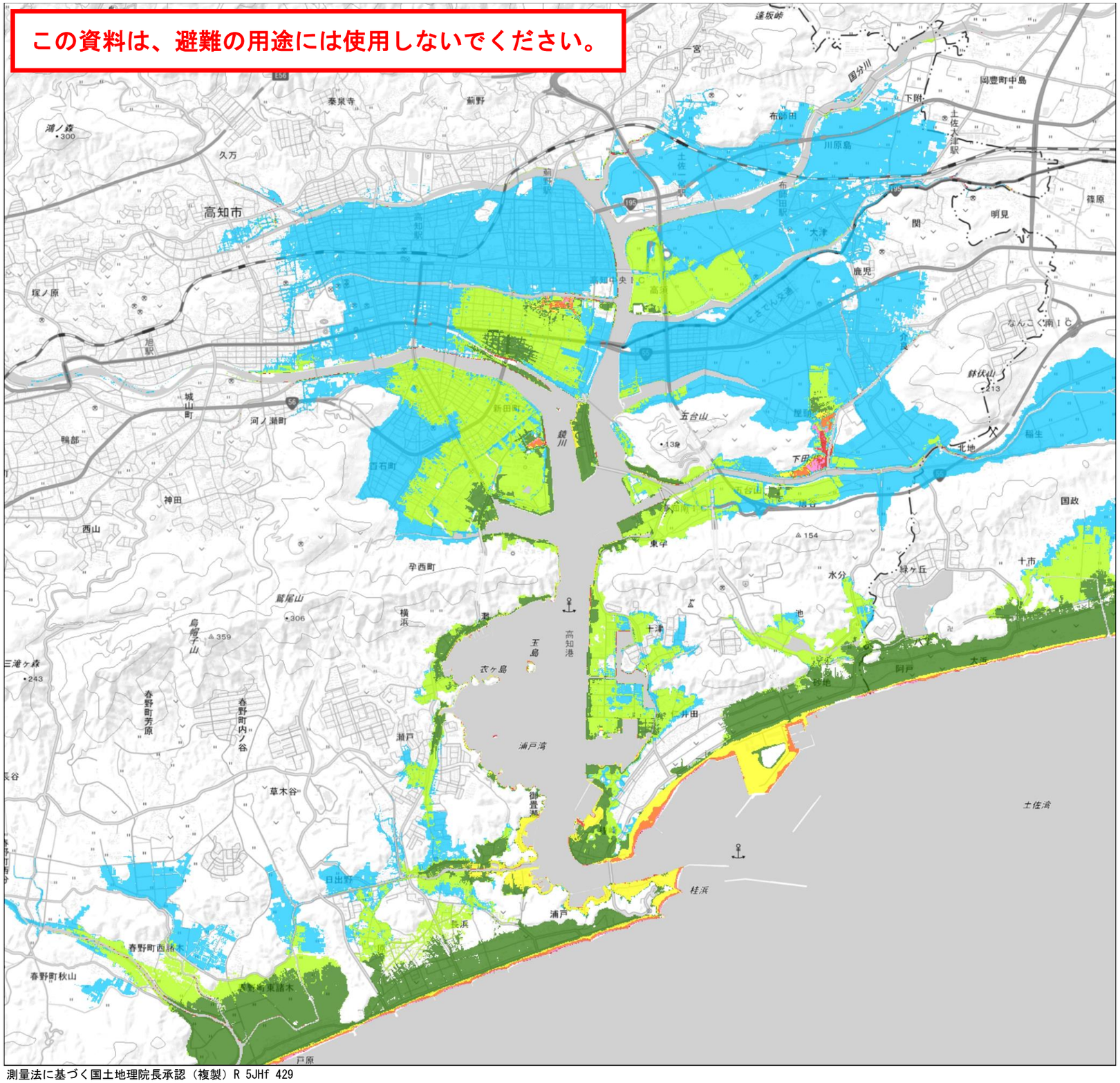


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

10　　高知市（30cm 津波到達時間）

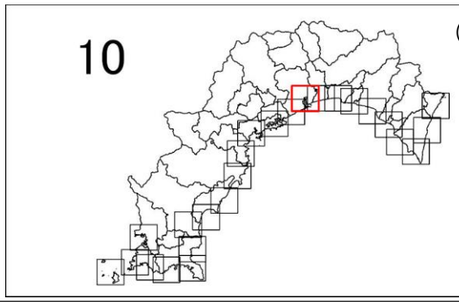
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

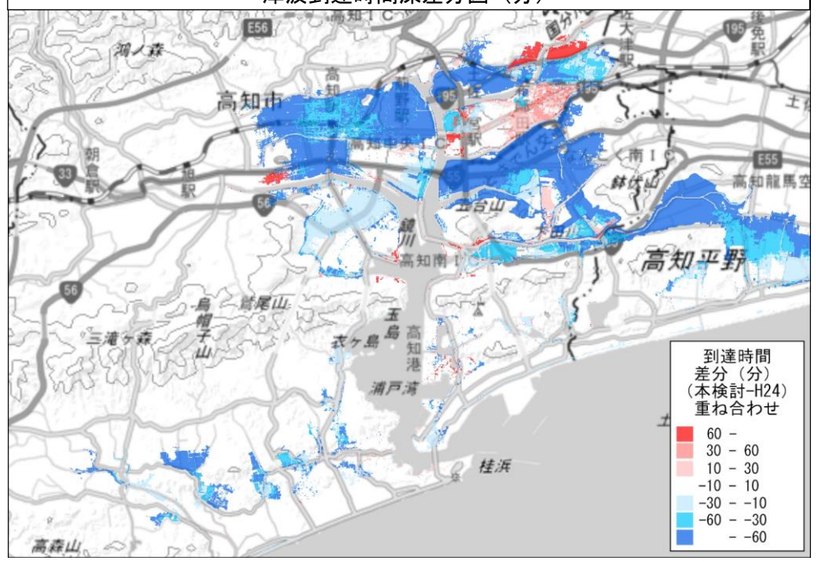
- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

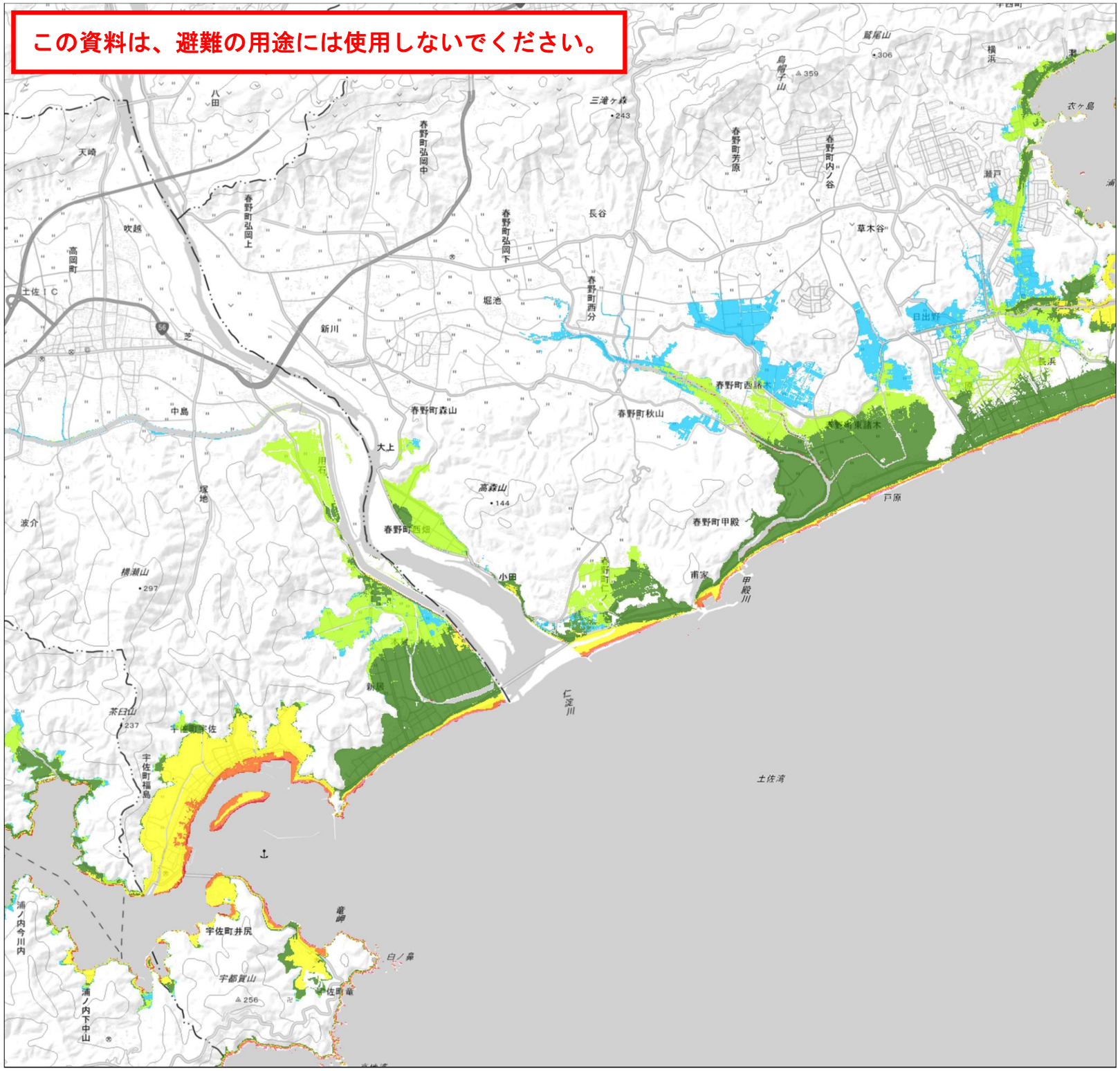
津波到達時間深差分図（分）

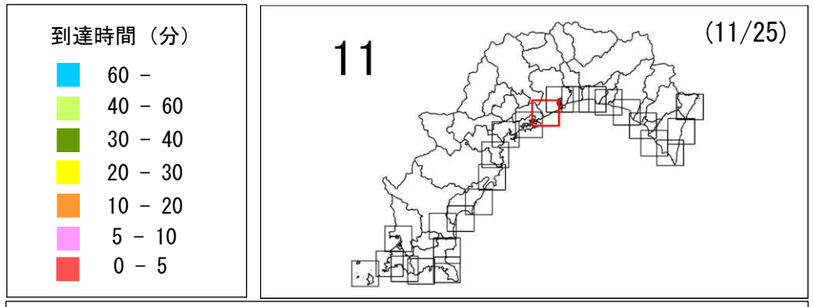


【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

11　　高知市　土佐市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

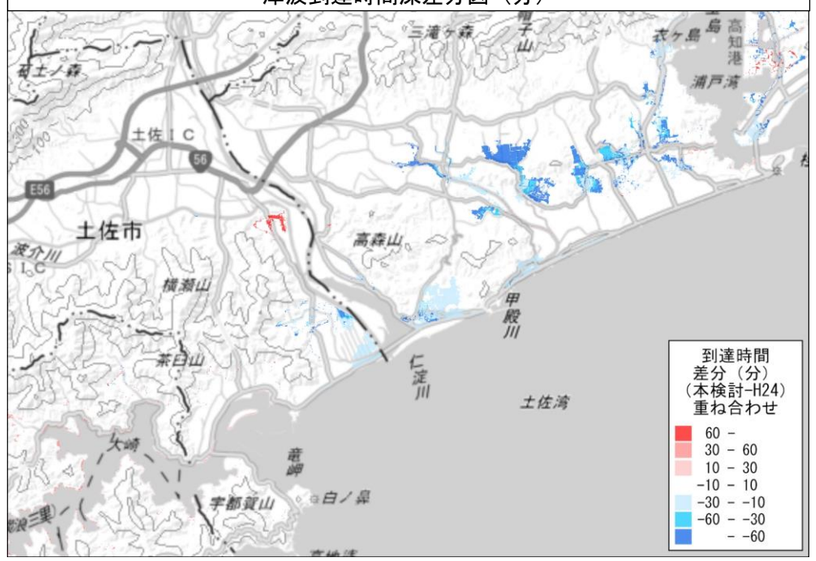




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

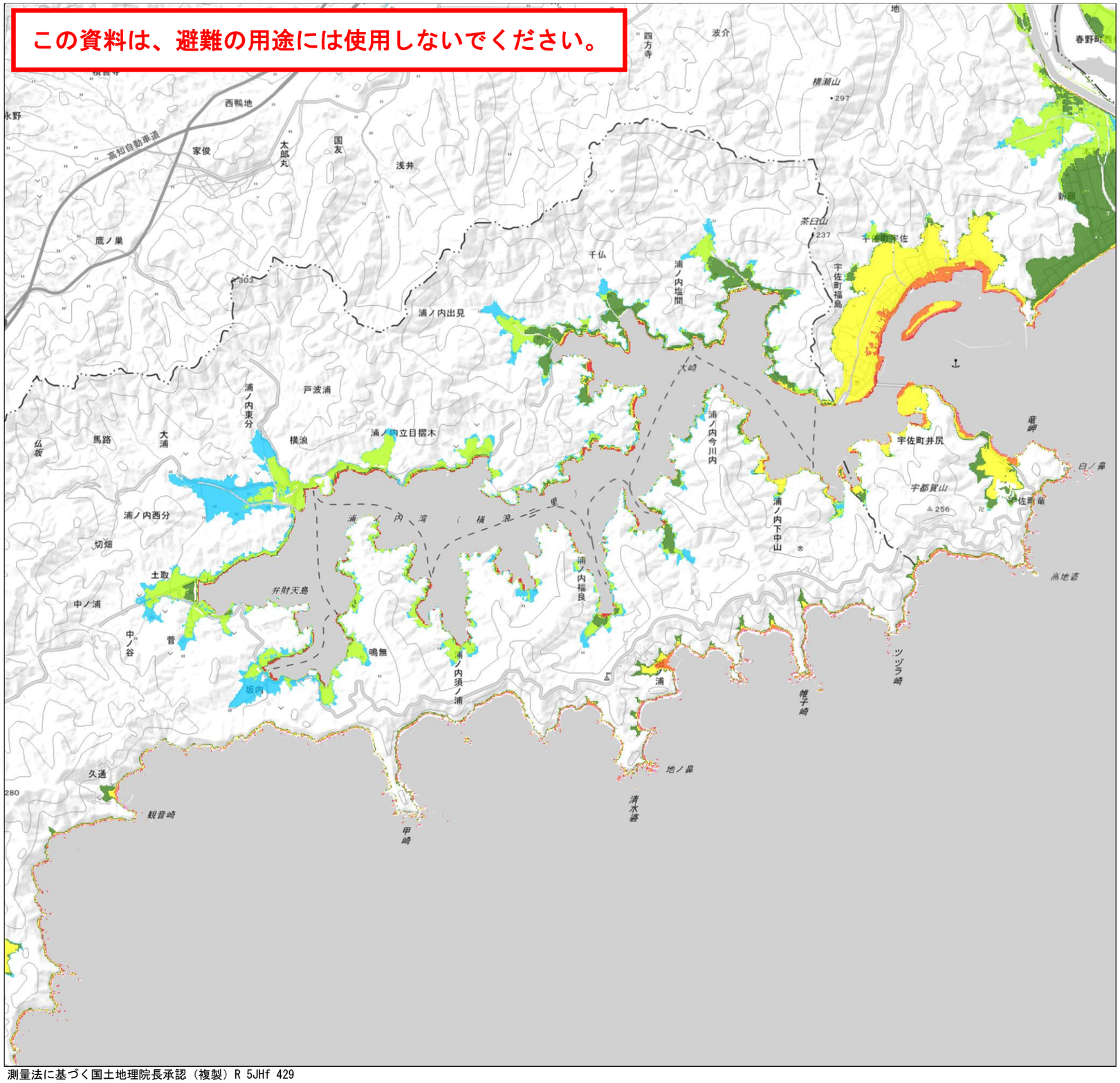


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

12　須崎市 その１（30cm 津波到達時間）

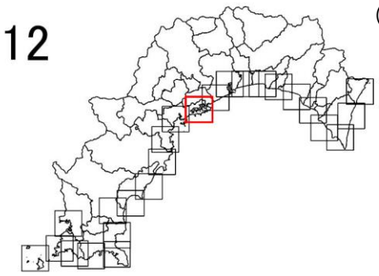
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

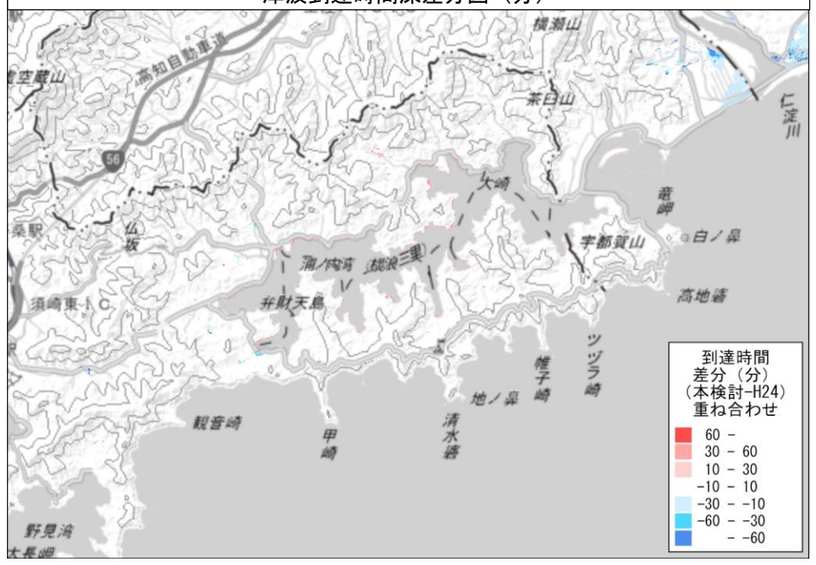
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

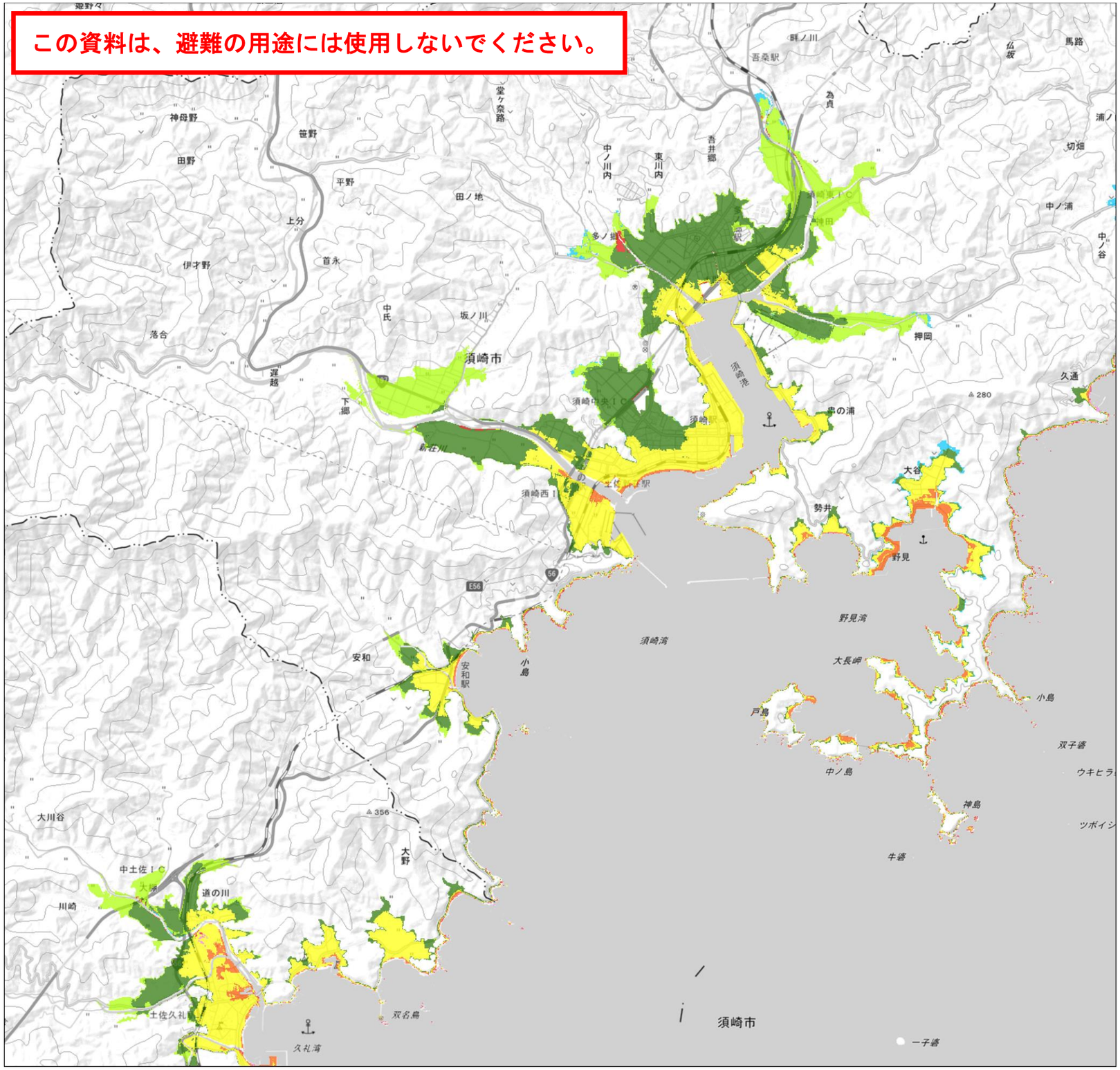
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



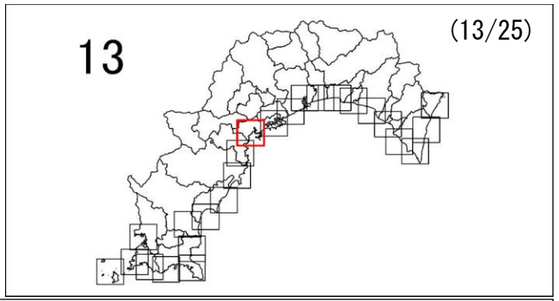
13　須崎市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

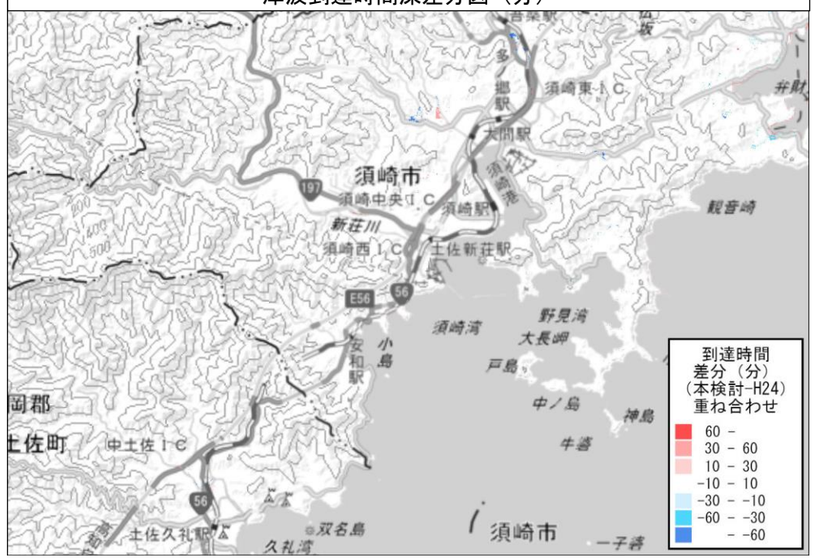
- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

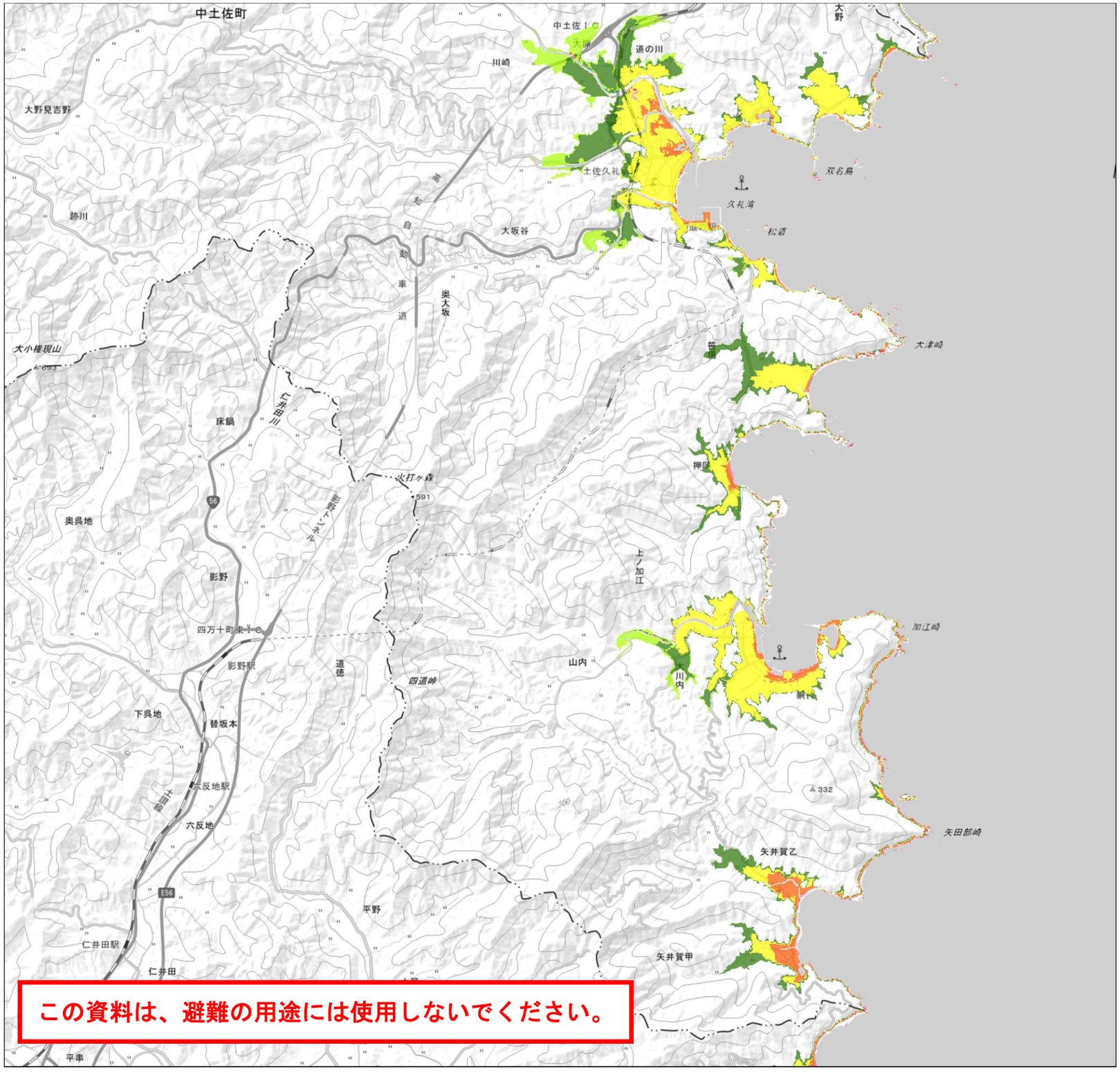
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

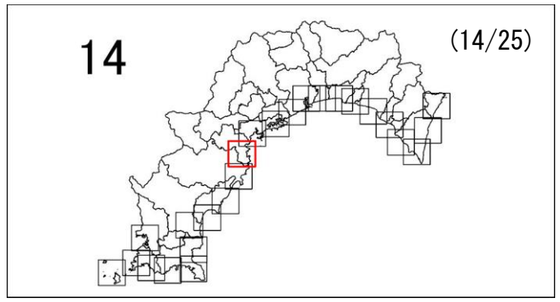
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

14　　中土佐町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

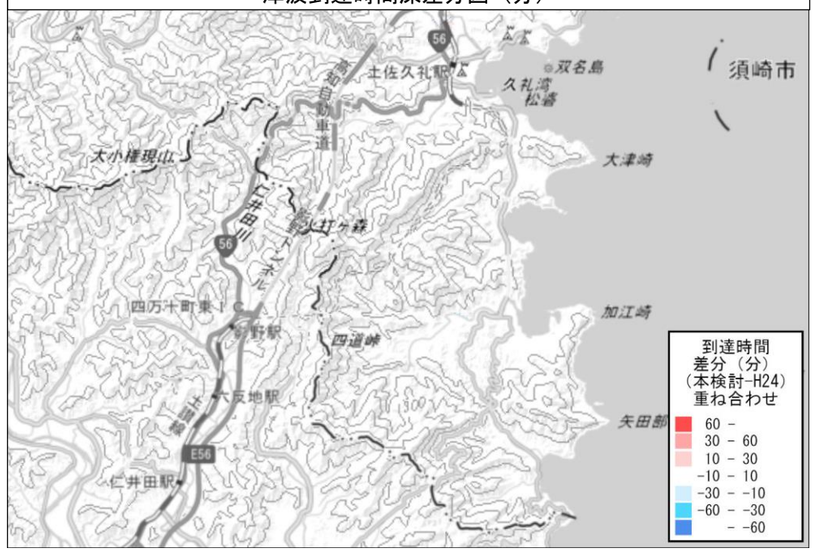
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

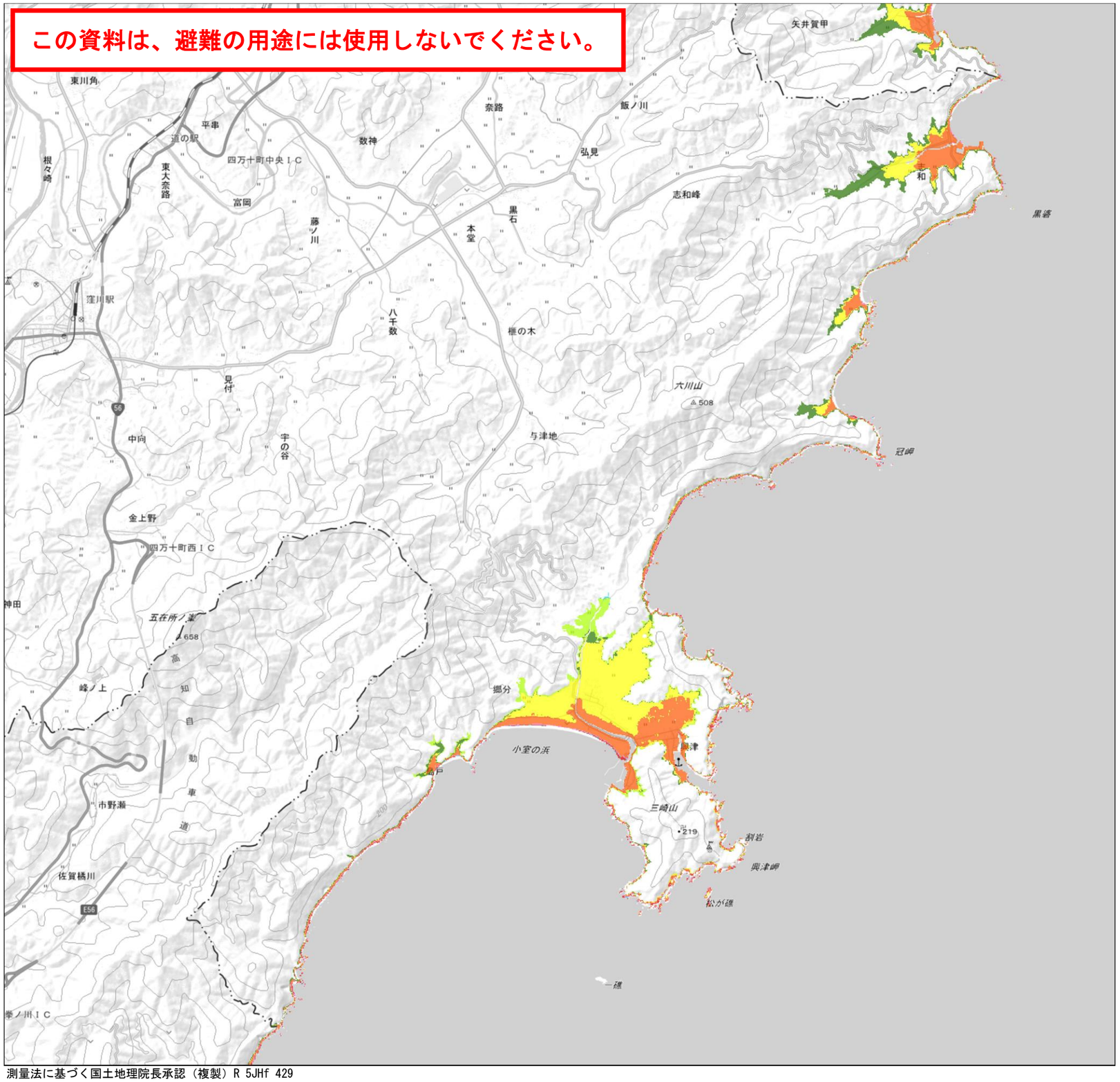


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

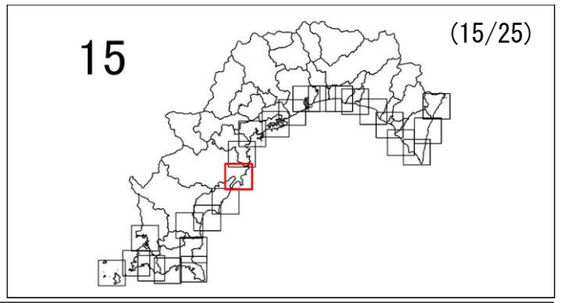
15　四万十町（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

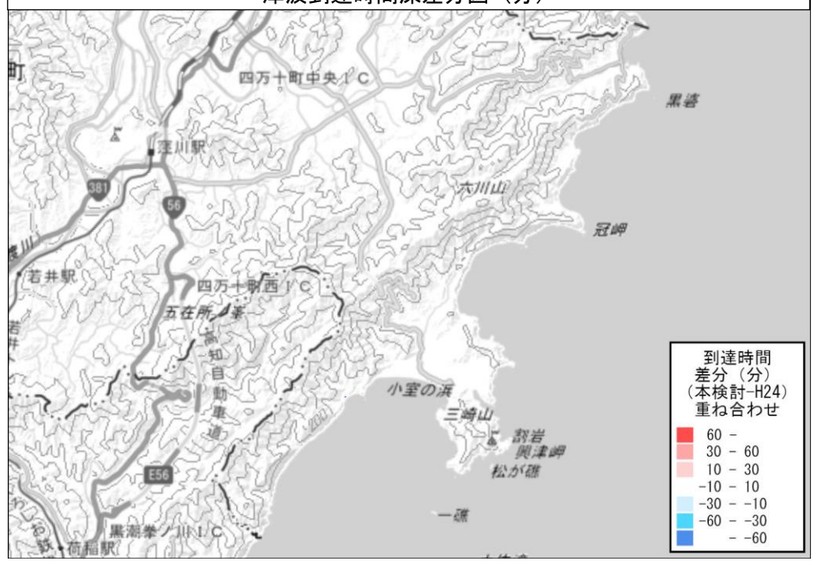
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

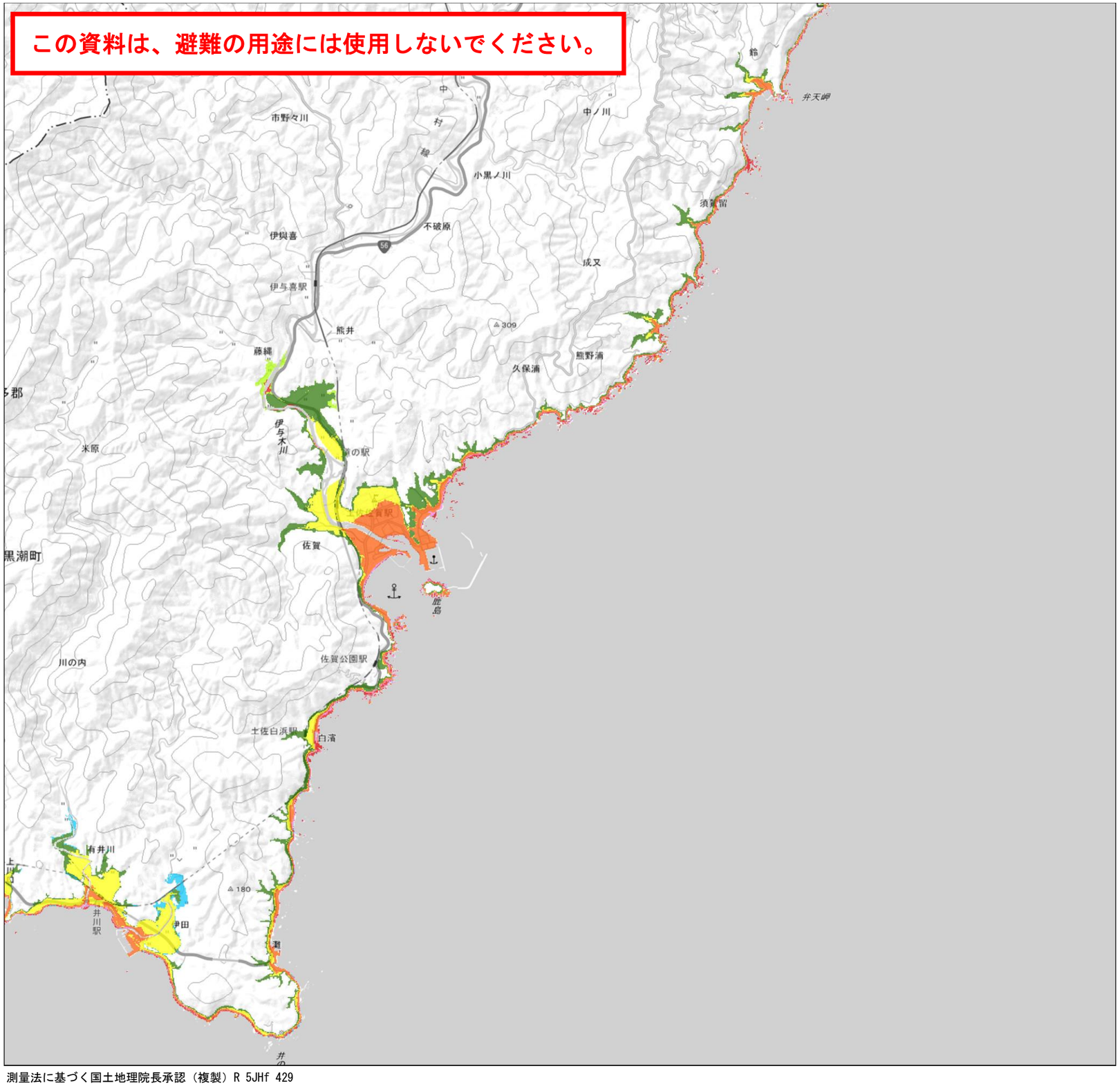
津波到達時間深差分図（分）

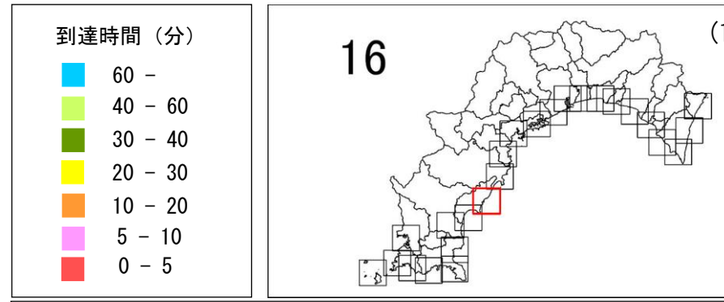


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

16　　黒潮町　その１（30cm 津波到達時間）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

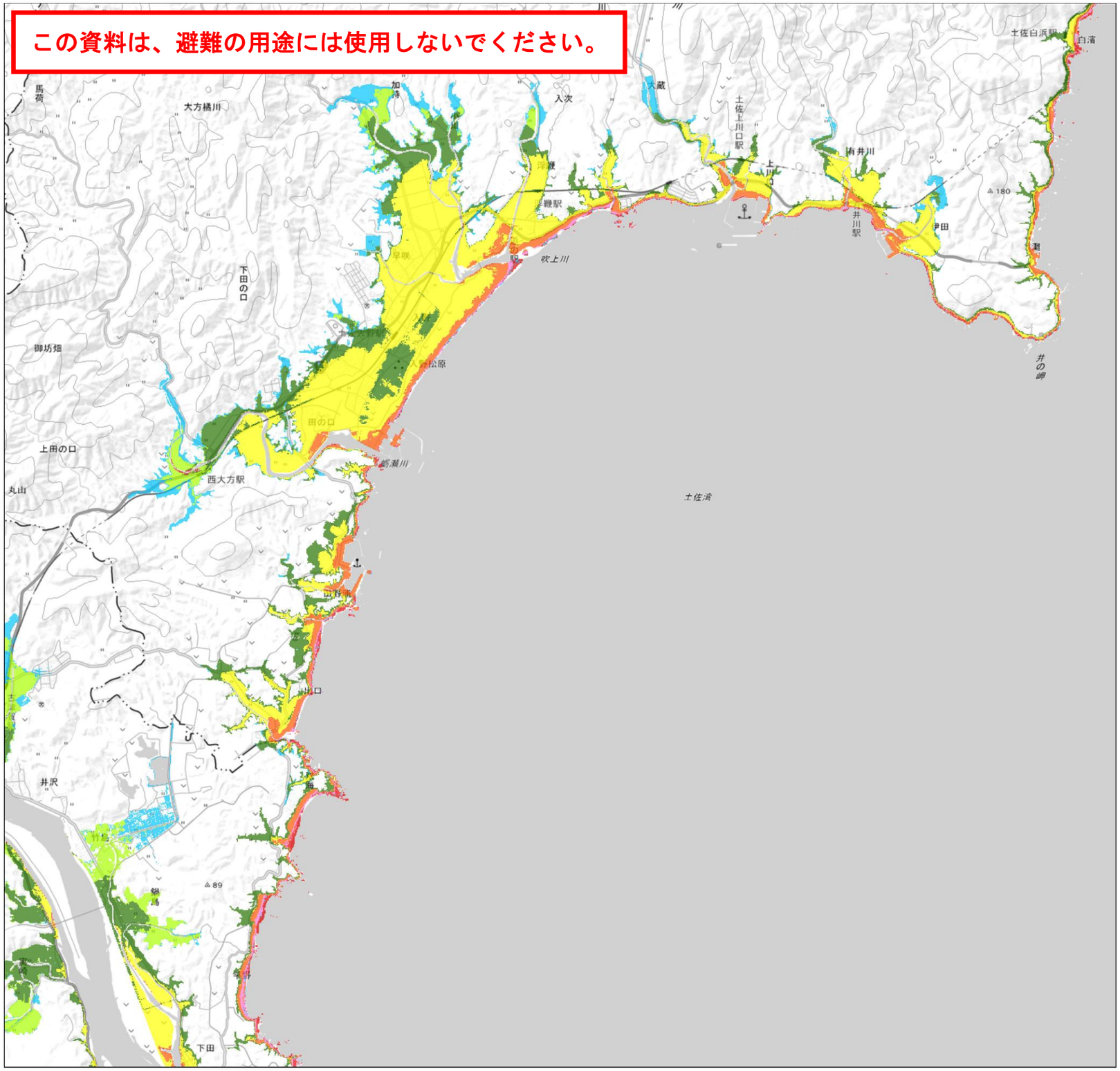
津波到達時間深差分図（分）

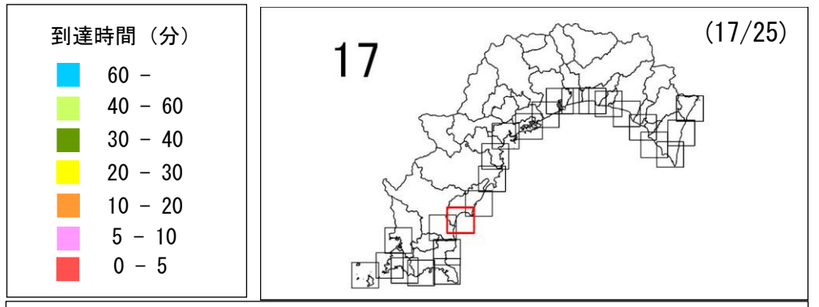


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

17　　黒潮町　その２（30cm 津波到達時間）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

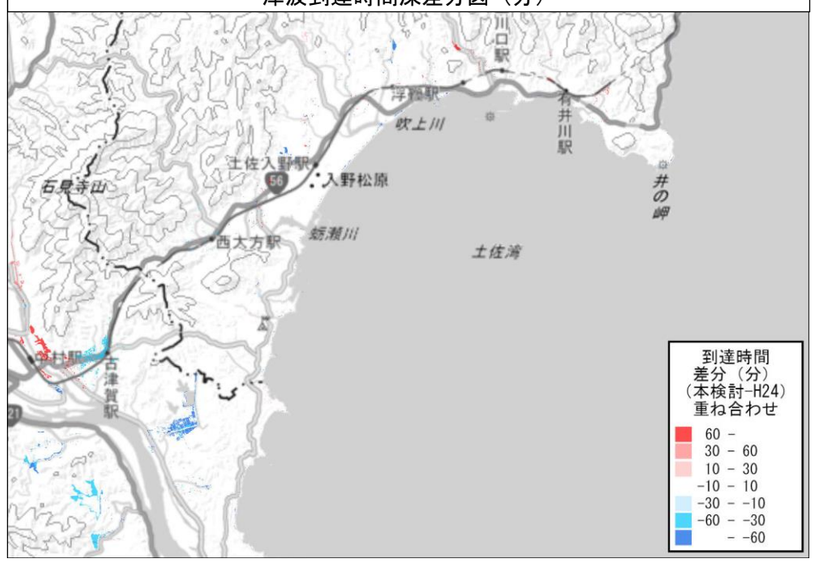
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

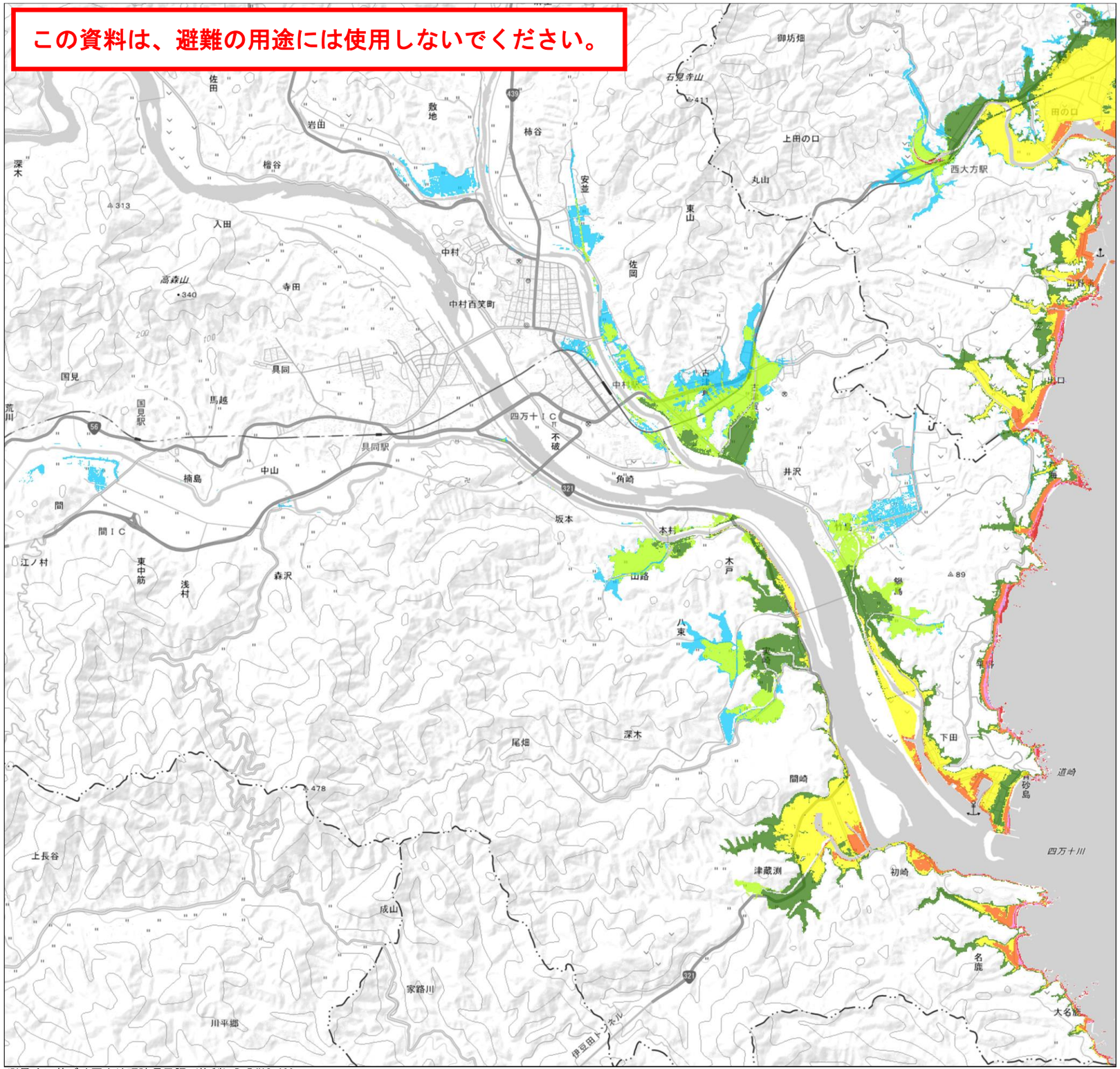


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

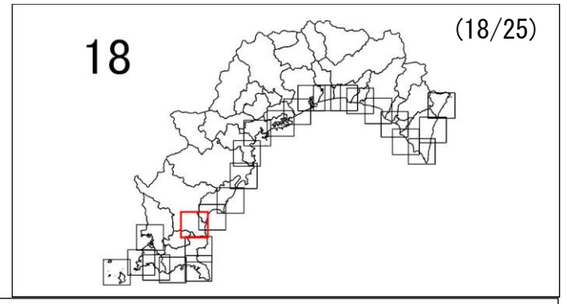
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

18　　四万十市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



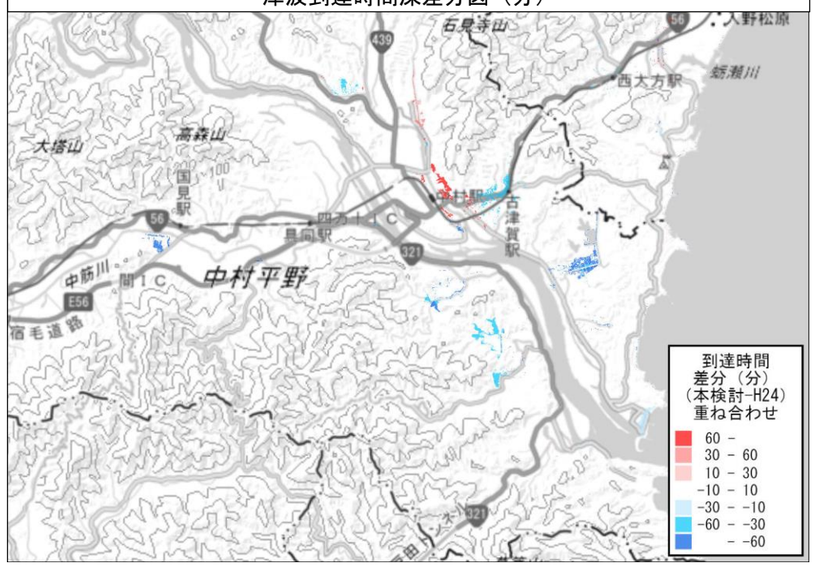
到達時間（分）
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

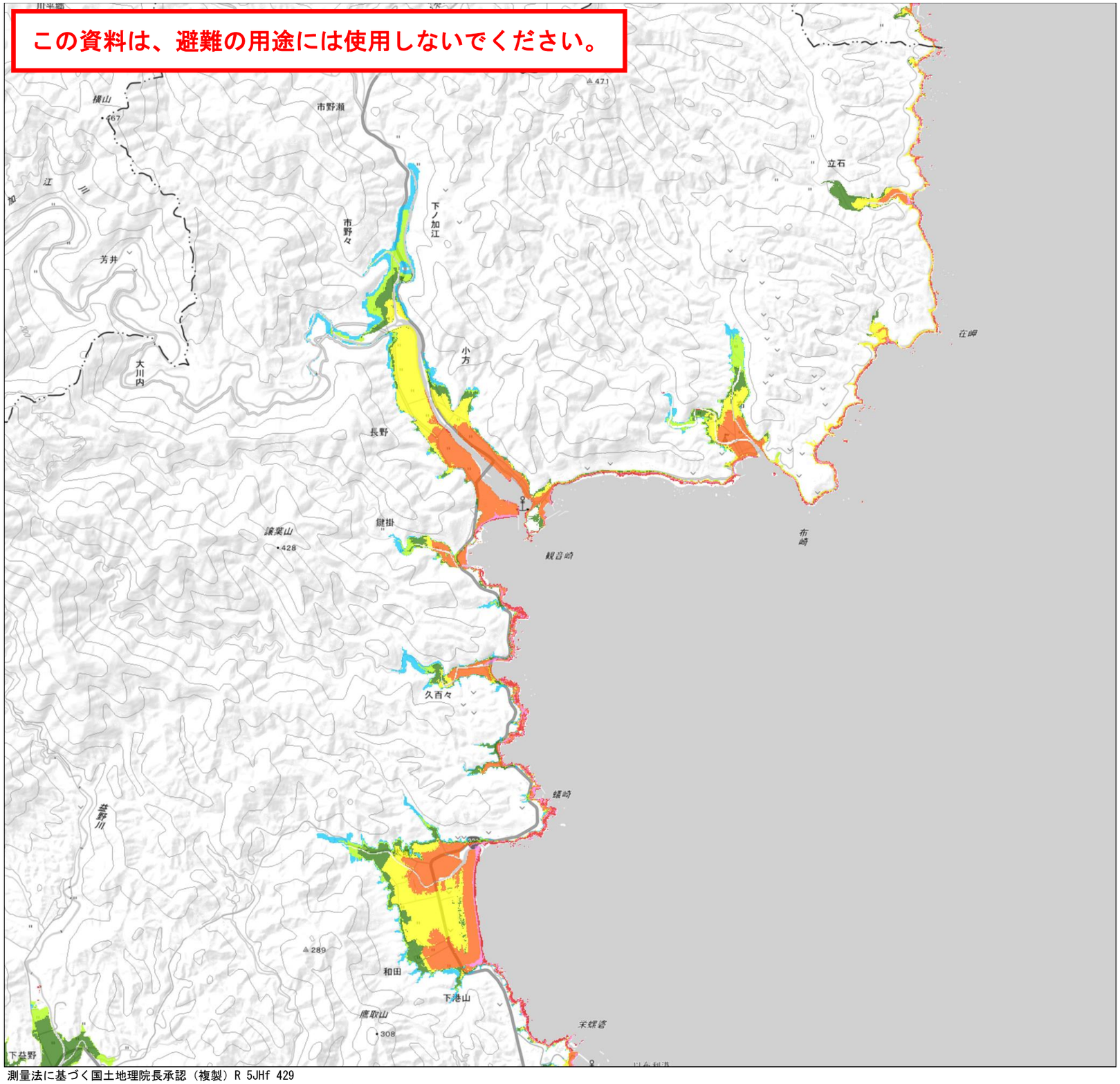
津波到達時間深差分図（分）

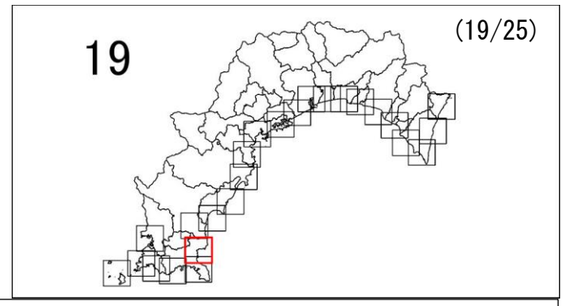


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

19　　土佐清水市　その１（30cm 津波到達時間）

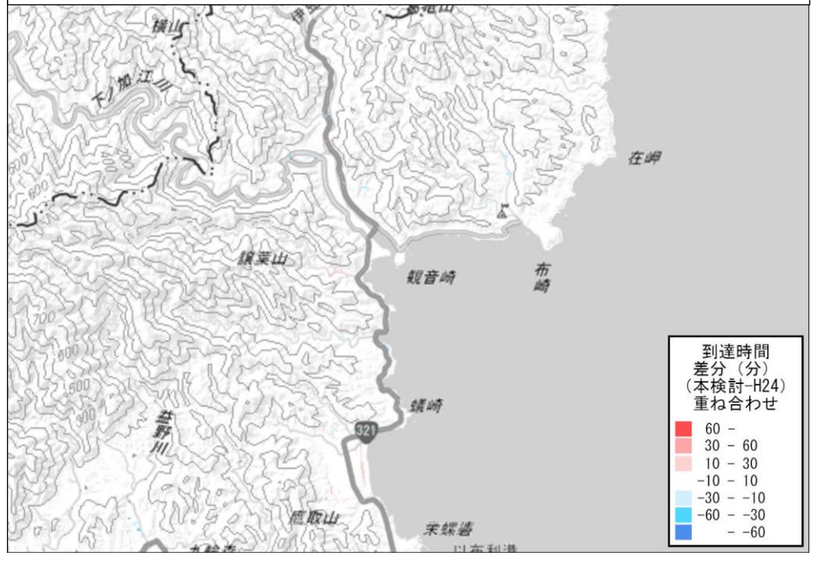




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

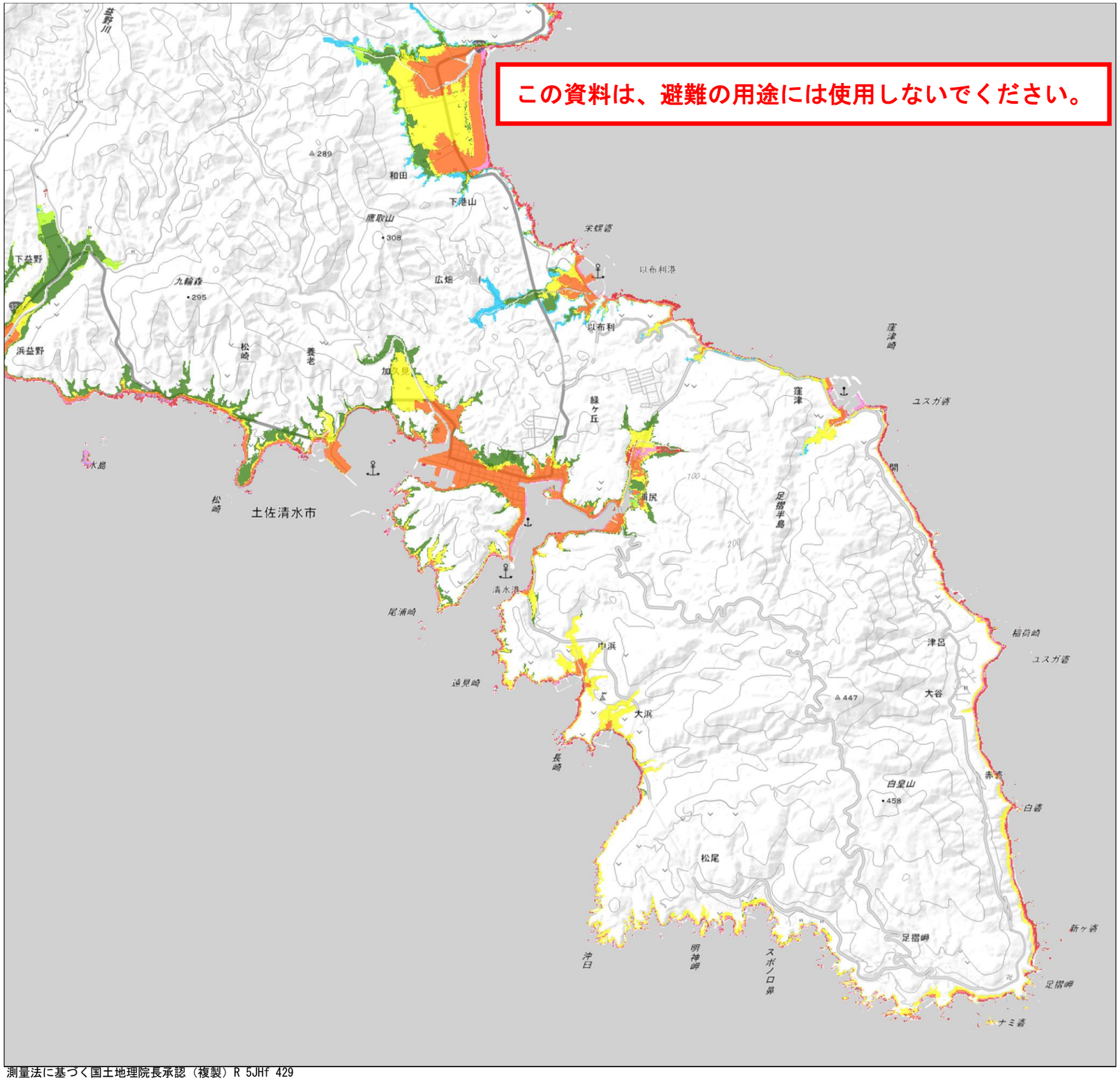
津波到達時間深差分図（分）



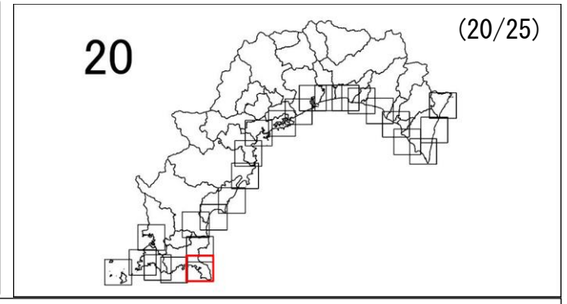
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

20　　土佐清水市　その２（30cm 津波到達時間）



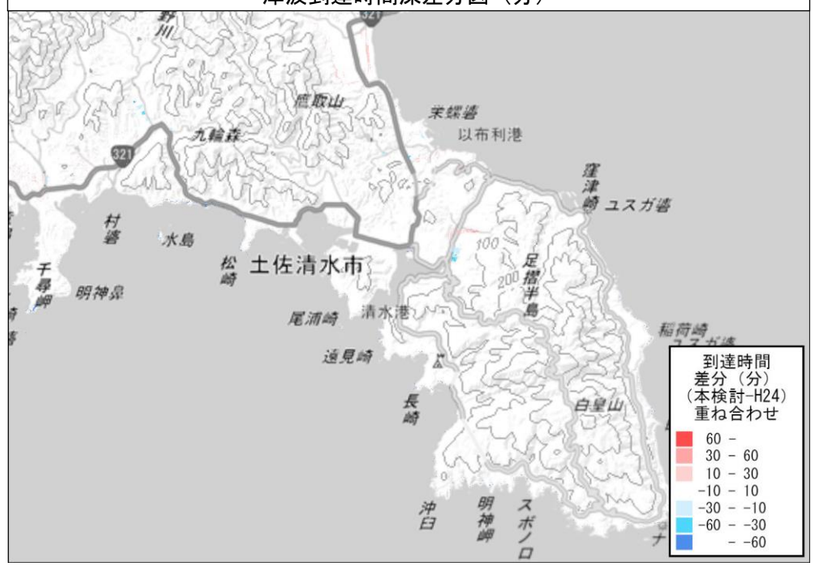
到達時間（分）
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

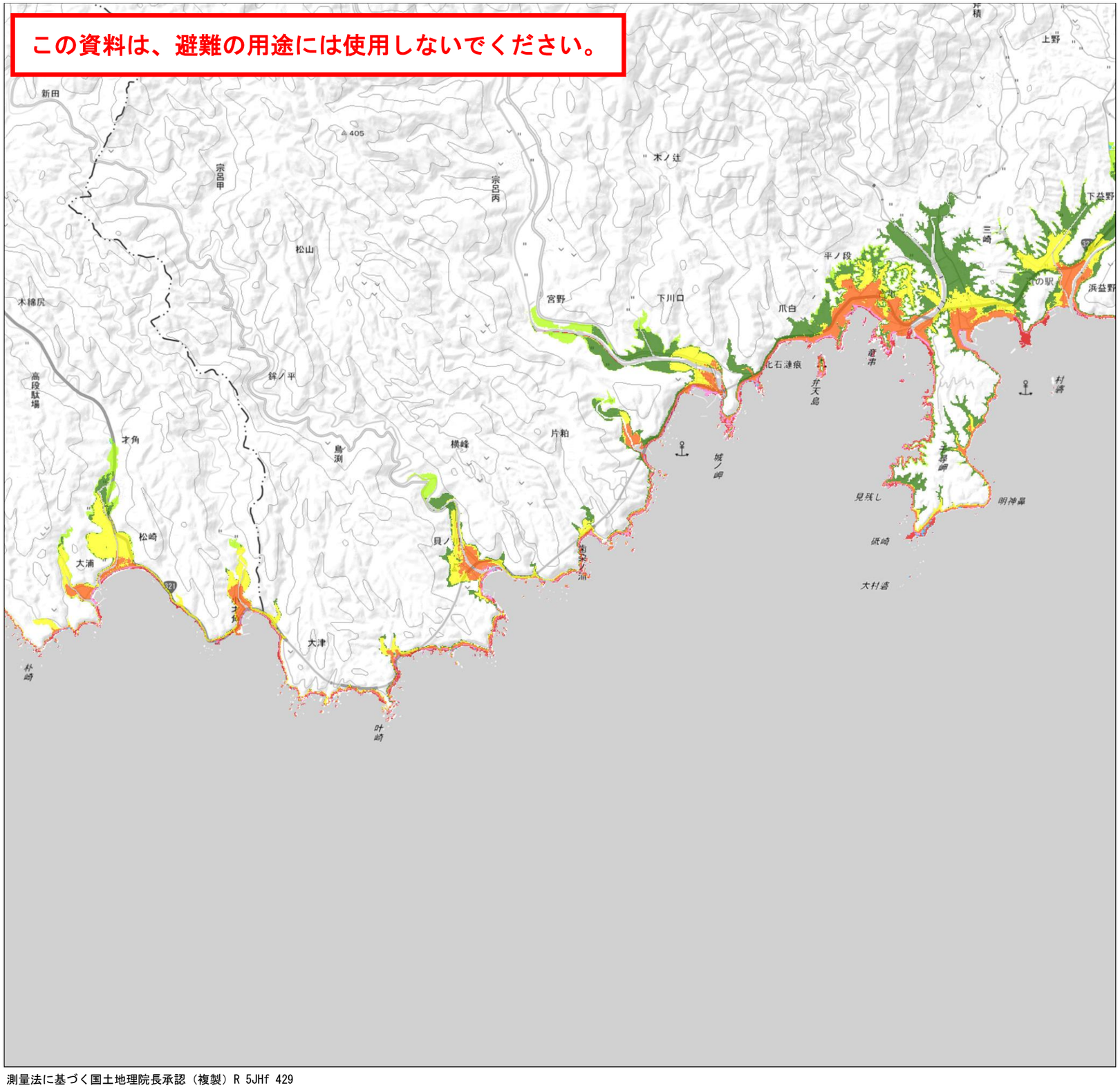
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

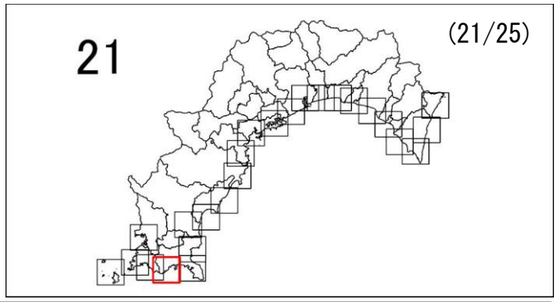
21　　土佐清水市　その３（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

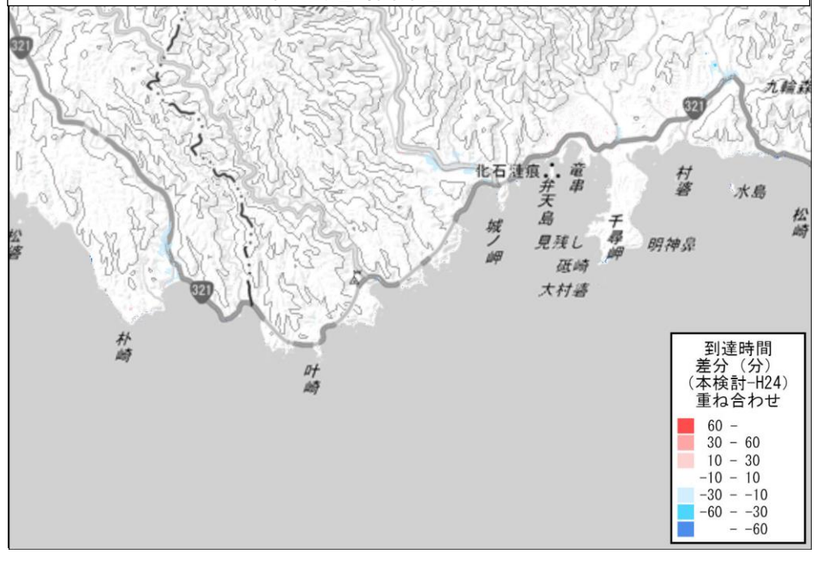
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

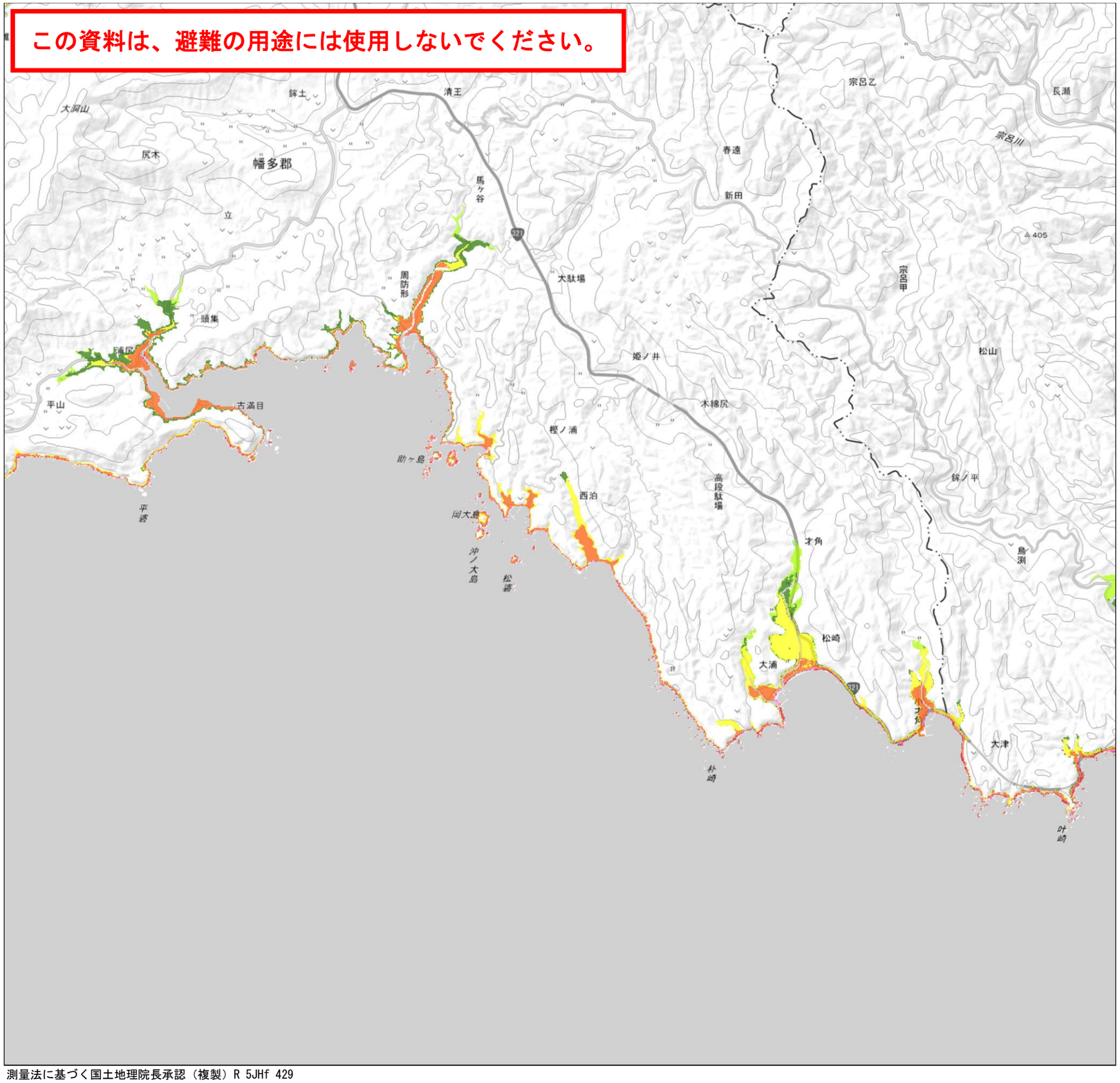
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

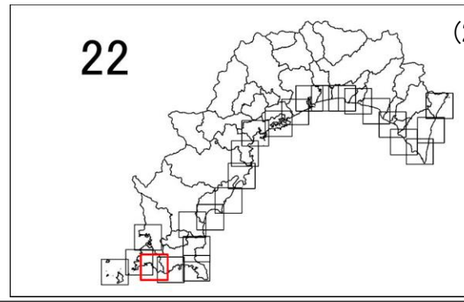
22　　大月町　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

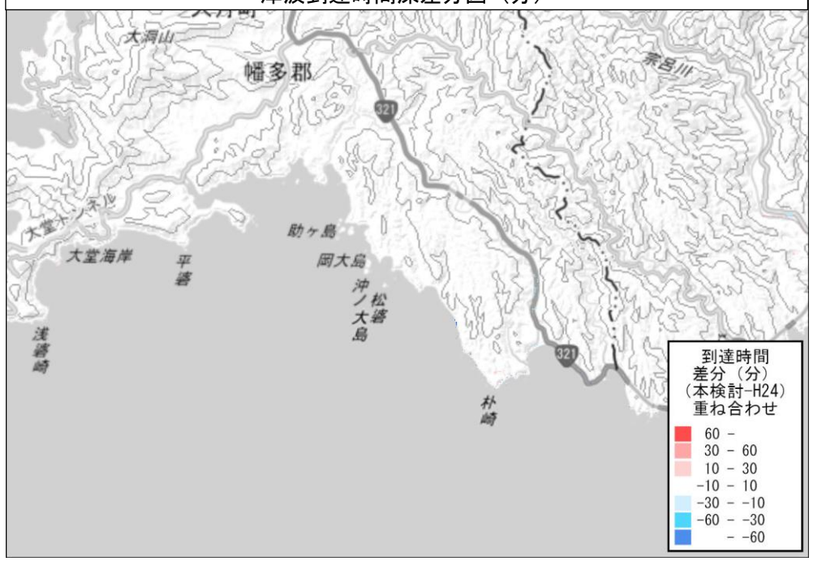
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

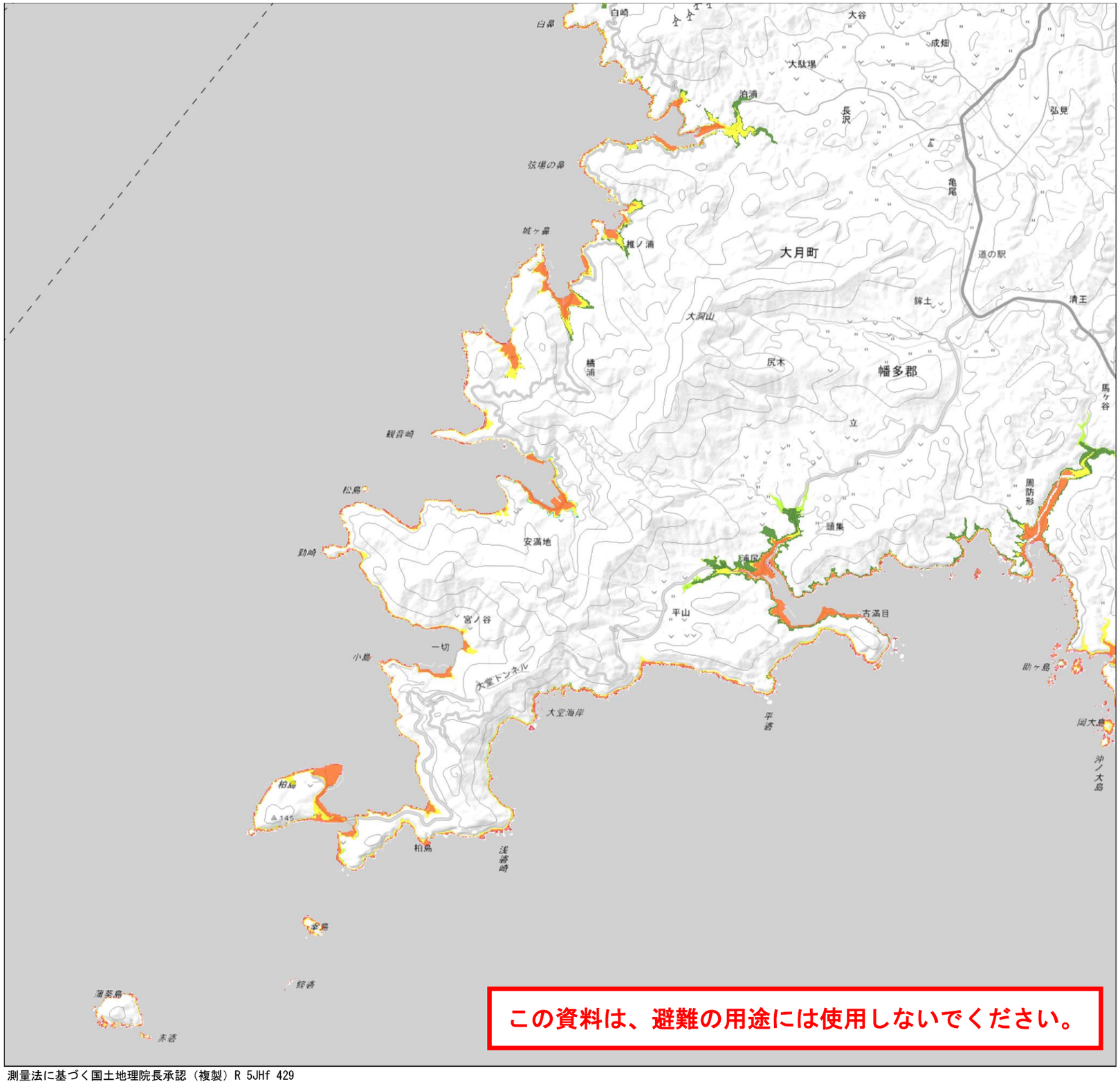
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

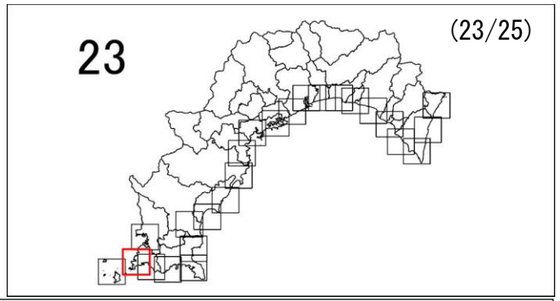
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

23　　大月町 その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

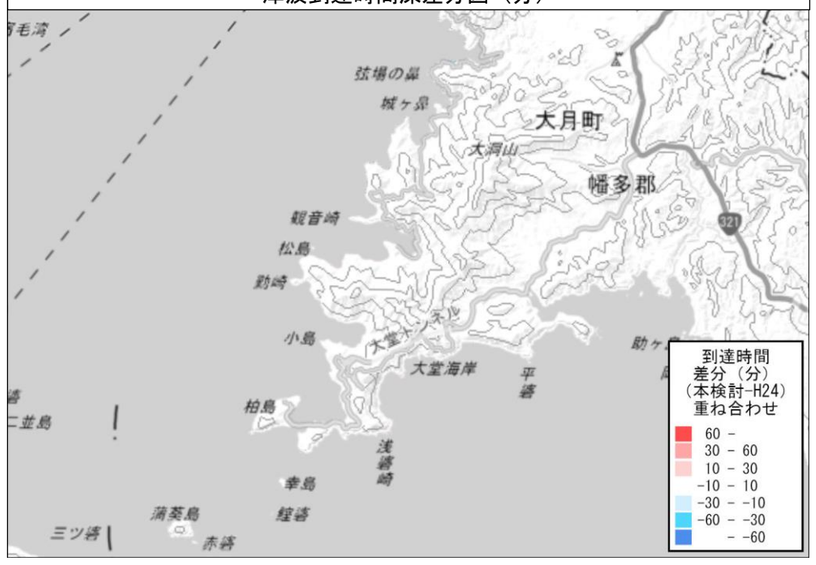
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

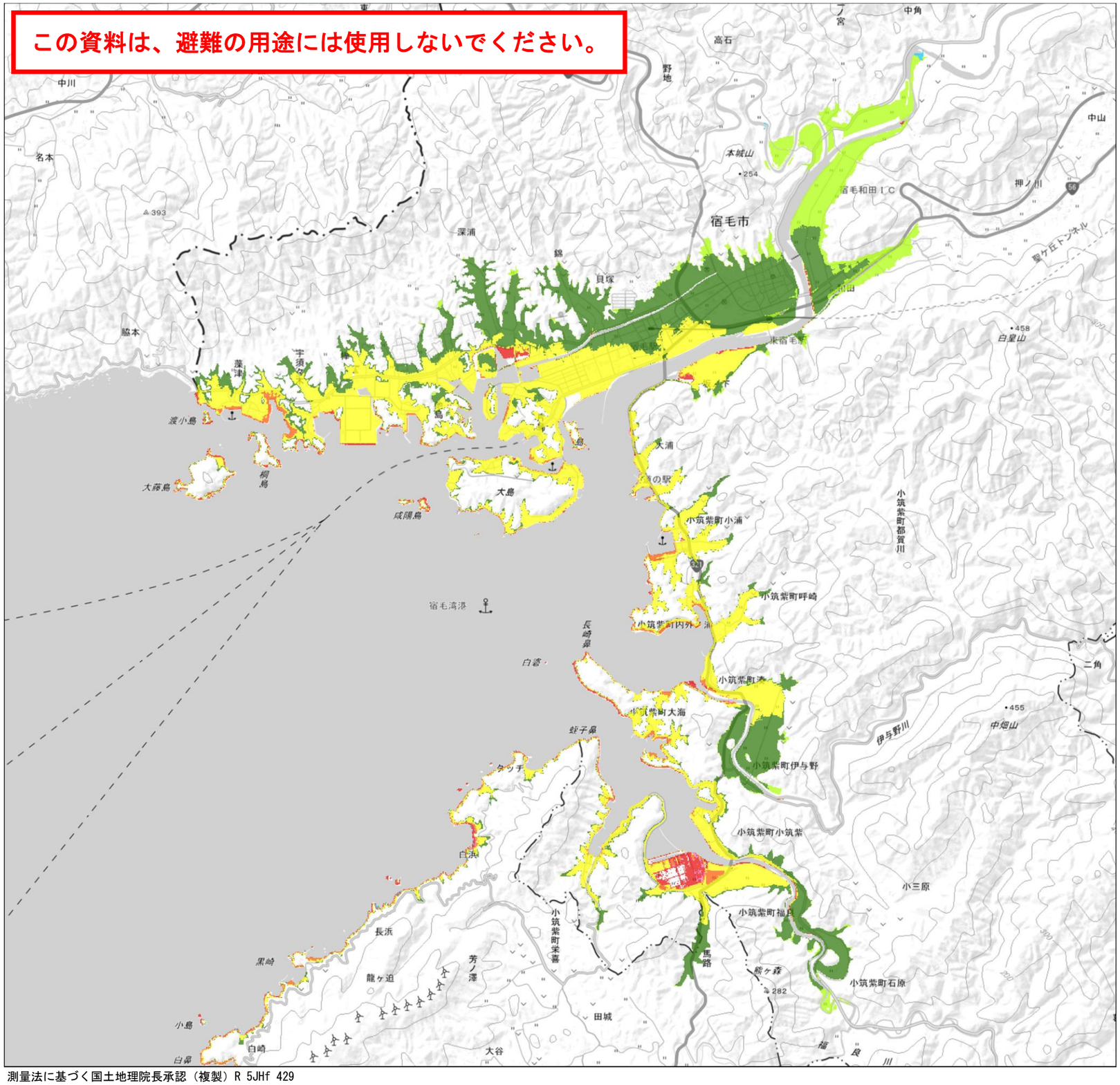


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（②堤防等の耐震整備が完了している区間が「破壊しない」と仮定した場合）

24　　宿毛市　その１（30cm 津波到達時間）

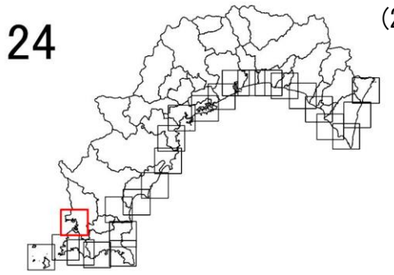
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

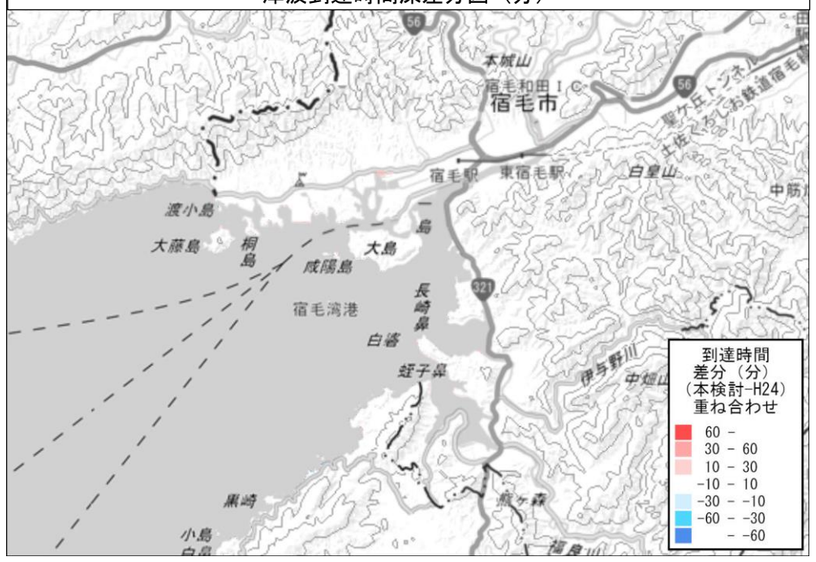
- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



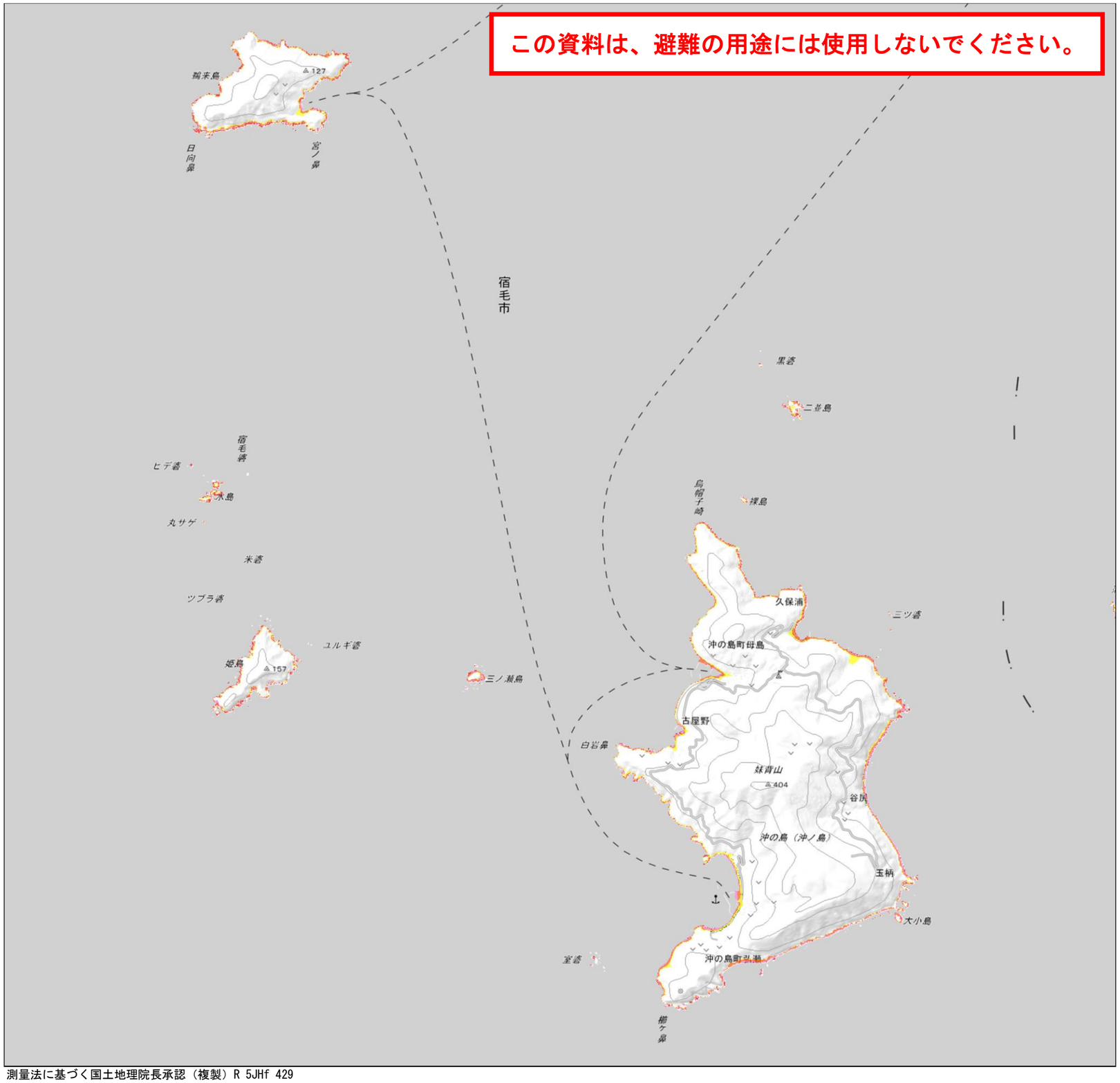
（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

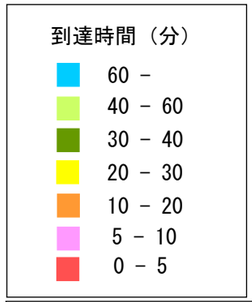
津波到達時間深差分図（分）

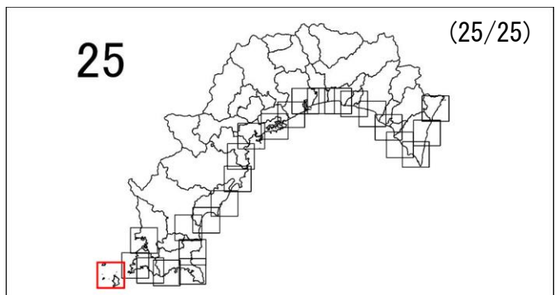


25　宿毛市 その２（30cm 津波到達時間）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

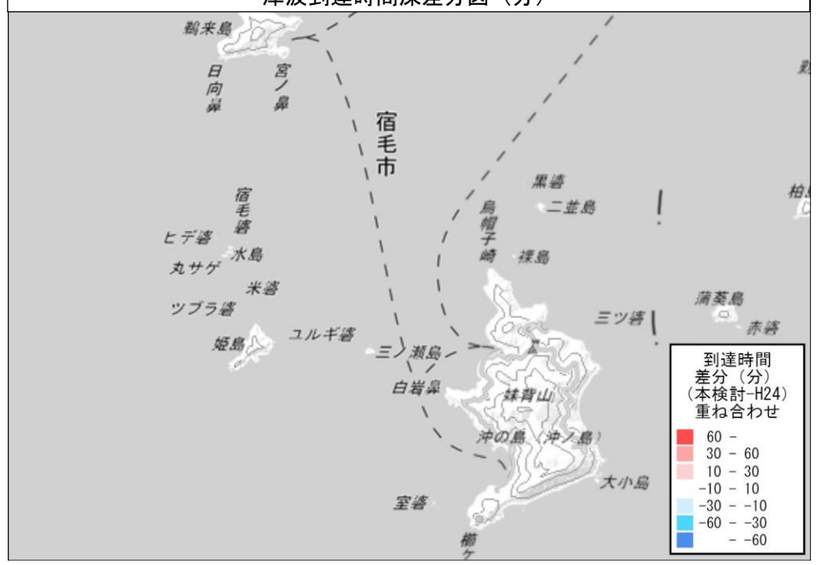




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

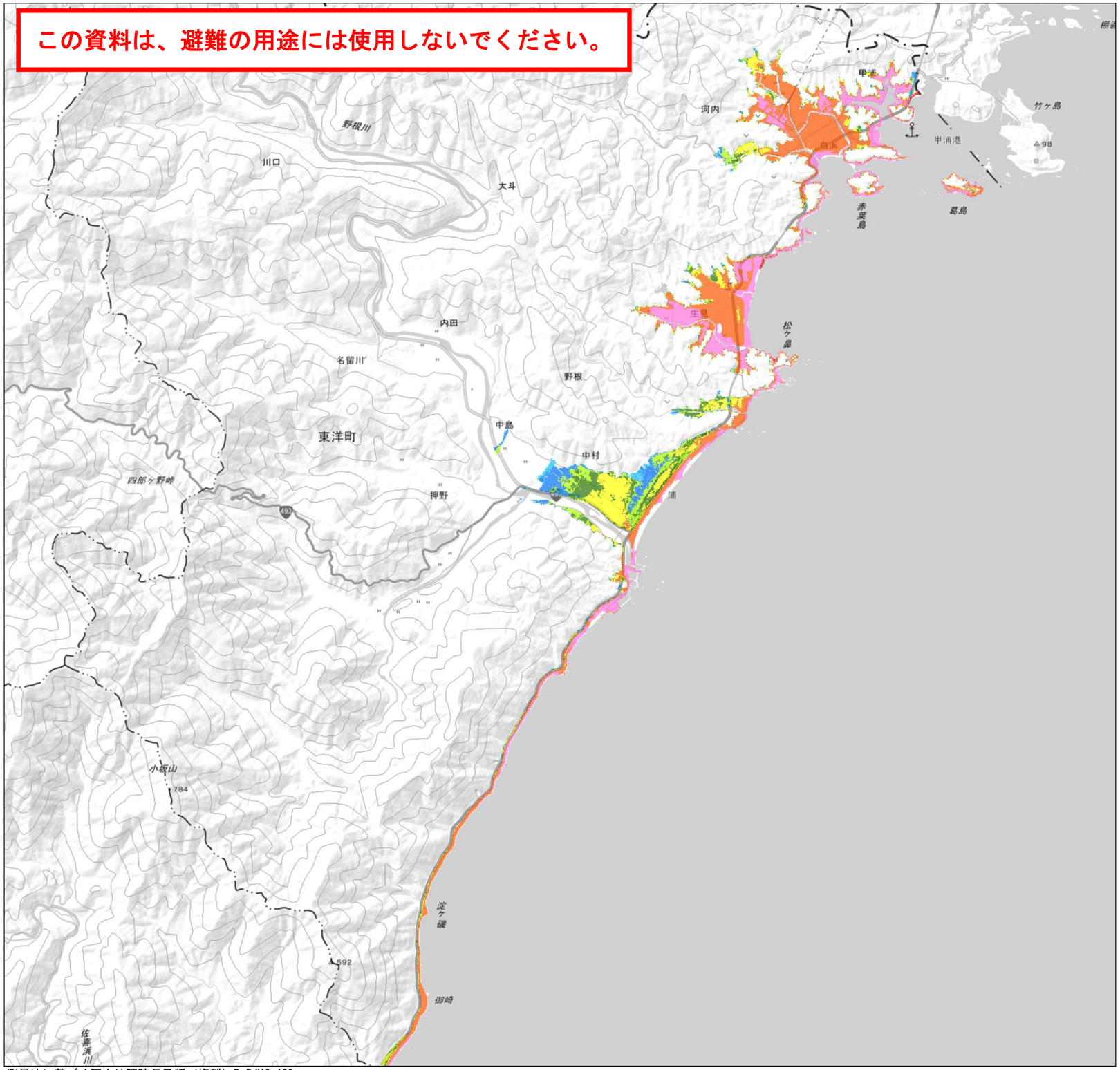
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



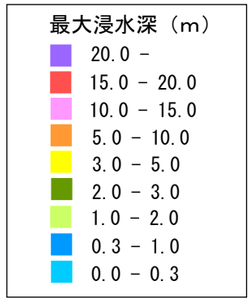
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

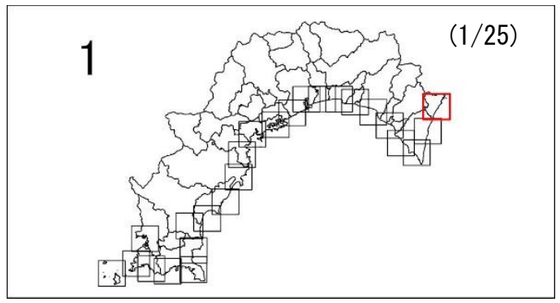
1　　東洋町（最大浸水深）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

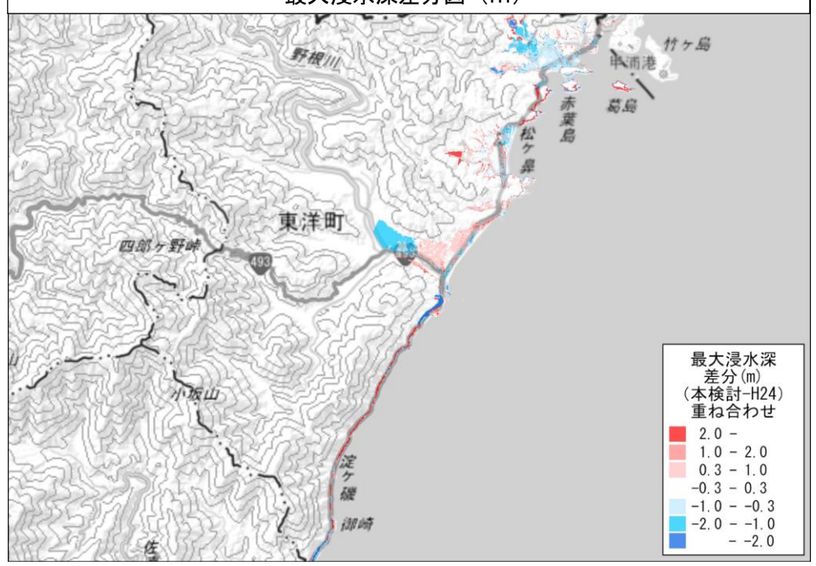
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

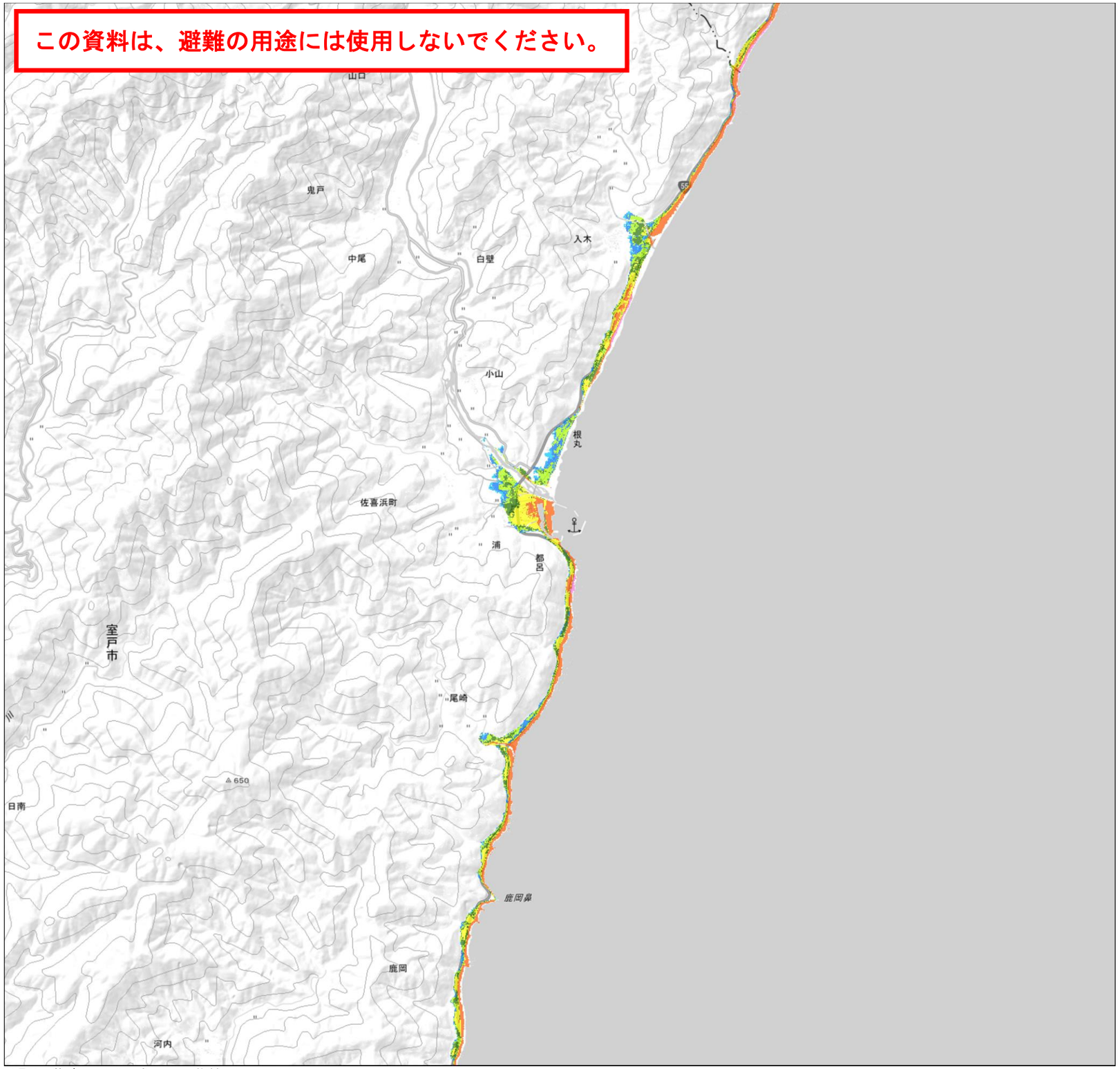
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

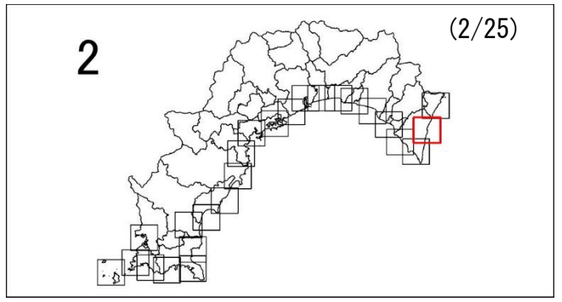


2　　室戸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



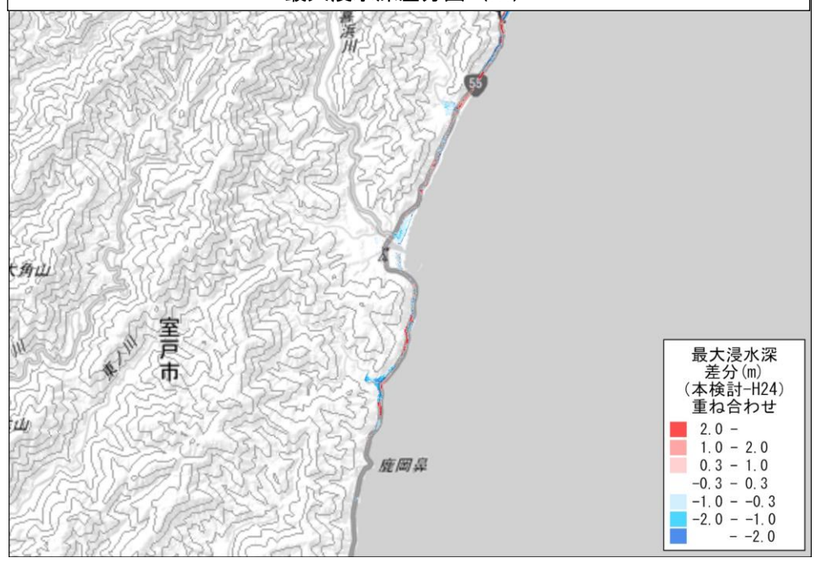
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

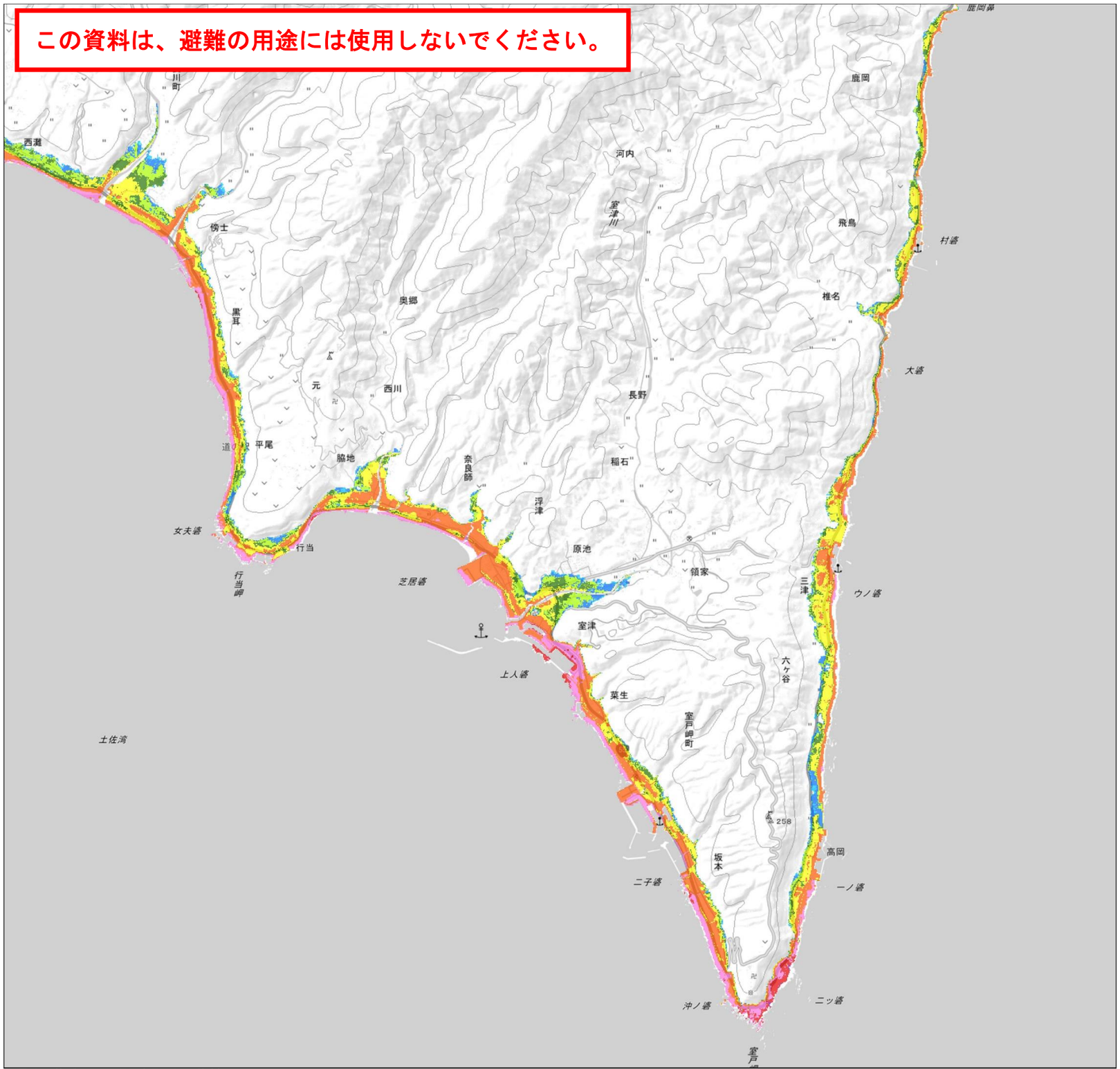


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

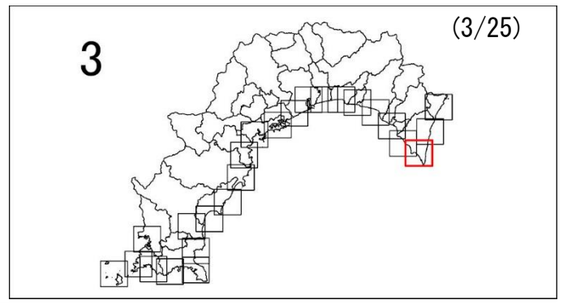
3　　室戸市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

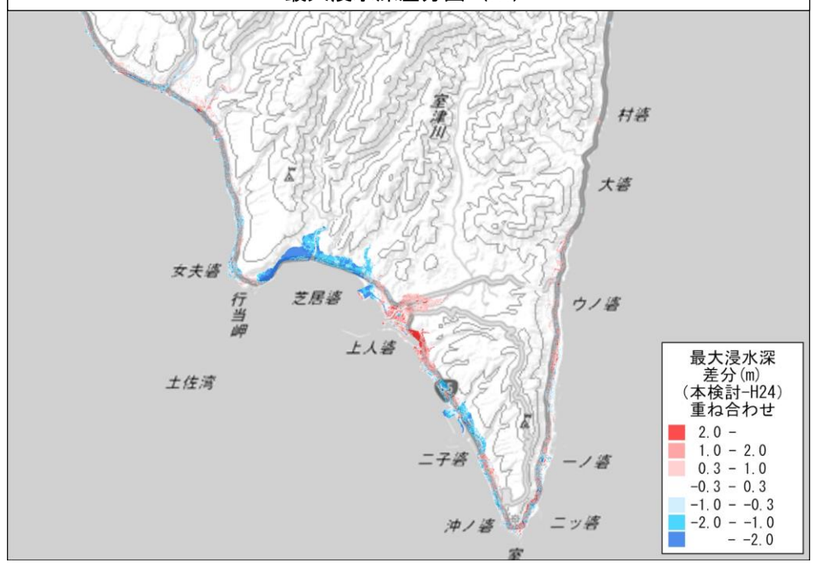
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



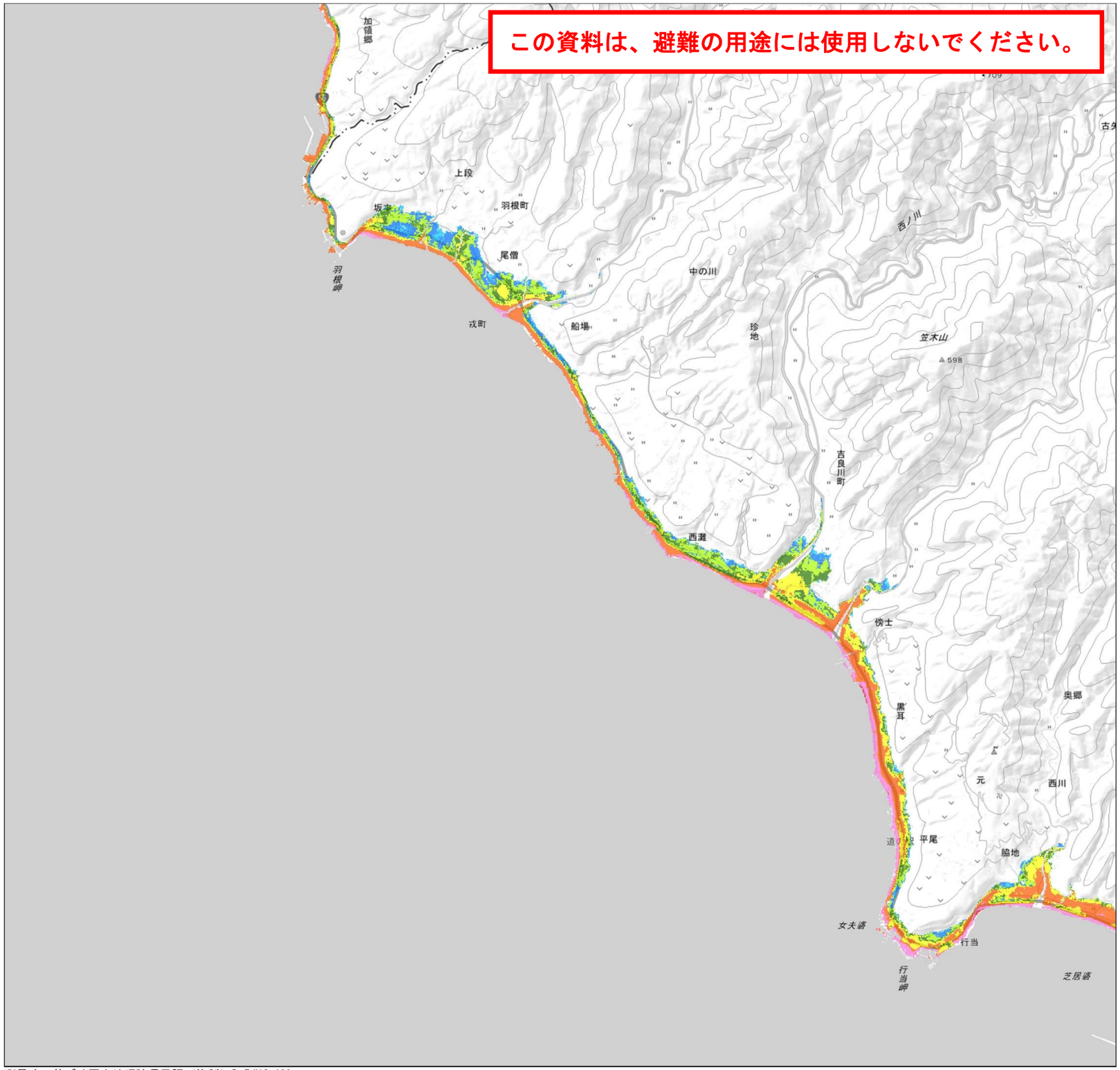
（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

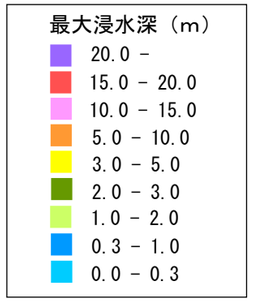
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

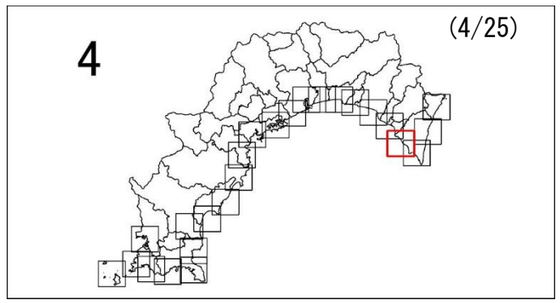
最大浸水深差分図（m）



4　　室戸市 その３（最大浸水深）



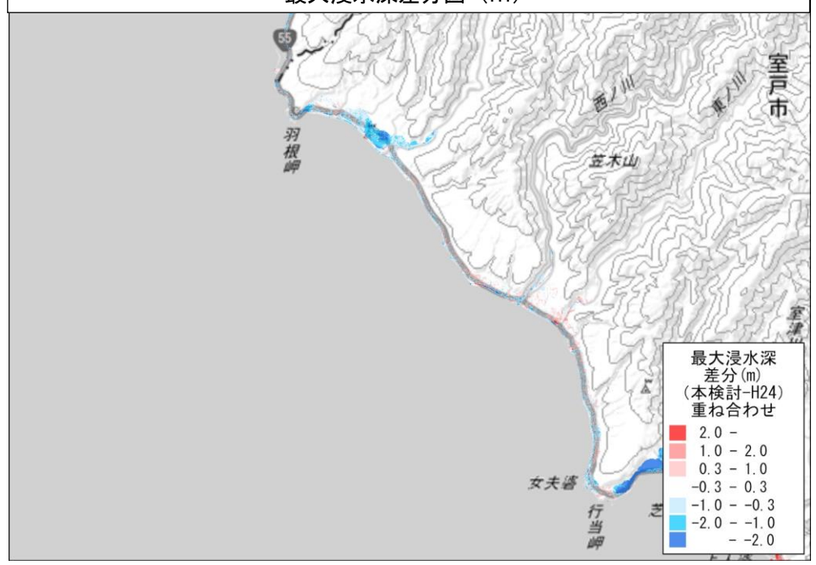




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

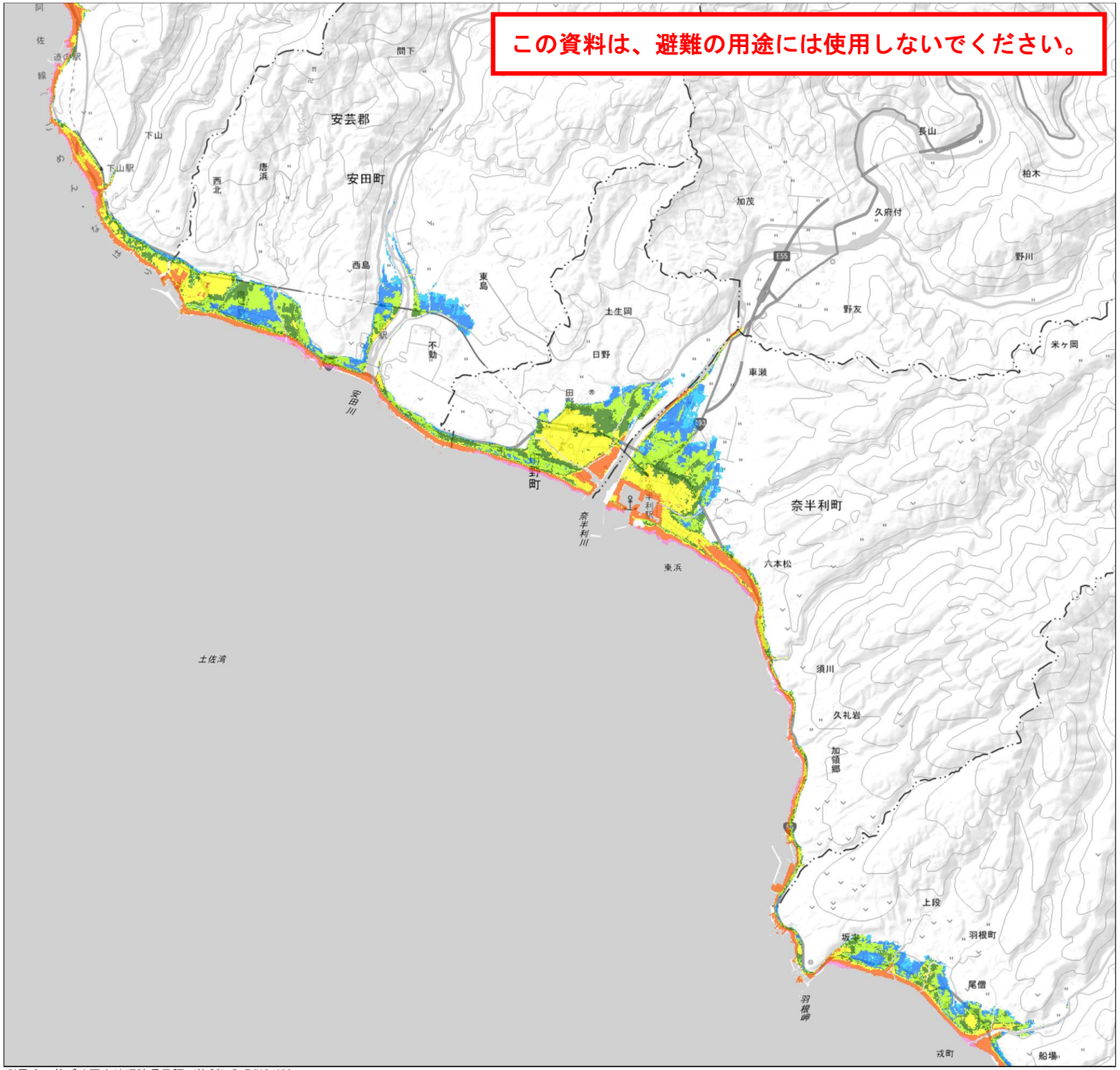
最大浸水深差分図（m）

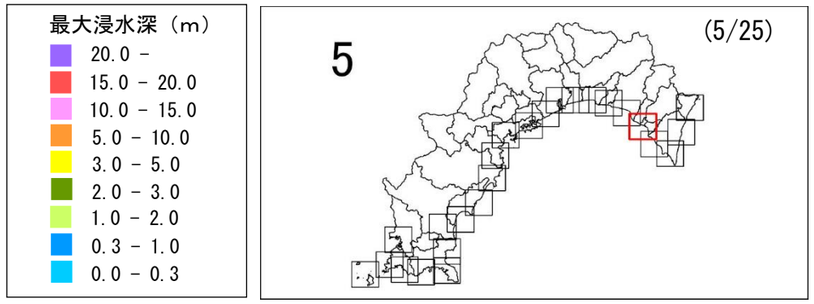


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（最大浸水深）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

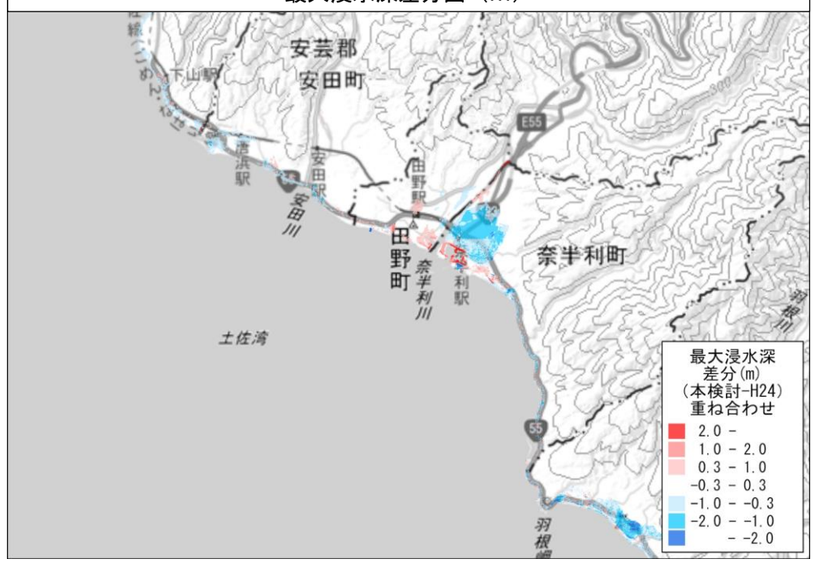
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

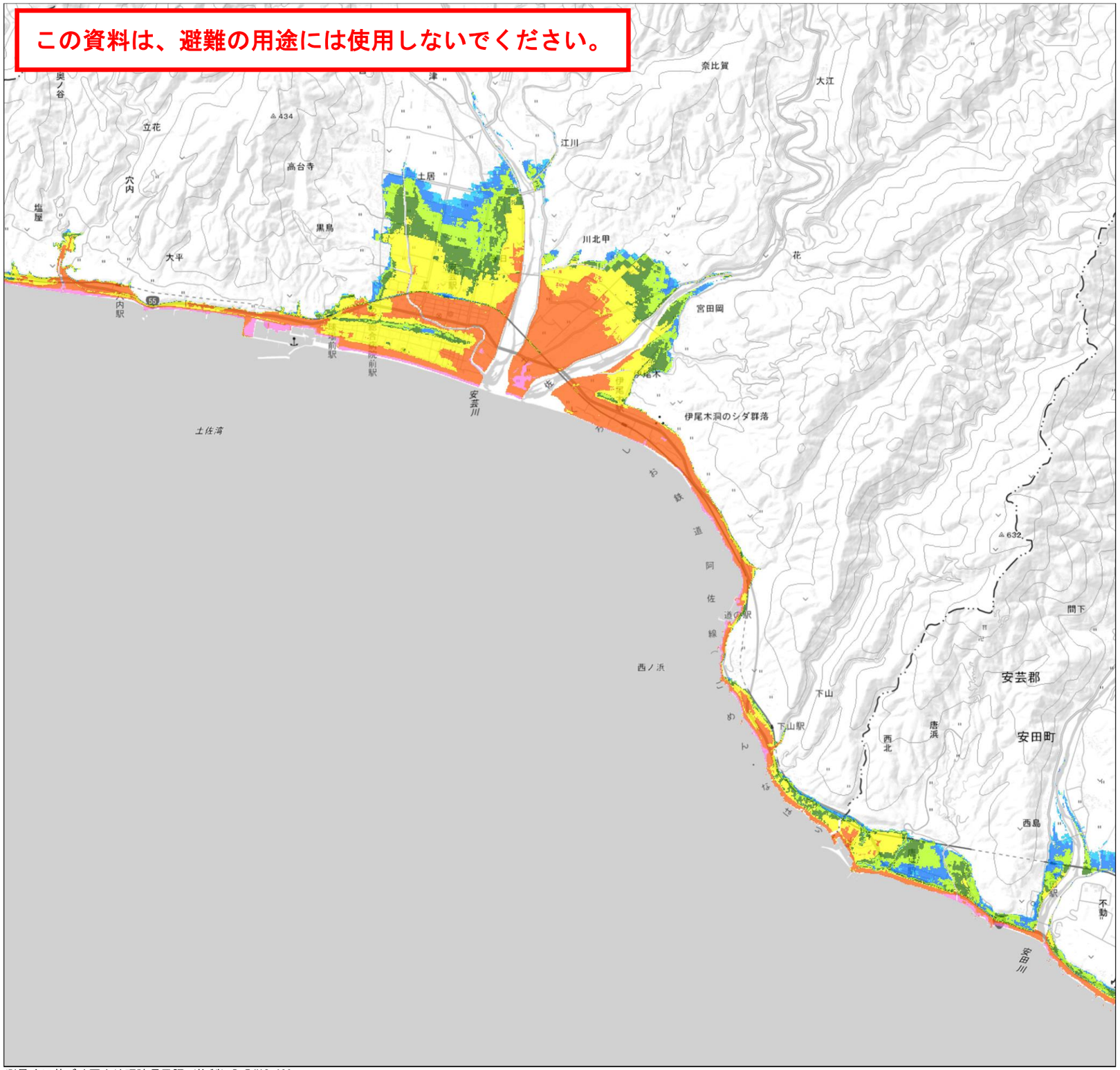


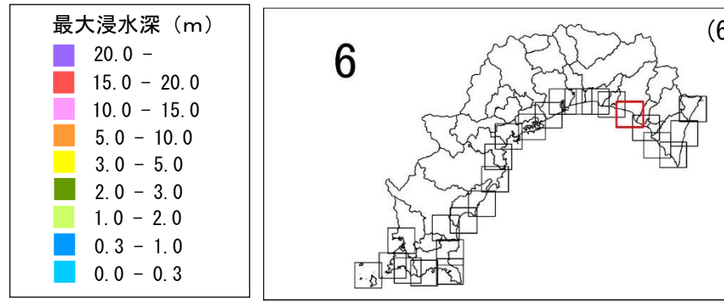
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

6　　安芸市 その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

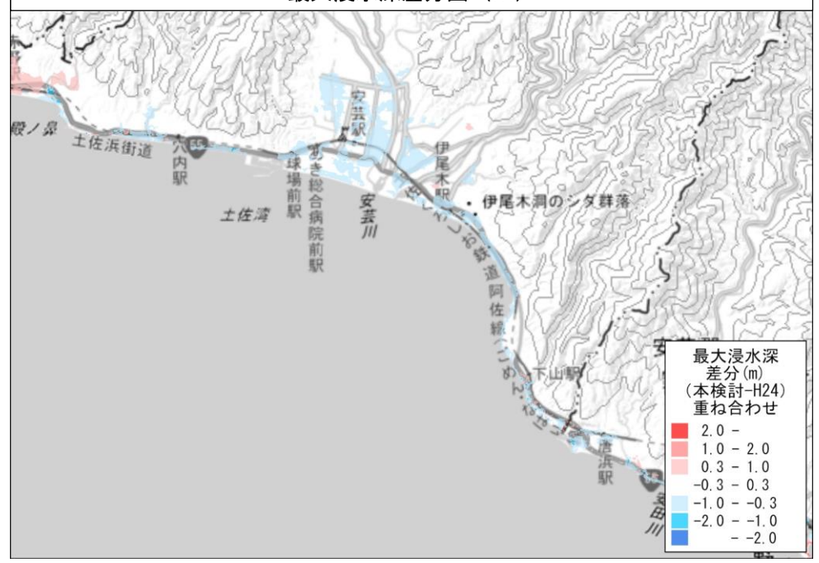




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

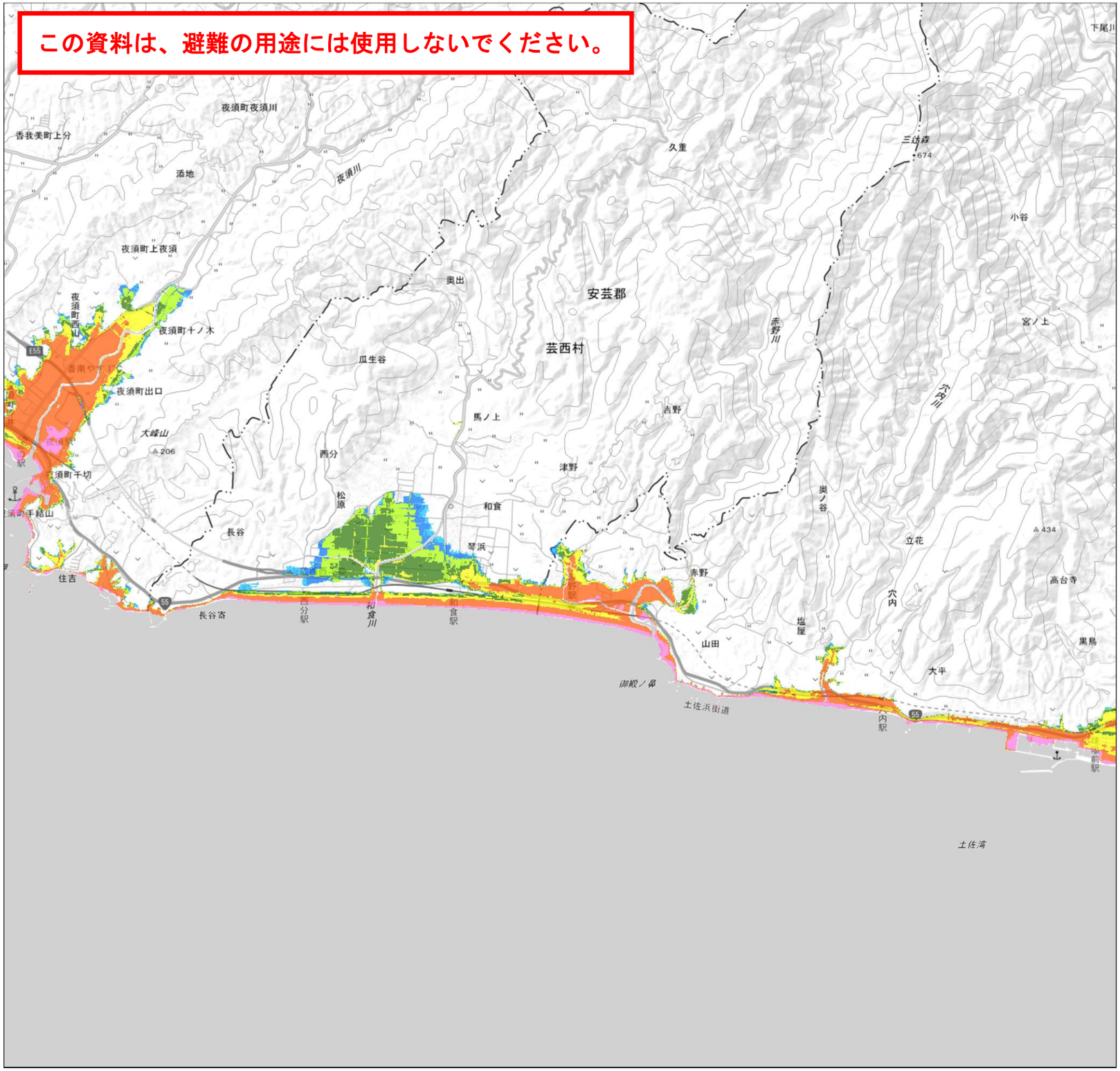


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

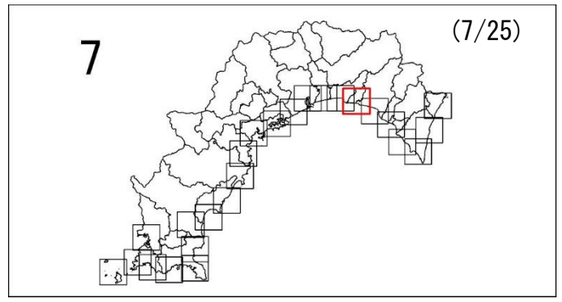
7　　安芸市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

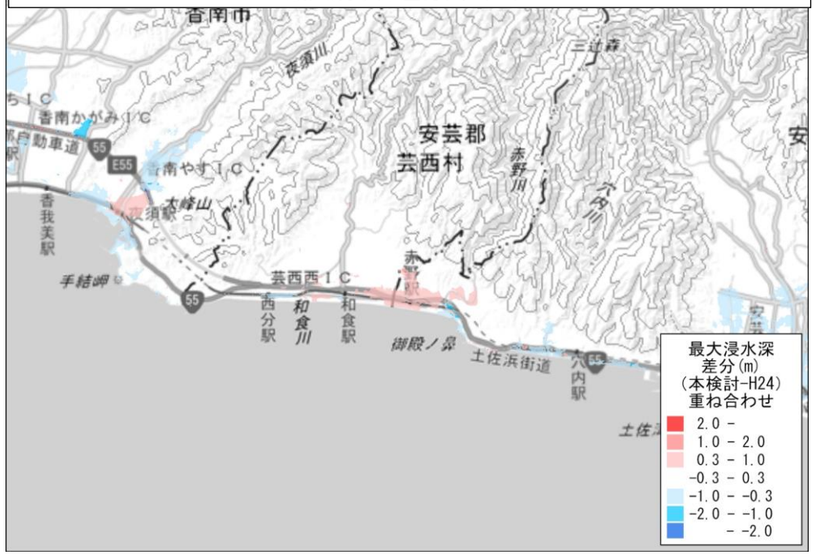
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

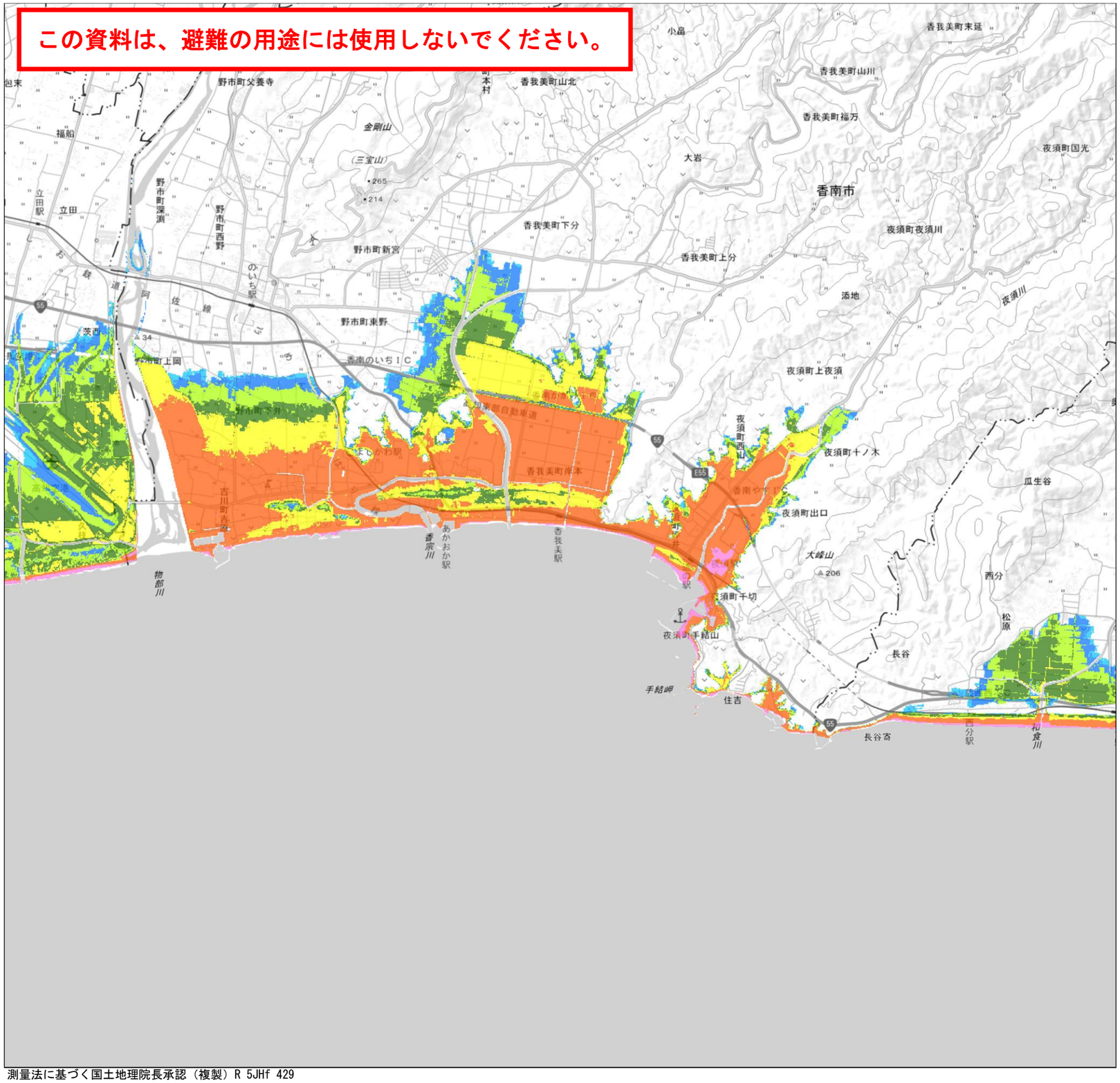


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

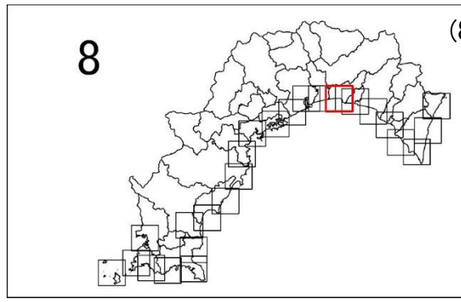
8　　香南市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

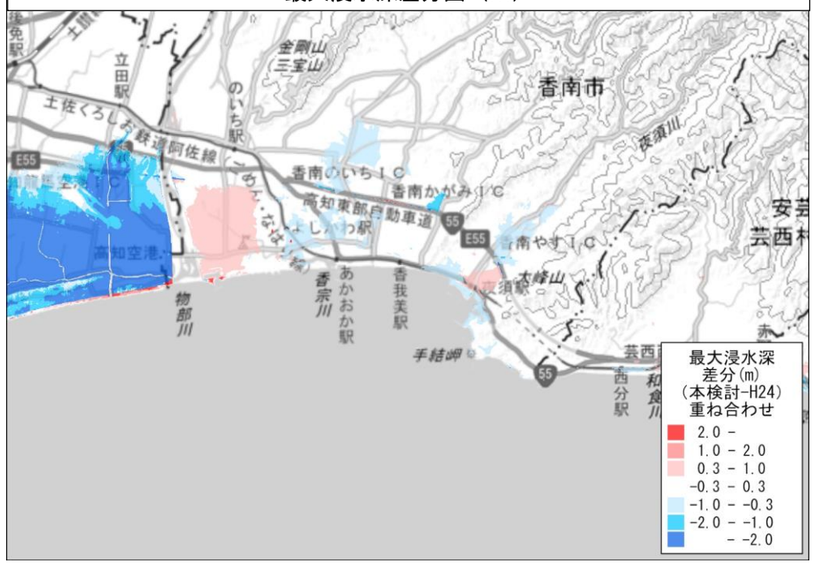
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

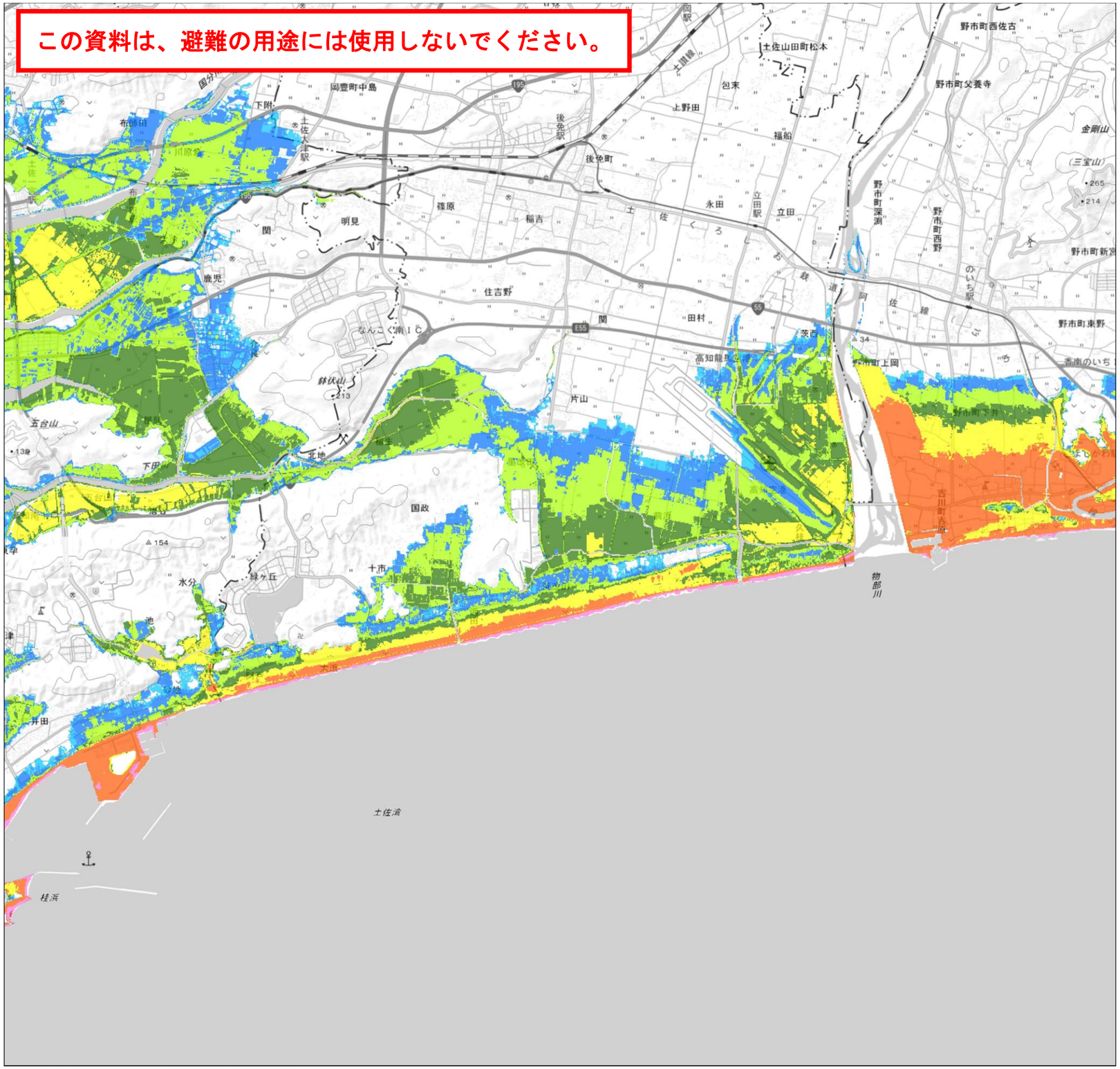


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

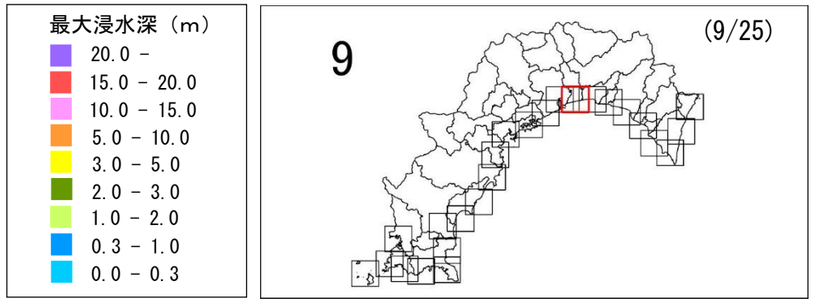
９　　南国市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

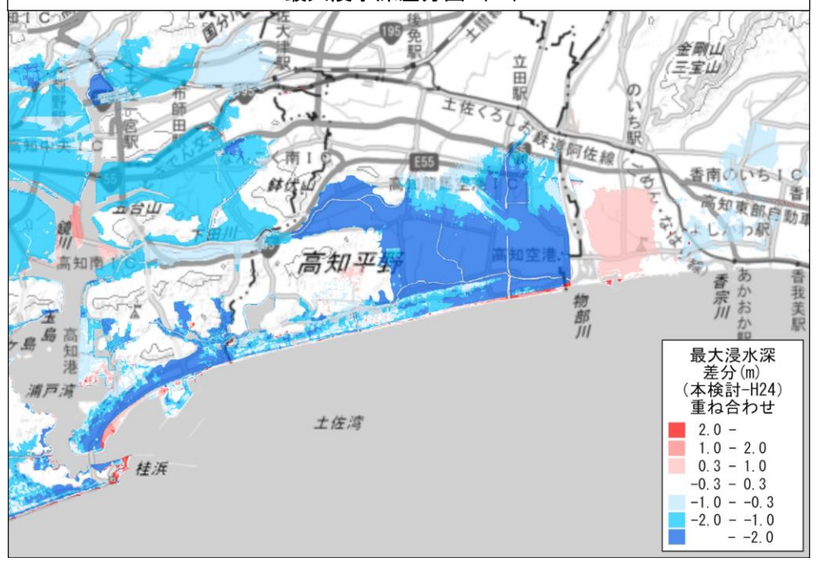
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

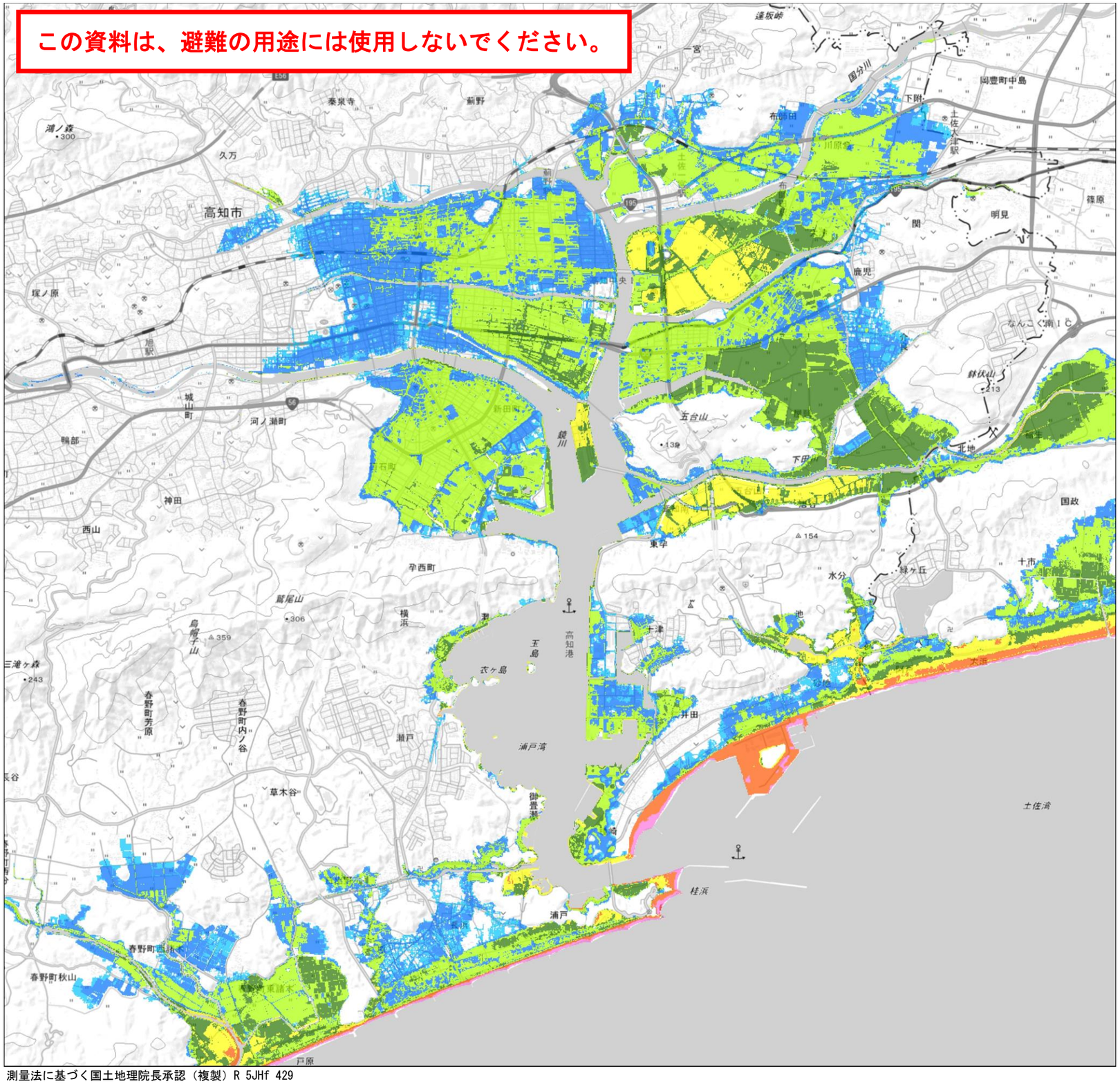
最大浸水深差分図（ｍ）



【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

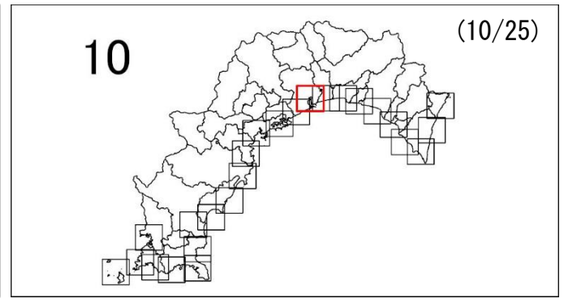
10　　高知市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

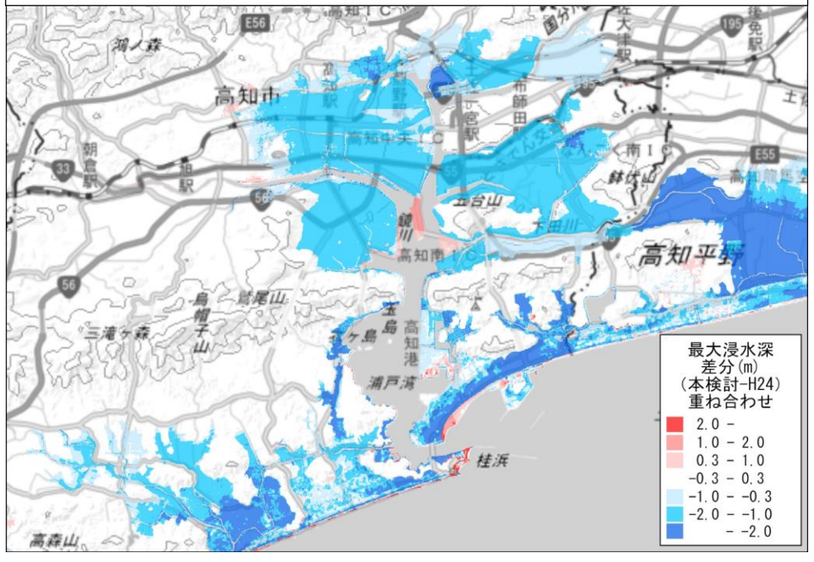
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

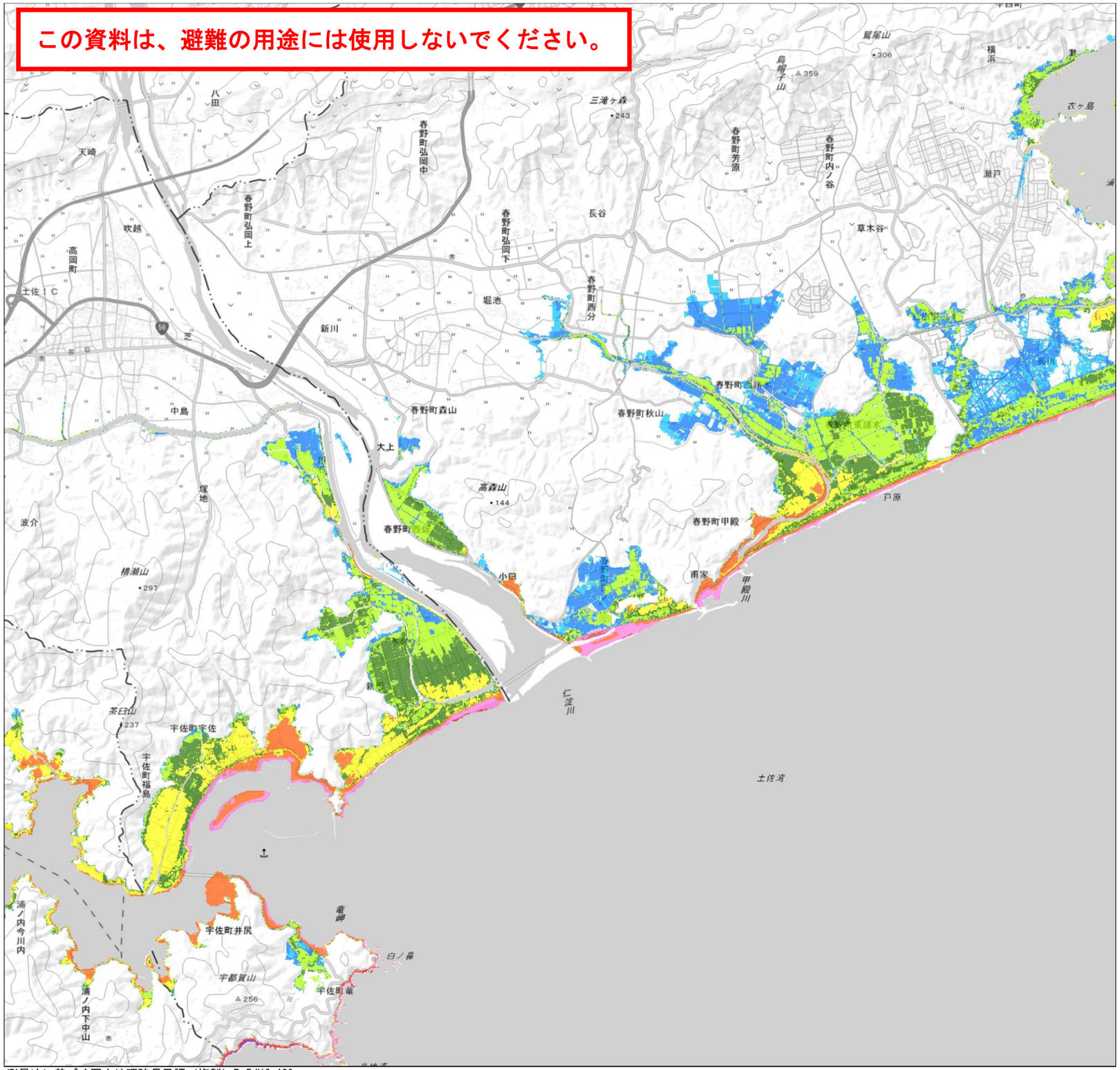


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

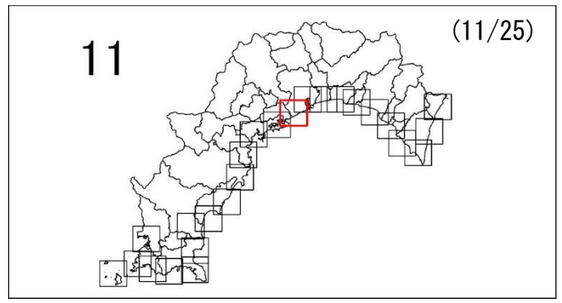
11　　高知市　土佐市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

20.0 －
15.0 － 20.0
10.0 － 15.0
5.0 － 10.0
3.0 － 5.0
2.0 － 3.0
1.0 － 2.0
0.3 － 1.0
0.0 － 0.3



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

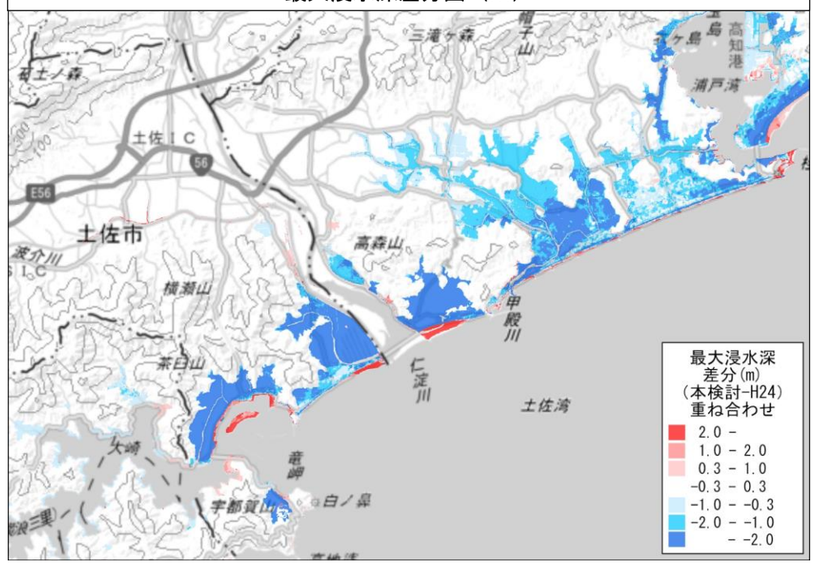
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

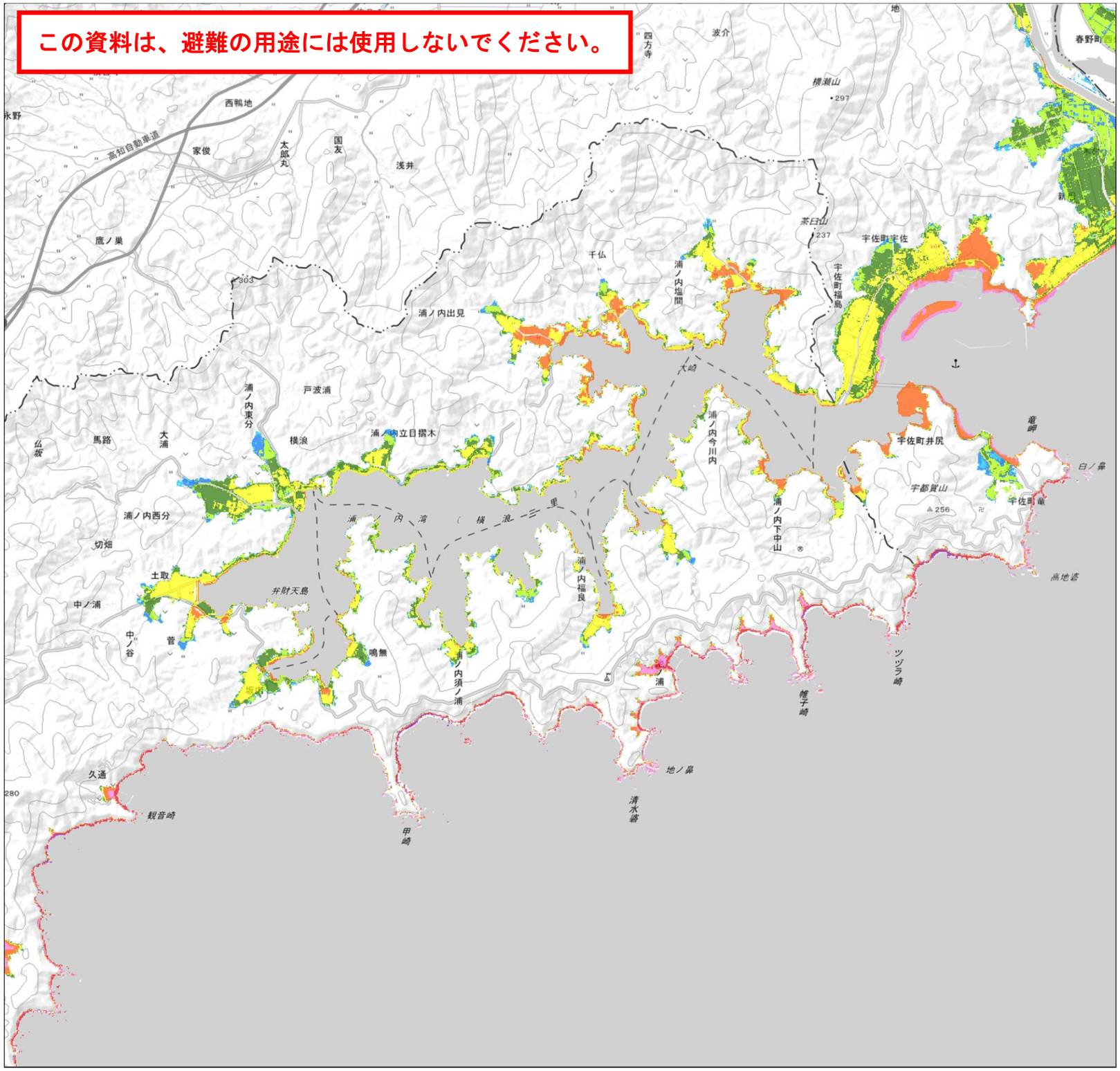
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

12　須崎市 その１（最大浸水深）

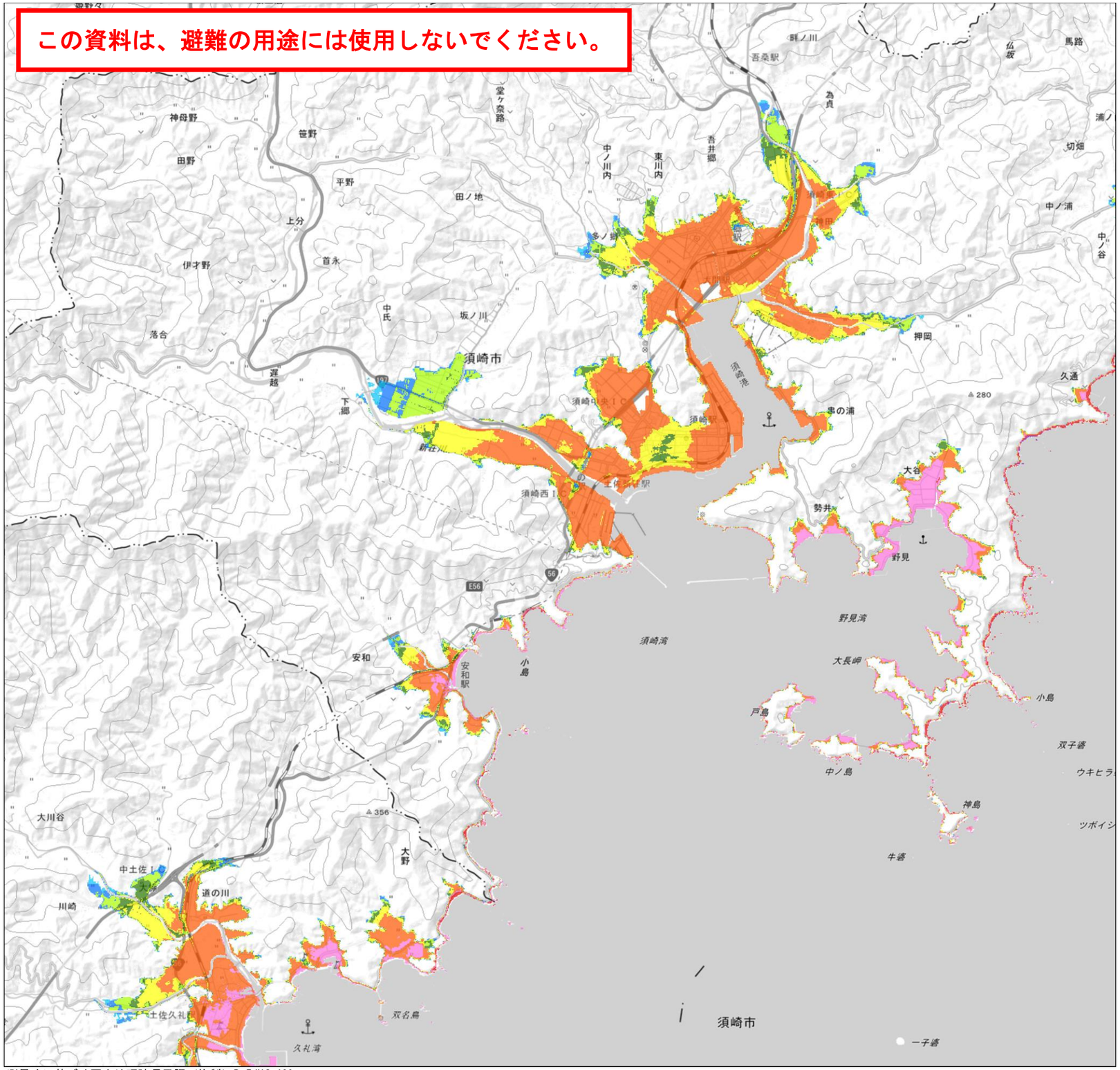


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

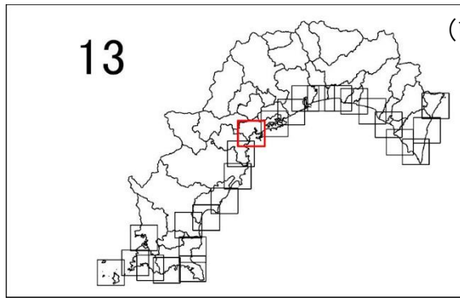
13　　須崎市 その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



最大浸水深（m）

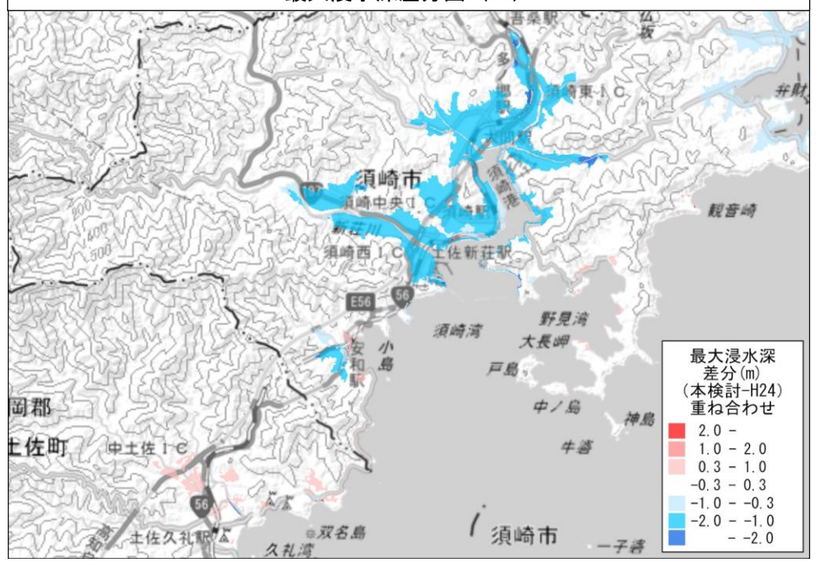
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

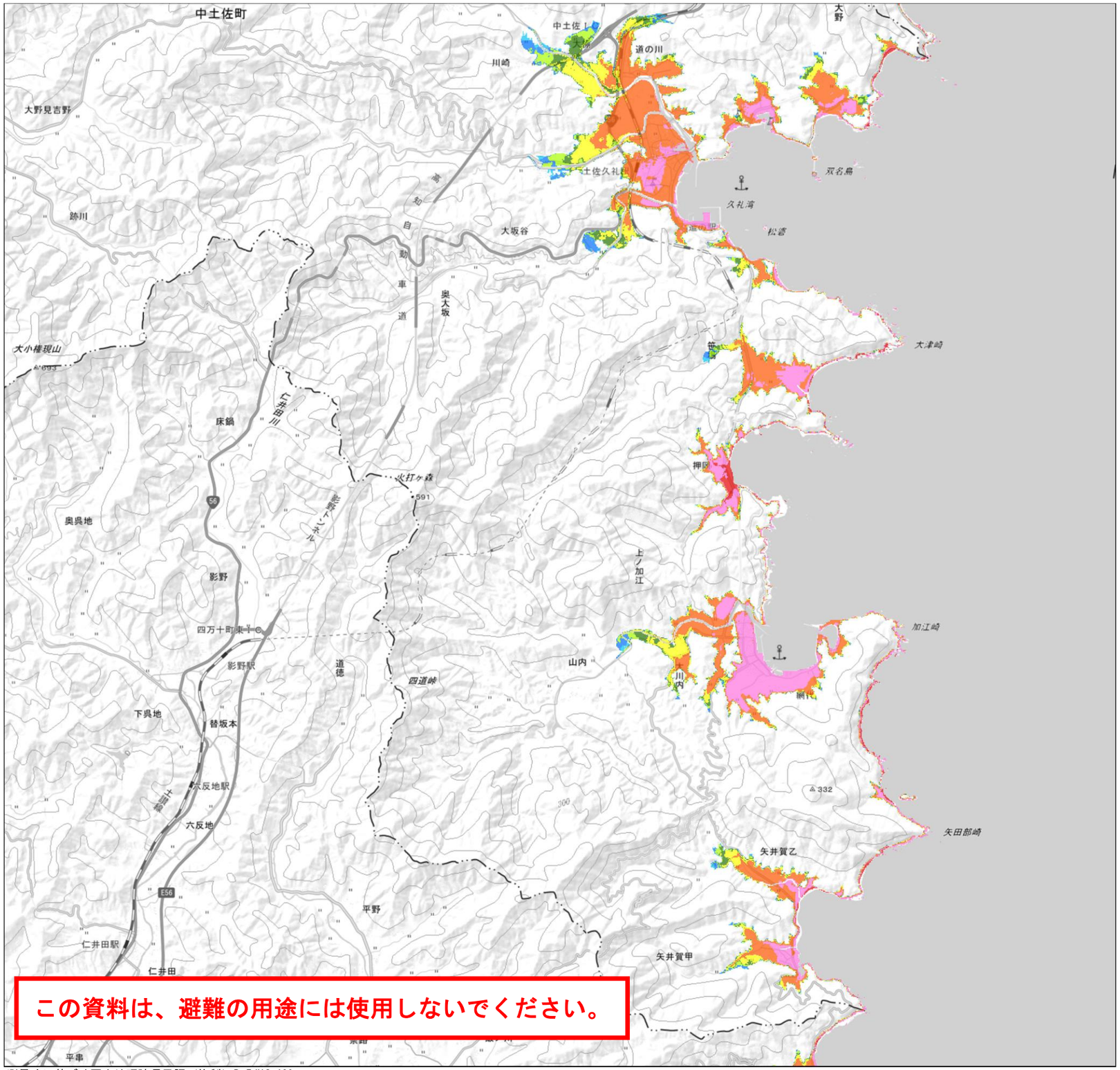
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

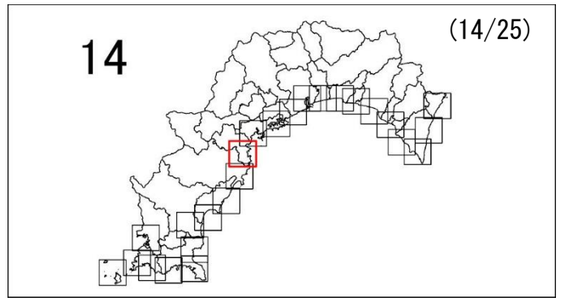
14　中土佐町（最大浸水深）



この資料は、避難の用途には使用しないでください。

最大浸水深（m）

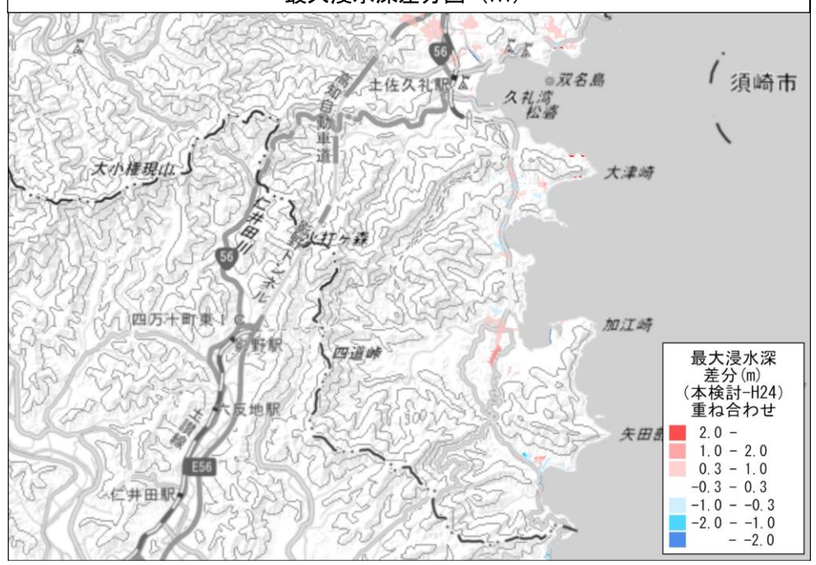
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

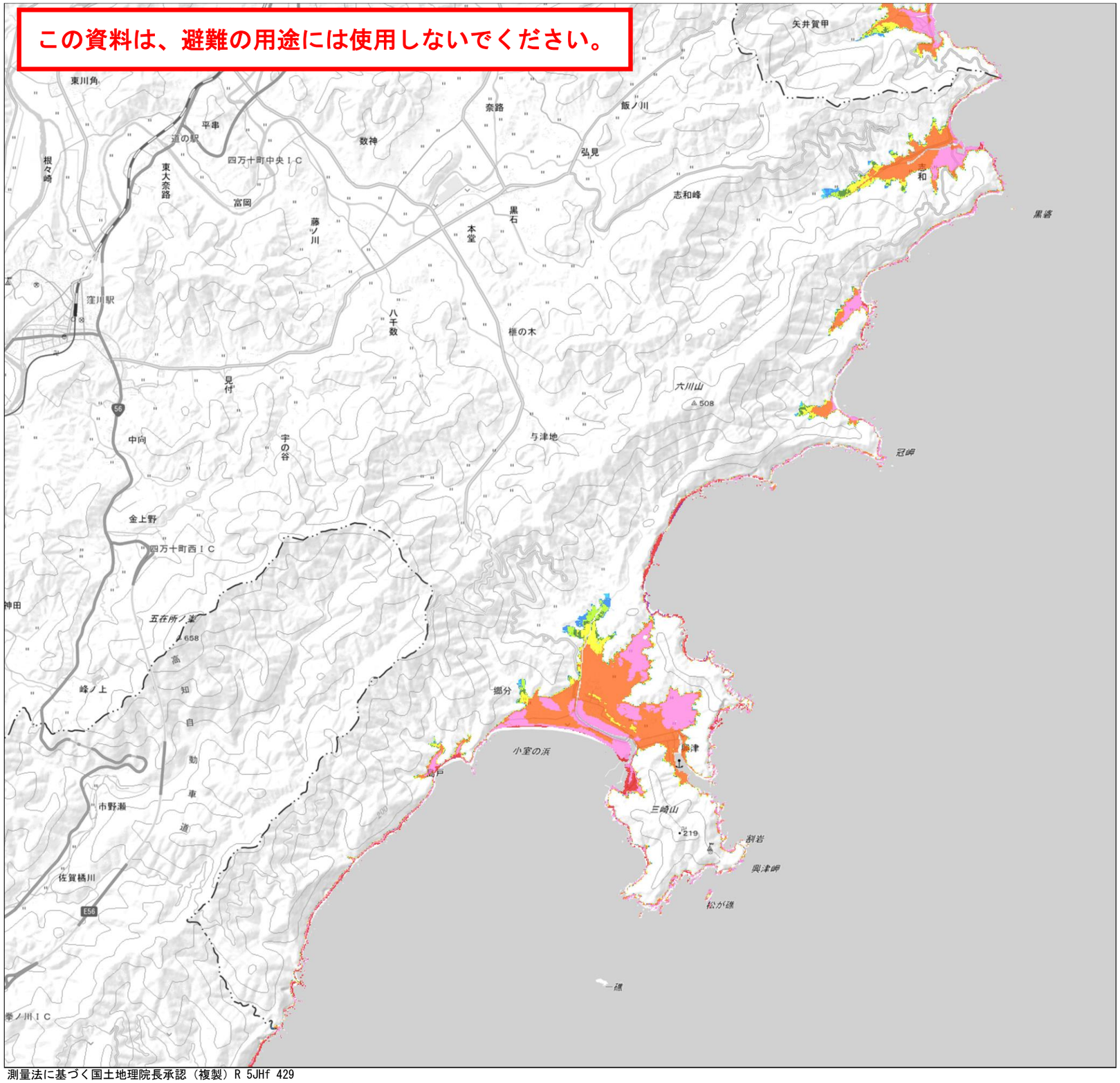
最大浸水深差分図（m）

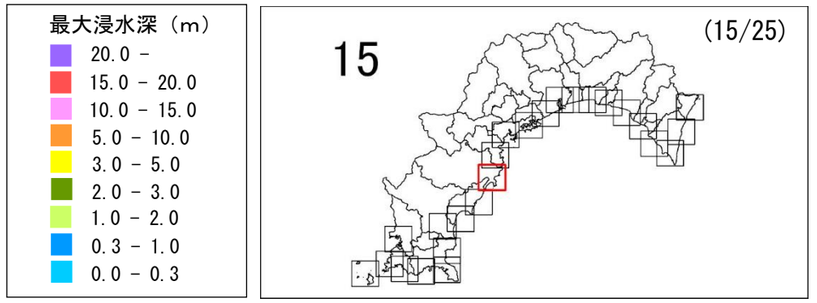


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

15　　四万十町（最大浸水深）





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

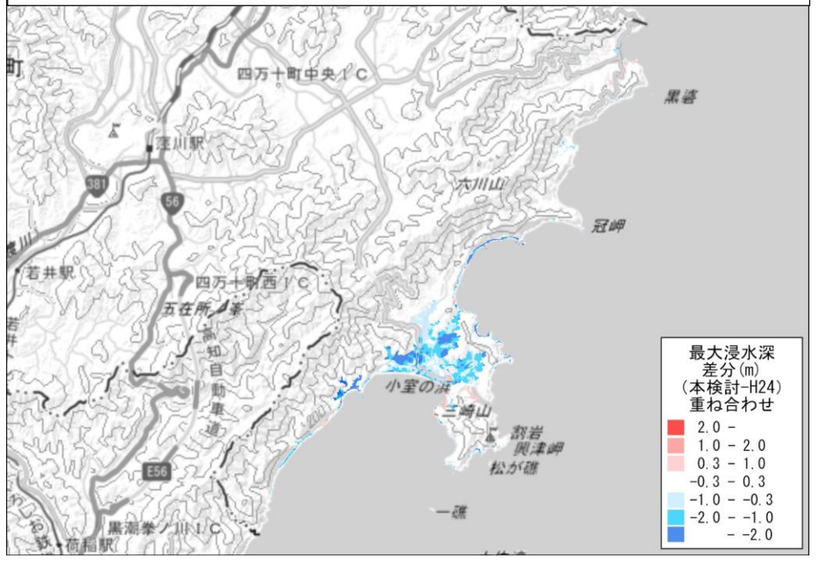
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

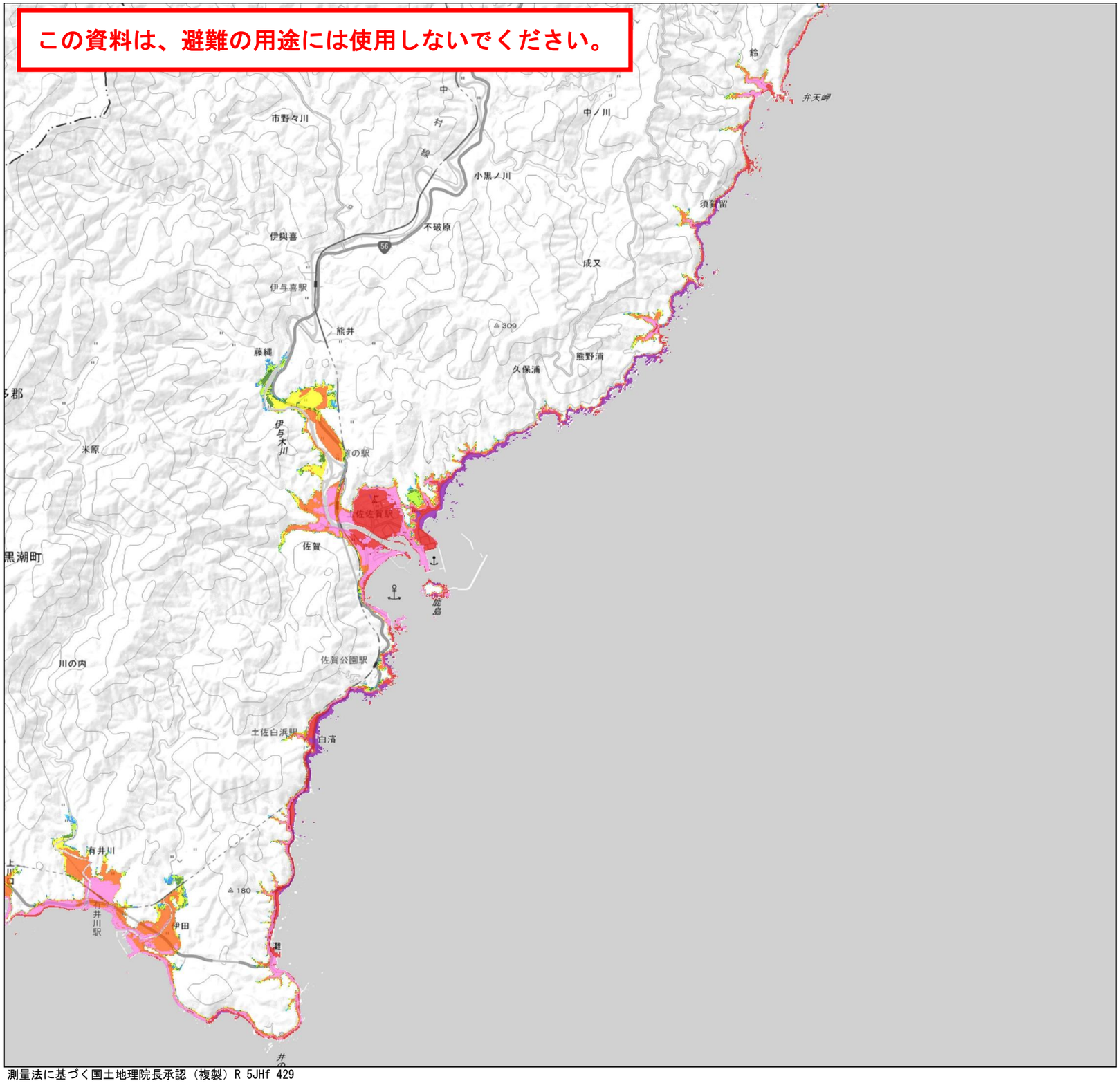
最大浸水深差分図（m）

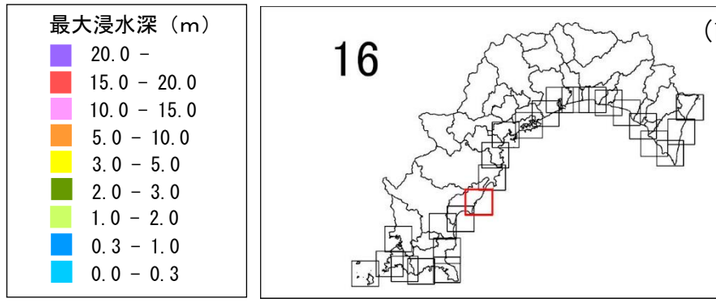


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

16　　黒潮町　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

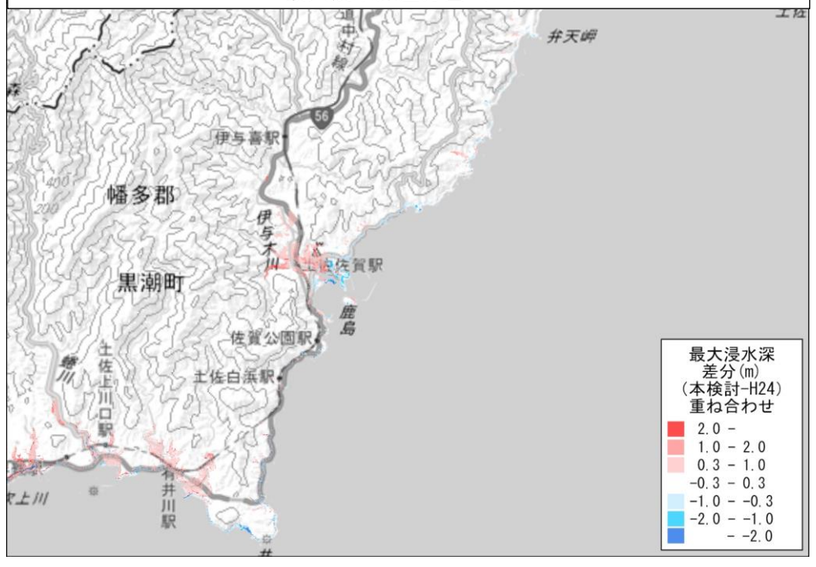




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

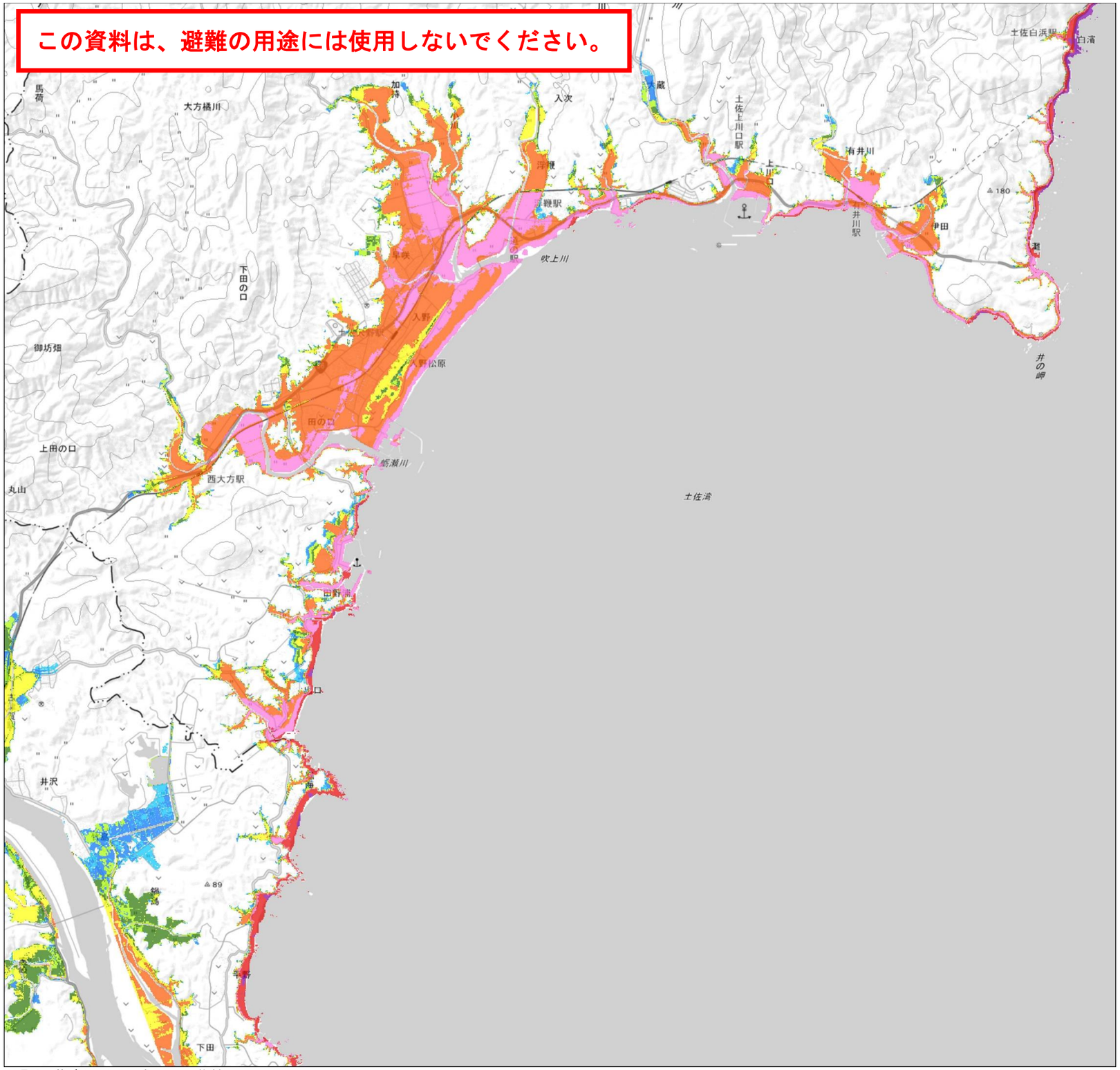


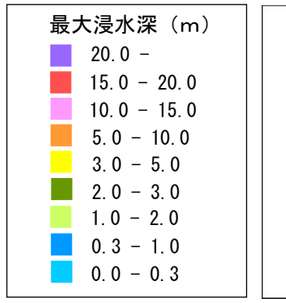
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

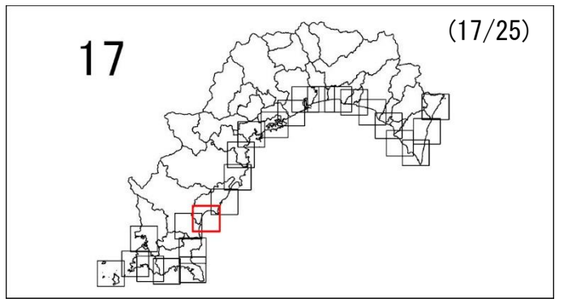
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

17　　黒潮町　その２（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



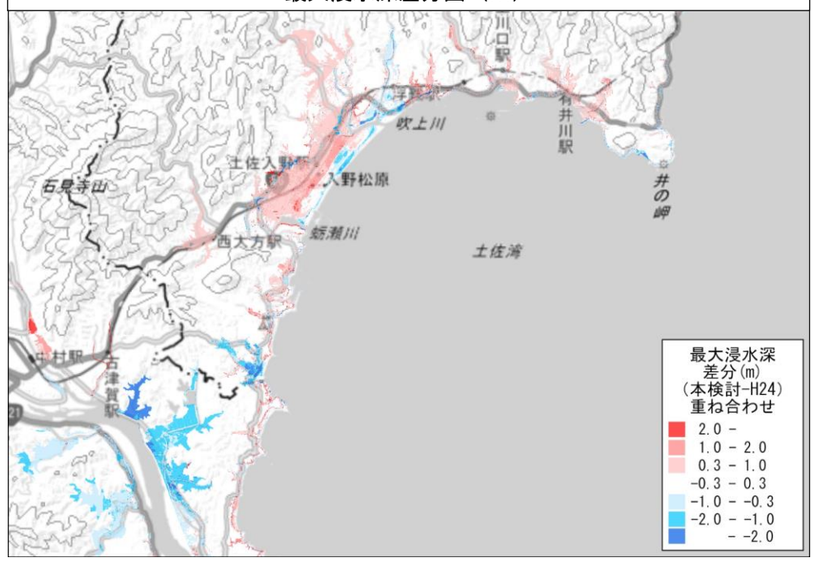




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

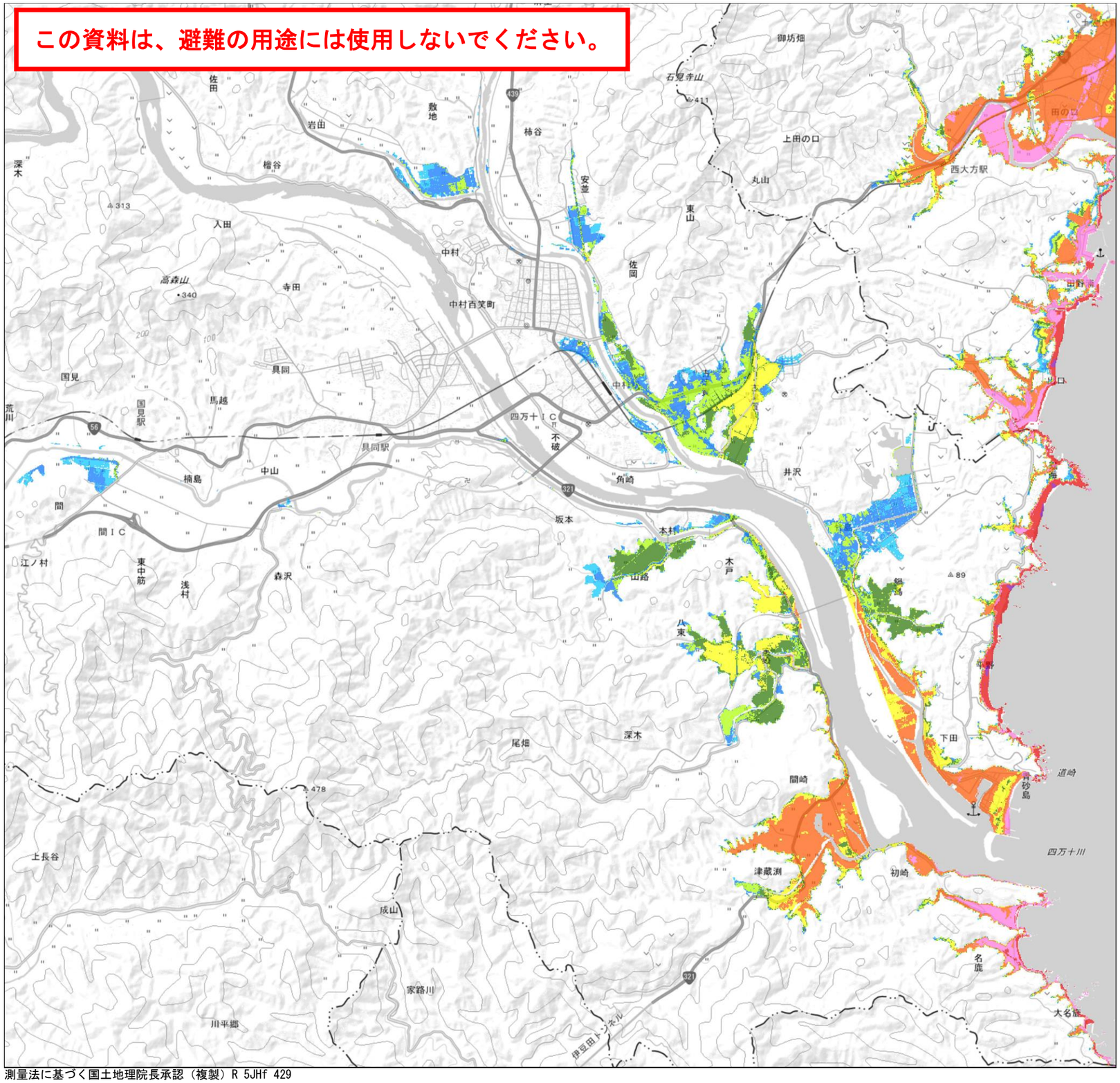
最大浸水深差分図（m）



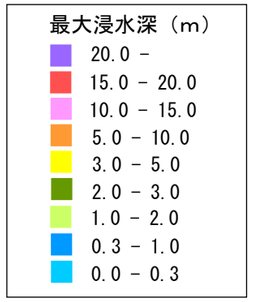
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

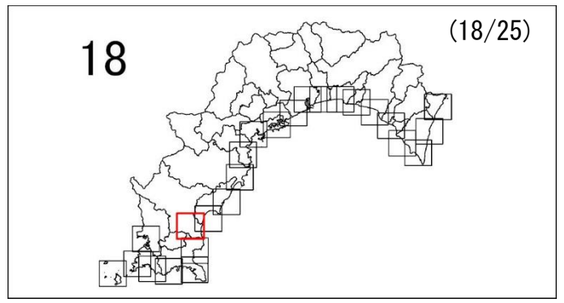
18　四万十市（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

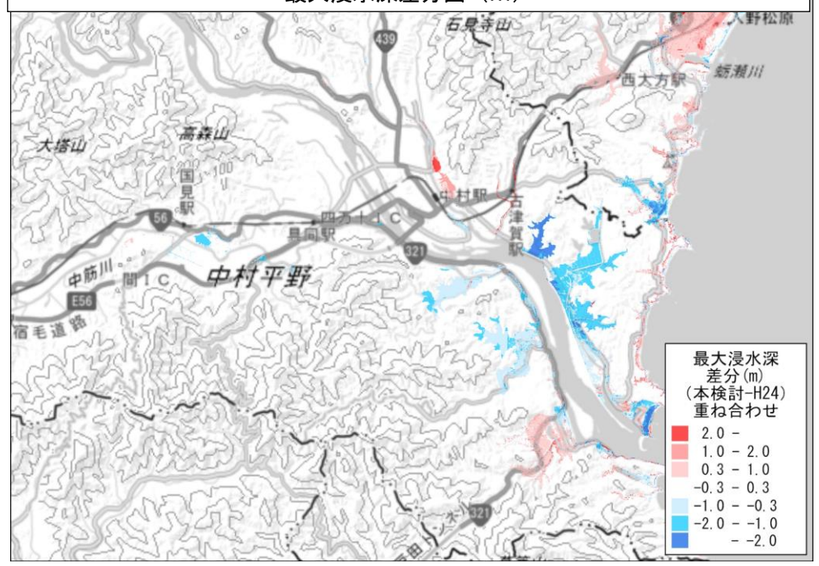




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

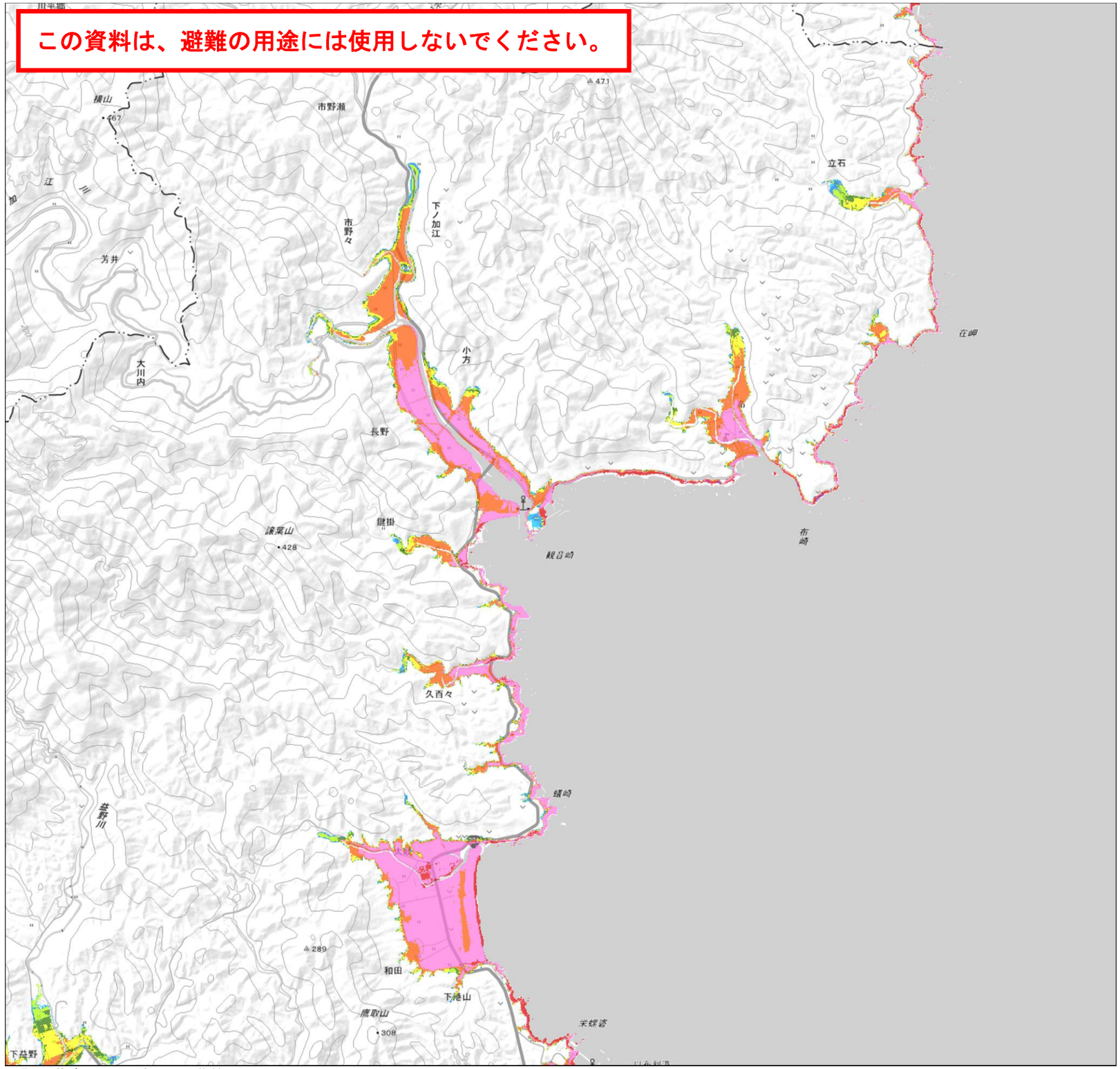
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

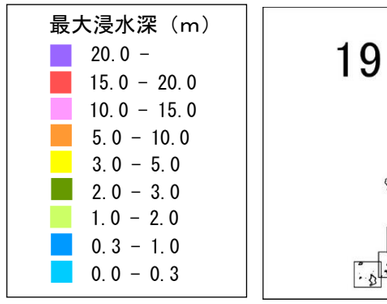


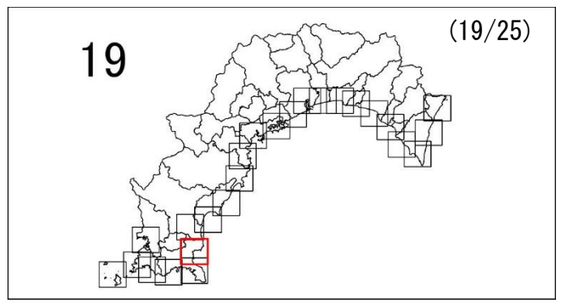
19　　土佐清水市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

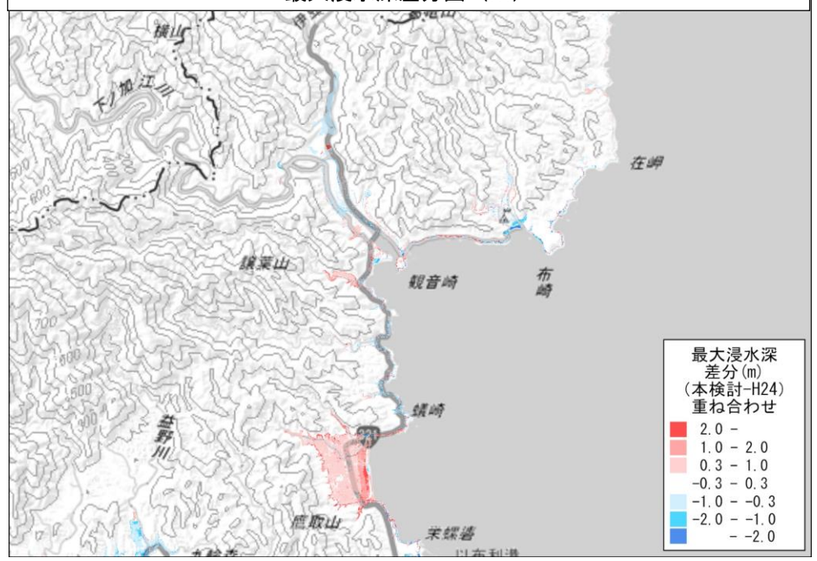




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

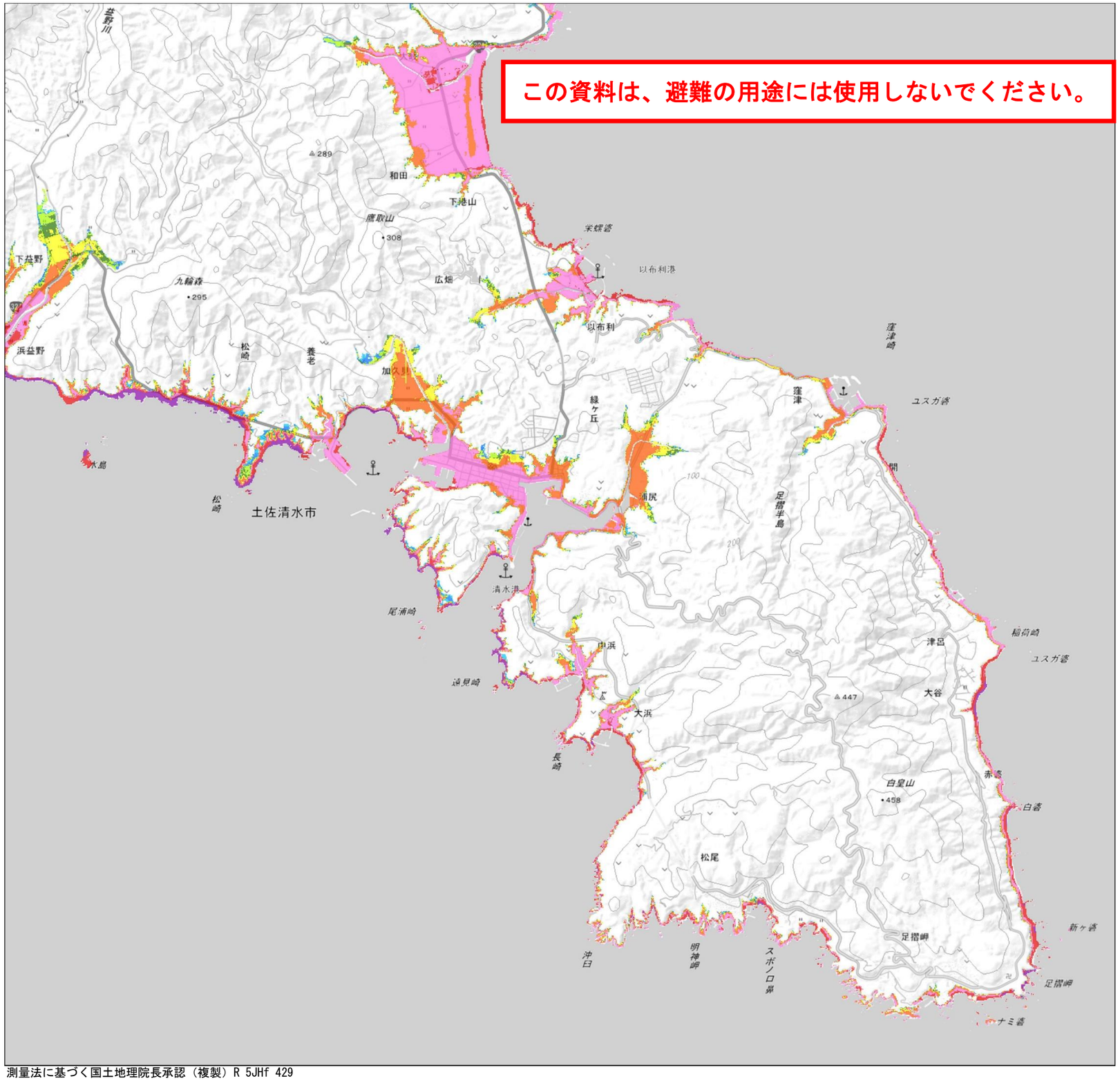
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

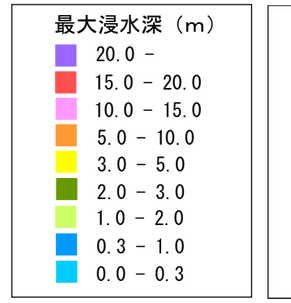
最大浸水深差分図（m）

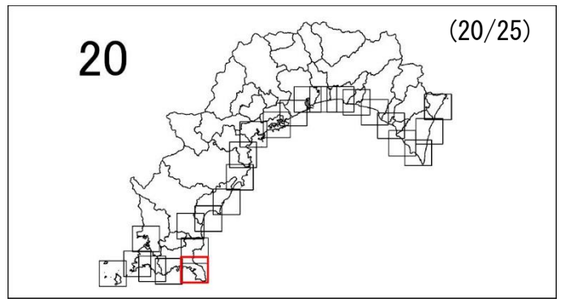


【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

20　　土佐清水市　その２（最大浸水深）







（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

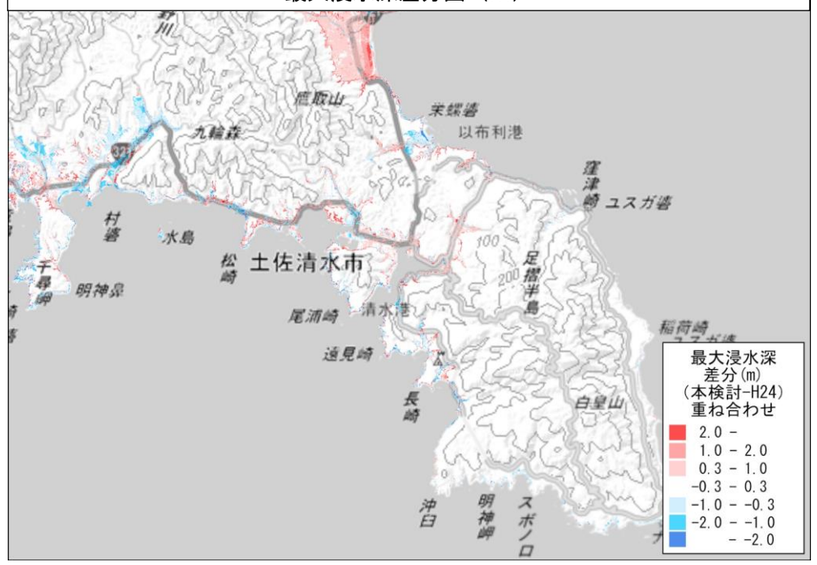
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

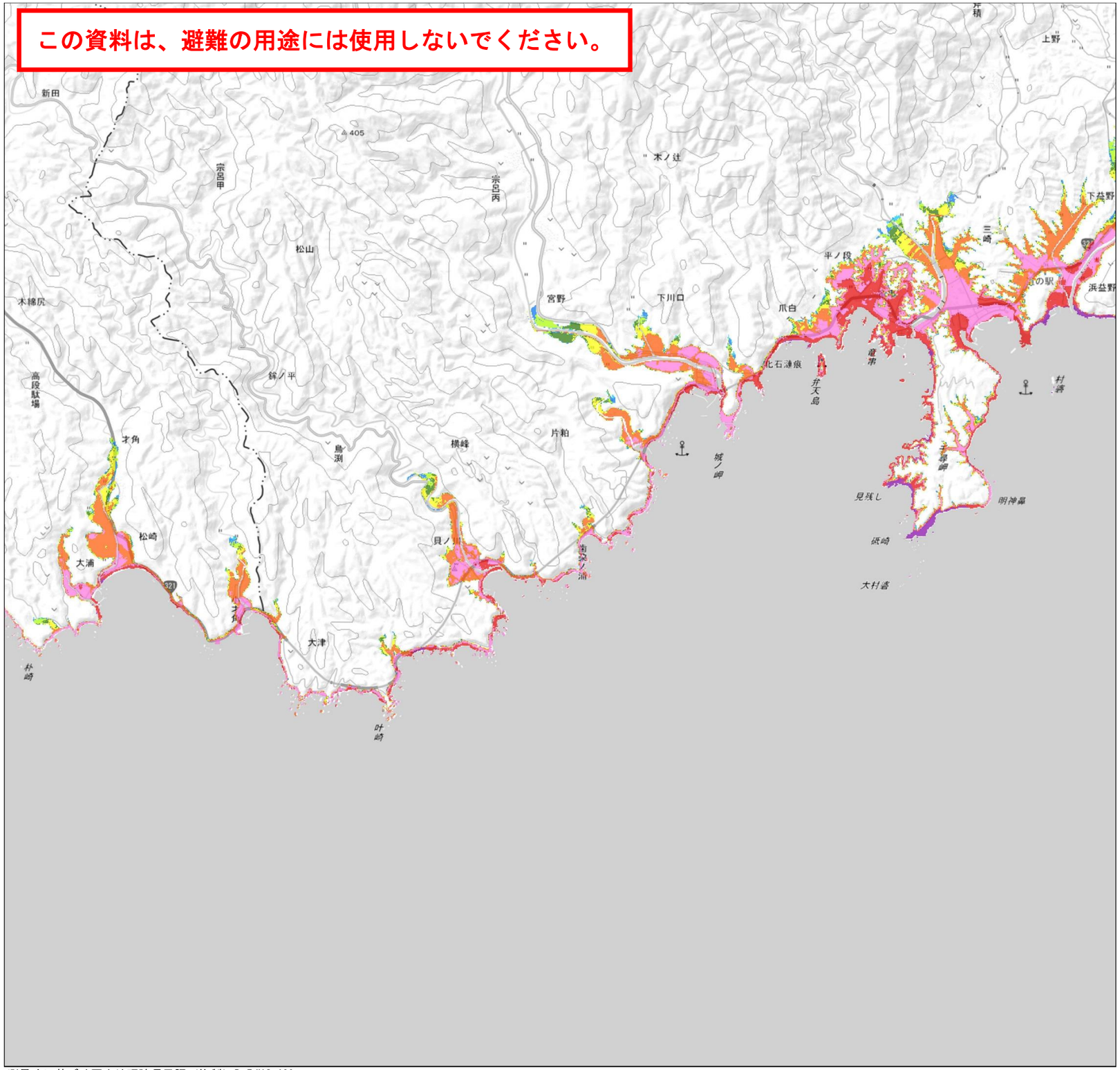
最大浸水深差分図（m）



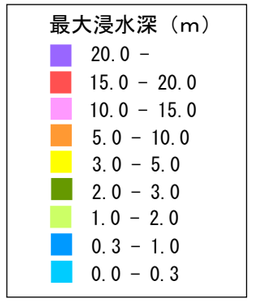
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

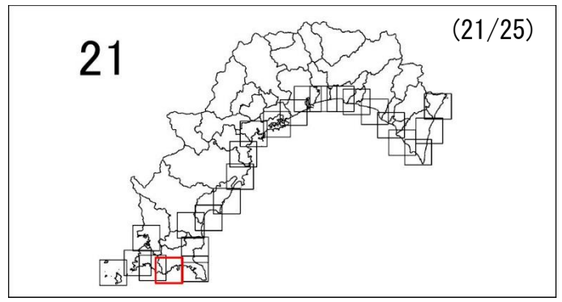
21　　土佐清水市　その３（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

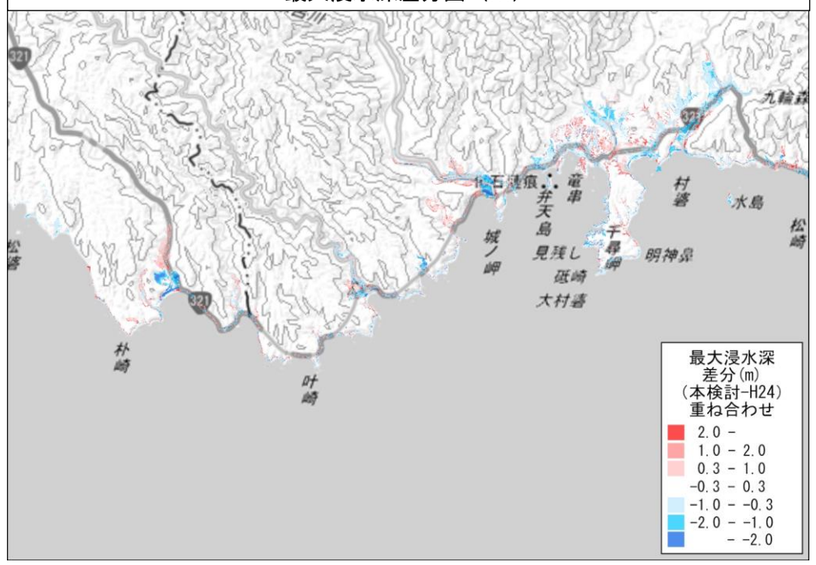




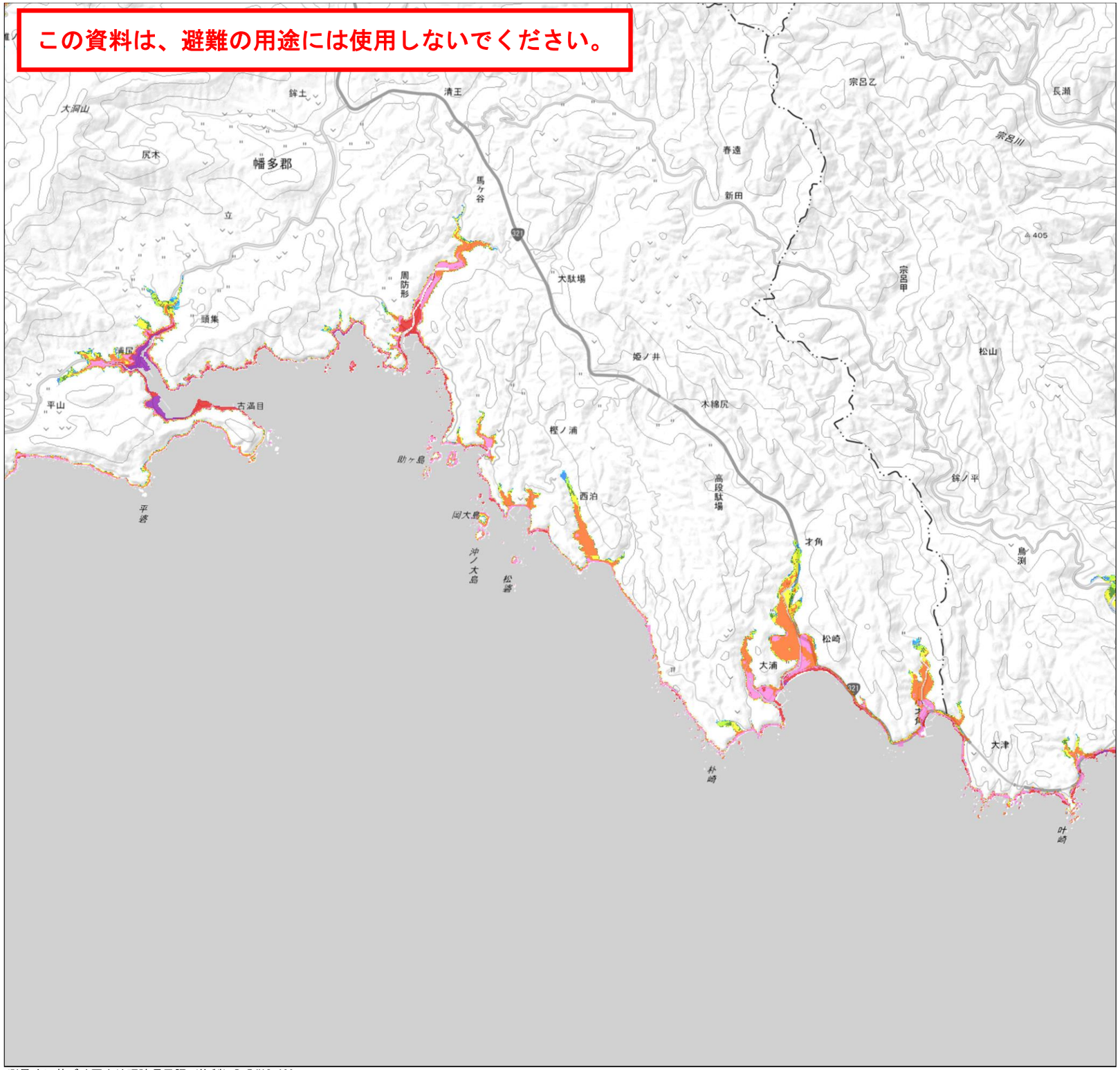
（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

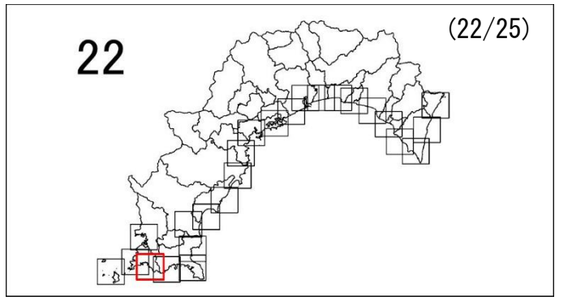
最大浸水深差分図（m）



この資料は、避難の用途には使用しないでください。



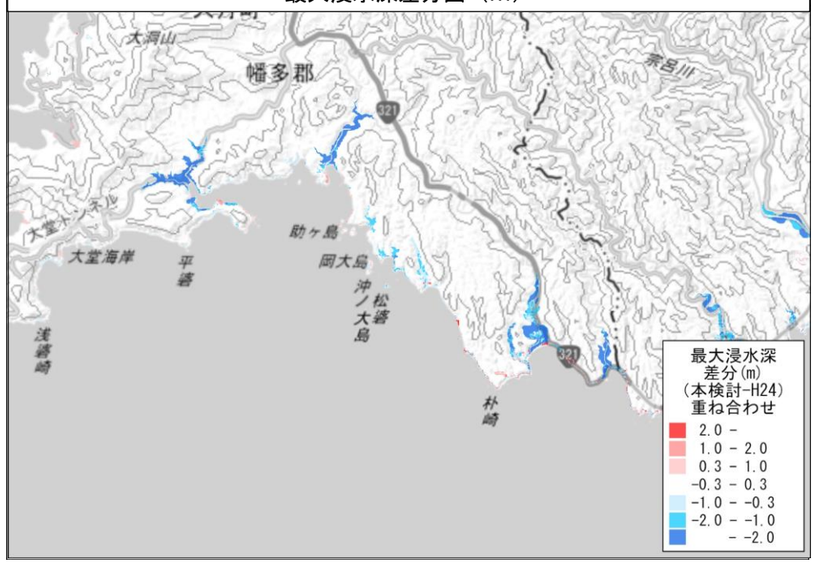
最大浸水深（m）
- 20.0 －
- 15.0 － 20.0
- 10.0 － 15.0
- 5.0 － 10.0
- 3.0 － 5.0
- 2.0 － 3.0
- 1.0 － 2.0
- 0.3 － 1.0
- 0.0 － 0.3



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

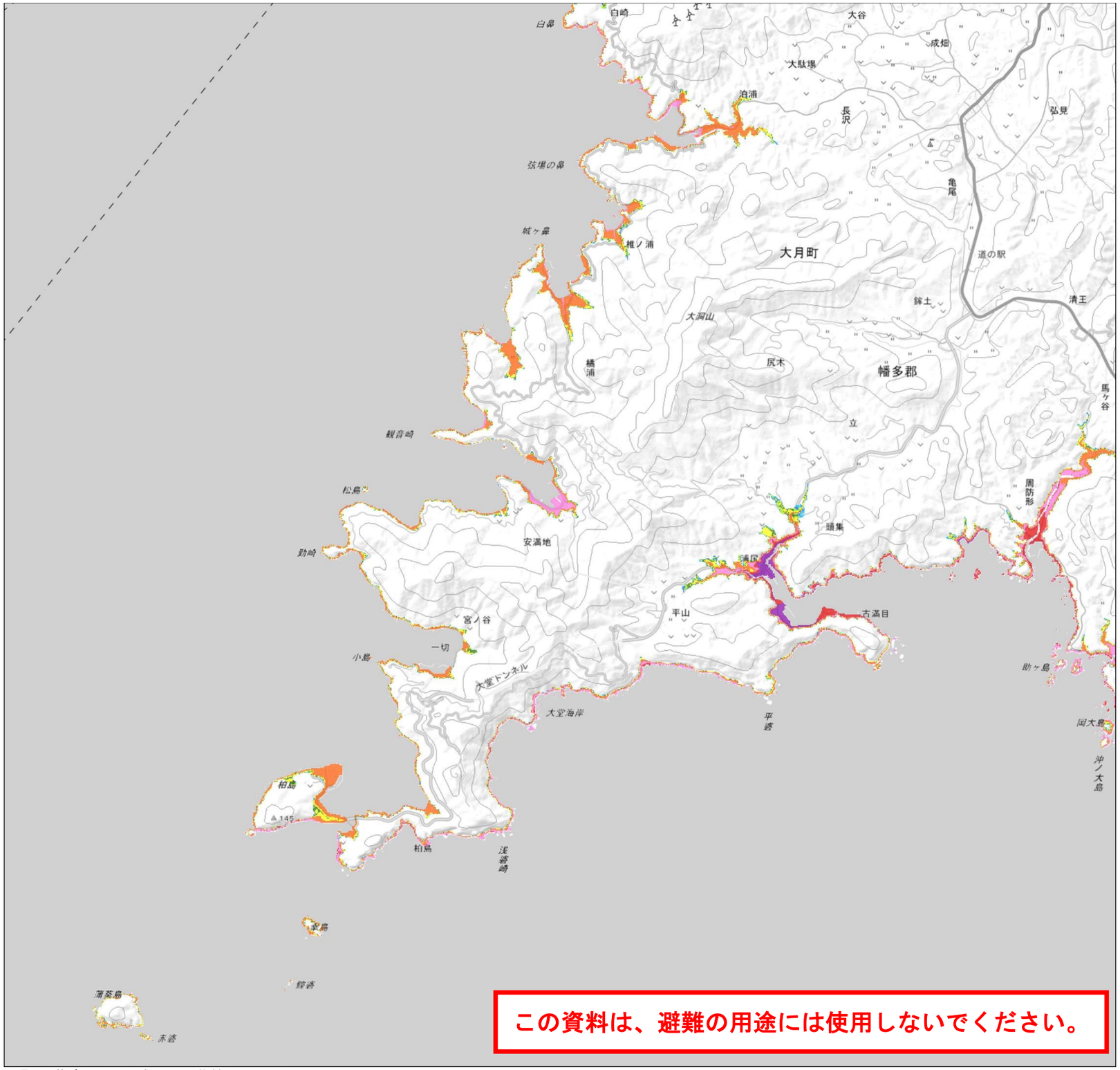
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）

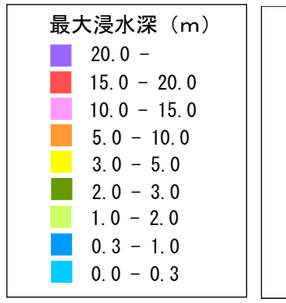


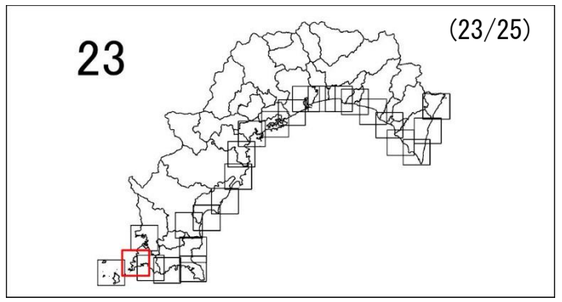
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

23　大月町 その２（最大浸水深）



この資料は、避難の用途には使用しないでください。

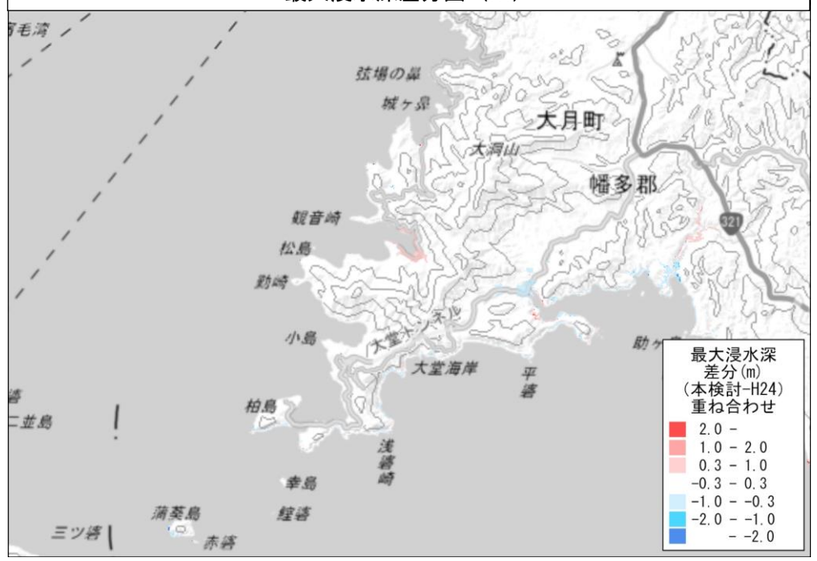




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

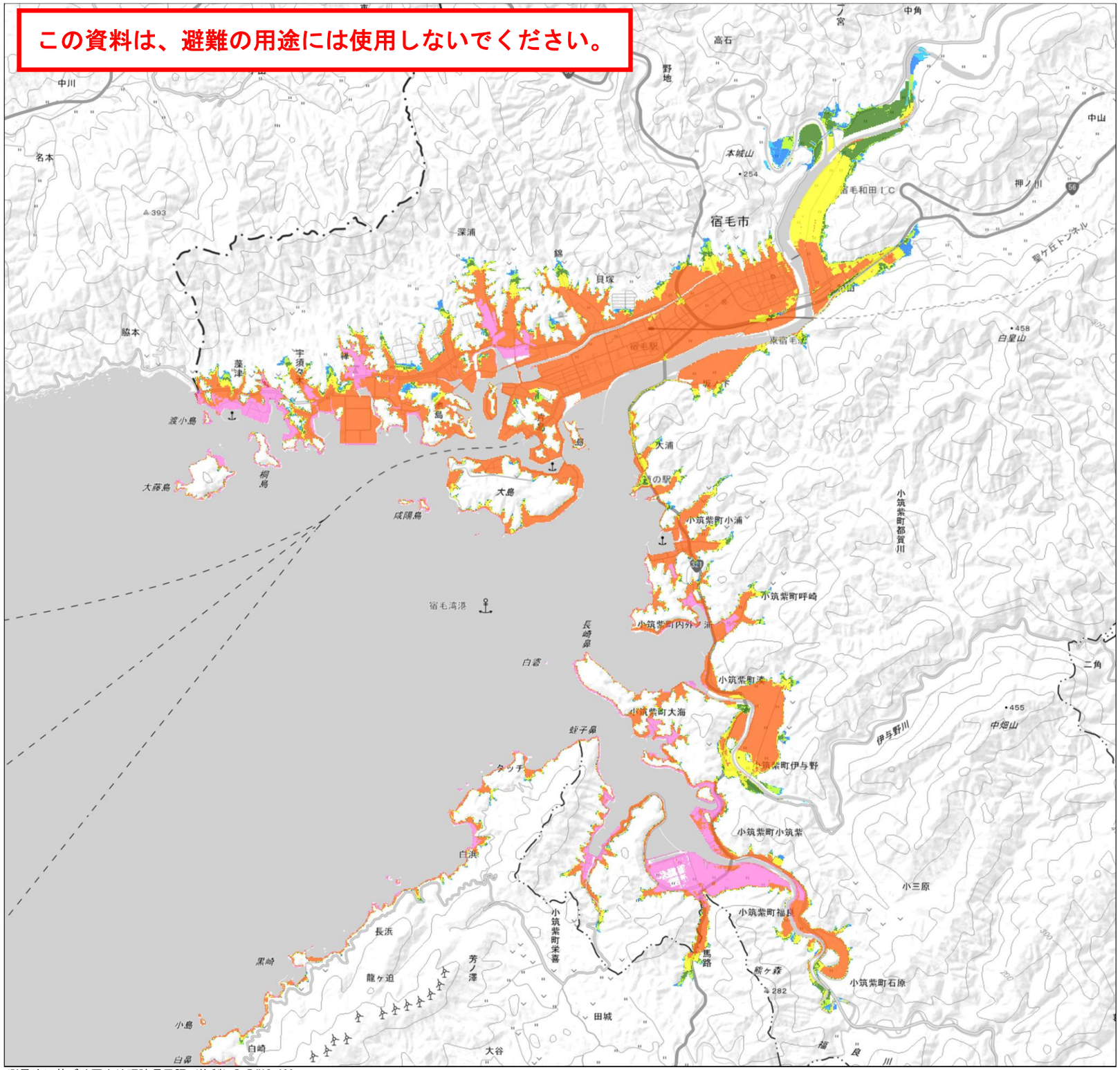
最大浸水深差分図（m）

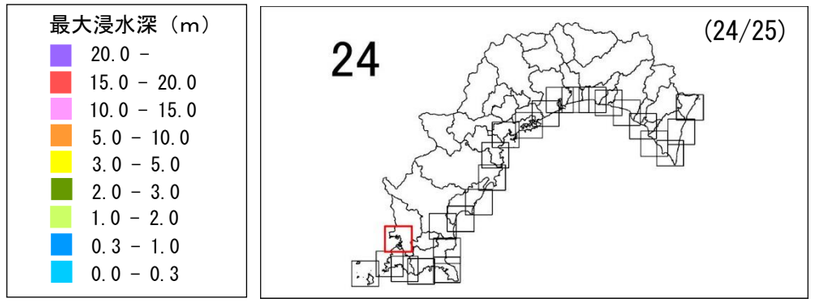


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

24　　宿毛市　その１（最大浸水深）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

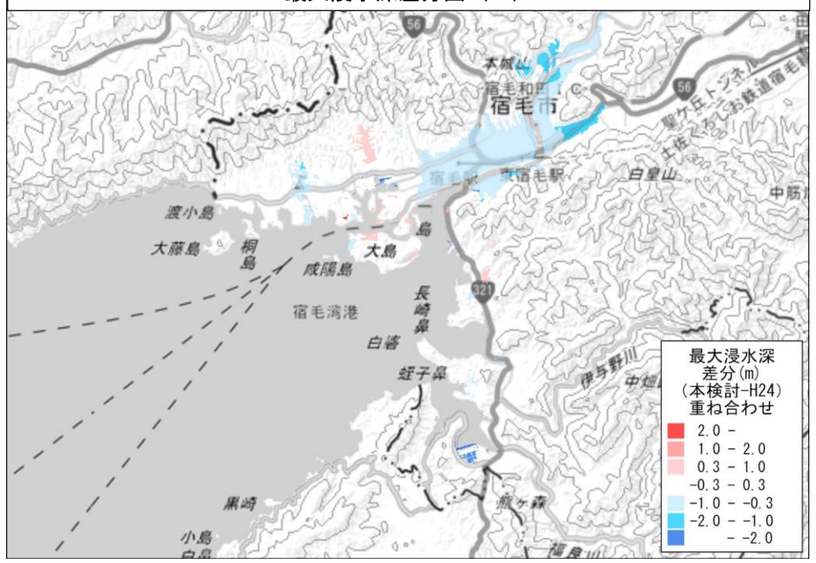




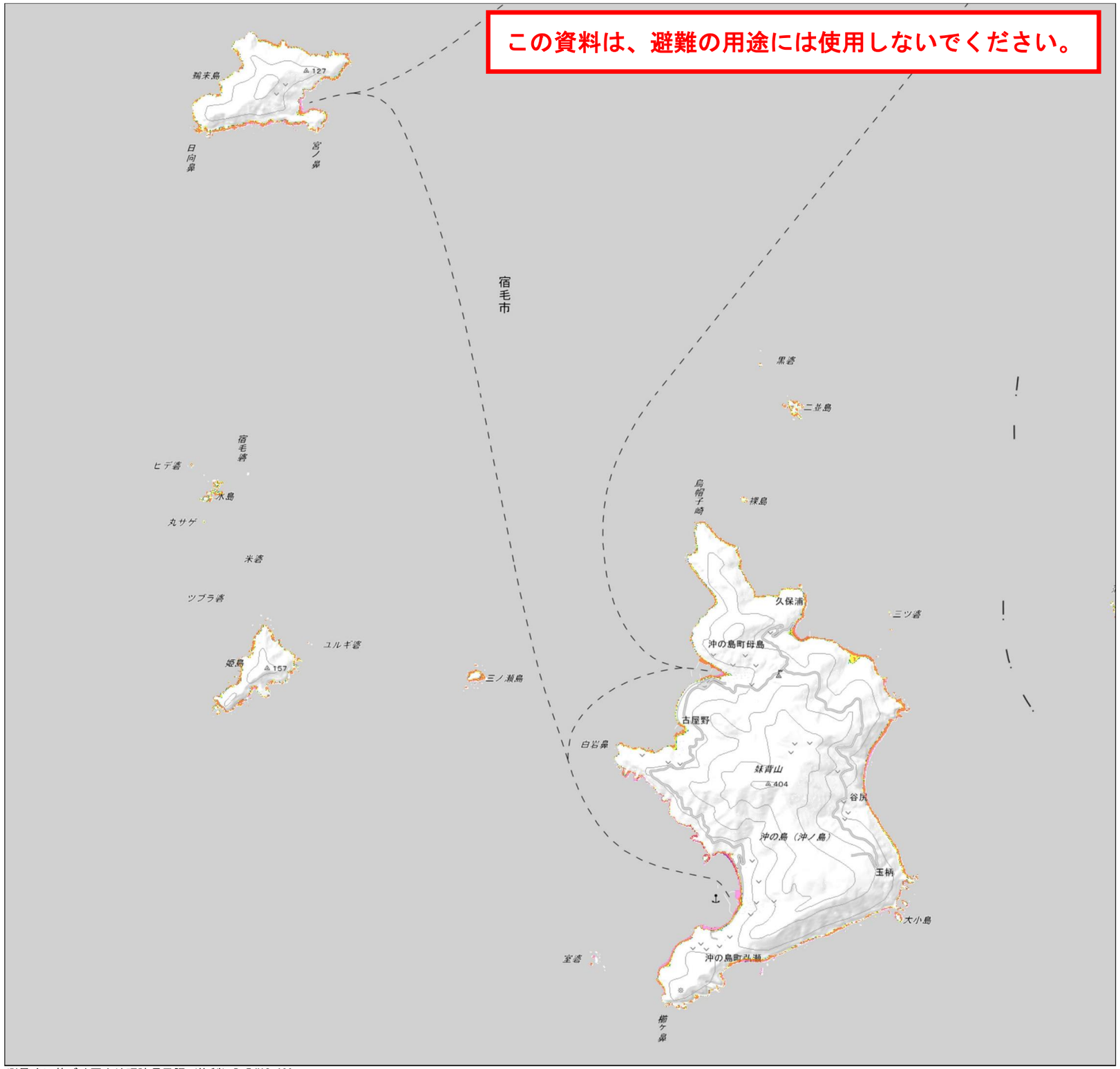
（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

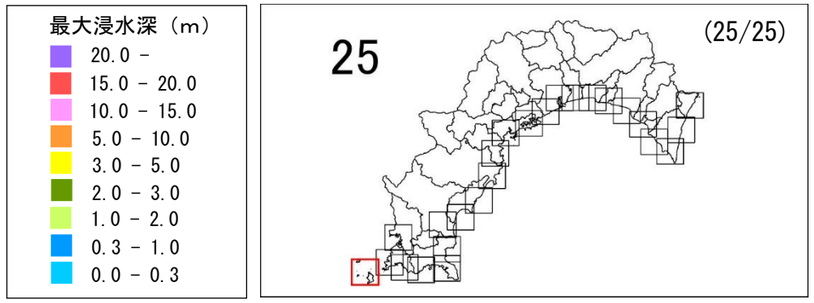
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

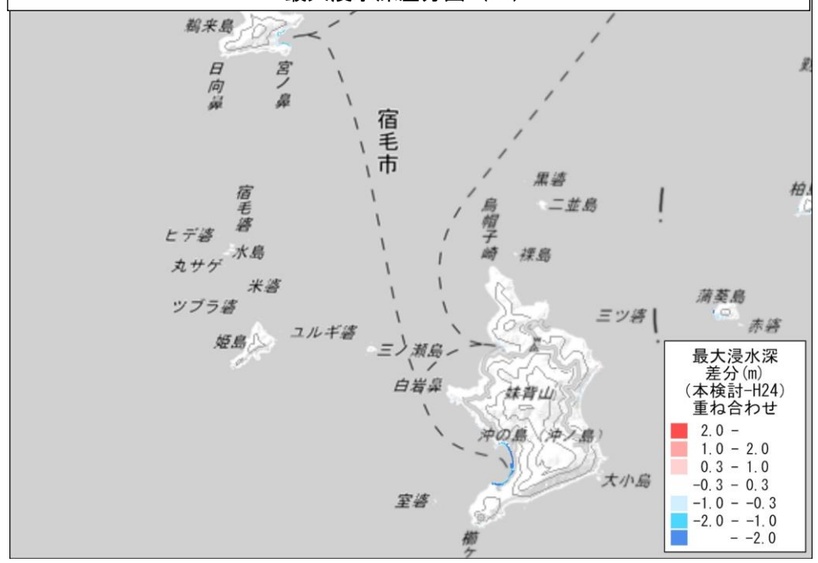




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

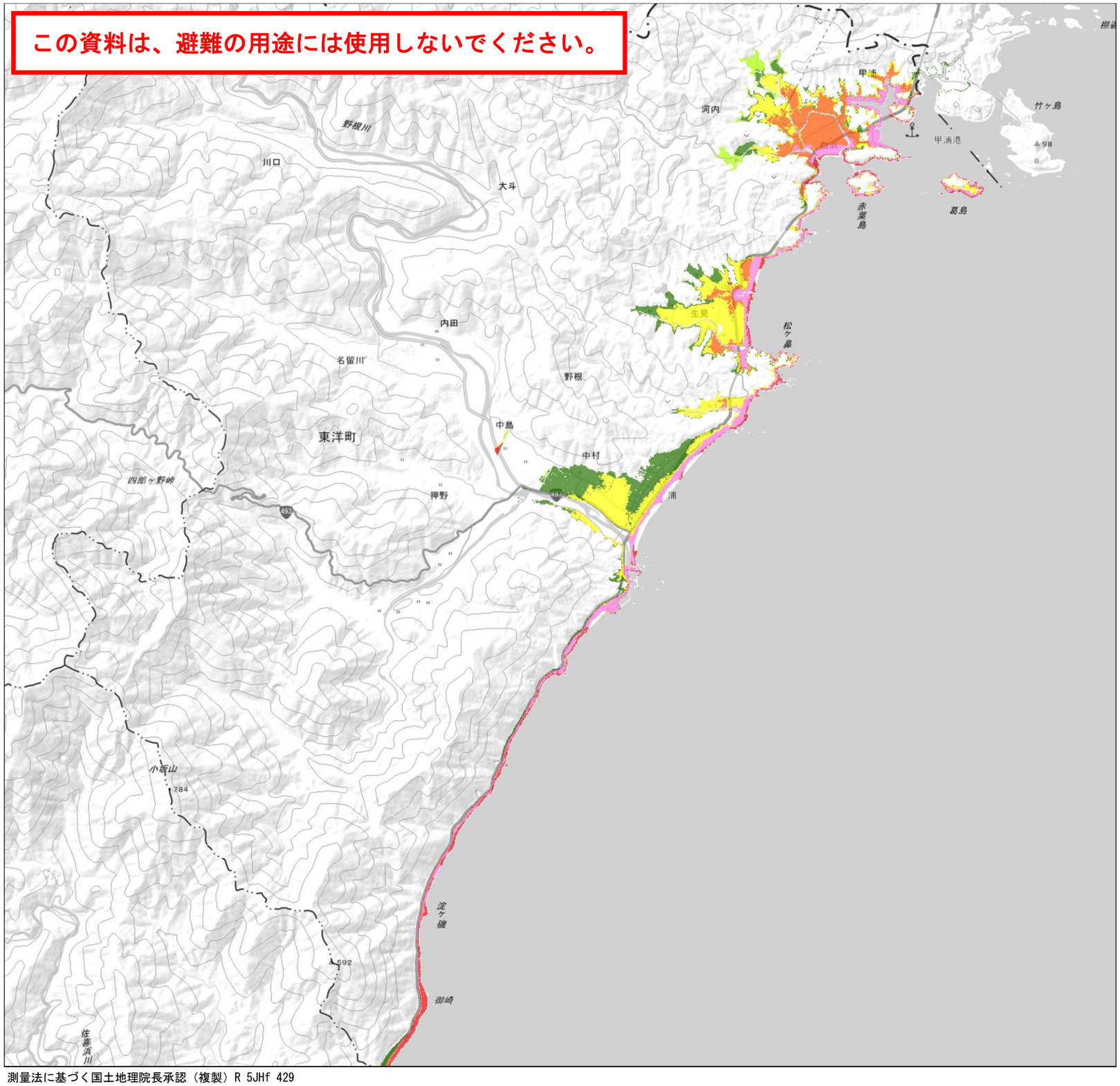
最大浸水深差分図（m）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

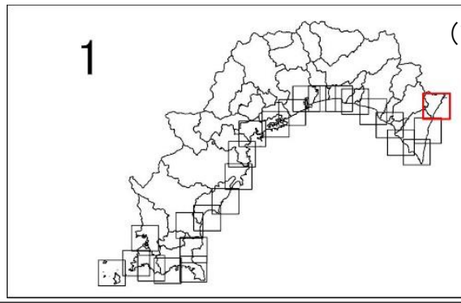
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

1　　東洋町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

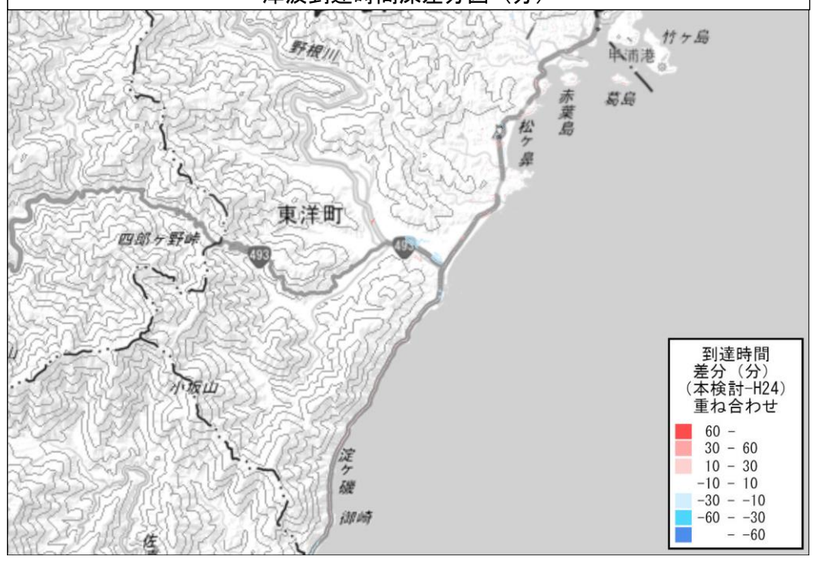
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

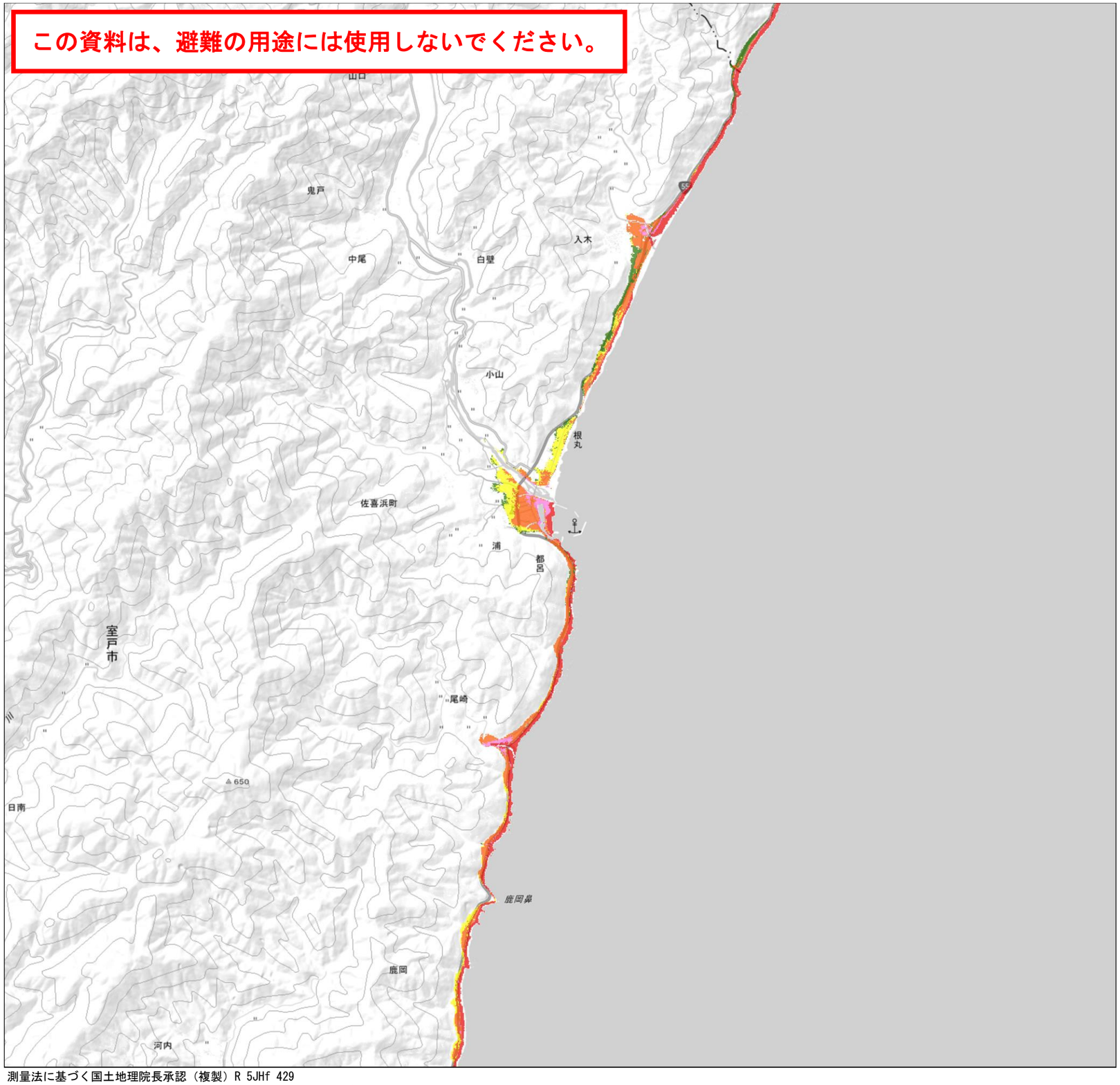
津波到達時間深差分図（分）



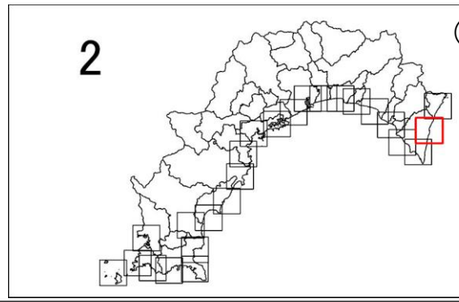
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

2　　室戸市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



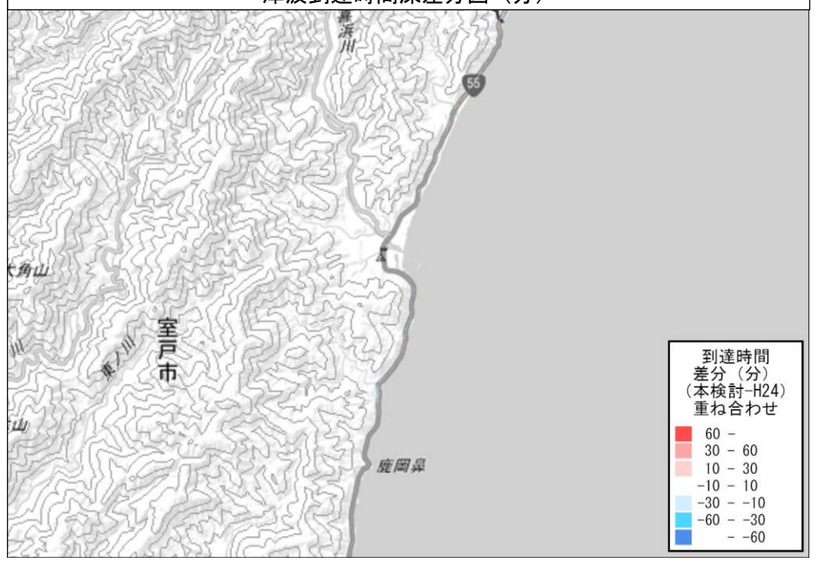
到達時間（分）
- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

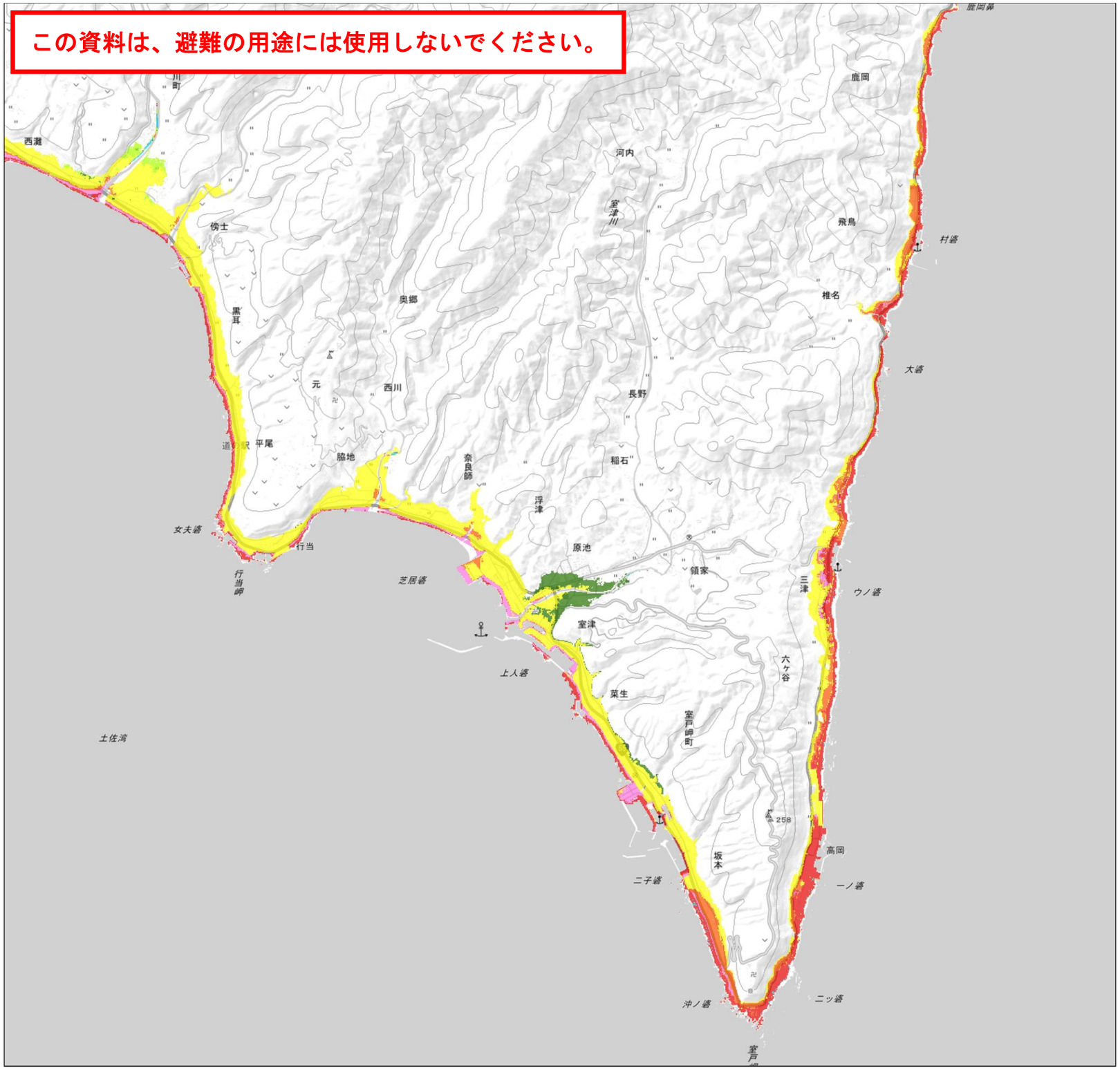


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

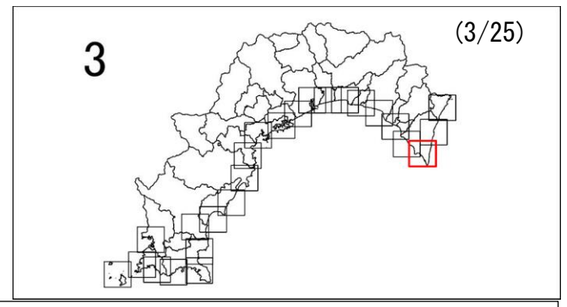
3　　室戸市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

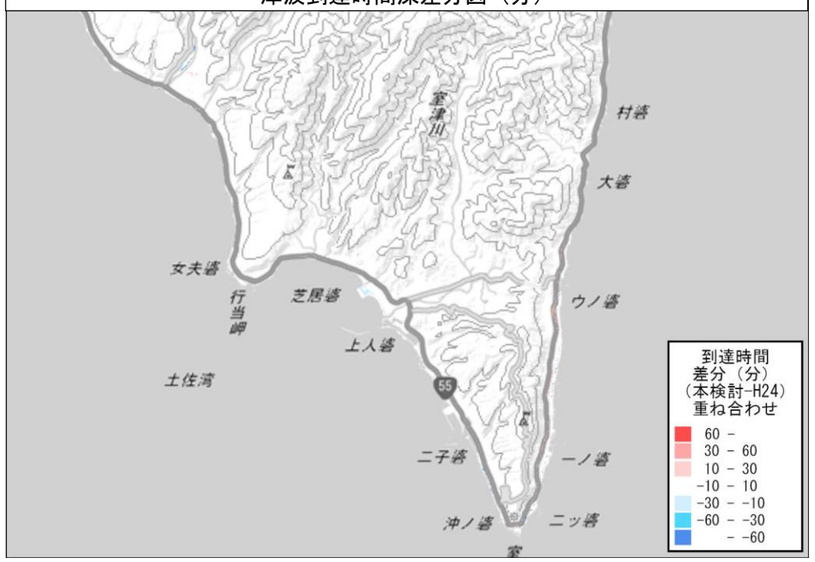
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

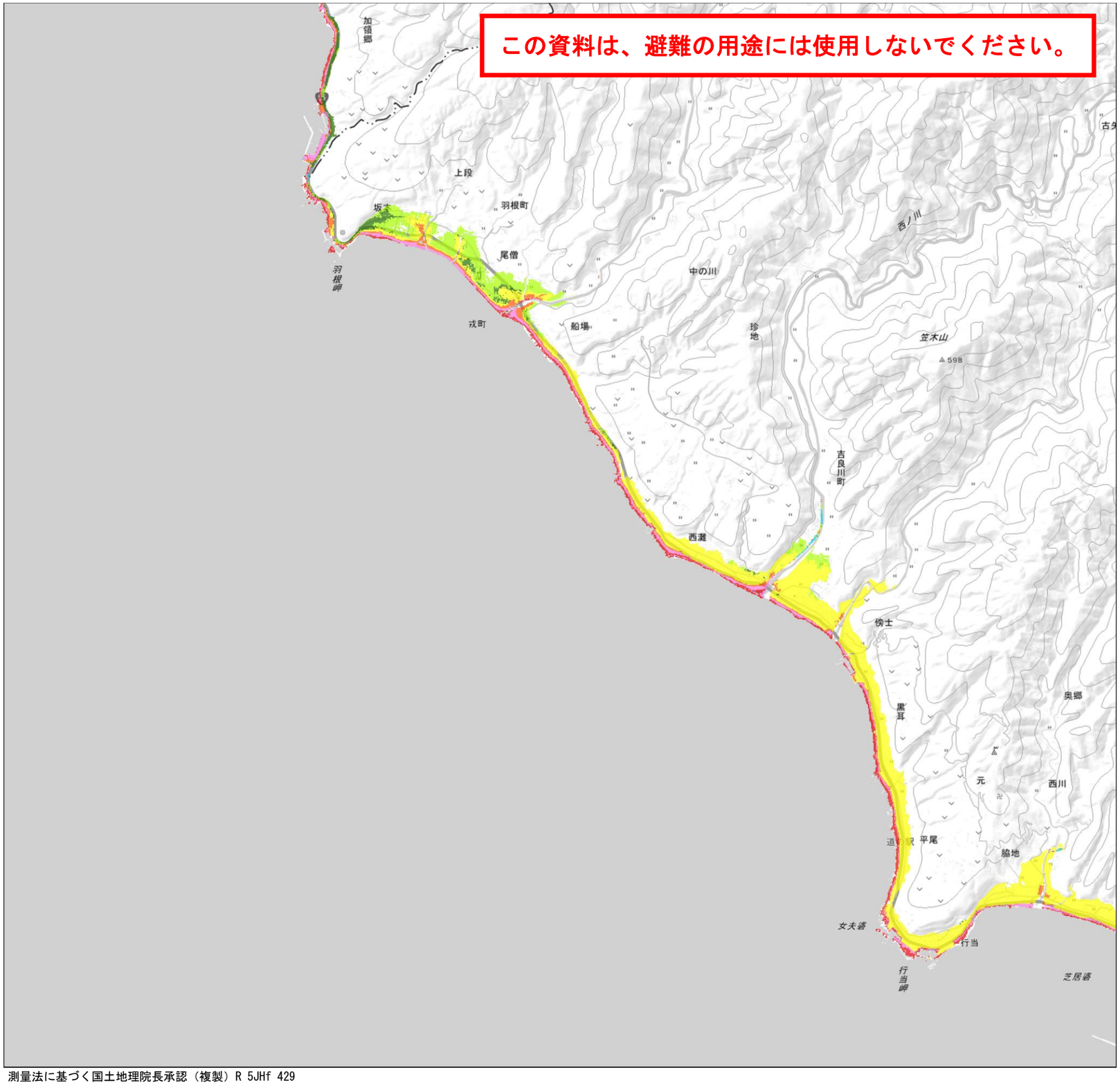
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

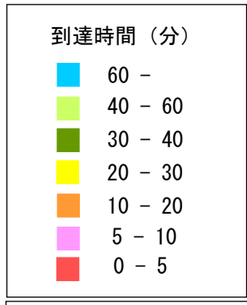
津波到達時間深差分図（分）

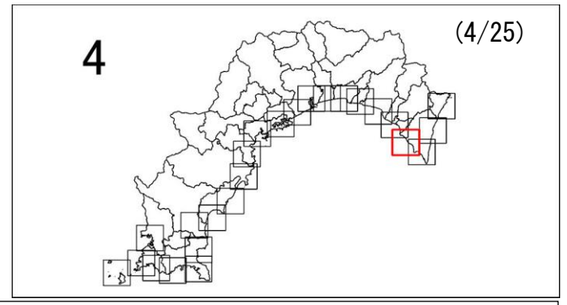


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

4　　室戸市 その３（30cm 津波到達時間）



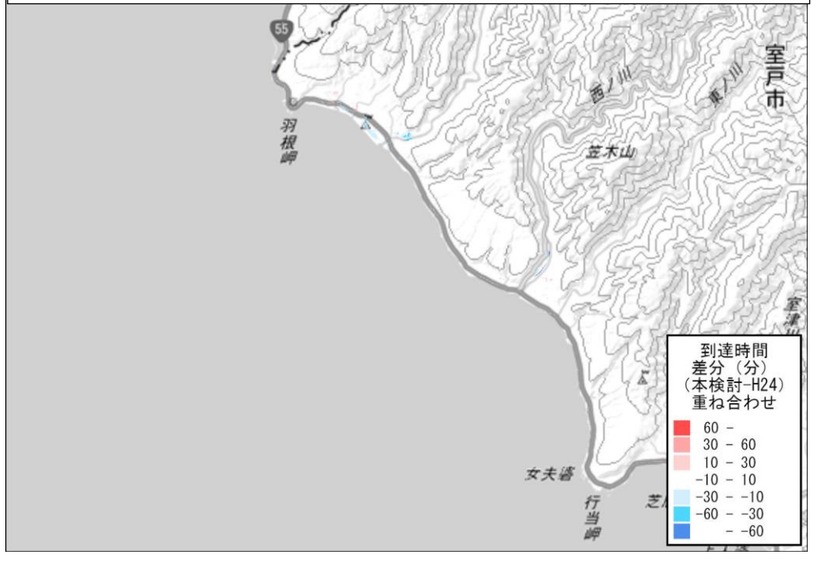




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

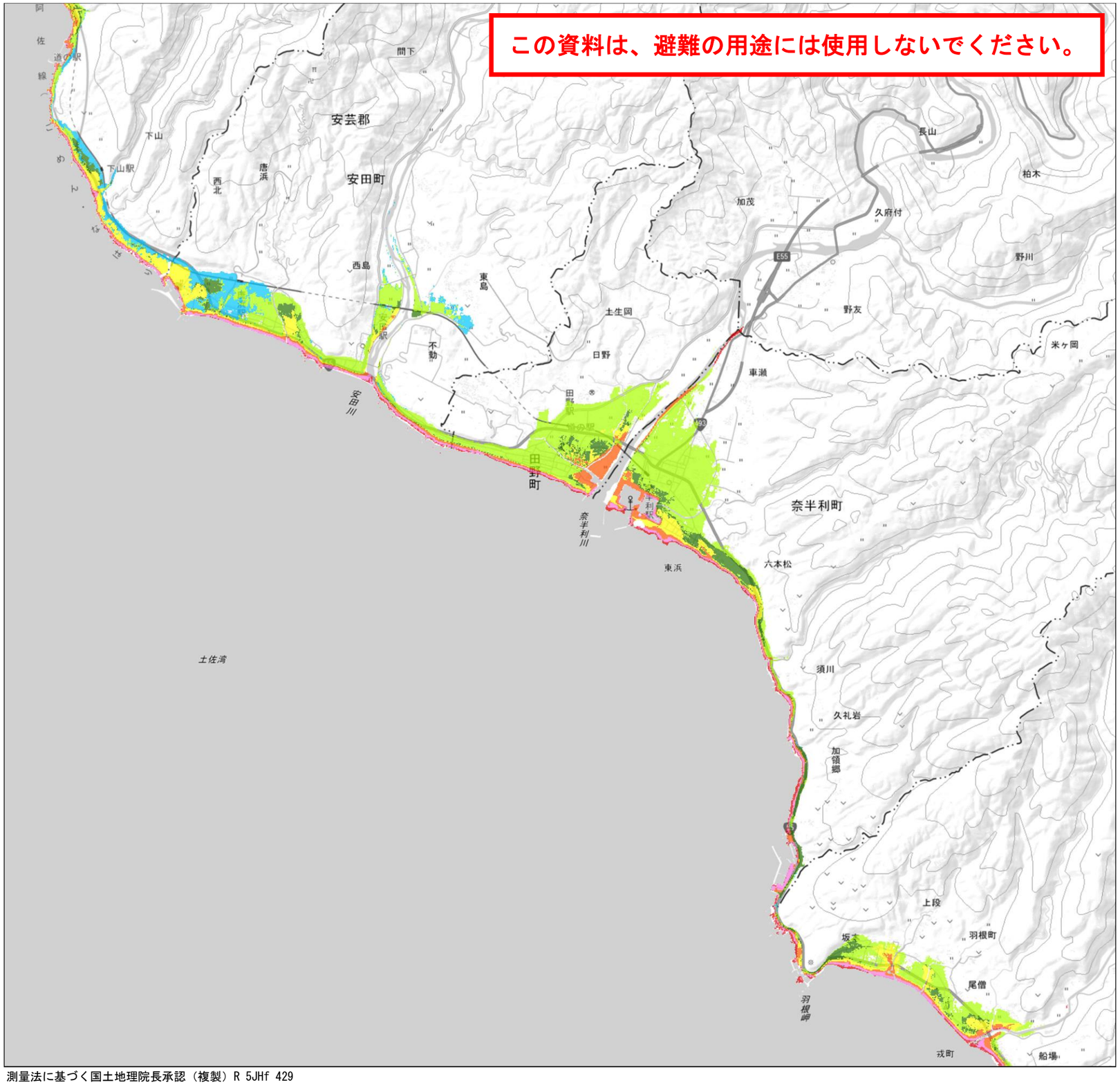
津波到達時間深差分図（分）

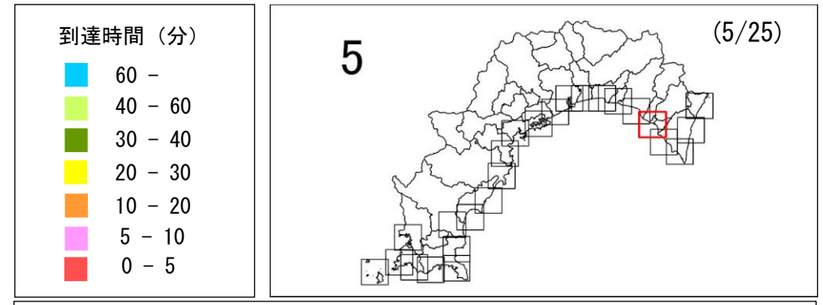


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

５　　奈半利町　田野町　安田町（30cm 津波到達時間）

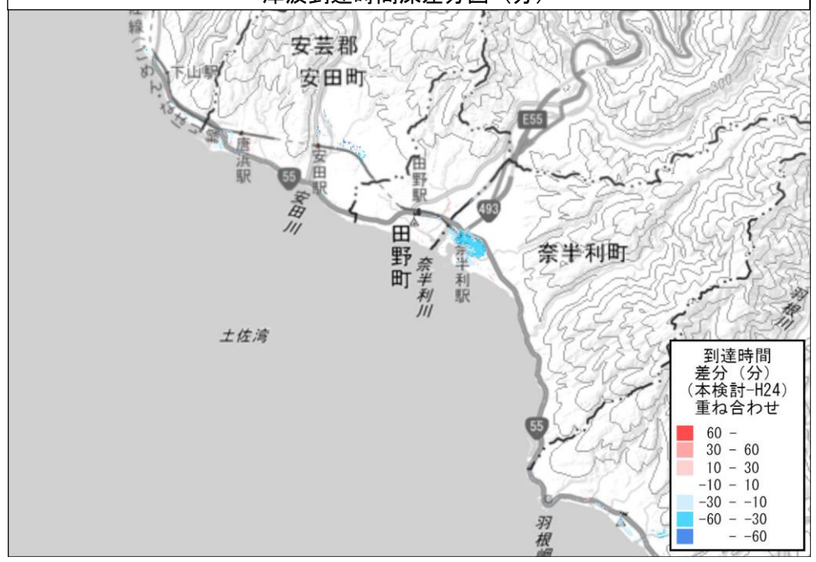




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

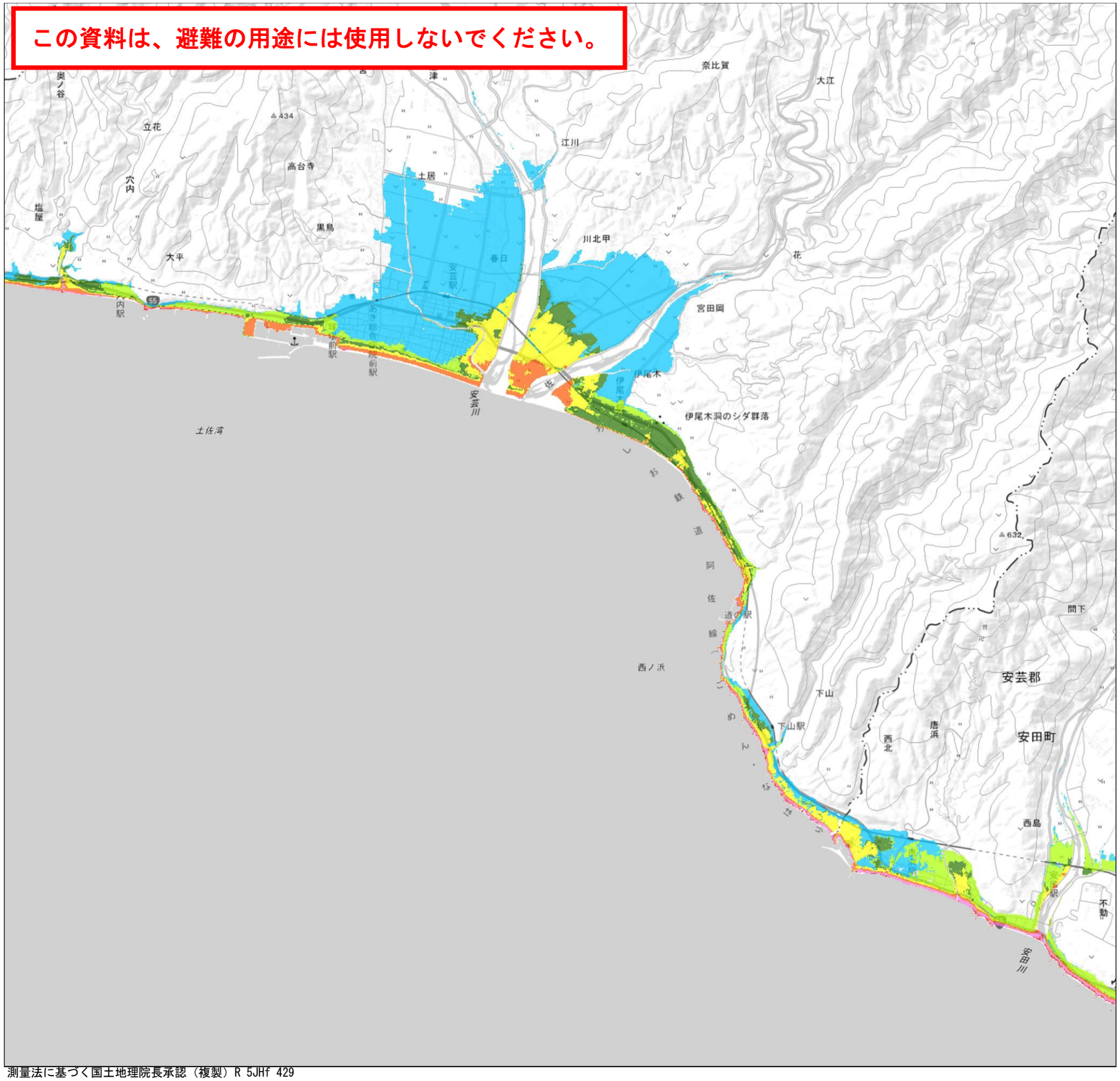


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

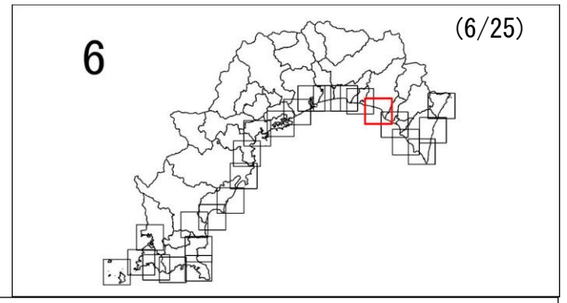
6　　安芸市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

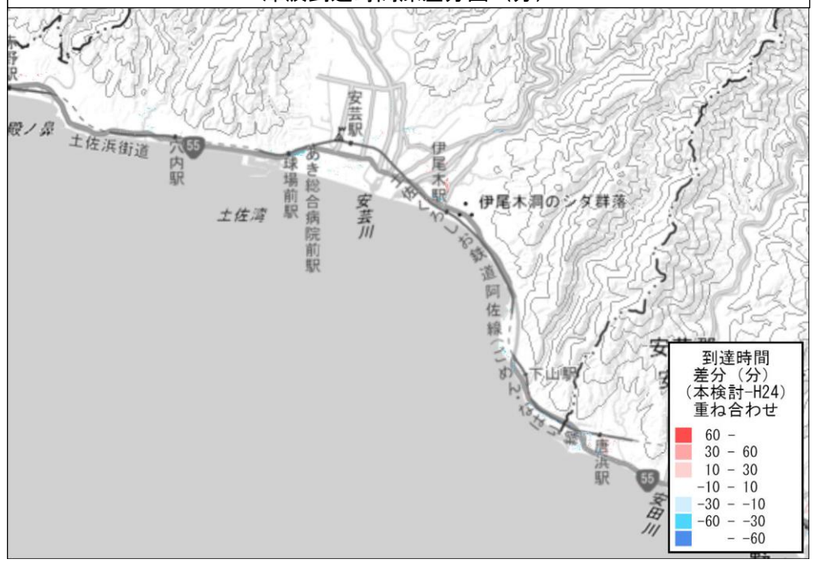
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

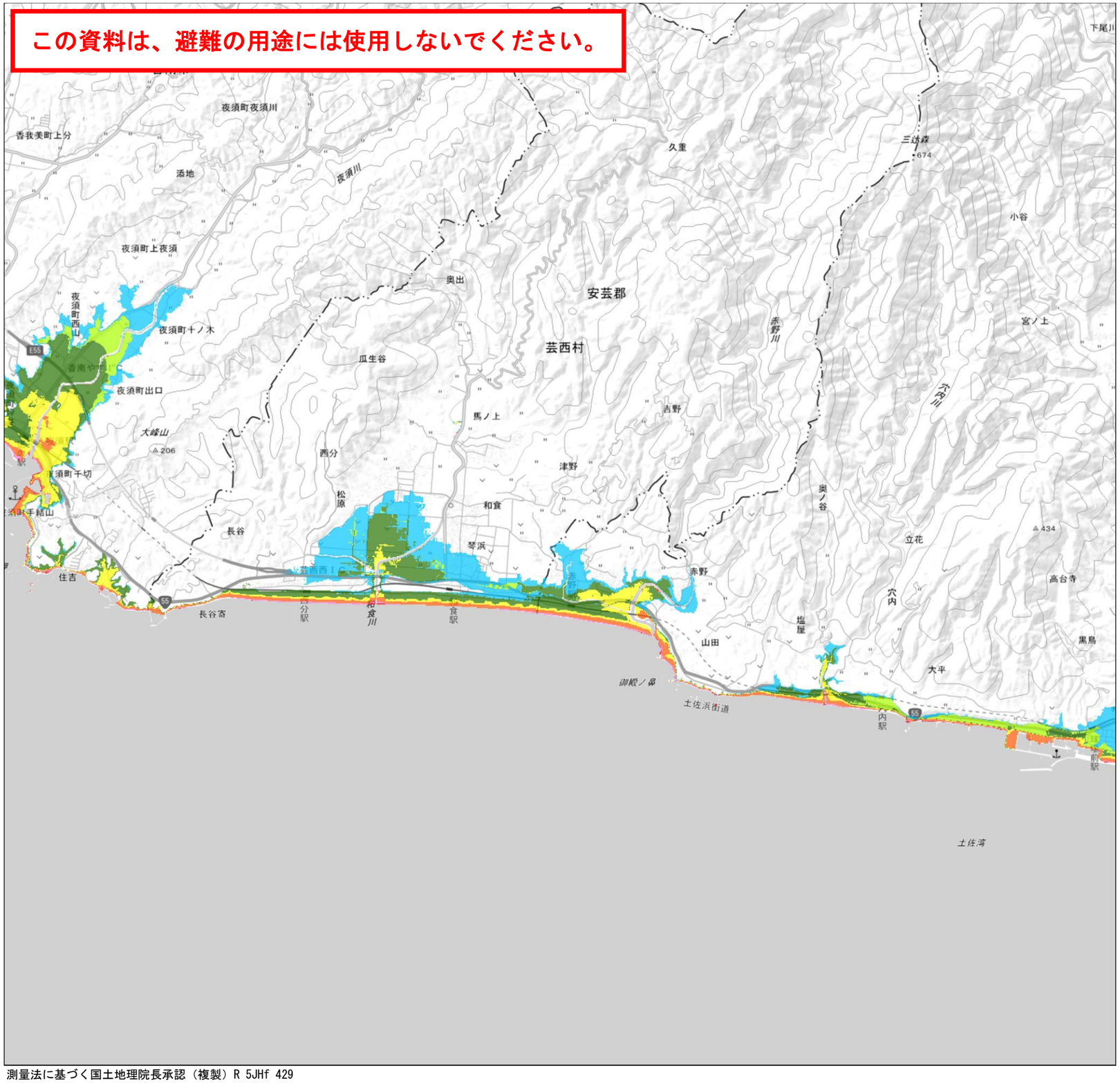
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

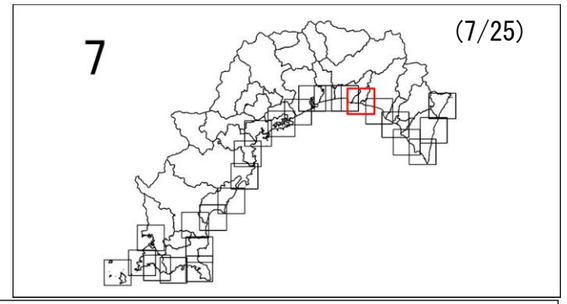
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

7　　安芸市 その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

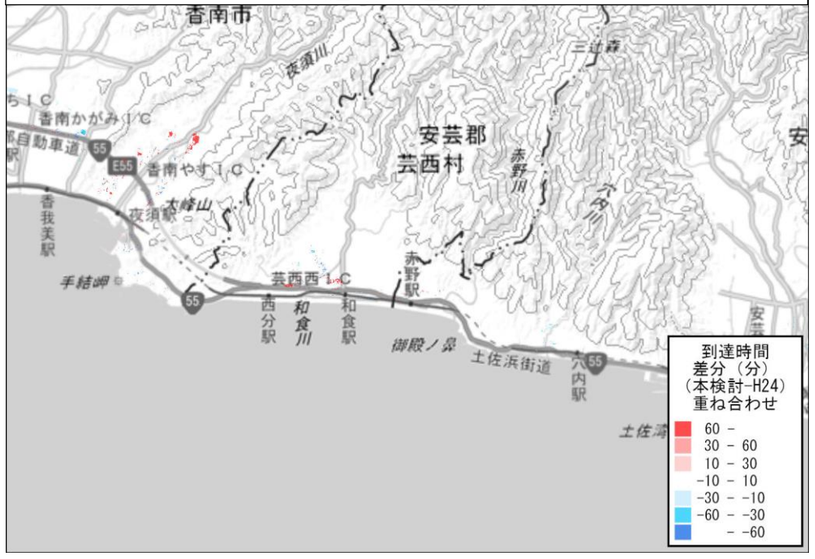
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

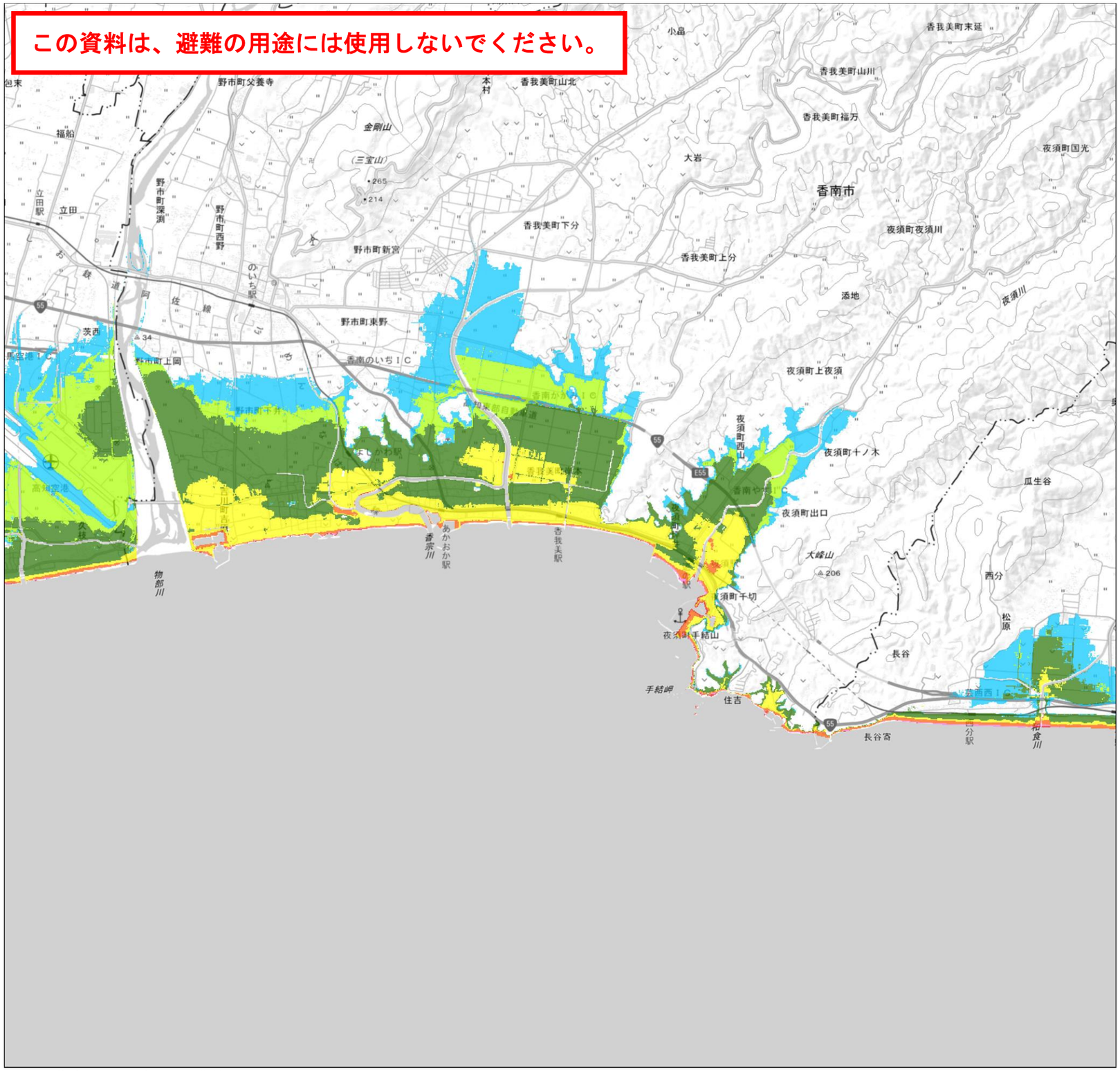
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



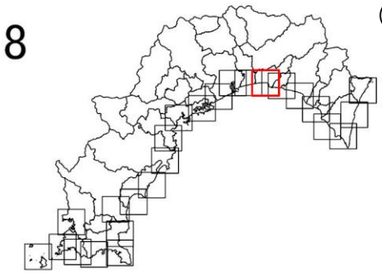
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

8　香南市（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

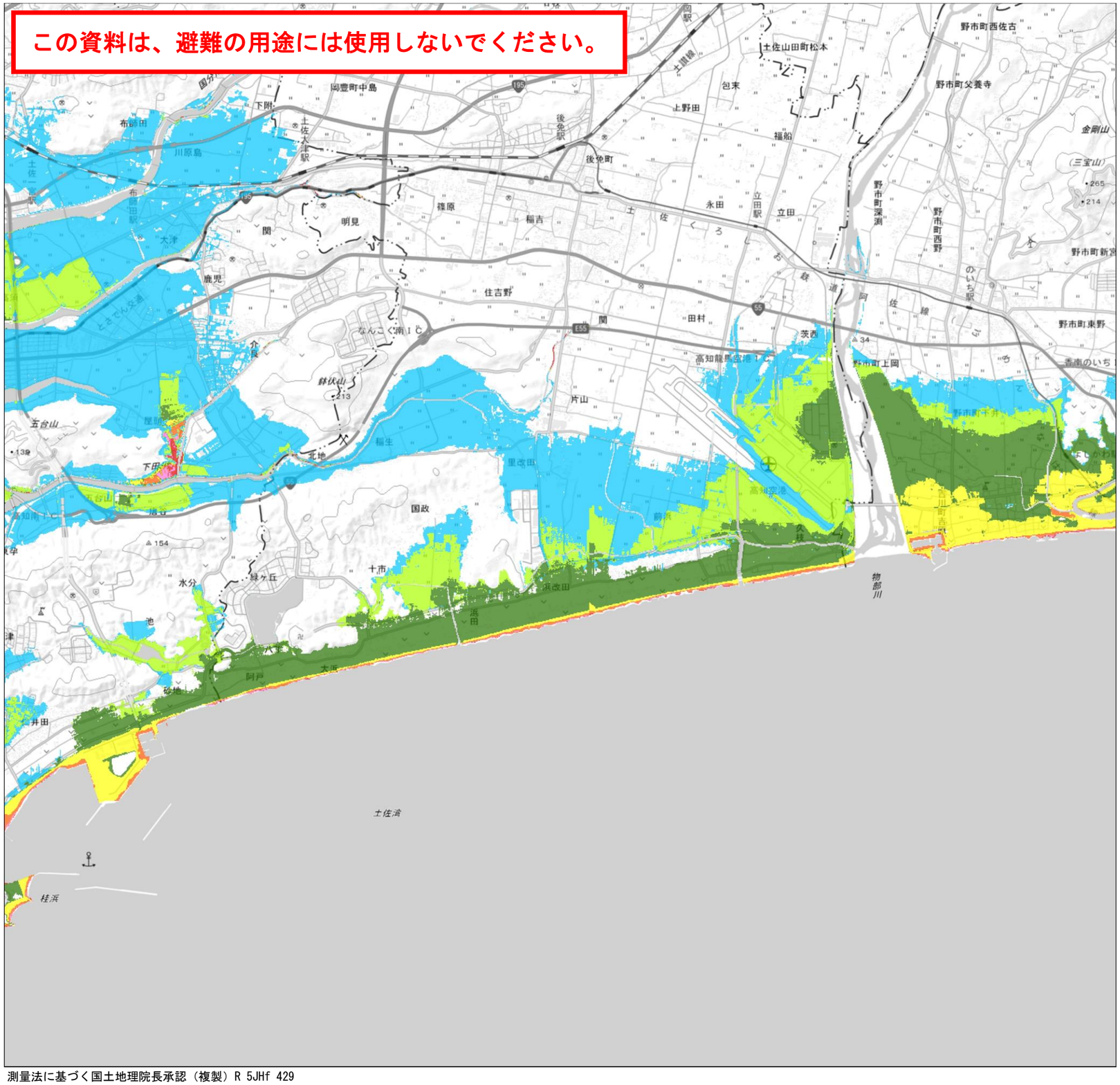
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

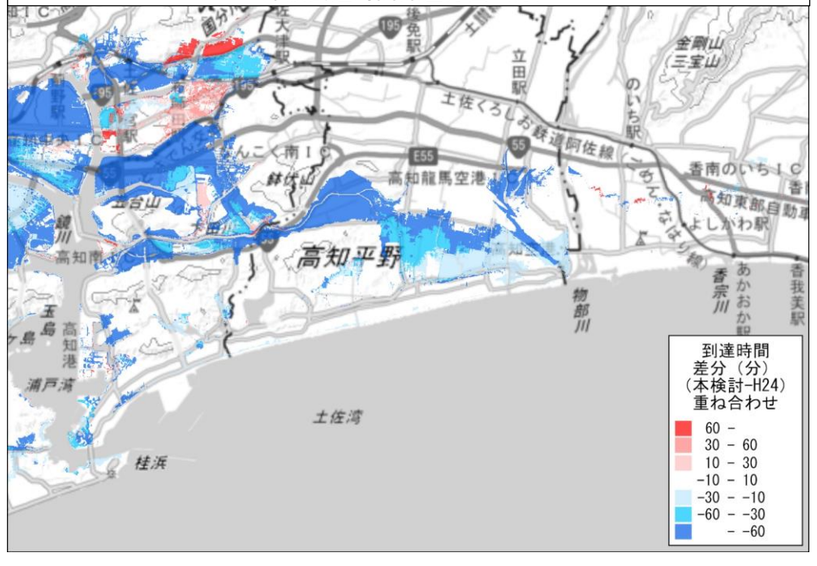
9　　南国市（30cm 津波到達時間）



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

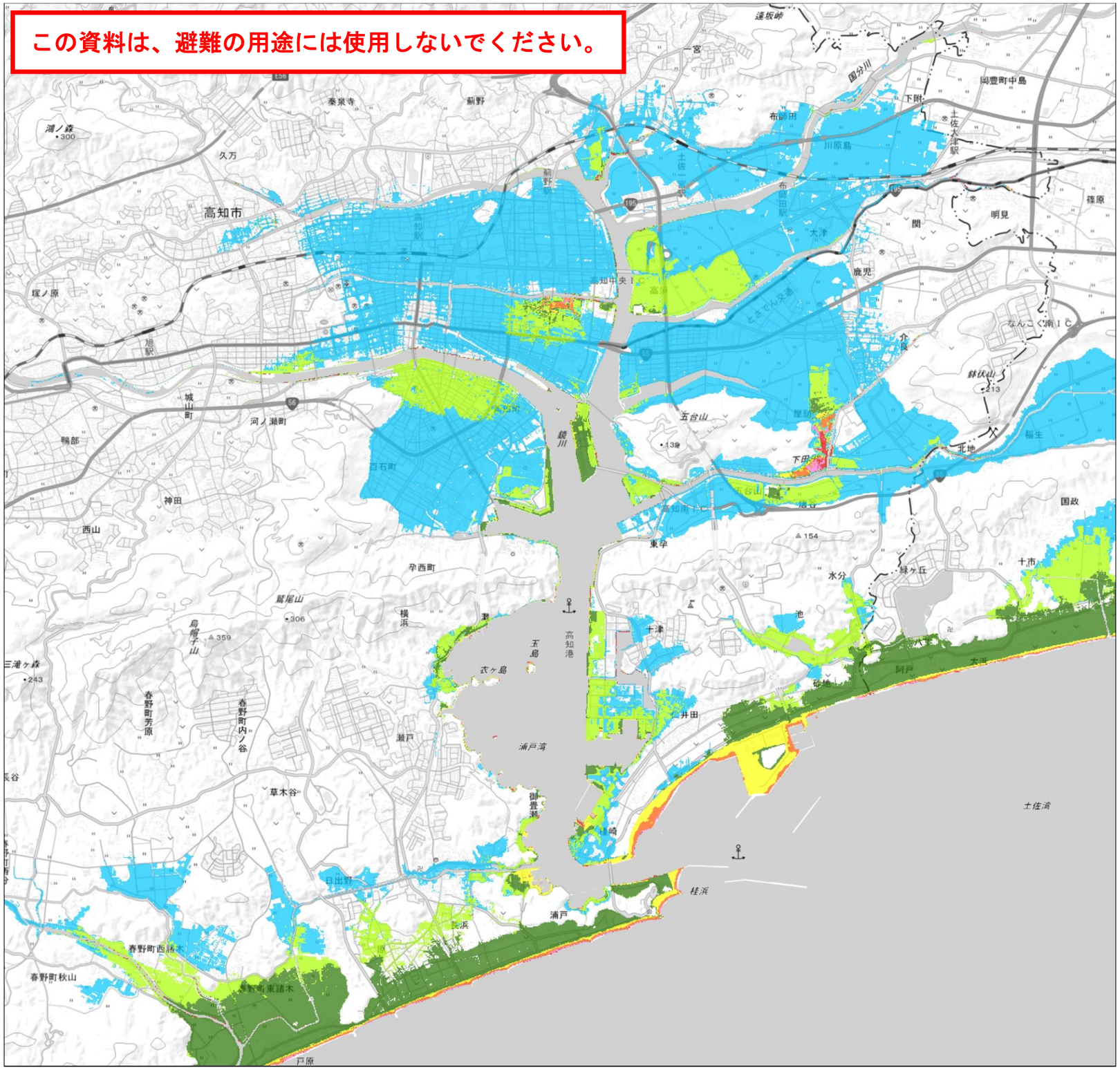


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

10　　高知市（30cm 津波到達時間）

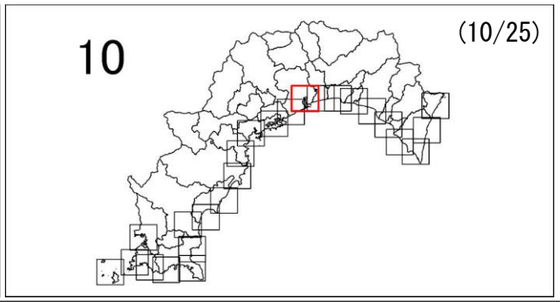
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

到達時間（分）

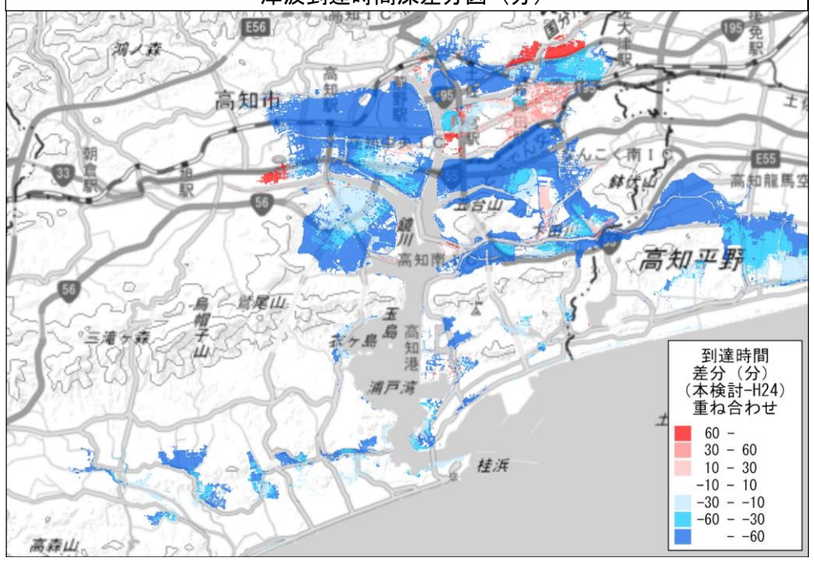
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

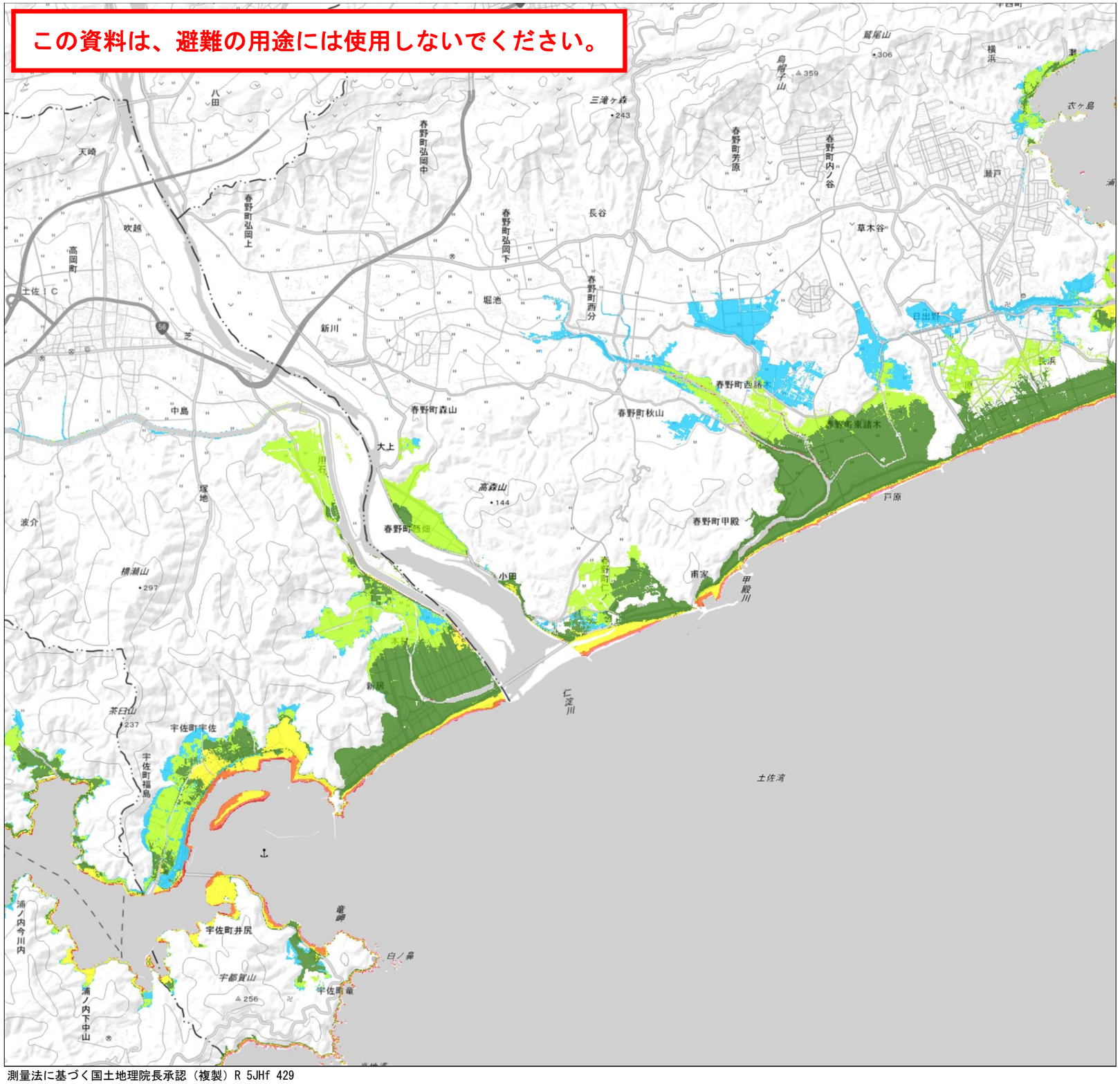
（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）



11　　高知市　土佐市（30cm 津波到達時間）

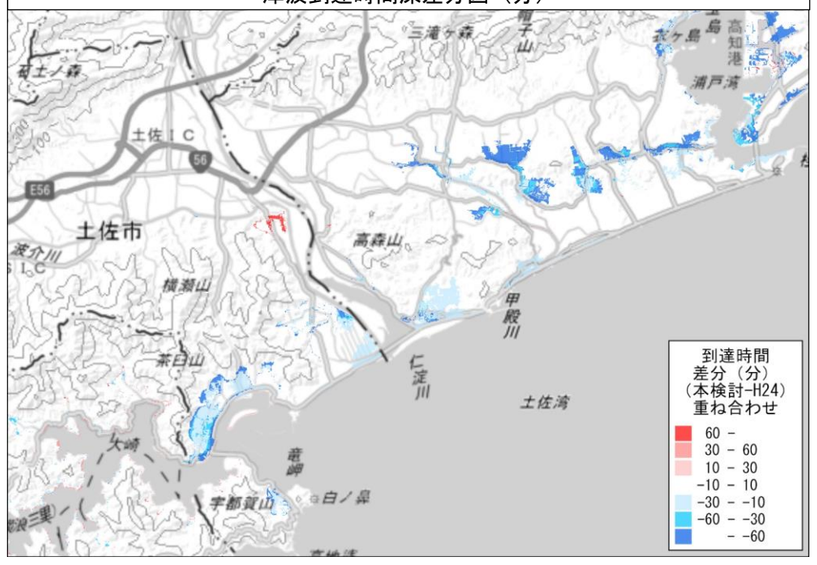
この資料は、避難の用途には使用しないでください。



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

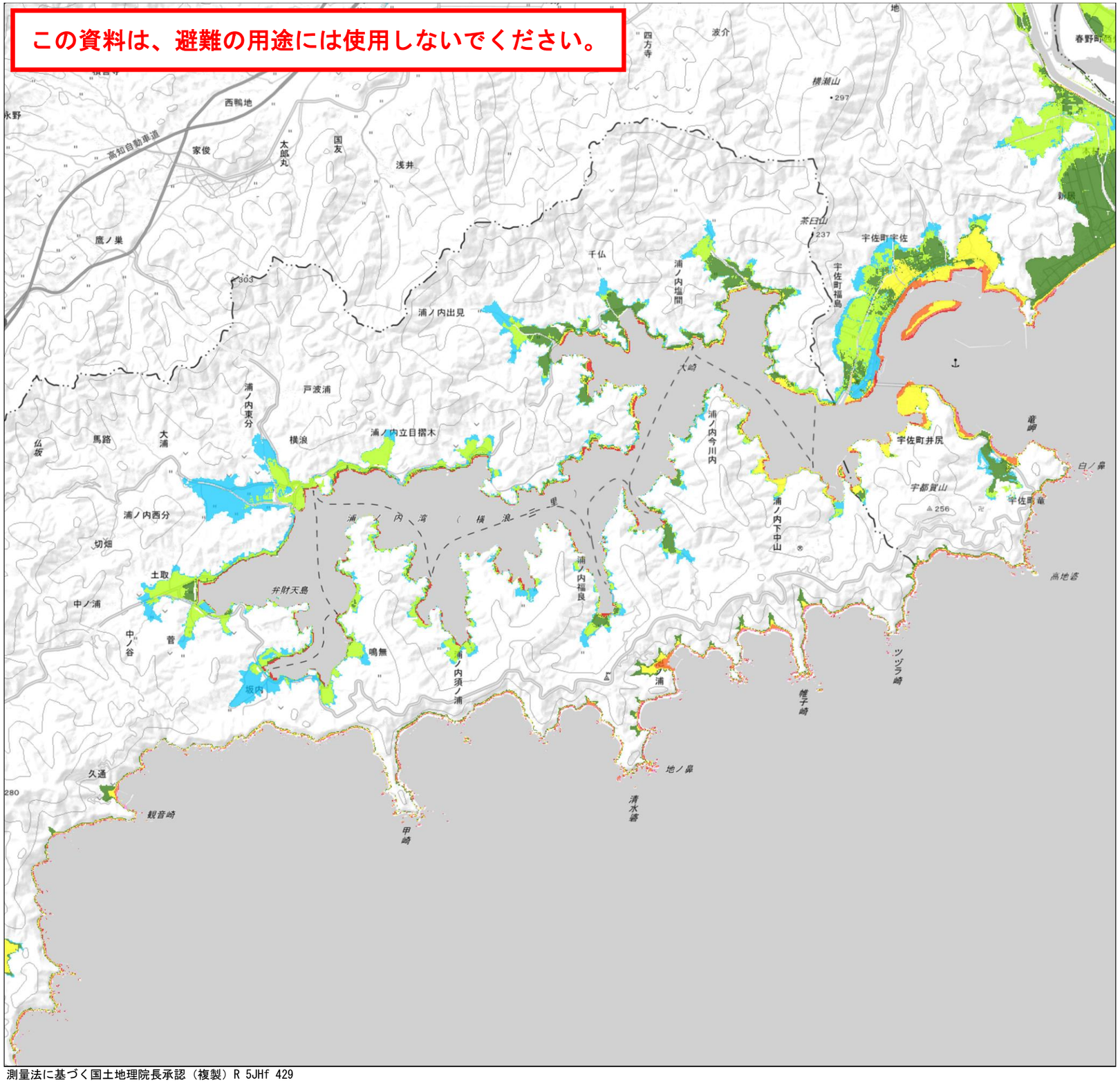


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

12　須崎市 その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

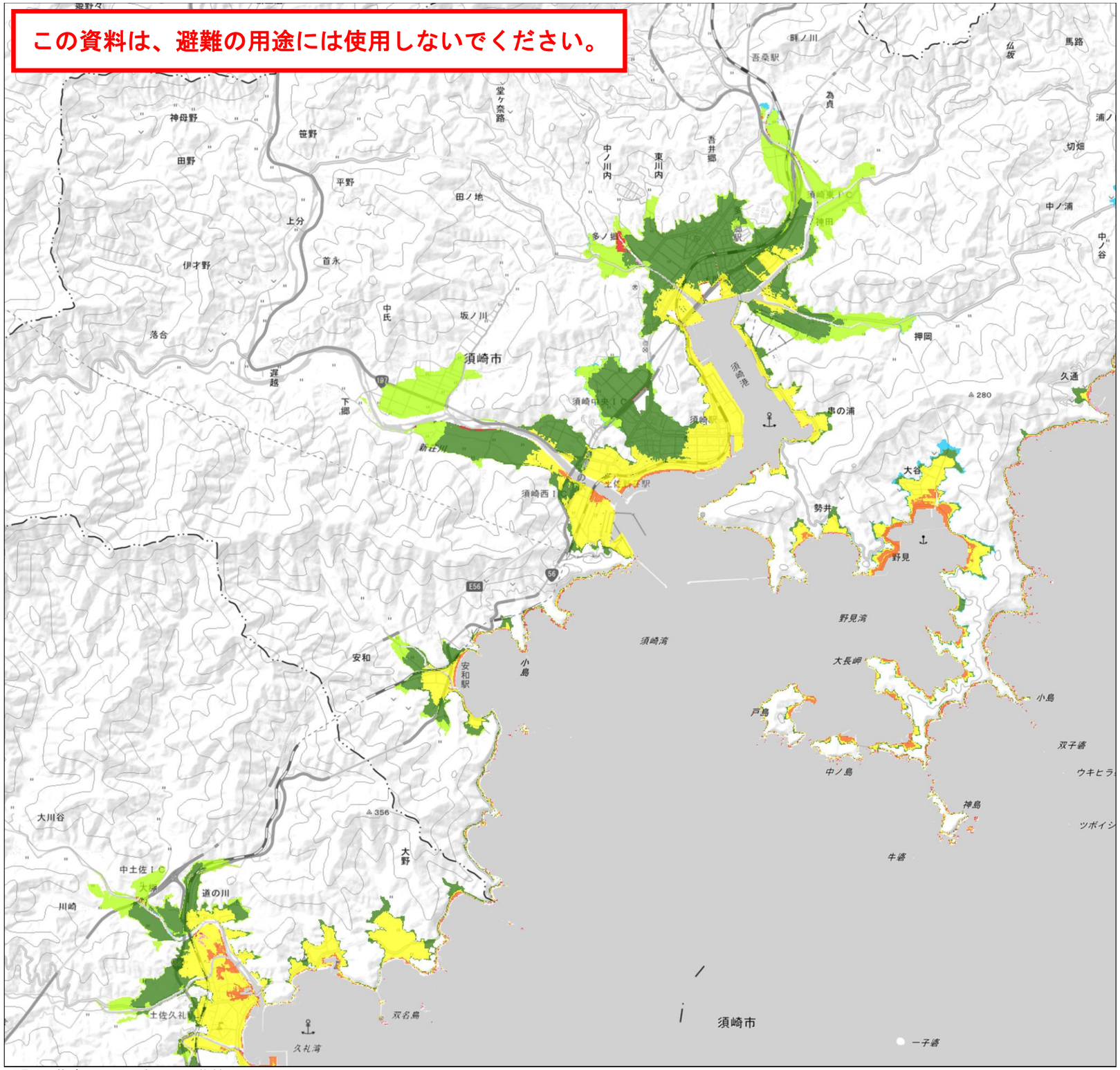


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

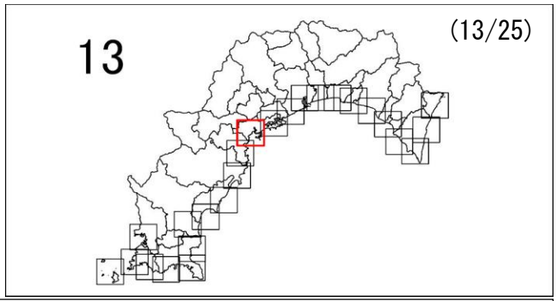
13　須崎市 その２（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

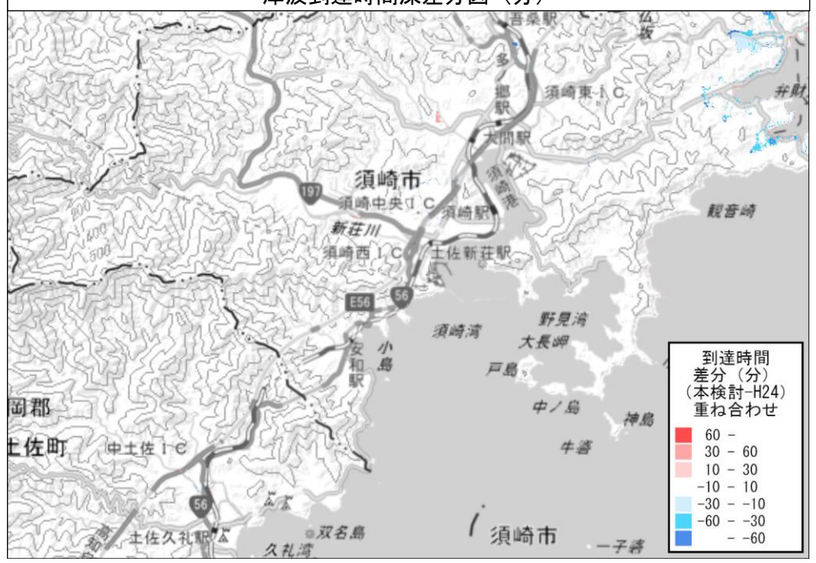
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

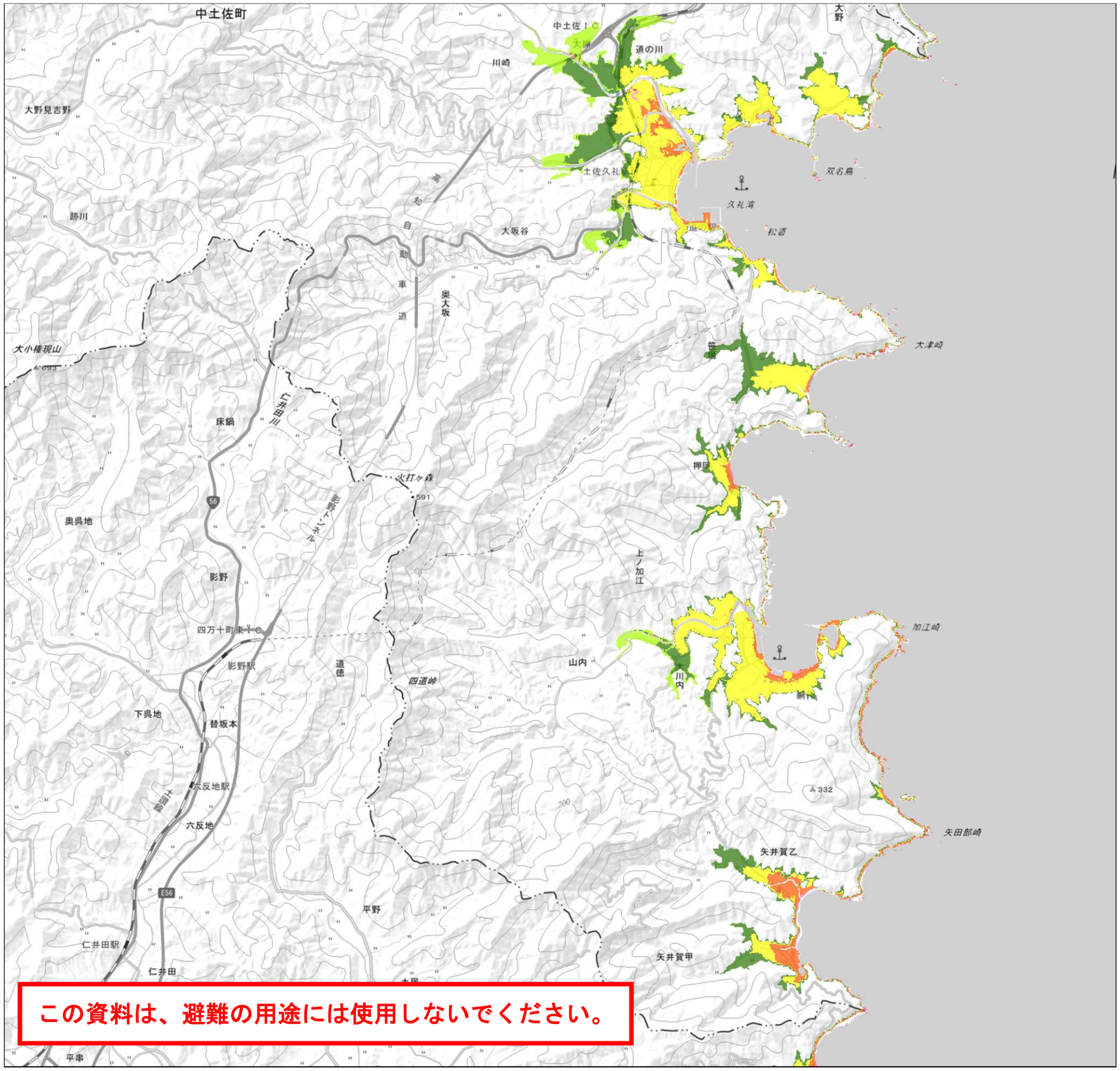
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

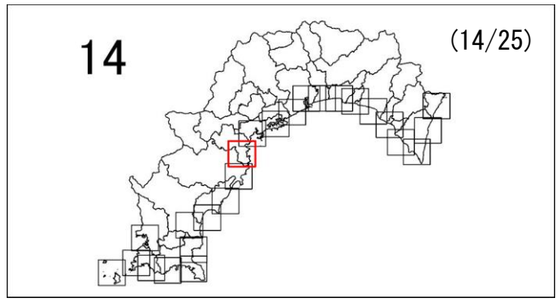
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

14　　中土佐町（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

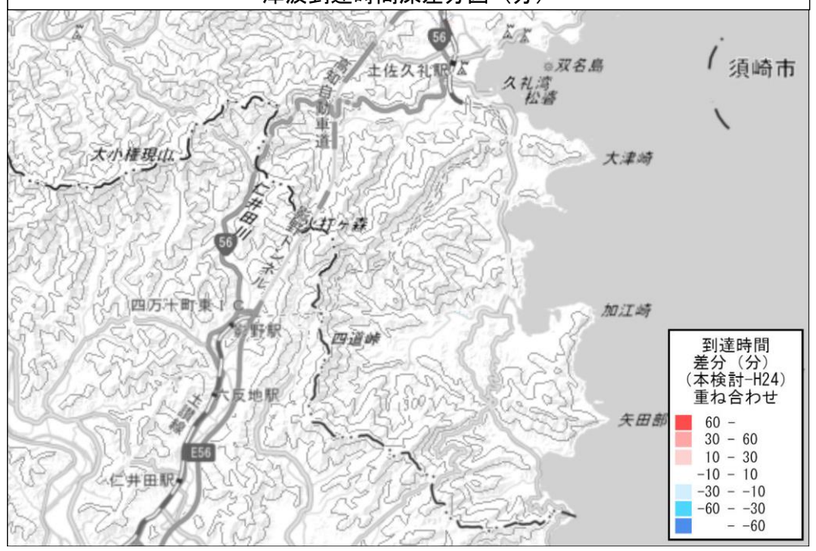
60 －
40 － 60
30 － 40
20 － 30
10 － 20
5 － 10
0 － 5



（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

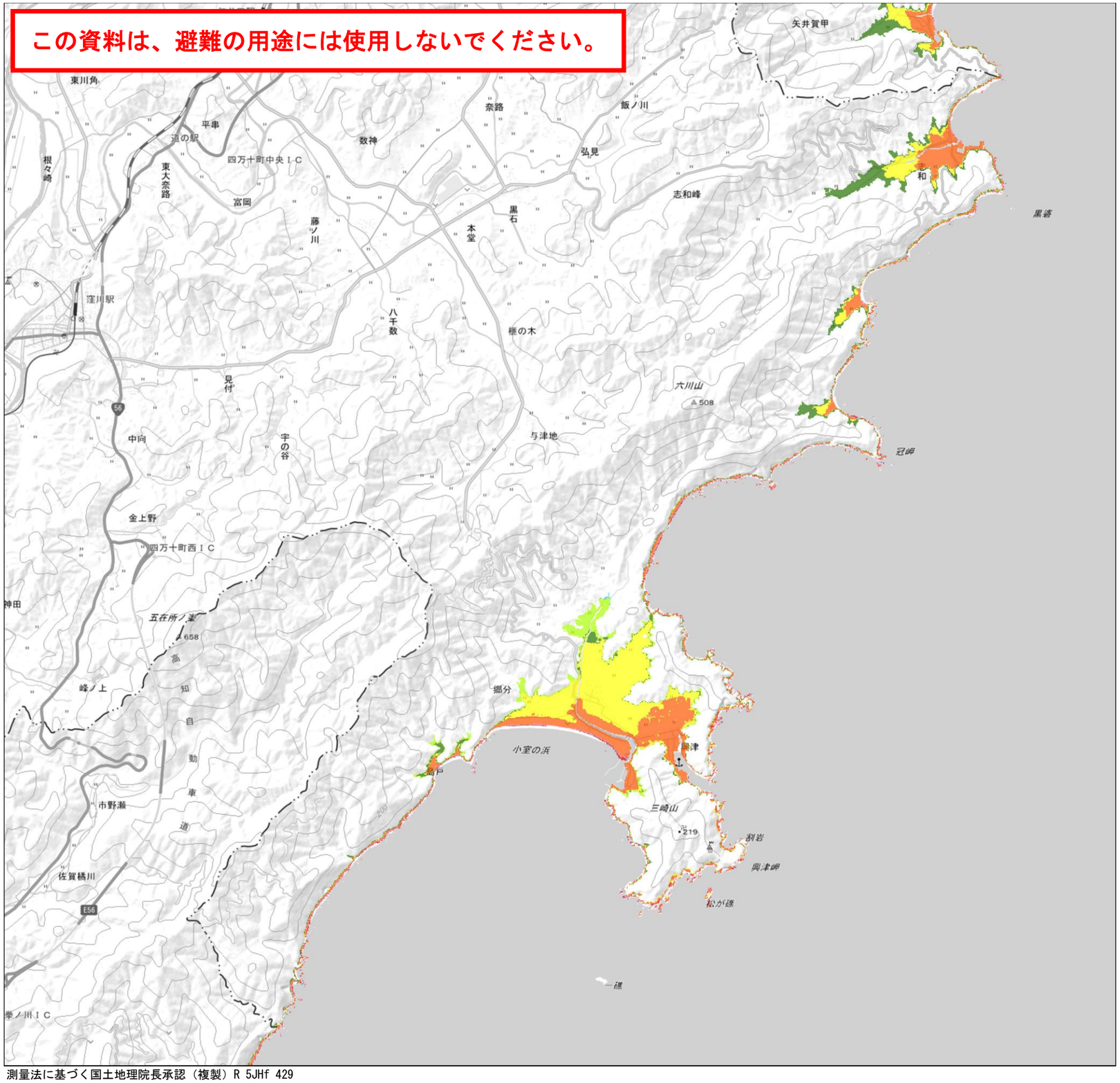
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

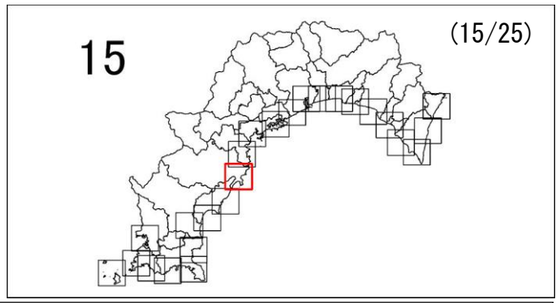
15　四万十町（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

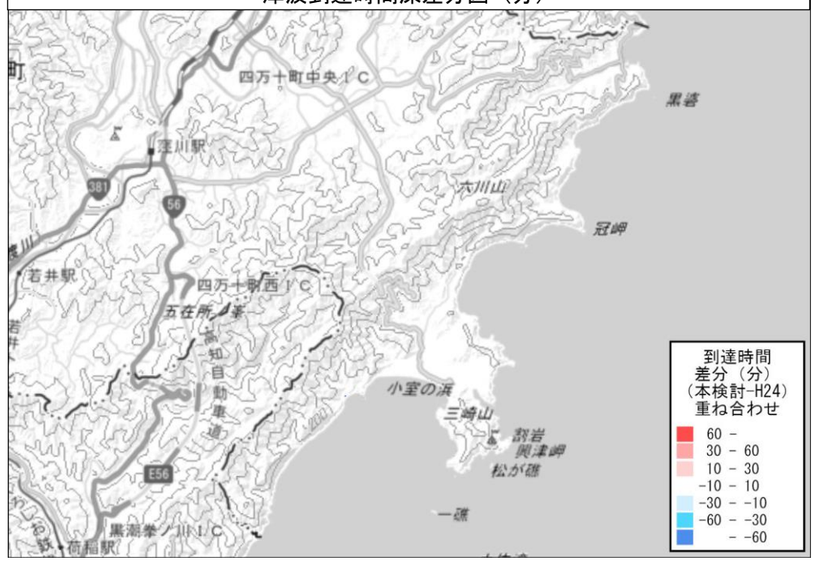
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

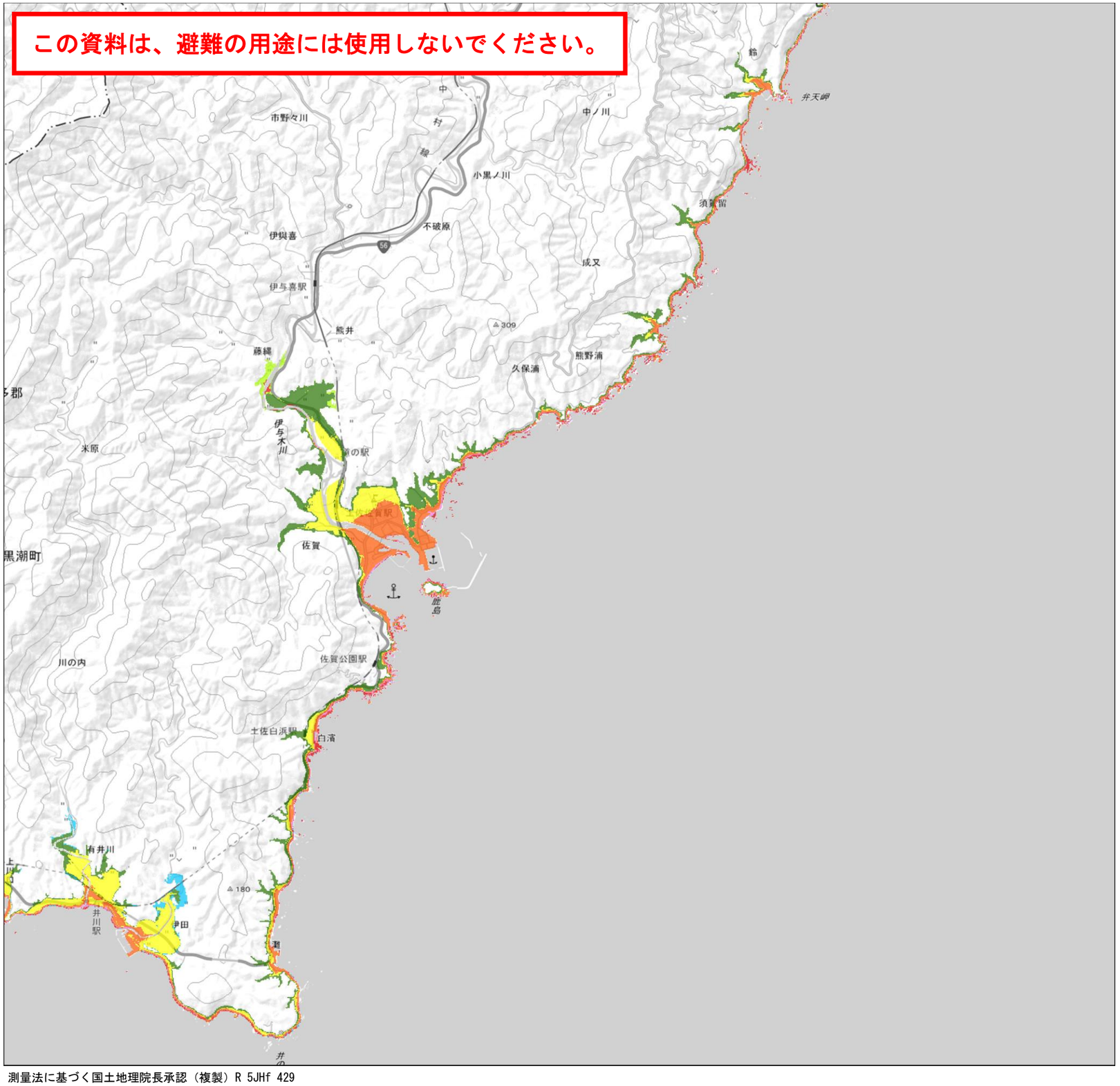


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

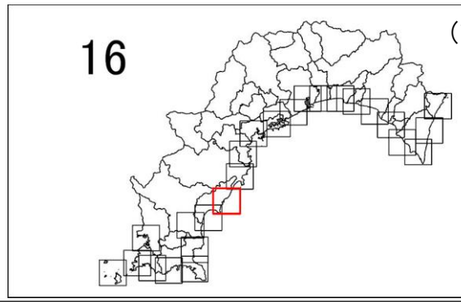
16　　黒潮町　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

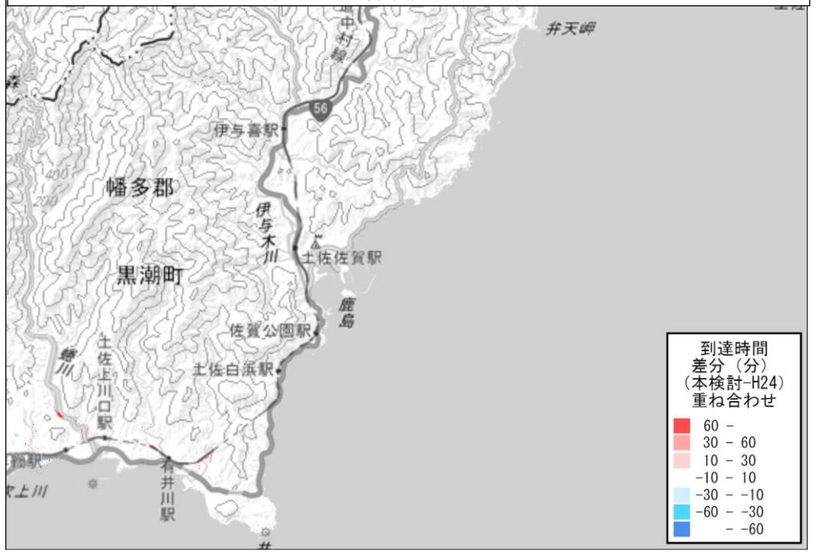
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

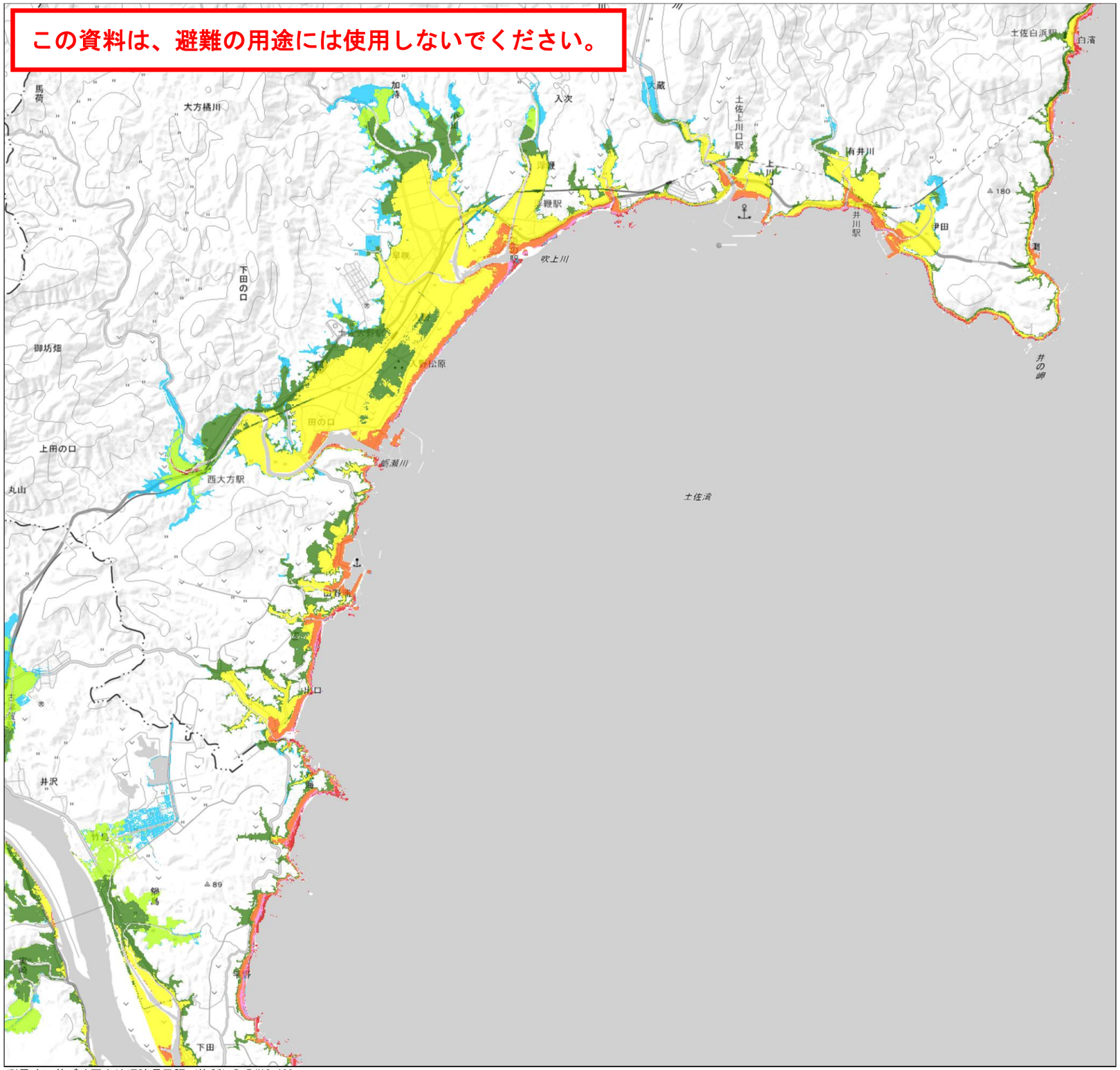
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

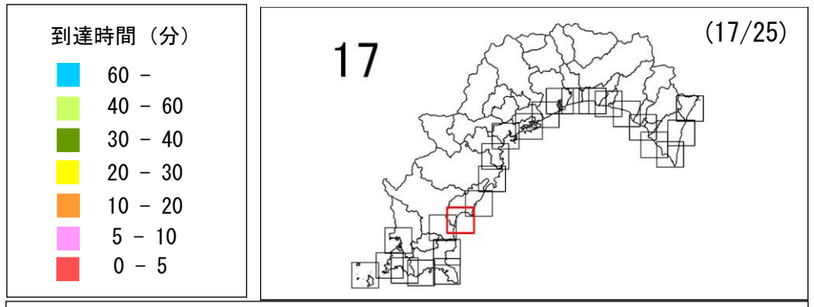
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

17　　黒潮町　その２（30cm 津波到達時間）

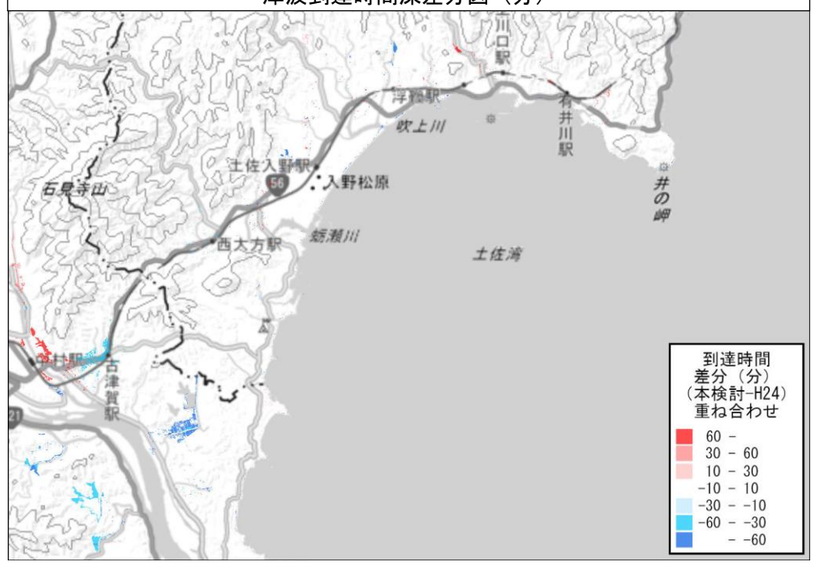




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

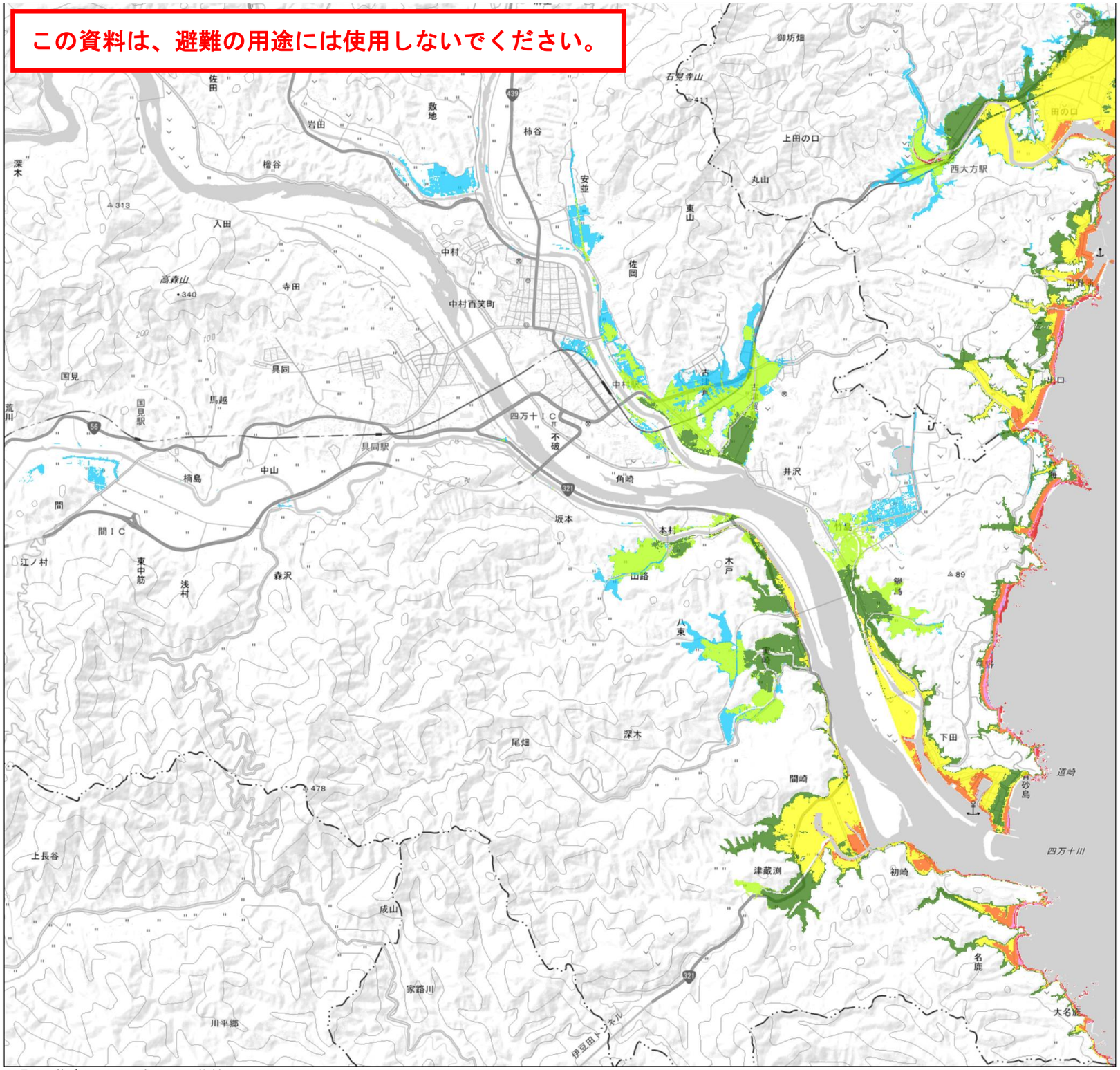
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

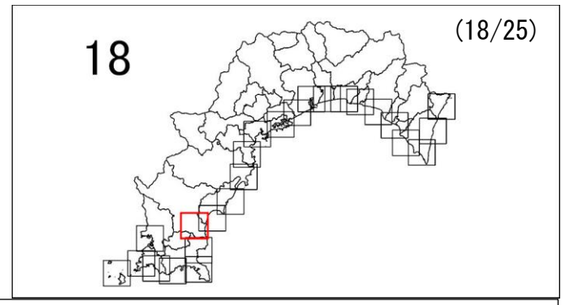
18　四万十市（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

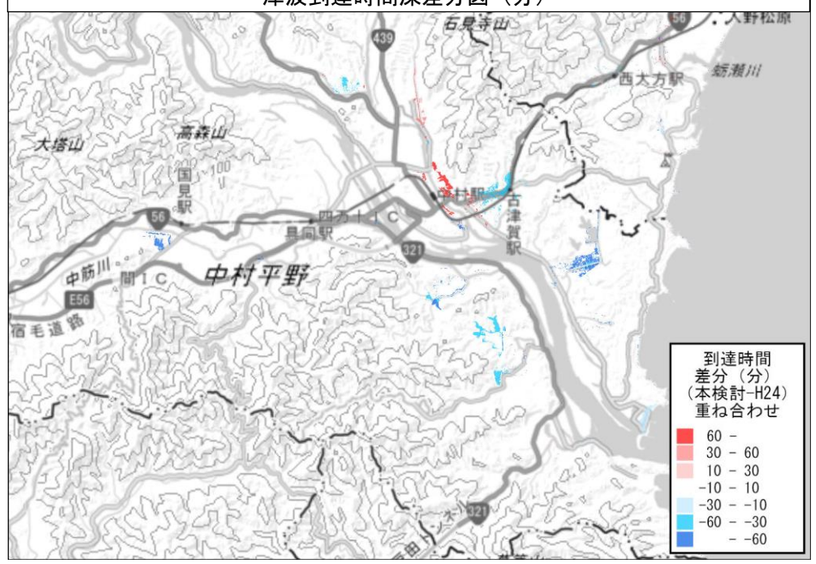
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

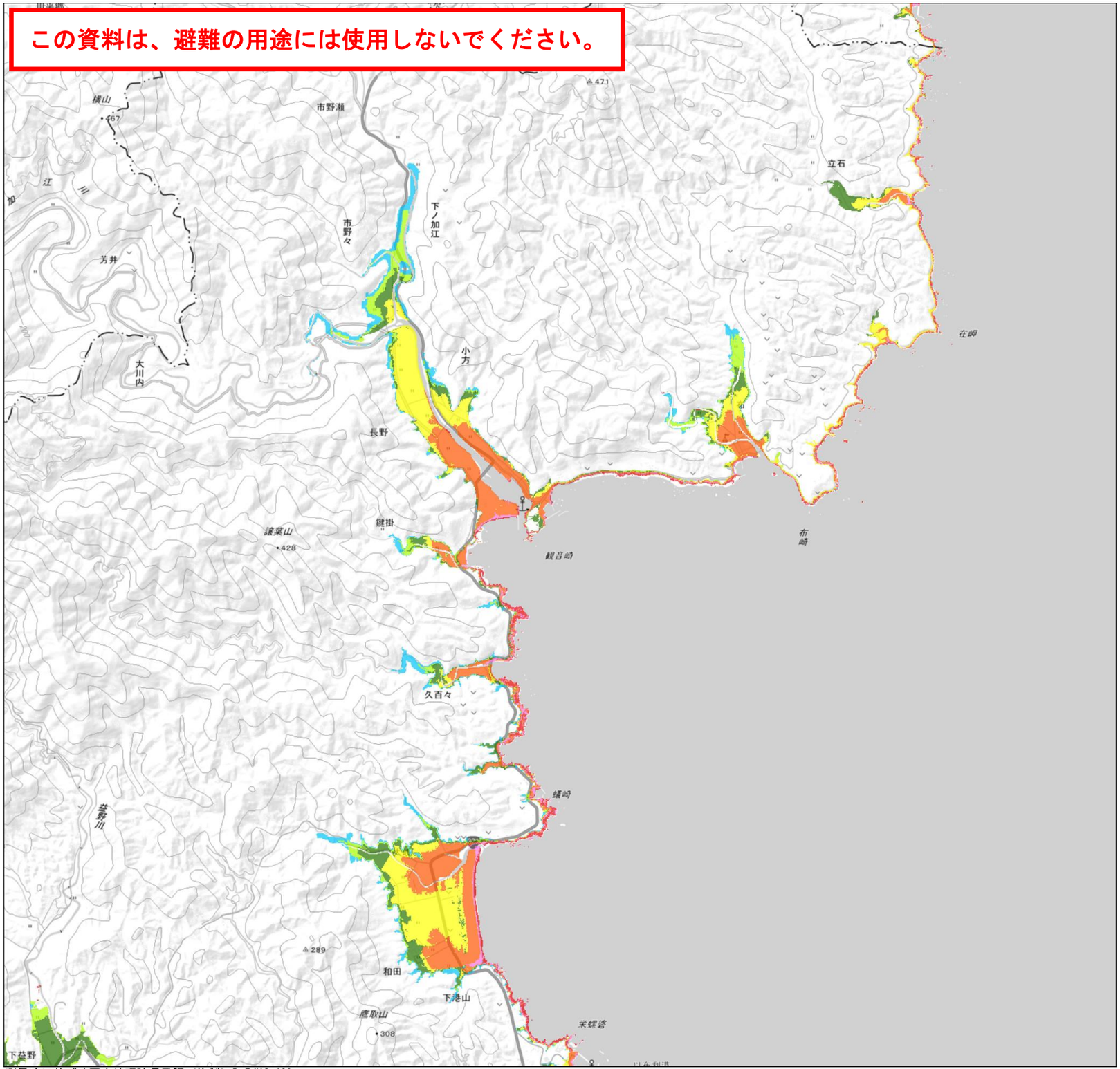
津波到達時間深差分図（分）

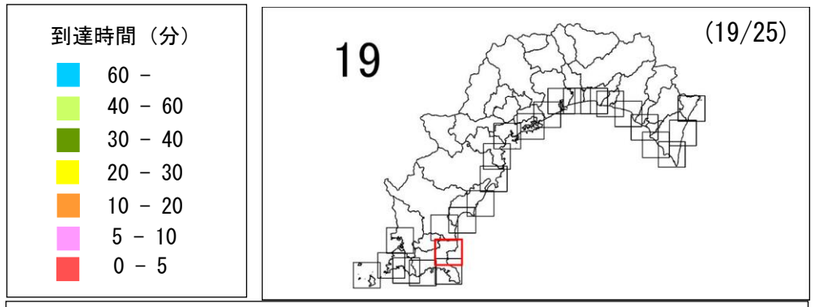


測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

19　　土佐清水市　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。

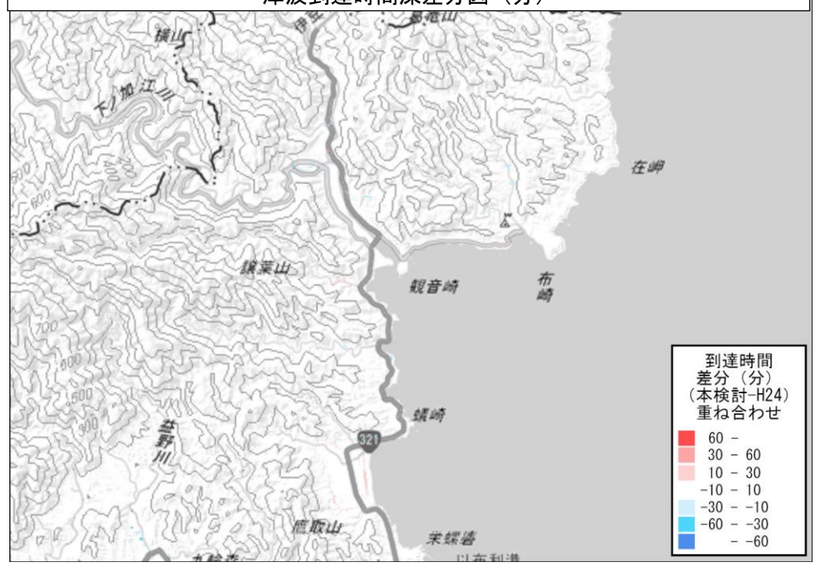




（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

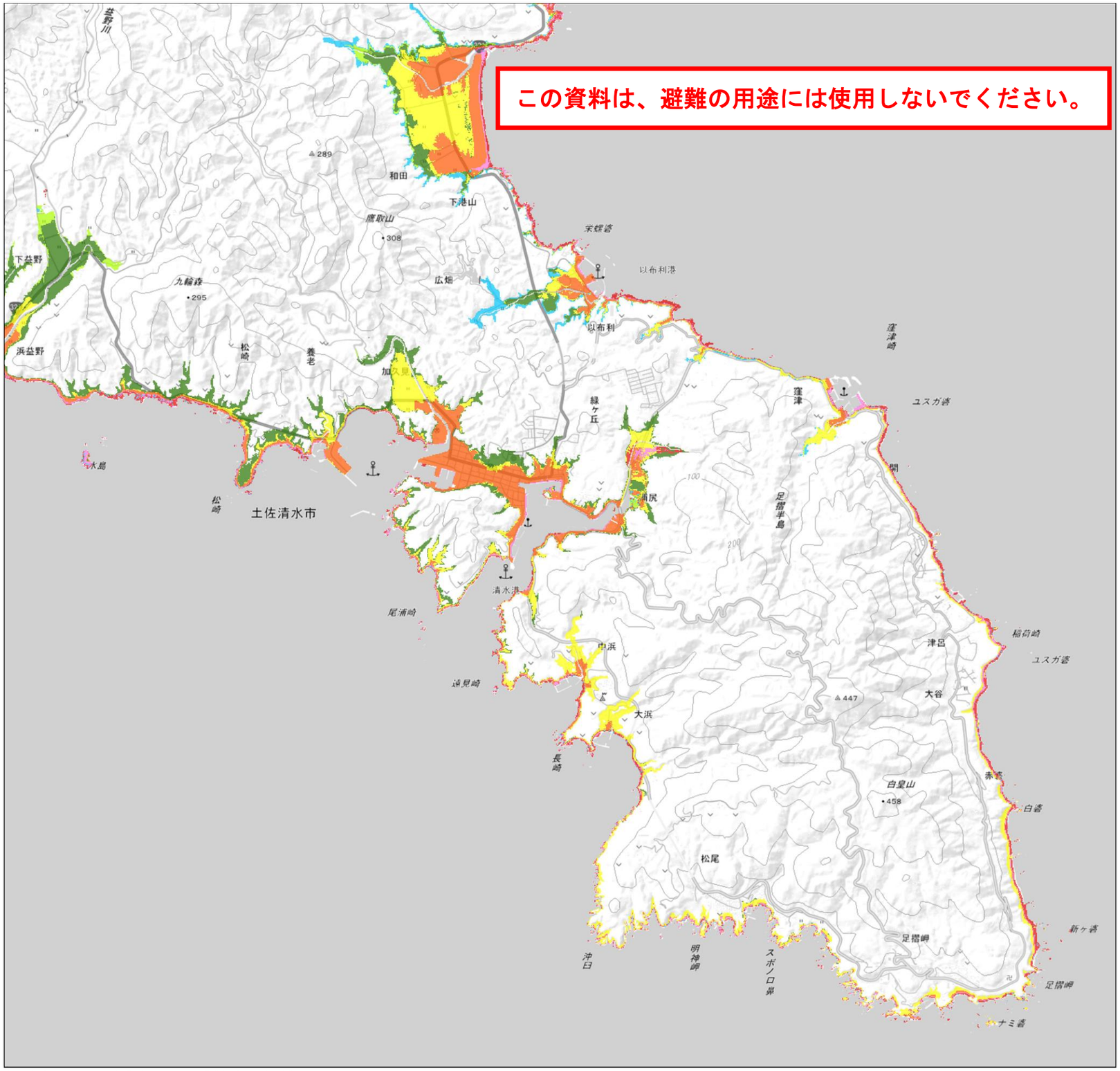
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

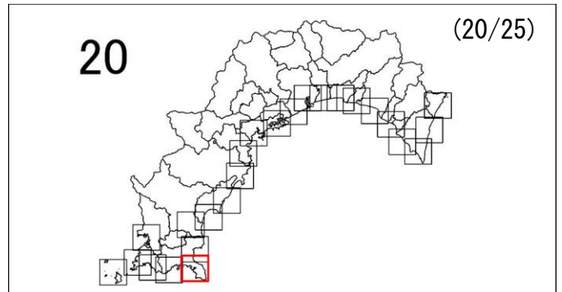
【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

20　　土佐清水市　その２（30cm 津波到達時間）



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

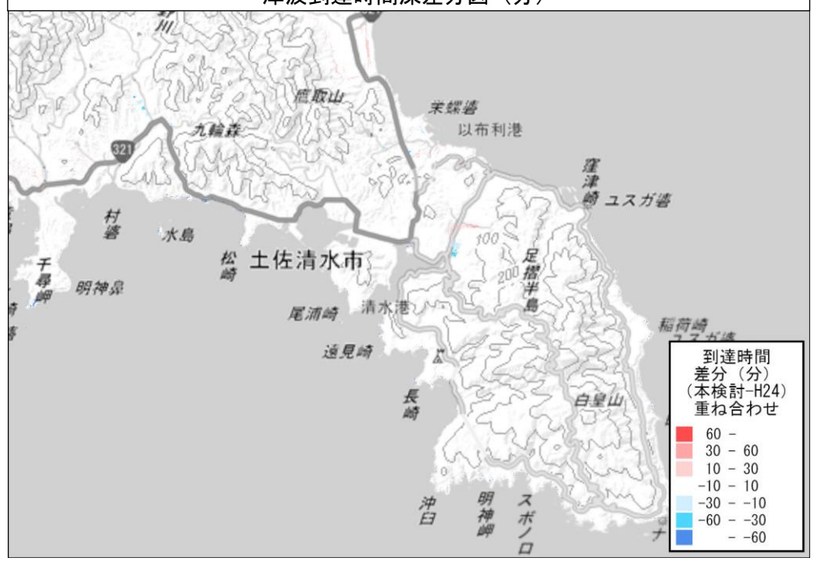
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

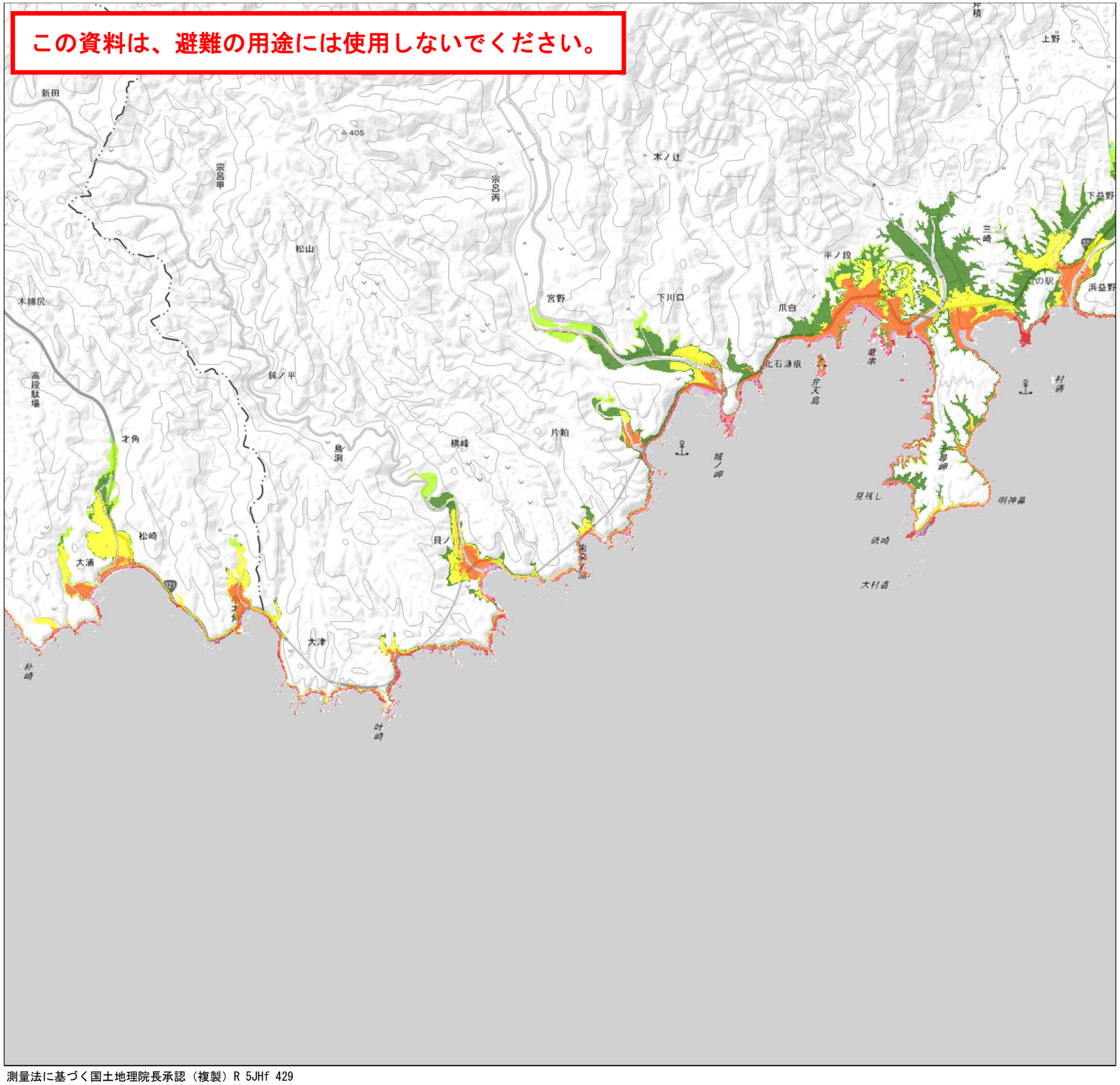
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

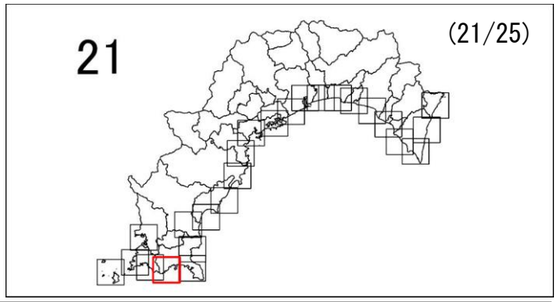
21　　土佐清水市　その３（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

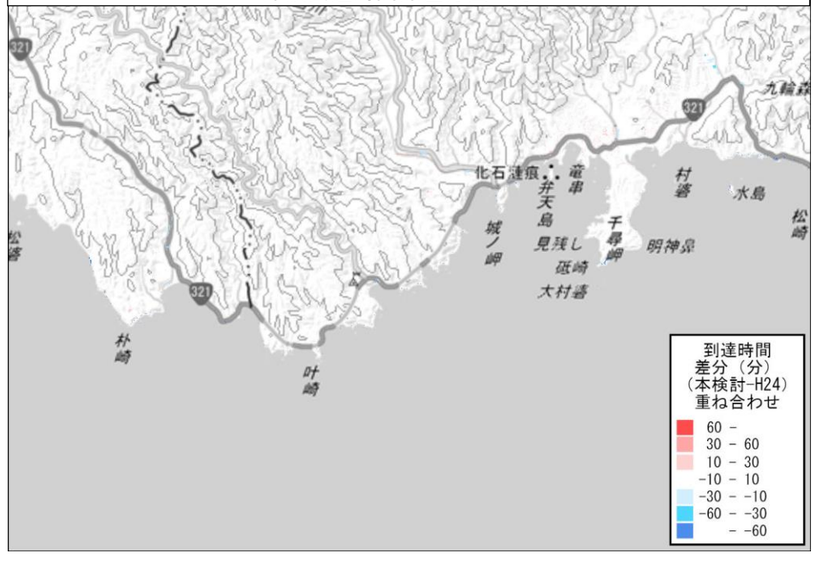
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

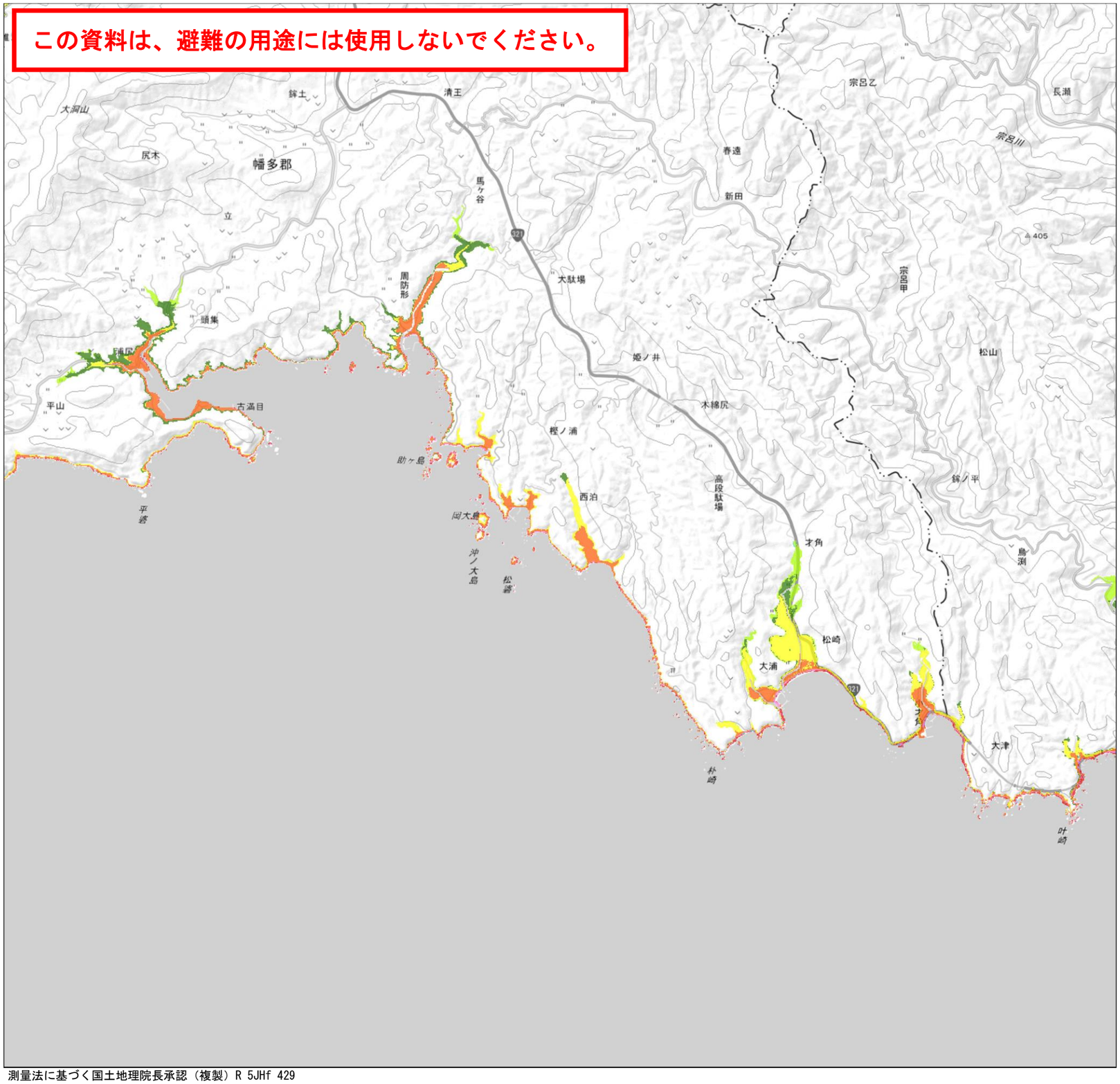
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

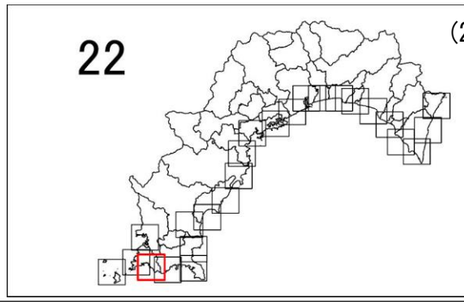
22　　大月町　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。



到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

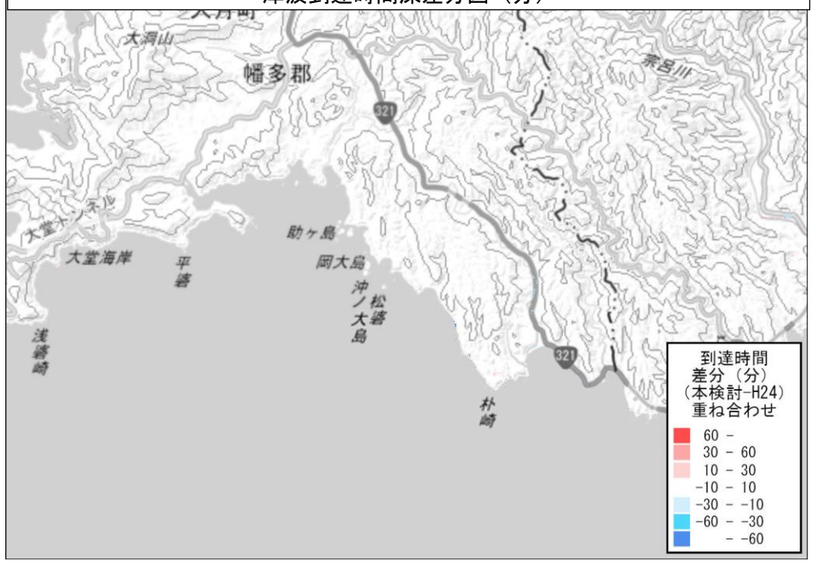
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の QR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

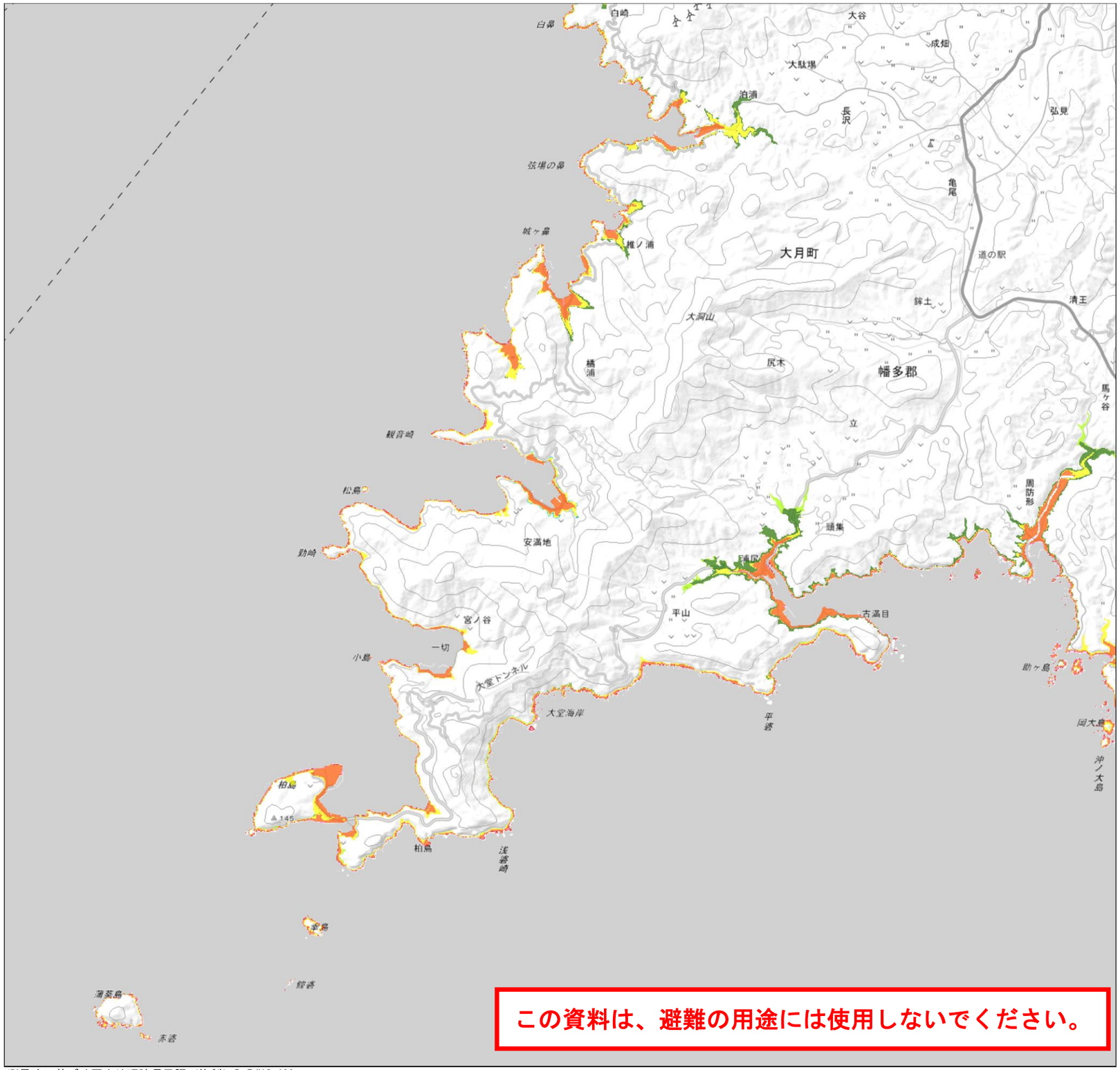
津波到達時間深差分図（分）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

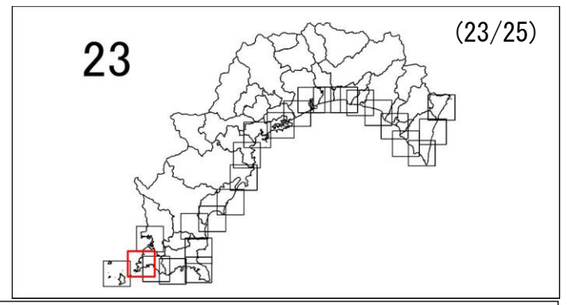
23　　大月町 その２（30cm 津波到達時間）



この資料は、避難の用途には使用しないでください。

到達時間（分）

- 60 －
- 40 － 60
- 30 － 40
- 20 － 30
- 10 － 20
- 5 － 10
- 0 － 5



（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

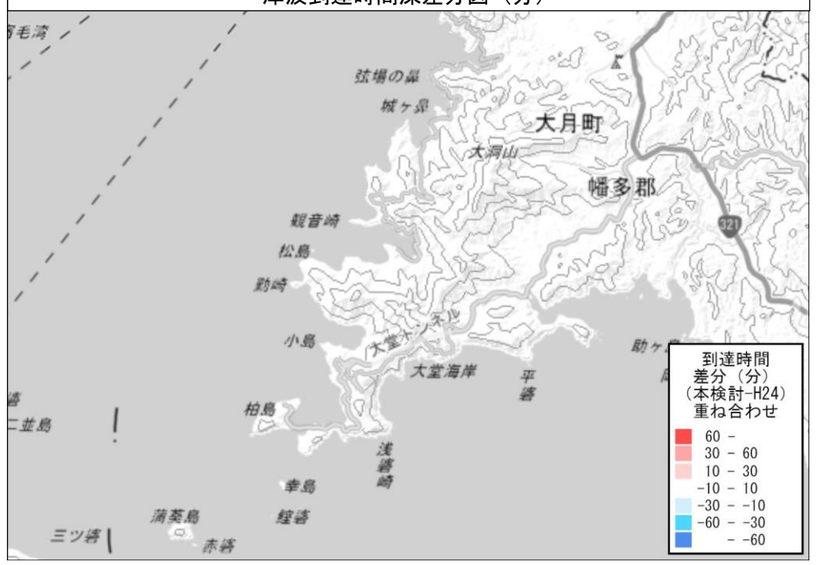
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

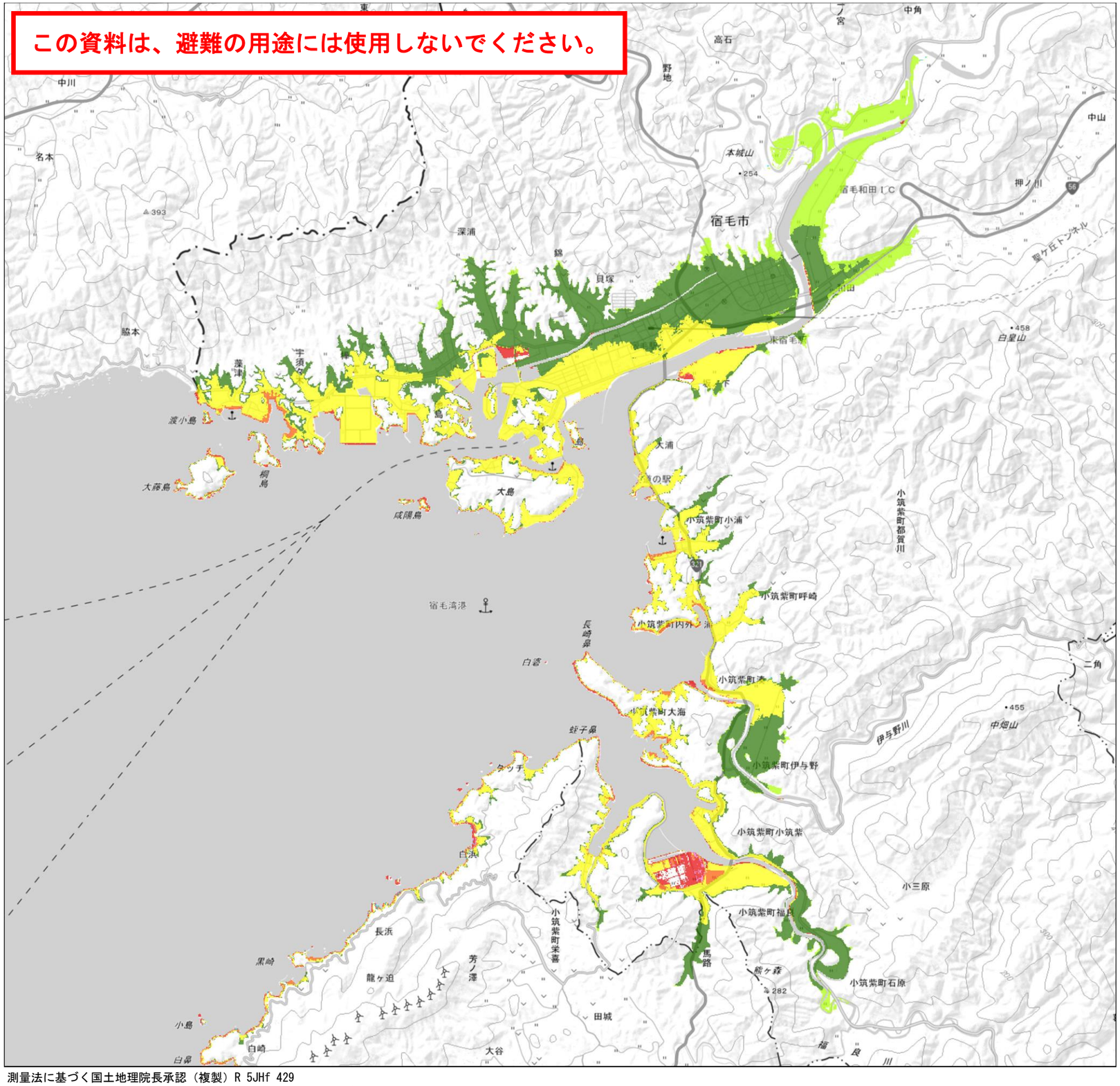


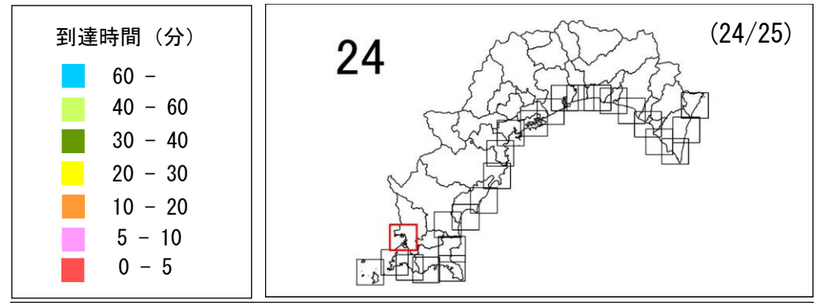
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

【附属資料】事前復興まちづくり計画策定のための津波シミュレーション結果（③堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間が「破壊しない」と仮定した場合）

24　　宿毛市　その１（30cm 津波到達時間）

この資料は、避難の用途には使用しないでください。





（目的）

本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。

県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。

しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。

このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。

事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。

（堤防高等の条件設定）

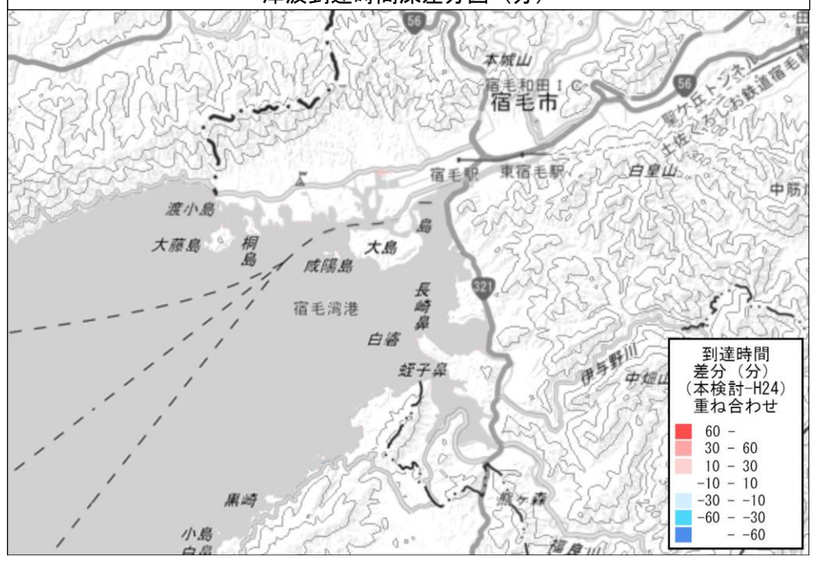
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）

本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。

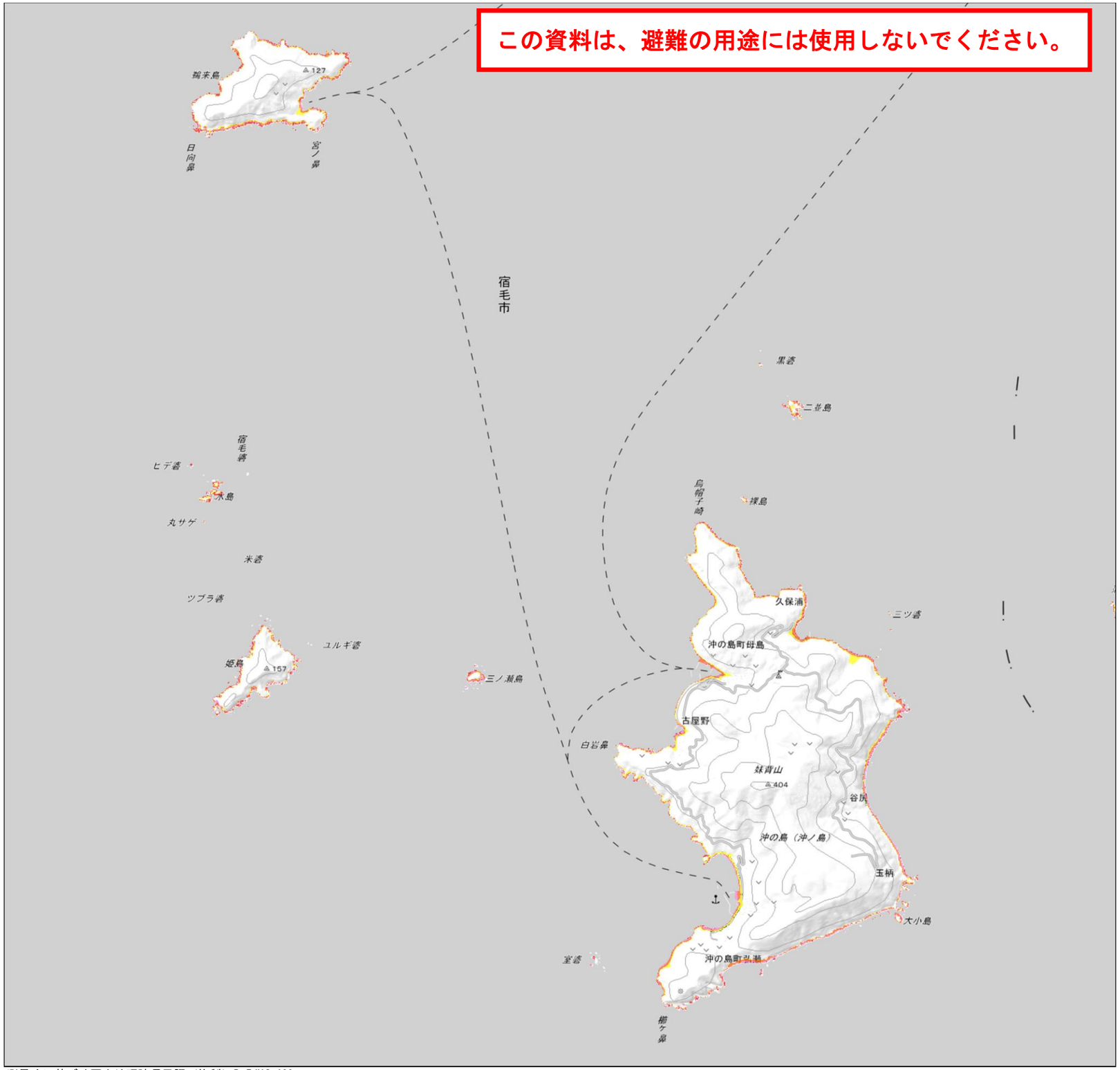
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

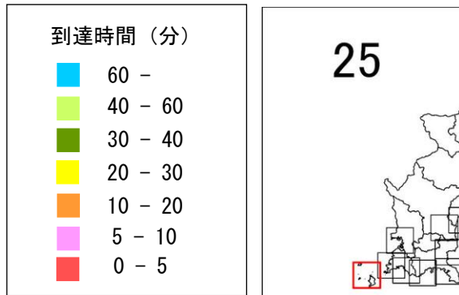


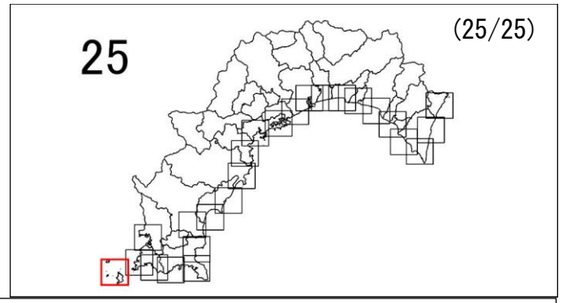
測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

25　宿毛市 その２（30cm 津波到達時間）



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 429
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。





（目的）
本資料は、沿岸市町村が作成する事前復興まちづくり計画の土地利用等を検討するための参考資料として活用いただくことを目的としています。
県では、平成 24 年 12 月に津波防災地域づくりに関する法律（以下「津波法」という。）第８条に基づく津波浸水想定として、最大クラスの地震・津波が悪条件下で発生した場合を考え、国の「津波浸水想定の設定の手引き」に基づき、堤防等の構造物が「破壊する」条件で津波シミュレーションを行い、その結果（以下「H24 津波浸水想定」という。）を公表しています。
しかしながら、事前復興まちづくり計画では、津波による被害のリスクのほか、現在整備を進めている三重防護事業や被災後に復旧される堤防等の耐震化などの整備効果を考慮した上で、都市計画等の土地利用や道路施設等の整備計画等を検討する必要があると考えています。
このため、本資料は三重防護など、耐震化される堤防等の整備効果を考慮して、堤防等の構造物が「破壊しない」と本県独自に仮定した津波シミュレーションを行い、その結果を示したものです。
事前復興まちづくり計画では、H24 津波浸水想定に加えて、本資料を検討の参考資料としてご活用ください。
（堤防高等の条件設定）
令和５年３月末時点で、堤防等の耐震整備が完了している区間及び耐震整備の計画がある区間については、堤防高を整備完了後の天端高に設定しています。

（留意点）
本資料は、津波法に基づく H24 津波浸水想定とは、条件設定や使用目的が異なるため、事前復興まちづくり計画以外の用途（避難の用途）には使用しないでください。
津波警戒避難体制や津波避難計画を検討する際には、右記の OR コードから H24 津波浸水想定をご確認ください。

津波到達時間深差分図（分）

